

大学における外国語ニーズ分析調査報告書 第1分冊 第2分冊

外国語ニーズ分析研究グループ
九州大学言語文化研究院

井上, 奈良彦
九州大学言語文化研究院

<https://hdl.handle.net/2324/4771853>

出版情報 : 2010-03. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

大学における外国語ニーズ分析 調査報告書

第1分冊

専門課程教員インタビュー結果
学生対象アンケート結果
卒業生対象アンケート結果

九州大学言語文化研究院
外国語ニーズ分析研究グループ

2010年3月

序文

本書は、科学研究費の助成を受けて実施した萌芽研究「大学の外国語教育における批判的ニーズ分析」(研究課題番号：15652035)によって得られたデータの一部を加工した報告書である。

研究概要

上記研究においては、2003年度に九州大学各学部の教務関係の教員に対するインタビュー調査を実施した。2004年度には、その分析結果に基づき、アンケート調査項目と質問形式を吟味修正した上でアンケート用紙を完成し、アンケート調査を実施した。アンケート調査では、英語およびその他の外国語の使用状況、能力、必要性、授業内容、授業方法、などをさまざまな状況や分野に分けて尋ねた。アンケート調査の対象は、九州大学の全学教育の言語文化科目(外国語科目)を履修している1年生、2年生のほぼ全員、3年生以上の学部生・院生の一部、専任の全教員(講師以上)、外国語を担当している非常勤講師全員、それに文系理系双方を含めた卒業生の一部である。インタビュー調査とアンケート調査の結果、社会的にも学問的にも英語の役割が増大しているものの英語以外の外国語の習得も必要であるという認識が広く得られた。また外国語(特に英語)教育は学部1,2年次だけでなく学部卒業まで、もしくは大学院教育までも視野に入れた継続的かつ体系的な教育が重要であるという考えも多く聞かれた。この調査結果は、九州大学はもとより、日本の大学における外国語教育の改善と発展に寄与することが期待される。

本報告書には、学生対象のアンケート結果、卒業生対象のアンケート結果、専門課程教員へのインタビュー結果、教員対象のアンケート結果を収録する。

その他のデータについては、CD-ROM版を用意している。その内容は次ページの通りである。

なお、この報告書の作成に当たっては、井上の監修のもとで九州大学リサーチアシスタントの周莉恵さんと賈琦さん(ともに九州大学大学院比較社会文化学府在籍)に学生および教員アンケートの結果を表やグラフに加工してもらった。卒業生のデータ加工は、井上が行った。全体の編集責任は井上にある。

2010年3月

九州大学言語文化研究院
教授 井上奈良彦

連絡先

〒819-0395

福岡市西区元岡 744 九州大学言語文化研究院

電子メール: inouen@flc.kyushu-u.ac.jp

電話: 092-802-5747 (直通)

Web: <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~inouen/>

CD-ROM 版報告書の内容

「ニーズ分析プロジェクト」関係ファイル

2006年4月29日

関係各位

長らく報告をしておりませんでした標記プロジェクトの関係ファイルを配布いたします。個人名・番号など個人を特定できる情報は削除していますが、取り扱いはくれぐれも注意願います。ある程度読めるような報告書は予備調査と卒業生の分のみです。本調査の分析結果への考察を加えた報告書はさらに遅れることご了承ください。

ニーズ分析プロジェクト（志水俊広・井上奈良彦）

番号	項目	ファイル名
0	ファイルリスト（この文書）	000_project_files.doc
1.	背景	
1.1.	科研費申請書	110_kaken.doc
1.2.	批判的ニーズ分析文献紹介	120_critical_needs.doc
2.	予備調査（アンケート）	
2.1.	質問紙票 学生用 質問紙票 専門課程教員用日本語版 質問紙票 英語教員用日本語版 質問紙票 英語教員用英語版	211_pilot_students.doc 212_pilot_faculty_j.doc 213_pilot_faculty_ej.doc 214_pilot_faculty_ee.doc
2.2.	専門教務教員集計表（データファイル） 専門教員自由記述追加項目（比較的長文のもの） 工学部学生集計表（データファイル） 英語教員集計表（データファイル）	221_pilot_faculty.xls 222_pilot_faculty_comments.doc 223_pilot_students.xls 224_pilot_english.xls
2.3.	英語報告書 日本語版・English Version（井上奈良彦） 未修外国語報告書（山村ひろみ）	231_pilot_report_j.pdf 232_pilot_report_e.pdf 233_pilot_new_languages.doc
3.	面接調査	
3.1.	インタビュー調査回答要約（データファイル）	310_interview.doc
4.	学生対象アンケート	
4.1.	質問紙票	410_students_questionnaire.doc
4.2.	データファイル	420_students.xls
4.3.	記述統計・自由記述項目（中野美香）	430_students_results.doc
4.4.	分析：年齢、性別、学年、学部と各質問項目間の関係（中野美香）	440_students_analysis.doc
5.	教員対象アンケート	
5.1.	質問紙票	510_faculty_questionnaire.doc
5.2.	データファイル	520_faculty.xls
5.3.	記述統計・自由記述項目入力（周莉恵）	530_faculty_results.doc
6.	卒業生対象アンケート	
6.1.	質問紙票	610_graduates_questionnaire.doc
6.2.	データファイル	620_graduates.xls
6.3.	報告書（井上奈良彦）	630_graduates_report.doc
7.	社会的に示唆される規範調査	
7.1.	FD講演原稿（サンドラ・クリツィン）	710_social_norms_talk.doc
7.2.	質問紙票 英語版 質問紙票 日本語版（九大実施版）	721_social_norms_questionnaire_e.doc 722_social_norms_questionnaire_e.doc
7.3.	データファイル	730_social_norms.xls
7.4.	分析（中野美香）	740_social_norms_analysis.doc

第1分冊 目次

序文	iii
CD-ROM 版報告書の内容	iv
第1章 専門課程教員インタビュー調査回答要約	1
第2章 学生対象アンケート結果	12
1. 自分の所属等について教えてください。	12
2. 英語について	12
(1) 九州大学の学生は将来どのような状況で英語が必要	12
(2) 平均的な学生の学部卒業時の英語能力	26
(3) 言語文化科目 I (必修) の英語科目の授業内容	35
(4) 言語文化科目 I (必修) の英語科目の授業方法	56
(5) 言語文化科目 II (選択)	71
3. 英語以外の外国語について	82
(1) 履修した英語以外の外国語は何か	82
(2) その外国語を履修した理由	83
(3) その外国語のどのような技能を特に身につけたいか	91
(4) 第1外国語と第2外国語の必修について	102
(5) 履修すべき1つの外国語として英語を指定することをどう思うか	104
(6) 必修単位の一部を検定試験の結果で代替させることについて	105
(7) 検定試験による単位化に対して否定的な意見の理由	106
(8) 非対面方式授業(コンピューター等の機材使用)について	108
(9) 言語文化科目 II (選択科目)に加えるべき外国語	109
(10) 必修以外の外国語授業の短期集中開講について	116
(11) 英語以外の外国語を低年次に限らず履修可能とする考えについて	117
(12) レベルに応じてクラス分けした授業にすべきか	118
(13) 高いレベルを目指す学生のために特別な授業を提供すべきか	119
(14) 自由に学習できる機材や教材を備えた自習室について	120
4. 外国語授業に関して、意見・要望	121
第3章 卒業生対象アンケート結果	127

第2分冊 目次

序文

第4章 教員対象アンケート結果

第1章 専門課程教員インタビュー調査回答要約

2003年12月-2004年2月実施

人文研究院 I先生：2003年12月25日
人文研究院 N先生：2004年1月9日
法学研究院 I先生：2004年1月20日
理学研究院 O先生：2004年2月5日
経済学研究院 S先生：2004年2月17日

人文研究院 I先生

《英語》

2 英語についてお尋ねします。

(1)1 ご自身が研究・教育・仕事・その他で英語を使用することがありますか。⇒はい

- 1 専門的な内容について英語で書かれた文書を読む
- 2 一般的な内容について英語で書かれた文書を読む
- 3 専門的な内容について英語で文書を書く
- 4 一般的な内容について英語で文書を書く(特にメールなど)
- 7 専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する
- 10 一般的な内容について会話をする

90 クレームを言うなどの交渉・海外旅行

(2)1 九州大学の学生は将来英語が必要だと考えますか。⇒はい

- 1 専門的な内容について英語で書かれた文書を読む
- 2 一般的な内容について英語で書かれた文書を読む
- 9 専門的な内容について会話・会談・交渉をする
- 10 一般的な内容について会話する

→重要なポストにつくだろうから、英語は必要になるだろう

読むのは読めるけど、会話がなりたないという現状を打破してほしい

3 平均的な学生の英語能力についてお尋ねします。

(1) 卒業時に学生が到達すべき英語能力 ⇒TOEFLで500~550点

しかし、平均的な学部生に500点を取るの難しいのが現状

練習問題をやったことがあるかどうか、問題形式に慣れているかどうか重要なので、模擬試験などの対策授業をすべき

TOEIC 点数はよくわからない

練習問題を多くやっていることが重要

中学校レベルの問題など、基本的な問題でも、知っているかどうかで違う

基礎的な力と同時に訓練が大切

(2) 学部2年終了時の平均的学生の英語能力について(リーディング)

3 学部卒業までに現在以上の努力をする必要がある

専攻によって、普段の授業で英語のテキストを読んでいるかどうかでだいぶ違う

高校でも語彙を落としているため、大学入学時に一般教養レベルにも到達していない。まして使わないので、維持することも難しい

(3) 学部2年終了時の平均的学生の英語能力について(ライティング)

3 学部卒業までに現在以上の努力をする必要がある

書き方というのは技術が必要。(ex)パラグラフライティング

それぞれの形式毎にある種の決まりがあることを知らない。アメリカでは高校のレベルで訓練する日本人学生のライティング能力は低い。大学院学生でもできていない

アカデミックライティングのコースがあるといい

数年前から、東京大学などでは専門家を招いてアカデミックライティングのコースを開設している
他の大学でも事情は似ている

(4) 学部2年終了時の平均的学生の英語能力について(リスニング)

3 学部卒業までに現在以上の努力をする必要がある

読めても聞けない

(ex)ビデオを観て、後で理解度をチェックするテストをすると、字幕にあることしかわかっていない
→字幕だけしか観ていない。字幕にない内容については聞けていない。

全部を聞き取れなくても、ポイントを聞く訓練が必要

(5) 学部2年終了時の平均的学生の英語能力について(スピーキング)

- 3 学部卒業までに現在以上の努力をする必要がある
会話は相手が必要なので、訓練が難しい
学内でのインテンシブコースなど、集中的にやらなければ効果がない(一週間ほど、能力別)
 - (6) 学部2年終了時の平均的学生の英語能力について(討論・討議・口頭発表)
 - 3 学部卒業までに現在以上の努力をする必要がある
学会などではモチベーションがあるので、普段日常会話はできなくても専門分野なら質問などを
する
学会などでは内容さえよければ少々間違いがあっても評価される
必要に迫られるとできる→訓練すればできるようになるはず
 - 4 言語文化科目Ⅰ(六本松)の英語科目の授業内容について、何が必要性が高いと考えられますか。
 - 2 発音の指導
 - 3 英文和訳→語彙を増やすことにつながる
 - 8 文学作品や評論などを読んで内容理解することの指導
(指導する人の専門に近いもので教育を受けるほうが効率はいい)
 - 9 ニュースや説明文を読んで内容理解することの指導
 - 15 論文やレポートを書くことの指導
 - 16 手紙やメモを書くことの指導
 - 18 講義やスピーチを聴くことの指導
 - 20 スピーチ・口頭発表をすることの指導
 - 21 討議・討論をすることの指導文法の指導はいらない
必ずしも一般教育として専門に直接関係する内容の教材を教える必要はない
基本的なことを教えるべき
サマライズすることもとても大事なこと。一貫した内容が出てこないと部分のわかるだけではだめ
 - 5 言語文化科目Ⅰ(六本松)の英語科目の授業方法などについて、学生の英語力を向上させるのによ
いと考えられる方法お答えください。
 - 1→テキストから受ける情報量がたくさんあるので、解説しなければわからない難しいテキストを使用
するのではなく、それを学生が理解しているかどうかを英語でやりとりができるものを利用する
できれば高校くらいで英語の先生が英語で授業してくれるといい。しかし高校の場合は受験に必
要な英語の知識の勉強という矛盾
最近英語で授業をする高校が増えてきている
メリット→和訳をする必要が無い
デメリット→受験英語と矛盾する。学生が分かったということ表現できないというジレンマ
 - 7→夏休み一週間などでのインテンシブコースの実施→単位化
単位のためではなく、ピンポイントで目標を絞って訓練を受けたいという学生に提供したい
学生の質を均一化する(安易さによって学生が集まることがないように保証する必要)
 - 11 TAを活用して反復練習などをさせる
 - 14 プレースメントテストによる能力別クラスを実施する
日本語でディスクリプティブなものを書くための訓練
→国語の先生ではなく、海外で訓練を受けた外国語の先生のほうがむしろ適している
外国では、高校である程度ものの書き方の訓練を受ける
入試に必要なものではなく、必要な技術が教えられて、少人数で、ちゃんと添削できることが大事
- 《未修外国語》
- 1 ドイツ語
 - 2 独・仏(それ以外は第二外国語の単位外であった)
 - 3 会話はできないので、研究でとても役に立っている
 - 4 英語以外一つは必要→英語は特殊な言語なので、他の言語も全てそうだと思っはいけない
文化にまつわることなど、広く知ることができる
『英語は国際語』という言い方はよくない。コミュニケーションでは便利だが。
 - 5 第一・第二外国語ともに必修であることは必要
 - 6 少人数クラスできめ細かく指導をするための取引関係においては、利用の価値がある
文系と理系では必要度が違う→理系…能力があればいい
文系…クラスで専門の先生によって評価される必要性がある
本当に必要なものはクラスディスカッション

7 補強するという点では効率がよい

これを授業と呼ぶかは難しい

読みやディスカッションを目的とする授業には向かない

8 特でない いろんな言語に触れることは大事だが、効率が悪くなる。先生の確保も大変になる

9 賛成→効率がよい

運用面の訓練としては可能。短期間に集中的にやるほうが効果的。

人文研究院 N 先生

《英語》

2

(1) 1 はい

1 専門的な内容について英語で書かれた文章を読む

2 一般的な内容について英語で書かれた文章を読む

3 専門的な内容について英語で文書を書く

4 一般的な内容について英語で文書を書く

(10 歴史なので、あまり会話をすることはない)

(2) 1 はい

1 専門的な内容について英語で書かれた文書を読む

2 一般的な内容について英語で書かれた文書を読む

3 専門的な内容について英語で文書を書く

5 専門的な内容について発表や講演をする

11 就職試験・大学院入試に英語が必要

12 外国で生活するのに英語が必要

13 外国の大学・大学院に留学するのに英語が必要

歴史の場合は聞く・話すより、読むほうが重要。専攻によって、ウェイトを置くポイントが異なる。

3

(1) TOEFL は受けたことがないのでわからない 500 点くらい

TOEIC ではレベル B くらいは必要

英語は現地に行くことによって上達する

九大の学生は語彙は多いだろうから、リスニング能力は現地での実践の中で力がつくのではないかどうかという場に出るかによっても、要求されるレベルが違う

(2) 能力はあると思う

ひどくやる気をなくしている学生以外は、とてもよくできるし、努力をする

(3) 学生のライティングをあまり見たことがない

読む授業も少なくなってきている→日本語のテキストを使うことが増えた。理由は効率。読むのも大変でディスカッションまでまわらない。英語の授業のようになってしまう。議論が荒くなってしま

分量が多くなると敬遠される。分量との折り合いが難しいところ。

外国史の場合は英語の論文を読む必要がある

(4) (5) (6) 学部の学生がリスニングや会話をしているところに触れることがないので、難しい質問。

チャンスがあったり、必要にかられれば、九大生の能力ならできる

討論などは、日本語でもあまりやらない

逆に、日本語では言いにくい議論も、英語なら、雰囲気が変わって言いやすいなんてこともあるのかもしれない

4

専門から見ると、文章読解なので語彙・構造・文法など。

自分が学生時代に読んだのは、推理小説や小説、日本の紹介、英米事情など

もっと自分の専門分野に関係する論文などを読んだらいいと思う

小説や日本の紹介などは、語学学校などと同じになってしまう

大学なので、論文などを読む訓練をしていいのではないかと

米国留学時、一年生対象に、レポートや論文を書くためのライティングの授業が、英語圏の人に、英語論文の読み方書き方の授業が最初にある

日本語で論文を書くのも難しいので、読書感想文のようにならないように、徹底的に論文を書く際の形式を身につけるための訓練が必要

それぞれの専門教育でやる部分も必要かもしれない

5

英語圏での語学研修は学生時代だから行けるという部分があるのでぜひ活用してほしい
必要に迫られて話すことが、力をつける

日本での授業の中で英語を使うのには限界がある

語学研修を単位化するには、テストなどを課すべき

学外の語学学校での学習を単位化するのは危険→九大での授業を活かすべき

大学が専門学校化してしまう部分があると思う

英語が第一外国語でなければいけないということはないと思う

語学の授業の時間は長すぎるかもしれない→システム上可能なら、短いほうが効率もいい

自習や課題に時間をかける訓練をしてほしい

当てると、自分のところしかやっていないことが多い

授業の予習・復習はあったほうがよい

授業の趣旨によって、重要とされる点も変わってくる

レベル別の授業が必要

6

(1)2 いいえ

(2)必要

二年生の前期などあまり忙しくない時期に、英語に力を入れておくと、役に立つし持続する

7

自分の授業の様子を考えると、ある程度まとまった文章の意味をとれるくらいの読解力、語彙力を身につけておいてほしい

速読術

特に一年次の授業では、それぞれのスキルを伸ばしてあげられるような授業にしてほしい

大学院から九大に入ってくる学生に、英語力をつけるために、授業に参加できる形にしてほしい

法学研究院 I 先生

★★★英語について★★★

2(1)研究・教育・仕事・その他で英語を使用することがありますか

⇒はい

※具体的な使用の場について

・1番多いのがゼミ形式で講義をするとき(大学院CSPA課程)。

→ゼミでは本の輪読をする

→留学生が多い(日本人も受講可能なのになかなか受講しない)。敬遠されている。

→非英語圏の学生が多いから、手段としての英語が身につくし、自身にもつながるので日本人の学生も受講したほうがいいと思っている。

・専門書を読むとき。

・電子メールのやりとり。

*アンケートの中に“講義”の項目を追加したほうがいい(他学部でも英語の講義有)。

(注)CSPAとは、九州大学大学院法学府で英語を共通語とするプログラム修士課程の1つである。

1年で修士課程を終える。政治・国際関係向け。

正式名称はComparative Studies of Politics and Administration in Asia

(2)九州大学の学生は将来英語が必要だと考えますか。

⇒はい

・(とりわけ法学部の学生は)手段としての英語が必要な職に就く学生が多い。

→実務上の要請から身に着けておくべき。

→具体的な状況としては討議(会話、会談、交渉、専門的内容)、もしくは一般的な内容についての会話。

→実際法学部卒業生が就職する民間企業では英語能力が昇進の条件として設定されていたりもしている(例:TOEIC点以上でないとい課長になれない等)。英語をやらざるを得ない状況になっている。

→就職の際、英語能力を明確に要求している会社は現在、それほどないが、各々自発的に受けて、自己申告しているし、記入する欄がシートにある。

→韓国の企業は就職の際明確に英語、日本語の能力を要求している。(財閥系の一般企業は英語と日本語が両方でできて普通だと思われる。)

3(1) 卒業時に学生が到達すべき英語能力

⇒TOEICで600点台 (TOEFLに換算すると480~500程度)

→企業のプロモーションを考えるとこれくらいと考える。

(2) ~学部2年終了時の平均的学生の英語能力について

- ・学部生の英語能力を見る機会がないのでよくわからない。
- ・法学部の場合、ゼミで英語の文献を読むという機会は少ないし、それよりも最近の学生は日本語の文章さえきちんと読めていないのではないか(本を貫く論理構成を把握できていないのではないか)。
- それ故法学部はカリキュラム上1、2年で希望者にゼミを課している(希望者といってもほぼ全員が履修している)。そこでは新書程度の本を通して論理を把握できることを1つの眼目においている。そうでもしないと、とてもではないけど本を読むことができない。3年以降の専門書が日本語で手一杯になる。
- ・外国語法律/政治書購読について……
- 履修できるのは学部2年後期から。半期2単位で最高8単位まで受講可能。
- 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ラテン語の中から好きに選べる。
- 法学部における現行のコース制では4コース中(法律、法政策、国際ビジネス、政治)のうち、国際ビジネスと政治コースのみで2単位必修。
- この2コースは希望者が少ない(外書購読が必須だからではとの分析あり)。
- 学生が3年になってまでも外国語を勉強するのを嫌がる。
- 従来は必須ではなくなるし、今度の新カリキュラムではコース制全廃。外書は必須ではなく選択必須になる。
- ・六本松での第1外国語、第2外国語の単位をとり終えたら卒業まで全く外国語を勉強しなくても卒業ができる。学生の多数派はそれで終わる。その後就職のために3年後期からTOEICの勉強をし始める学生がいる程度。
- ・日本語で勉強することが多いのが現状だが、ロースクール設立により、変わっていくであろう。職業教育としての法曹養成はロースクールが受け持ち、法学部は法的素養をみたいなのを身につける場になる。この現状はやや薄まる筈。
- ・昔は教育自体がずさんだった。現在は大学入試の延長線として大学教育をとらえている。いわゆるノルマがないと不安になっているのでは?大学が“学校化”している。
- ・90年代~「英語雇用論」英語重視の流れのなかで、英語の必要性についての自覚が出てきて、そして、一種のブランドである九大でも就職難に直面する。その中で就職上の要請から「他者との差別化」の意識の中でTOEICの勉強をしたりする。入試をはじめとして絶対英語が必要な大学院へ進学する学生たちと、それ以外で英語が必要な学生たちに2極分化されるわけではない。
- ・ロースクールの設立に伴って法学部生は学部を通過点的に位置付けてしまう。
- ロースクールは、法学部を卒業していなくても法曹になれるとしているが、事実上抽象概念や体系的知識で鍛えられてない未修者は厳しい。結局学部時代は法学部に行ったほうが得であるし、また、学部の4年間はロースクールへの予備校と化す。予備校化すると、必要/不要が最優先。すると、英語を課さないロースクールへの進学を希望する学生はますます英語を切り捨てる。
- 但し、大部分のロースクールが英語を課す。ロースクールはビジネスからの要請。国際交渉の場での法曹の活躍が期待されるのでやはり英語は必要。

4 言語文化科目Iにおいて英語科目で重要と思われるもの

- ・高校までの偏った英語教育から実務的な能力への橋渡し。聞く、話す等のオーラルなもの。高校までの基礎づいているはずのものを音声的に活用できる能力。
- ・相手を説得するときの論理づけ。とりわけ法学部は論理を身につけるのが主眼であり、その論理能力は言語運用能力、説得力、交渉力である。「察し」や「配慮」といったコミュニケーション一般能力は法学部で期待されている論理能力ではない。
- ・18から22までの項目を期待する。(音声としての英語)
- 読み書きは専門教育でも教えられるし、高校までで身につけているはずである。
- ・電子メール程度を書くことも重要。書けるはずなのであるから、それを実際に書いてみて「通じた」とい実感を持たせれば自身につながる。

5 六本松での授業方法

- ・「できる」、「通じる」という体験、実感をもたせるべき。その積み重ねが自信や改善の意欲や運用の動機付けになる。「通じる」ということを教室で擬似的に確認できないか。メールのやりとりを実際に行ってみること等有用。高校までで単語と文法はあるはずなのだから、「場を踏む」とことと「音声のトレーニング」につきる。
- ・但し、「場を踏む」からと言って、ネイティブ教師のみにするというわけではない。通じなかつ

たときになぜ通じなかったのかを解析、指摘できる必要がある。

- ・少人数教育にしないとやり取りができない。
- ・LL、CALL よりも表情が見える同じ空間に立ってトレーニングする方がいい。
- ・留学生支援を含め、留学生をTAにしてはどうか。
→グループ分けして、その中を指摘ができる日本人教師が巡回していく。
→その方が相互にとっていい。現状では留学生はもったいない。日本人学生との仲介機関がないし、九大の中でも疎外感を感じている留学生多い。

6(1) 言語文化科目Ⅱについてご存知ですか

⇒はい

(2) 必要だと考えますか。

⇒必要である。

- ・箱崎分室(言語文化科目Ⅱ)の良さは、学部生に限らず院生、教職員も受講できるという開かれた場である点である。教職員は実務上の観点から質問をすることがあるので、学部生にとっては良い刺激にもなる。そういう伝統を維持して欲しい。
- ・近年「全学教育のため」との明文化により学部生のための科目と化してしまっていて、院生や教職員の受講者が激減したという事実は、「学校化」を招く。
- ・また、教職員の要請は購読よりも、ライティング、オーラルに特化する。実務(討議、報告)的はコミュニケーションのスキルが必要。

その他

- ・英語は未修外国語以上に商品化しやすい。商品で売られている英語と大学でしかできない英語との差別化は明確にしたほうがいい。商品になる英語との分業は可能ではないのか。
- ・「廉価版のサービス」として提供するのか、それとも市場にあふれている英語と違うものなのであるのかの違いは重要である。また、市場にあるサービス、語学学校の大学への取り込み化は意味がないのではないのか。
- ・今回のアンケート自身で大学の英語教育が実用化、実務化、商品化されたものを提供するという前提があるから、大学で実務的な英語教育を必要とするという回答になっていたが、そもそも、実務的なものが市場にあふれる中で大学が同じものを提供することに意味があるのかは疑問である。
- ・擬似留学体験を低コストで提供できるのが大学教育の良さである。その中で通じなかった理由や誤用についての適切な指摘、日本人自身がどう受け取るかといったことに沿ったアドバイスが市場にありそうで無いものである。

★★★未修言語について

◇大学で勉強した英語以外の外国語は選択できたのか。どういう状況で選択したか。

- ・学部時代は自分が勉強したかった外国語が第1、第2外国語として設定されていなかった。第3外国語として勉強した。自分が選択したフランス語はほぼ自動的に決まってしまう雰囲気であった(ドイツ語、フランス語で選択の余地はなかった)。

◇その勉強した外国語は研究等でつかっていますか。

- ・現在は全く使っていない。当時勉強は進級のためだった。

(役に立っていますか)

- ・文字や格を知ることができたのはよかった。

◇これから学生に勉強してもらいたい言語は何ですか。その理由は何ですか。

- ・これから必要なのは日本と隣接地域の国の言語。ロシア語、中国語、韓国語、タガログ語等。隣接諸国から日本への関心は高い。韓国、中国で日本語習得者が多い。
- ・いろんなことばが英語に訳されていて、英語ですべてが見えるように思えるが、現実、英語はツールであり、世界では非英語圏が多い。そこでマルチにことばを使える人間の方が圧倒的に強い。
- ・日本がこれからアジアと連携して生きていくとき、日本人が日本語を使えることでふんぞり返ってしまうような事態、日本語が「アジアにおける英語」というポジションになってしまうことは不幸である。
- ・英語はことばではなくて九九のように身につけるべきである(英語がある程度できるのは前提)。

◇学生に英語以外の言語を習得して欲しいと思いますか。

- ・思う。

◇2つの外国語が必修であるカリキュラムは維持すべきだと思いますか。

- ・維持すべきである。

◇外国語の必修単位の一部を検定試験の結果で換算することについては

- ・あってもいい。はじめから否定すべきではない。

◇コンピューター等の機材を用いた非対面方式の英語教育についてどう思いますか。

- ・LL や CALL は非対面である。発音をはじめとして言語は一種の運動なのだから、中途半端な技術に依存するよりは、対面教育を重視した方がよい。
- ◇現在九大には卒業に必要な外国語の単位に含まれない言語の授業も開講されているが(イタリア語、オランダ語、インドネシア語、エスペラント後)、その他に必要な言語はありますか。
 - ・21 世紀前半は ASEAN プラス 3 国(日本、中国、韓国)の時代にならざるを得ないので ASEAN 諸国の言語は網羅して欲しい。タイ語とか。
 - ・(以前アラビア語があったことについて)アラビア語は中途半端にはできない。難しいし、とりわけ今の世界情勢からは偏見を助長しかねない。
- ◇夏休みなどに集中講座でやることについて(一週間程度)
 - ・集中の度合いが中途半端に思える。ゼロからはじめる学生向けではやめたほうがいいと思うが、習熟したコースでは有用たり得る。
- ◇英語以外の外国語を低年次に限らず卒業までにいつでも履修可能とするのはどうですか。
 - ・個別事情に即して選択肢を増やす点はいい。専門を学んだ際、外国語を学ぶ意義や意欲が出てき得るのであれば柔軟な構造は魅力的。それを保障する視点はあってもいい。但し、キャンパスが離れていることも問題。
- ◇英語以外の外国語を学生の意欲やレベル別にクラスわけしたほうがいいと思いますか。
 - ・難しい。全く初心者の学生と、留学等の経験がある学生とが同じ授業というのはいささかナンセンス。
- ◇外国語の勉強に関して学生が自由に使用できる機材を置く自習室は必要だと思いますか。
 - ⇒必要。
 - ・カリカリと厳しい雰囲気ではなく、居場所的なものが必要(例：韓国研究センターのラウンジ)。そういう場があると似た関心を持った人が集まる確立が高まる。そういった場が九大には少ない。→自習室の傍らにラウンジがあるといった感じを提案。
- ◇九大での英語以外の外国語で何か意見がありましたらお願いします。
 - ・スタッフが少ない。

理学研究院 0 先生

《英語》

2

(1)1 はい

- 1 専門的な内容について英語で書かれた文書を読む
 - 2 一般的な内容について英語で書かれた文書を読む
 - 3 専門的な内容について英語で文書を書く
 - 4 一般的な内容について英語で文書を書く
 - 5 専門的な内容について発表や講演をする
 - 7 専門的な内容について講演・会議・討論に参加する
 - 8 一般的な内容について講演・会議・討論に参加する(例：アジア学長会議)
 - 9 専門的な内容について会話・会談・交渉をする
 - 10 一般的な内容について会話をする
- 「一般的」の例：学生との会話、アメリカの文書の作成、映画を観る、人を案内する

(2)1 はい

読む・書く・発表

学生の就職先による…研究者と一般の社会人とは必要スキルが違う、キャリアによって違う

3

- (1) TOEFL500 点(普通に学んでくればこれくらいある。これくらいあればアメリカの授業にだいたいついていける)
 - 本当は SAT を受けられるくらいが望ましい
 - TOEIC730 点 電話でコミュニケーションがとれれば一人前
 - TOEFL は、勉強すれば取れる
- (2) あまり見たことがないからわからない
 - 平均的と言われると難しい、かなり差がある
 - 英語の教科書は時々しか使わない。英語を読むほうに時間がかかりすぎるため
 - 専門書を読むよりも、時事英語や TIME など他のことをやったほうがいい
- (3) ドクターでも普通のメールでかなり間違いの多い文章、逆に学生でもとても上手な人もいる
 - 専門力ではドクターのほうが高いが、一般的な力では人による
 - 一般的には努力を必要とする人が多い

- (4) (5) 聴く機会は多くあると思うが、何においても積極性がない
例えば、研究室に外国人の来客が来て、研究生に片言でも話すように促しても話さない
聴いても理解できていない様子
- (6) チャンスがまだない

4

何が大事ということではなく、英語に触れる機会をたくさん持っていることが一番大事
たくさんのシチュエーションで実際に英語を聞くことが大切(政治・科学・環境などあらゆるトピックで)

今の世の中で起こっている話題の英語表現に触れる(TIME、News Week など)

文法はなくても理解はできると思うが、あったらなおいい

発音とリスニングは大事

あらゆるシチュエーションで喋れることが重要

英語で考える

相手に応じたカリキュラムが必要

様々な学生を一つの枠にはめて教育するのはナンセンス

全部必要だけど、とにかく英語に触れる機会を持つことが必要

5

正しい英語を話せる先生

少人数で話すチャンスが多いクラス

一つの授業の時間を短くするのはいいかもしれない

短期集中と言っても、継続しないと身につかない

教科書など、レベルに合ったものを使う

辞書を使わずに読めるレベルのものを読み、力をつけていく

英語圏への研修旅行を単位化するのはいい

学外の語学学校は周りも日本人

ドイツへの研修旅行はとても意味がある

6

(1) はい

(2) 必要

二年間で終わるわけではない

上級生になっても触れる機会を少しでも増やすという意味で必要

7

文学などもちゃんとやってほしい(会話などだけに偏りすぎないように)

授業のカリキュラムを明確にし、学生が選べるようにする

先生の好みだけで教科書を選ばないように気をつけてほしい

《未修》

1 自由に選択でき、ドイツ語初級・上級、フランス語初級

2 独・仏・露

3 興味の範囲

昔と環境が変わった(ドイツ語で論文を書く必要がなくなった等)

旅行などの日常的な必要性は増えても、学術的な必要性はなくなってきた

唯一ドイツ語を使ったのは、文献を調べて発表する授業で、ドイツ語の文献を読んだ時くらい

どんな文献もほとんど英訳が出ている

4 どの言語でもいい

5 語学は別に必修でなくてもいいと思う 必修でもいい

やりたい人がみんなやればいい

6 あまり意味がない

そういうために語学をやっているわけではない

7 あまり賛成できない

いつでも質問できるという利点をあげているが、それぞれの学生が同じ質問をすると、回答も同じものを何度もしなければいけない。その点、対面方式の授業であれば、クラスの一人が質問をすれば、他の学生も理解できる

バーチャルラボラトリー：普通の対面方式の授業ではできないことをする。視覚的に訴えて理解し

やすくする

今までの教育に置き換えるのではなく、補助として利用していく

今までの方法にプラスしたやり方

紙でできたことをコンピューターに乗せただけでは、変わらない

8 どれくらいニーズがあるかによる

英語が殆どの場所で通じるので、なぜその言語をやるかという意味付けによる

9 多様な外国語こそ集中でするといい

外国の大学では言語だけではなく、様々な授業をサマースクールのような形で開講し、単位としても認めている

10 いいと思う

4年間せっかくいるのだから、いつでも学べるようにしたい

学部のカリキュラムに余裕がある時に学ぶことができる

11 特に能力の差はないのではないか

意欲の差はあるかもしれない

12 ドイツ語やフランス語のアドバンスコースを作れば、学生が集まるのではないか

必修をはずして、アドバンスクラスを作ったほうがいいかもしれない

13 機材と言ってもテレビとビデオだけじゃだめ

語学ふれあいサロン：一教室に大きなテレビを置き、英語で映画を観たり、留学生も含めて話したり等

14 中学校の英語をやめてほしい

中学は会話だけ教えるというのでいいかもしれない

英語嫌いにならない、余裕のある英語教育をしてほしい

経済学研究院 S先生

《英語》

2

(1)1 はい

日本国内では国際学会で使うが、多くは海外で使う

韓国・中国・ドイツいずれも共通語は英語(研究発表や会合も全て)

一般的な内容やメールでも使う

経済・経営学の分野(社会学)では日本国内で英語でディベートすることは今はありえない

現在授業で英語を使うことはないが、ビジネススクールでは英語での授業もある一教官による、日本人学生への英語での授業

東アジア経済研究所(北九州市)がペンシルベニア大学と連携して院生向けに英語で授業をするが、全然ついてこない

学部向けに英語で授業を開講しているところは、経済学部ではない

英語のテキストを購読する授業はあるが、日本語のテキストを読むほうが多い

英語のテキストは読むスピードが遅くなるため、教官としても、専門的な知識を学んでほしいが、絶対量が少なくなってしまうので、英語教材ではなく、日本語の教材を使ってしまう

中国・韓国は英語テキストを使用し、学生もしっかりついてきている

韓国は殆どの有力大学で TOEFL550 を大学卒業の必修にしている

日本の高等教育は中国・韓国に完全に遅れをとった

自分自身中・高・大と英語を一応学習しているが、使えなかった

会話は誰からも習っていない 直接現地で耳から覚えたものでしかないの、ブロークンな喋り方しかできない エレガントな表現はできない

中国・韓国は高校を卒業すればなんとなく理解でき、大学で完全に仕上がる

中国の学生は一年間徹底的に英語を学習すれば話せるようになるが、日本人学生はできない

昔はチャイニーズイングリッシュで聞き取りにくかったが、今はとてもきれいな

日本人は下手だと外国人はわかっているので、辛抱強く聴いてくれる

(2)1 はい

経営学の立場から言うと、日本の企業が海外に出ることなしにビジネスできる時代はもう終わった

九大の卒業生が就職して働く会社で海外との取引がない会社はありえない

海外でビジネスすることができるのと期待されて採用される

九大生は大器晩成だとよく言われる→教え込まなければいけない、教育しなければいけない=経済的な専門知識に欠けている、新聞を読まないので社会知識に対して鈍感

単位だけをとって卒業するため、専門知識に乏しく、英語の授業はあるが会話はできない

経済学部をサラリーマン養成コースだと割り切ってきている学生もいる

あまり勉強をしない

一部、自分はエリートだと思っている意識の高い学生はよく勉強し、慎重にゼミを選ぶが、多くの学生はそうではない

学力が昔より落ちたとは思わないが、氣質が変わった 非常に残念

昔は理系の学生も哲学書くらいは読んでいたけれども、全く読まなくなった

社会科学系の学生も読まない

学部で、学会での発表などは無理

過去に学生を連れて韓国に行ったが、英語でのコミュニケーションができない

学生に自分の書いた論文を英訳させて、討論させた→そこそこできた(潜在能力はあると思う)

英語は当然

進学希望者、研究者志望の学生には、修士課程では日本語の文献を与えない、読ませない

留学生を含む一般講義の場合は、彼らの便宜を考えると日本語教材を取り上げざるを得ない→日本語と英語の両方が揃うものに限られる

日本語専攻の留学生が多いため、授業ではあまりハードルを高くできない

修士課程での大学院教育の場合は、留学生にとっては、日本で何を学んできたかが大事なので、日本について理解を深めるような、日本語の文献を与える

日本を正しく理解してもらうことが大事

3

(1) TOEFL550 をビジネススクールでは求めている→それ専用に訓練しないと到達できない

会話に困らない程度→500 少し上(これも訓練が必要)

九大の今の現状では、少し英語ができるというレベルで 450 くらい

経済学部の学生が TOEIC を積極的に受けたがるということは全くない

工学部大学院では入試に TOEIC の点数が必要→だからといってそれを鍛えている学生に出会ったことはない

ダブルスクールに行っている学生は多いが、英語を学びに行っている学生は殆どいない

昔は商社は英語能力を求めていたが、今は問わない→会社には行ってから訓練する

企業側の、学生が持っている専門分野の深みに対する見極めが甘い

日本・韓国・中国はアジアの中心になれる国→イノベーションを自分たちで生み出せる能力があるかどうか

(2) 経済学部の学生を見ると、早く読めと言われると苦しいが意味を正しく理解する能力は備わっている

読む能力は高い

入試などで鍛われている

目から入る情報なので、なんとかついていける

(3) 書くものをみた事がない

読む能力の次程度にできる

(4) 聴く能力はかなり低い

だいたいわかるというけれど、殆ど分かっていない

(5) 話す機会がない

英語で海外の人とメールのやりとりをしている学生も聞いたことがない

4

語学の授業は、英語なら英語で、始めから全部英語で行って欲しい

できない学生はちゃんと落としてほしい

できれば、学生には二つの学部を出て欲しい(主専攻、副専攻)

ダブルメジャーのような深みがない

理系の学生にビジネススクールに来て欲しいので理系のマスターにしながらビジネススクールに通う

ダブルマスターを文科省に提案したが、受理されなかった

4 技能(聞く・話す・読む・書く)の中では、聞く能力が大事

聞ければ、話せる

内容は一般的な内容で構わないので、先生の専門分野でいいので、英語の授業は英語でしてほしい

5

経済学部の英語文献購読の授業は 70~80 人単位が普通→授業になっていない

様々な市販教材の中でいいものを選び、到達目標を決め、課題をたくさん与える

高額教材などは、ファシリティ部分だけ大学が準備をして、自由に学生が使えるようにする

授業中は英語しか使わない

能力別指導は必要

90分では短い→知識がコンパクトになってしまう

半期で2単位出さなければいけないというのではなく、語学など訓練が必要な分野に関しては短期集中の授業があってもいい(一ヶ月で1単位でもいい)

6

(1)2 いいえ

(2)箱崎で語学訓練するところがないので、必要

7 学校を出た段階である程度英語のできる学生を育てる教育をしてほしい

文系の学生が英語のために進学できないということがあるくらい、できない学生はちゃんと落としてほしい

《未修》

1 ドイツ語(個人的に…仏・韓)

2 独・仏・中

3 ものすごく役に立っている

英語だけだったら見えない世界が見える

学問の分野でも役に立っている→ラテン語が何かなんとなくわかった

使用するのは英語のみ ドイツ語では会話能力はない

4 中国語→英語と中国語があれば世界中どこへ行っても困らない

英語でビジネスをやり、中国語で食事をする

使用頻度の高い言葉を選ぶとしたら西語か仏語

5 必修は従来通り続けるべき

理系は英語だけでもいいかもしれないが、文系、特に社会科学系は第三まで履修してもいいくらい

6 認めていいのは TOEFL: 国際言語としての英語を使えるようになったかという能力を示すから

7 時間と場所の節約、復習ができるという意味では必要だと思う

日本人はプラクティスが欠けているので、何らかの手段が必要 しかしそれだけで十分ではない

8 中国語方言

アジアを勉強する場合は、華僑と呼ばれている人々が使う福建省の言葉

9 好ましい

心配なのは、誰がやるのかということ

オーバーワークになるだけならば、いかがなものか→エクステンションプログラムでやるといい

10 語学は集中的な訓練が必要だと思う

入学段階は入学試験で英語能力がアップしており、言葉に対してセンスがいい→この時に徹底的に鍛えてほしい

エクステンションプログラムで鍛える

11 やるべき

モチベーションは変化しやすいので、意欲別よりは能力別のほうがいい

できる人はさらに伸ばしてあげないといけない→その人の一生の宝になるから

12 (英語の場合) 比較的近いうちに、どこかの分野で英語による専門教育を始める必要がある: 日本の大学で学びたいという外国人(特にアジア人)が増えているし、国際交流の提携校とのバランスも、専門科目の英語科目が少ないために釣り合わなくなってきているため

(未修の場合) 特殊な教育研究グループ(例: フランクホン)のソーシャルアフェアーについて研究発表はその言語でのみする等

今の日本の外国語教育の現状では、学部レベルの交流は英語でしかできない

13 パソコンベースでオンデマンドでできるようになるので、大規模な装置は必要ないが、アクセスできるような仕組みは作るべき

パソコンを貸し出すといった仕組みがあってもいい→ビジネススクールでは実際に学外から授業にアクセスできるようにしており、授業中の様子もビデオに撮っていて、オンデマンドで見れるようにしており、パソコンも貸し出している

現在1台15万弱、20台くらい

LL教室は変えていくべき PCのある部屋で十分

ライセンスを買うという方法もある

14 英語をマスターすれば世界中どこでもビジネスをできるので、英語は重要

英語ができる人はまた次の言語をマスターする意欲を持つ傾向がある

言葉は若いときにしっかり訓練すべき

第2章 外国語教育に関するアンケート調査（学生対象）

このアンケートは2005年1月に全学教育言語文化科目英語科目の授業において、1年生と2年生の全クラスを対象に担当教員を通じて配布し、キャンパス内に設置したアンケート回収箱を通して回収した。ただし、多くの教員がクラスの回答をまとめて回収箱に入れることになった。以下、アンケート項目毎に回答の集計を掲載する。1,2年生の学生総数約5000名に対し2508名の回収では、回収率50%程度であるが、アンケートを配布しなかった教員もいると思われるので、実質回収率はもっと高いと考えられる。

1. 自分の所属等について教えてください。

表 1-1 回答者の属性

学部	年齢	10代	20代	30代以上	その他	合計
文学部		106	112	0	0	218
法学部		21	67	1	0	89
経済学部		86	47	0	0	133
理学部		111	135	0	3	249
医学部		110	76	0	2	188
歯学部		85	88	0	1	174
薬学部		115	132	0	1	248
工学部		435	449	3	9	896
芸術工学部		18	17	0	0	35
農学部		145	109	2	1	257
21世紀プログラム		17	4	0	0	21
合計		1249	1236	6	17	2508

表 1-2 回答者の性別

学部	性別	男性	女性	性別不明	合計
文学部		119	99	0	218
法学部		55	34	0	89
経済学部		85	48	0	133
理学部		162	85	2	249
医学部		95	92	1	188
歯学部		46	128	0	174
薬学部		125	123	0	248
工学部		814	78	4	896
芸術工学部		14	20	1	35
農学部		195	61	1	257
21世紀プログラム		4	17	0	21
合計		1714	785	9	2508

以下の項目については、回答数および回答数の学部毎の100分率を表に示し、回答数の分布を学部毎にグラフに示す。

2. 英語についてお尋ねします。

- (1) 九州大学の学生は将来（学部専門教育・大学院・就職先などにおいて）どのような状況で英語が必要になると思いますか。以下のそれぞれの項目について、5段階評価（5非常に必要である<——>1全く必要でない）で教えてください。回答は該当する番号を○で囲んでください。

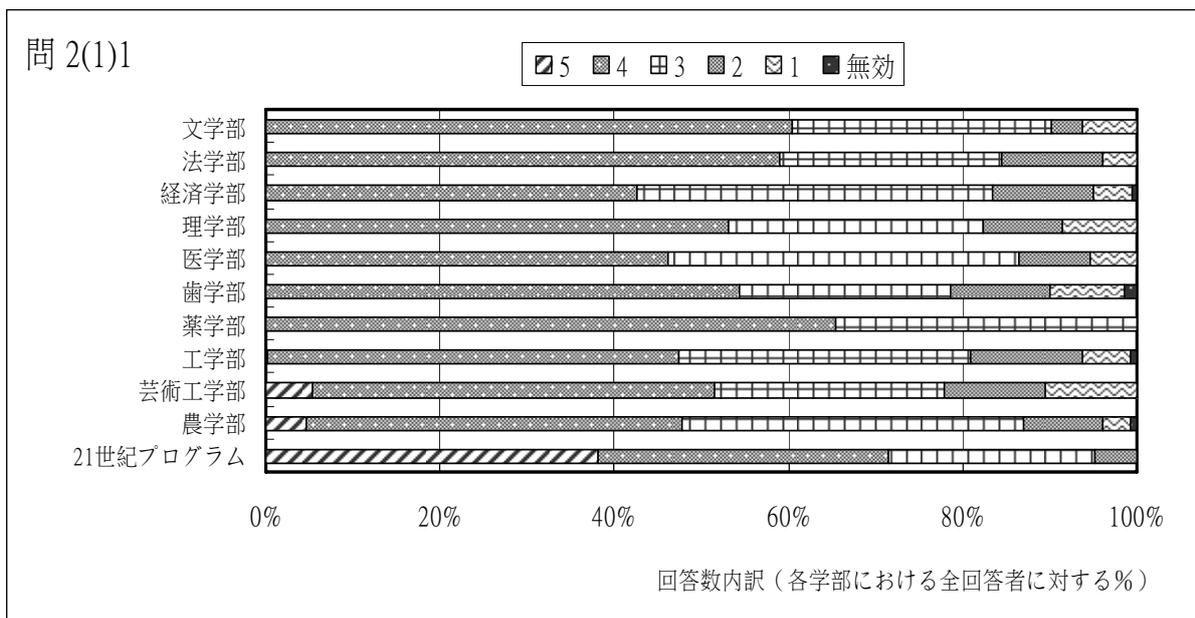
大学における外国語教育ニーズ分析

1. 学部や大学院の授業で用いる

(5 非常に必要である <——> 1 全く必要でない)

2 (1) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	93	49	24	3	5	0	174
法学部	59	76	33	15	5	0	188
経済学部	68	77	74	21	8	1	249
理学部	93	87	48	15	14	0	257
医学部	79	78	68	14	9	0	248
歯学部	19	38	17	8	6	1	89
薬学部	9	17	9	0	0	0	35
工学部	293	285	203	77	34	4	896
芸術工学部	43	44	25	11	10	0	133
農学部	72	66	60	14	5	1	218
21世紀プログラム	8	7	5	1	0	0	21
合計	836	824	566	179	96	7	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	53.4%	28.2%	13.8%	1.7%	2.9%	0.0%	100.0%
法学部	31.4%	40.4%	17.6%	8.0%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	27.3%	30.9%	29.7%	8.4%	3.2%	0.4%	100.0%
理学部	36.2%	33.9%	18.7%	5.8%	5.4%	0.0%	100.0%
医学部	31.9%	31.5%	27.4%	5.6%	3.6%	0.0%	100.0%
歯学部	21.3%	42.7%	19.1%	9.0%	6.7%	1.1%	100.0%
薬学部	25.7%	48.6%	25.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	32.7%	31.8%	22.7%	8.6%	3.8%	0.4%	100.0%
芸術工学部	32.3%	33.1%	18.8%	8.3%	7.5%	0.0%	100.0%
農学部	33.0%	30.3%	27.5%	6.4%	2.3%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	38.1%	33.3%	23.8%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	33.3%	32.9%	22.6%	7.1%	3.8%	0.3%	100.0%



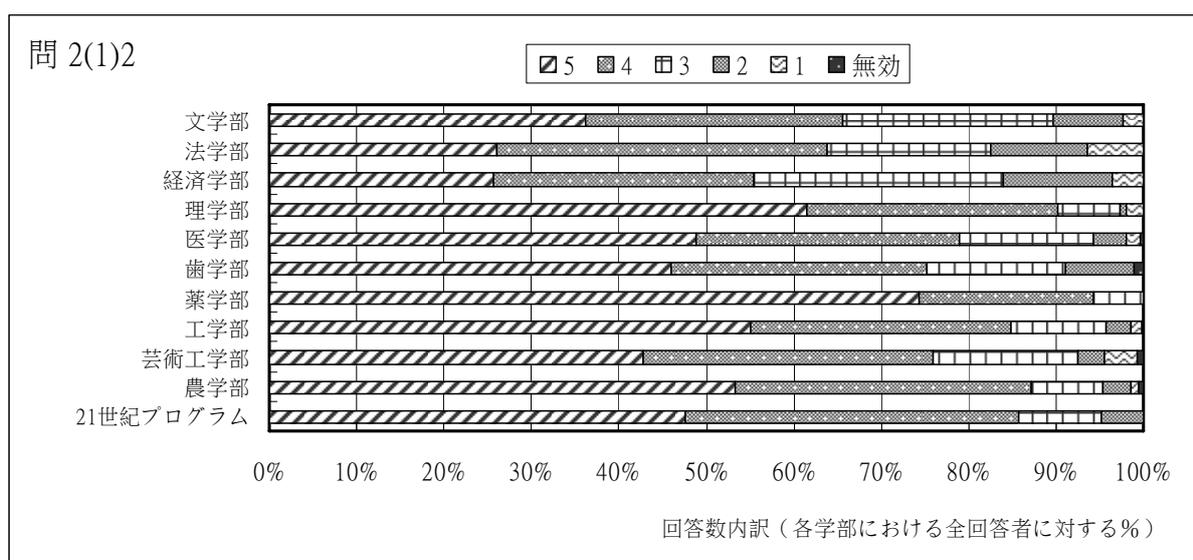
大学における外国語教育ニーズ分析

2. 専門的な内容について英語で文書を書く

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	63	51	42	14	4	0	174
法学部	49	71	35	21	12	0	188
経済学部	64	74	71	31	9	0	249
理学部	158	74	18	2	5	0	257
医学部	121	75	38	9	4	1	248
歯学部	41	26	14	7	0	1	89
薬学部	26	7	2	0	0	0	35
工学部	494	266	97	26	11	2	896
芸術工学部	57	44	22	4	5	1	133
農学部	116	74	18	7	2	1	218
21世紀プログラム	10	8	2	1	0	0	21
合計	1199	770	359	122	52	6	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36.2%	29.3%	24.1%	8.0%	2.3%	0.0%	100.0%
法学部	26.1%	37.8%	18.6%	11.2%	6.4%	0.0%	100.0%
経済学部	25.7%	29.7%	28.5%	12.4%	3.6%	0.0%	100.0%
理学部	61.5%	28.8%	7.0%	0.8%	1.9%	0.0%	100.0%
医学部	48.8%	30.2%	15.3%	3.6%	1.6%	0.4%	100.0%
歯学部	46.1%	29.2%	15.7%	7.9%	0.0%	1.1%	100.0%
薬学部	74.3%	20.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	55.1%	29.7%	10.8%	2.9%	1.2%	0.2%	100.0%
芸術工学部	42.9%	33.1%	16.5%	3.0%	3.8%	0.8%	100.0%
農学部	53.2%	33.9%	8.3%	3.2%	0.9%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	47.6%	38.1%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	47.8%	30.7%	14.3%	4.9%	2.1%	0.2%	100.0%



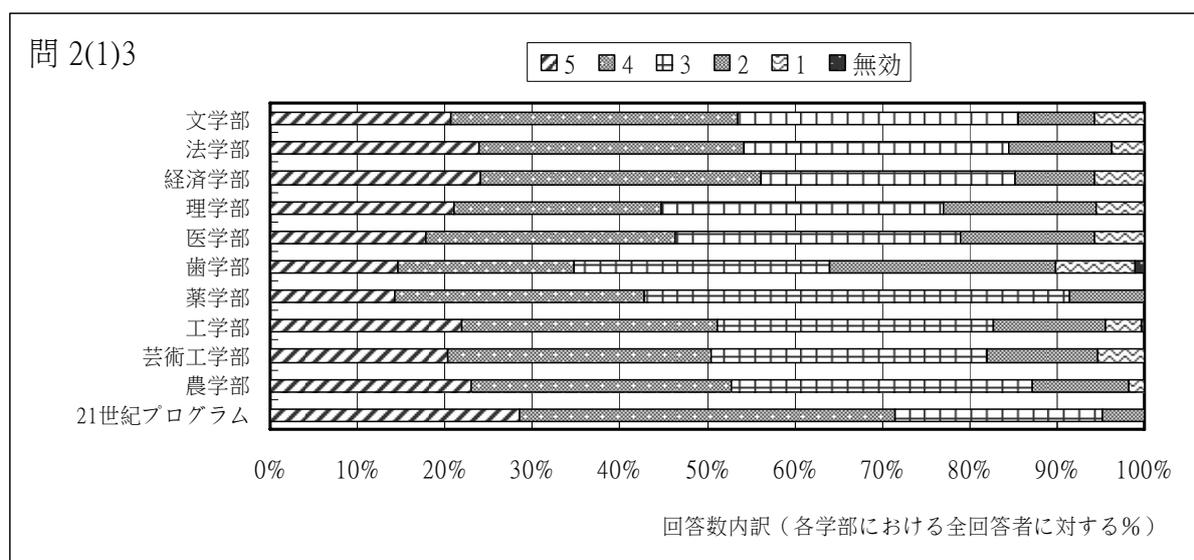
大学における外国語教育ニーズ分析

3. 一般的な内容について英語で文書を書く

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36	57	56	15	10	0	174
法学部	45	57	57	22	7	0	188
経済学部	60	80	72	23	14	0	249
理学部	54	61	83	45	14	0	257
医学部	44	71	81	38	14	0	248
歯学部	13	18	26	23	8	1	89
薬学部	5	10	17	3	0	0	35
工学部	196	263	282	115	37	3	896
芸術工学部	27	40	42	17	7	0	133
農学部	50	65	75	24	4	0	218
21世紀プログラム	6	9	5	1	0	0	21
合計	536	731	796	326	115	4	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	32.8%	32.2%	8.6%	5.7%	0.0%	100.0%
法学部	23.9%	30.3%	30.3%	11.7%	3.7%	0.0%	100.0%
経済学部	24.1%	32.1%	28.9%	9.2%	5.6%	0.0%	100.0%
理学部	21.0%	23.7%	32.3%	17.5%	5.4%	0.0%	100.0%
医学部	17.7%	28.6%	32.7%	15.3%	5.6%	0.0%	100.0%
歯学部	14.6%	20.2%	29.2%	25.8%	9.0%	1.1%	100.0%
薬学部	14.3%	28.6%	48.6%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	21.9%	29.4%	31.5%	12.8%	4.1%	0.3%	100.0%
芸術工学部	20.3%	30.1%	31.6%	12.8%	5.3%	0.0%	100.0%
農学部	22.9%	29.8%	34.4%	11.0%	1.8%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	28.6%	42.9%	23.8%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	21.4%	29.1%	31.7%	13.0%	4.6%	0.2%	100.0%



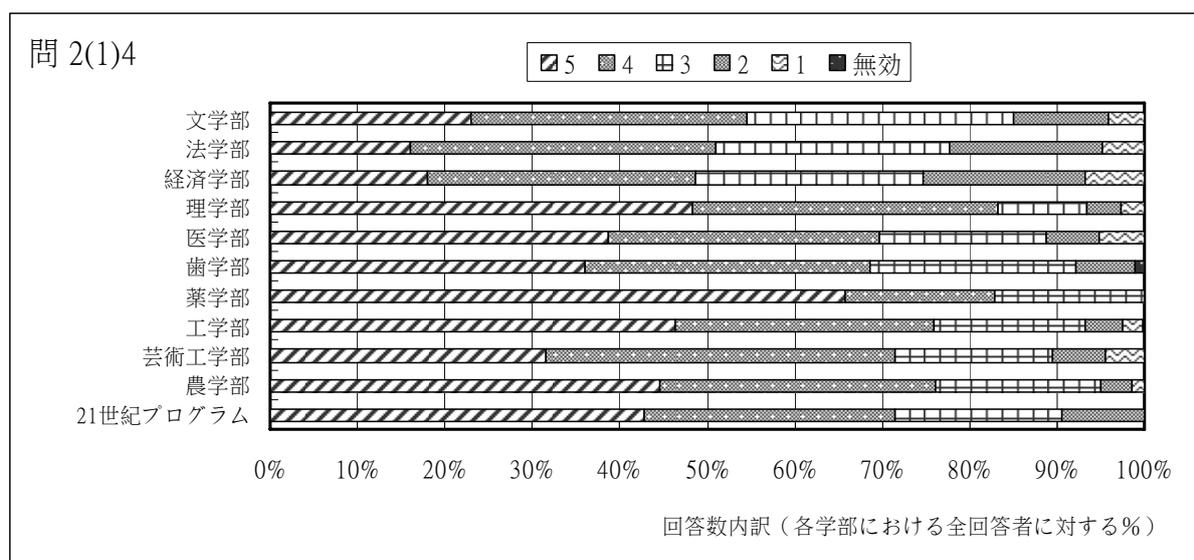
大学における外国語教育ニーズ分析

4. 専門的な内容について発表や講演をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	40	55	53	19	7	0	174
法学部	30	66	50	33	9	0	188
経済学部	45	76	65	46	17	0	249
理学部	124	90	26	10	7	0	257
医学部	96	77	47	15	13	0	248
歯学部	32	29	21	6	0	1	89
薬学部	23	6	6	0	0	0	35
工学部	416	264	156	38	20	2	896
芸術工学部	42	53	24	8	6	0	133
農学部	97	69	41	8	3	0	218
21世紀プログラム	9	6	4	2	0	0	21
合計	954	791	493	185	82	3	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	23.0%	31.6%	30.5%	10.9%	4.0%	0.0%	100.0%
法学部	16.0%	35.1%	26.6%	17.6%	4.8%	0.0%	100.0%
経済学部	18.1%	30.5%	26.1%	18.5%	6.8%	0.0%	100.0%
理学部	48.2%	35.0%	10.1%	3.9%	2.7%	0.0%	100.0%
医学部	38.7%	31.0%	19.0%	6.0%	5.2%	0.0%	100.0%
歯学部	36.0%	32.6%	23.6%	6.7%	0.0%	1.1%	100.0%
薬学部	65.7%	17.1%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	46.4%	29.5%	17.4%	4.2%	2.2%	0.2%	100.0%
芸術工学部	31.6%	39.8%	18.0%	6.0%	4.5%	0.0%	100.0%
農学部	44.5%	31.7%	18.8%	3.7%	1.4%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	28.6%	19.0%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	38.0%	31.5%	19.7%	7.4%	3.3%	0.1%	100.0%



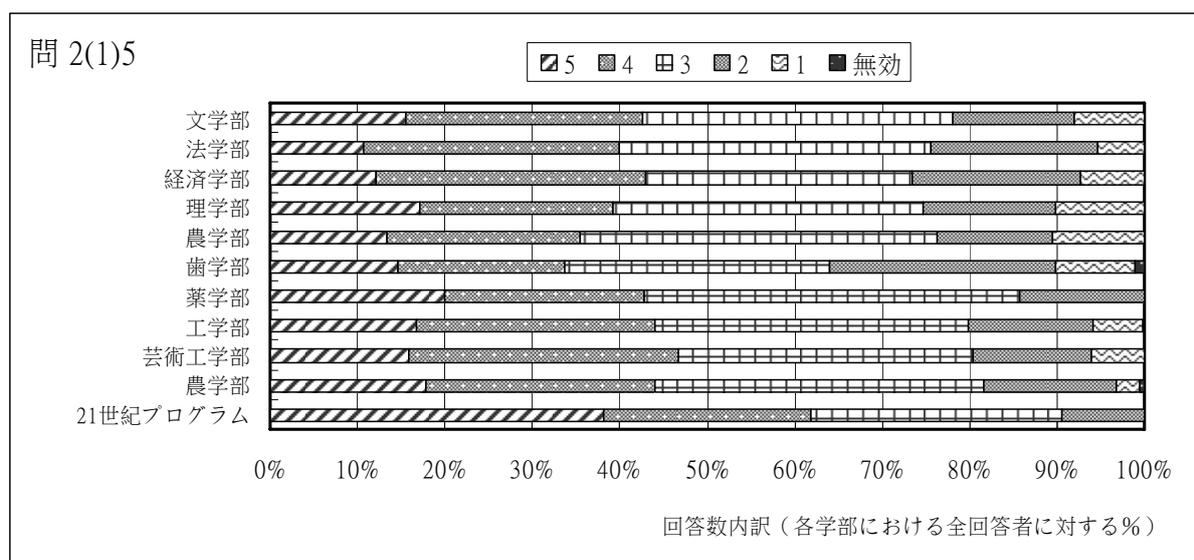
大学における外国語教育ニーズ分析

5. 一般的な内容について発表や講演をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	27	47	62	24	14	0	174
法学部	20	55	67	36	10	0	188
経済学部	30	77	76	48	18	0	249
理学部	44	57	91	39	26	0	257
医学部	33	55	101	33	26	0	248
歯学部	13	17	27	23	8	1	89
薬学部	7	8	15	5	0	0	35
工学部	150	244	321	128	52	1	896
芸術工学部	21	41	45	18	8	0	133
農学部	39	57	82	33	6	1	218
21世紀プログラム	8	5	6	2	0	0	21
合計	392	663	893	389	168	3	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	15.5%	27.0%	35.6%	13.8%	8.0%	0.0%	100.0%
法学部	10.6%	29.3%	35.6%	19.1%	5.3%	0.0%	100.0%
経済学部	12.0%	30.9%	30.5%	19.3%	7.2%	0.0%	100.0%
理学部	17.1%	22.2%	35.4%	15.2%	10.1%	0.0%	100.0%
医学部	13.3%	22.2%	40.7%	13.3%	10.5%	0.0%	100.0%
歯学部	14.6%	19.1%	30.3%	25.8%	9.0%	1.1%	100.0%
薬学部	20.0%	22.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	16.7%	27.2%	35.8%	14.3%	5.8%	0.1%	100.0%
芸術工学部	15.8%	30.8%	33.8%	13.5%	6.0%	0.0%	100.0%
農学部	17.9%	26.1%	37.6%	15.1%	2.8%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	38.1%	23.8%	28.6%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	15.6%	26.4%	35.6%	15.5%	6.7%	0.1%	100.0%



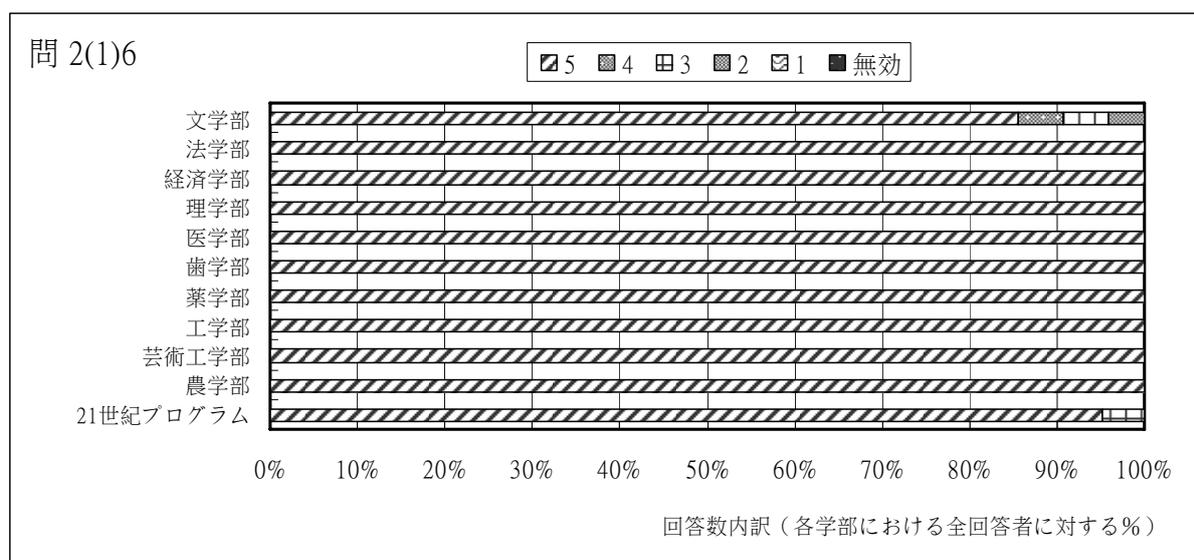
大学における外国語教育ニーズ分析

6. 専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	149	9	9	7	0	0	174
法学部	188	0	0	0	0	0	188
経済学部	249	0	0	0	0	0	249
理学部	257	0	0	0	0	0	257
医学部	248	0	0	0	0	0	248
歯学部	89	0	0	0	0	0	89
薬学部	35	0	0	0	0	0	35
工学部	896	0	0	0	0	0	896
芸術工学部	133	0	0	0	0	0	133
農学部	218	0	0	0	0	0	218
21世紀プログラム	20	0	1	0	0	0	21
合計	2482	9	10	7	0	0	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	85.6%	5.2%	5.2%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
法学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
経済学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
理学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
歯学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
薬学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
芸術工学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
農学部	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	99.0%	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%



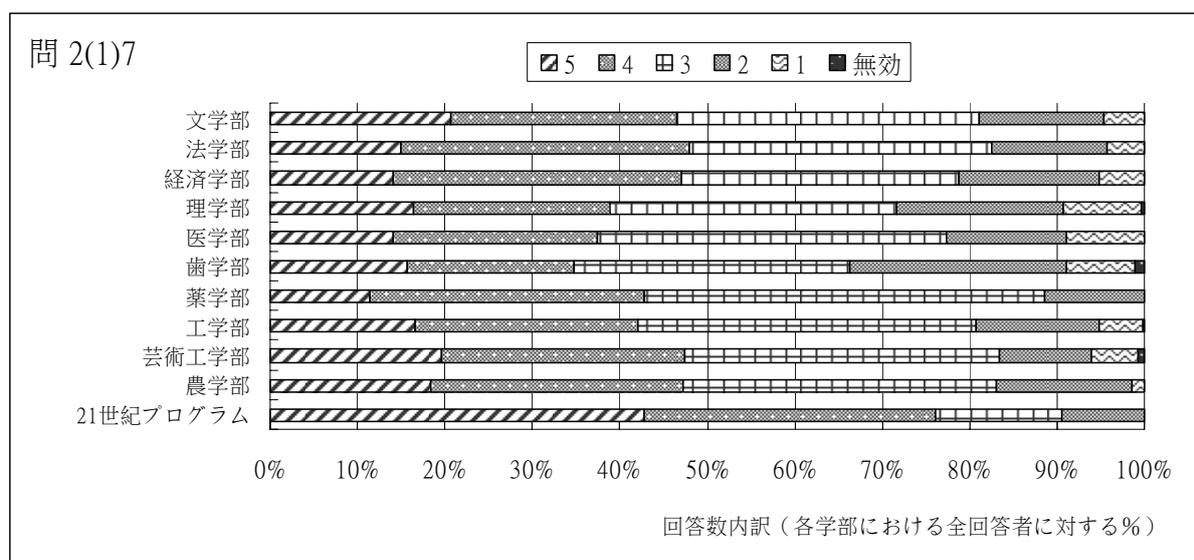
大学における外国語教育ニーズ分析

7. 一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 7	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36	45	60	25	8	0	174
法学部	28	62	65	25	8	0	188
経済学部	35	82	79	40	13	0	249
理学部	42	58	84	49	23	1	257
医学部	35	58	99	34	22	0	248
歯学部	14	17	28	22	7	1	89
薬学部	4	11	16	4	0	0	35
工学部	149	228	347	126	44	2	896
芸術工学部	26	37	48	14	7	1	133
農学部	40	63	78	34	3	0	218
21世紀プログラム	9	7	3	2	0	0	21
合計	418	668	907	375	135	5	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	25.9%	34.5%	14.4%	4.6%	0.0%	100.0%
法学部	14.9%	33.0%	34.6%	13.3%	4.3%	0.0%	100.0%
経済学部	14.1%	32.9%	31.7%	16.1%	5.2%	0.0%	100.0%
理学部	16.3%	22.6%	32.7%	19.1%	8.9%	0.4%	100.0%
医学部	14.1%	23.4%	39.9%	13.7%	8.9%	0.0%	100.0%
歯学部	15.7%	19.1%	31.5%	24.7%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	11.4%	31.4%	45.7%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	16.6%	25.4%	38.7%	14.1%	4.9%	0.2%	100.0%
芸術工学部	19.5%	27.8%	36.1%	10.5%	5.3%	0.8%	100.0%
農学部	18.3%	28.9%	35.8%	15.6%	1.4%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	33.3%	14.3%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	16.7%	26.6%	36.2%	15.0%	5.4%	0.2%	100.0%



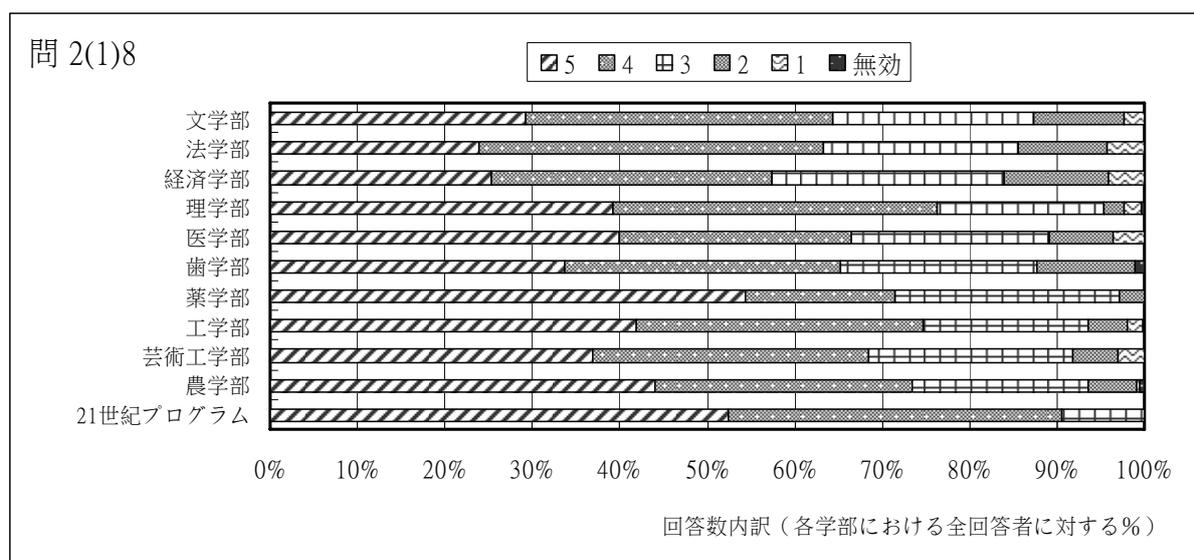
大学における外国語教育ニーズ分析

8. 専門的な内容について会話・会談・交渉をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 8	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	51	61	40	18	4	0	174
法学部	45	74	42	19	8	0	188
経済学部	63	80	66	30	10	0	249
理学部	101	95	49	6	5	1	257
医学部	99	66	56	18	9	0	248
歯学部	30	28	20	10	0	1	89
薬学部	19	6	9	1	0	0	35
工学部	375	294	170	40	16	1	896
芸術工学部	49	42	31	7	4	0	133
農学部	96	64	44	12	1	1	218
21世紀プログラム	11	8	2	0	0	0	21
合計	939	818	529	161	57	4	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	29.3%	35.1%	23.0%	10.3%	2.3%	0.0%	100.0%
法学部	23.9%	39.4%	22.3%	10.1%	4.3%	0.0%	100.0%
経済学部	25.3%	32.1%	26.5%	12.0%	4.0%	0.0%	100.0%
理学部	39.3%	37.0%	19.1%	2.3%	1.9%	0.4%	100.0%
医学部	39.9%	26.6%	22.6%	7.3%	3.6%	0.0%	100.0%
歯学部	33.7%	31.5%	22.5%	11.2%	0.0%	1.1%	100.0%
薬学部	54.3%	17.1%	25.7%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	41.9%	32.8%	19.0%	4.5%	1.8%	0.1%	100.0%
芸術工学部	36.8%	31.6%	23.3%	5.3%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	44.0%	29.4%	20.2%	5.5%	0.5%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	52.4%	38.1%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	37.4%	32.6%	21.1%	6.4%	2.3%	0.2%	100.0%



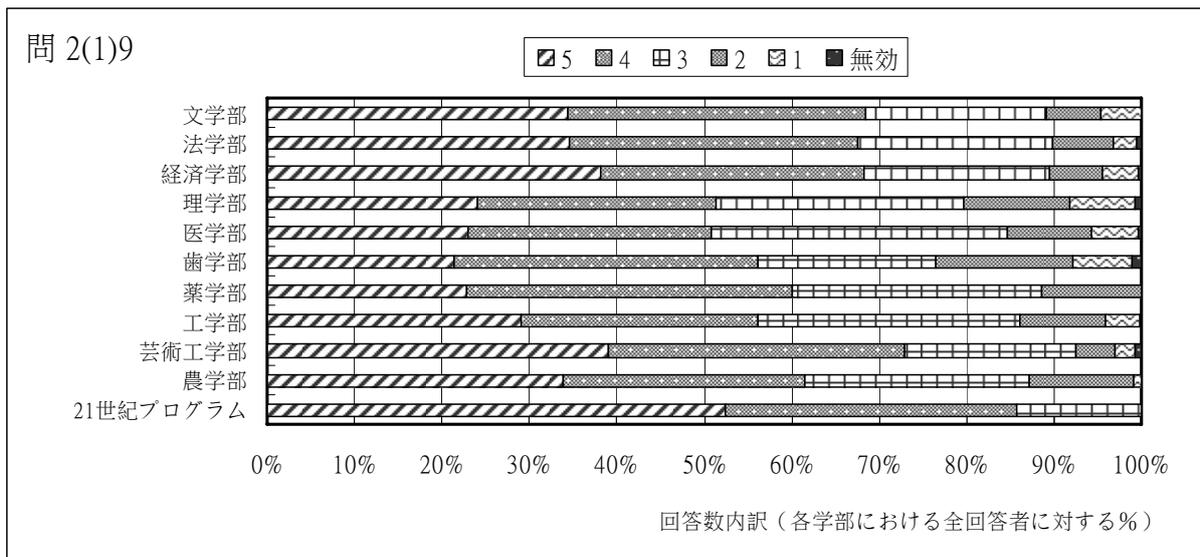
大学における外国語教育ニーズ分析

9. 一般的な内容について会話をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 9	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	60	59	36	11	8	0	174
法学部	65	62	42	13	5	1	188
経済学部	95	75	53	15	10	1	249
理学部	62	70	73	31	19	2	257
医学部	57	69	84	24	13	1	248
歯学部	19	31	18	14	6	1	89
薬学部	8	13	10	4	0	0	35
工学部	261	242	269	87	36	1	896
芸術工学部	52	45	26	6	3	1	133
農学部	74	60	56	26	2	0	218
21世紀プログラム	11	7	3	0	0	0	21
合計	764	733	670	231	102	8	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	34.5%	33.9%	20.7%	6.3%	4.6%	0.0%	100.0%
法学部	34.6%	33.0%	22.3%	6.9%	2.7%	0.5%	100.0%
経済学部	38.2%	30.1%	21.3%	6.0%	4.0%	0.4%	100.0%
理学部	24.1%	27.2%	28.4%	12.1%	7.4%	0.8%	100.0%
医学部	23.0%	27.8%	33.9%	9.7%	5.2%	0.4%	100.0%
歯学部	21.3%	34.8%	20.2%	15.7%	6.7%	1.1%	100.0%
薬学部	22.9%	37.1%	28.6%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	29.1%	27.0%	30.0%	9.7%	4.0%	0.1%	100.0%
芸術工学部	39.1%	33.8%	19.5%	4.5%	2.3%	0.8%	100.0%
農学部	33.9%	27.5%	25.7%	11.9%	0.9%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	52.4%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	30.5%	29.2%	26.7%	9.2%	4.1%	0.3%	100.0%



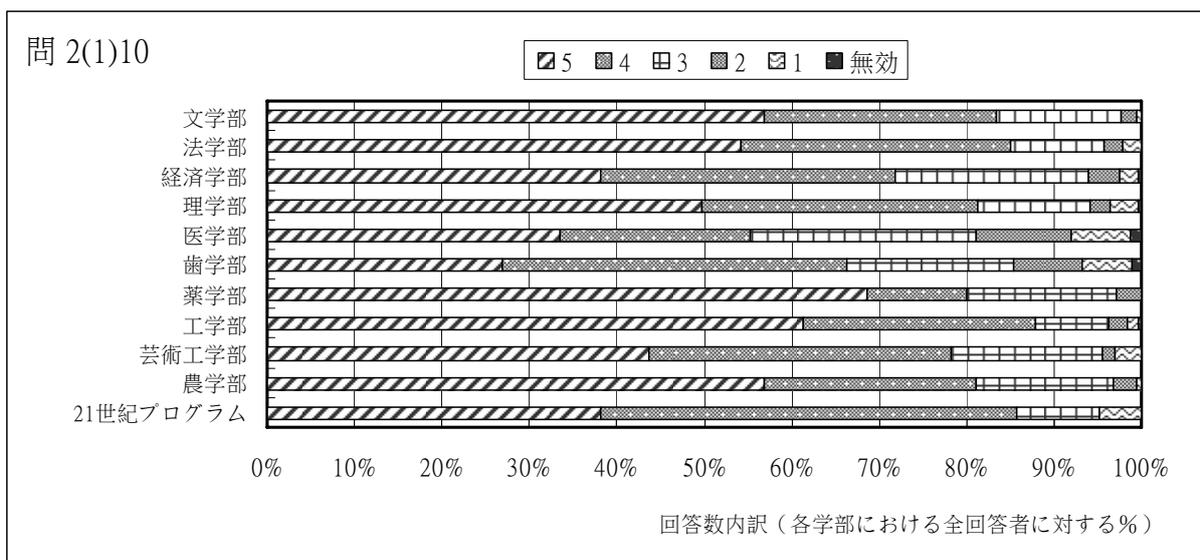
大学における外国語教育ニーズ分析

10. 就職試験・大学院入試に英語が必要

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 10	5	4	3	2	1	0	合計
医学部	99	46	25	3	1	0	174
法学部	102	58	20	4	4	0	188
経済学部	95	84	55	9	5	1	249
理学部	128	81	33	6	8	1	257
医学部	83	54	64	27	17	3	248
歯学部	24	35	17	7	5	1	89
薬学部	24	4	6	1	0	0	35
工学部	550	237	76	18	12	3	896
芸術工学部	58	46	23	2	4	0	133
農学部	124	53	34	6	1	0	218
21世紀プログラム	8	10	2	0	1	0	21
合計	1295	708	355	83	58	9	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	56.9%	26.4%	14.4%	1.7%	0.6%	0.0%	100.0%
法学部	54.3%	30.9%	10.6%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%
経済学部	38.2%	33.7%	22.1%	3.6%	2.0%	0.4%	100.0%
理学部	49.8%	31.5%	12.8%	2.3%	3.1%	0.4%	100.0%
医学部	33.5%	21.8%	25.8%	10.9%	6.9%	1.2%	100.0%
歯学部	27.0%	39.3%	19.1%	7.9%	5.6%	1.1%	100.0%
薬学部	68.6%	11.4%	17.1%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	61.4%	26.5%	8.5%	2.0%	1.3%	0.3%	100.0%
芸術工学部	43.6%	34.6%	17.3%	1.5%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	56.9%	24.3%	15.6%	2.8%	0.5%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	38.1%	47.6%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	51.6%	28.2%	14.2%	3.3%	2.3%	0.4%	100.0%



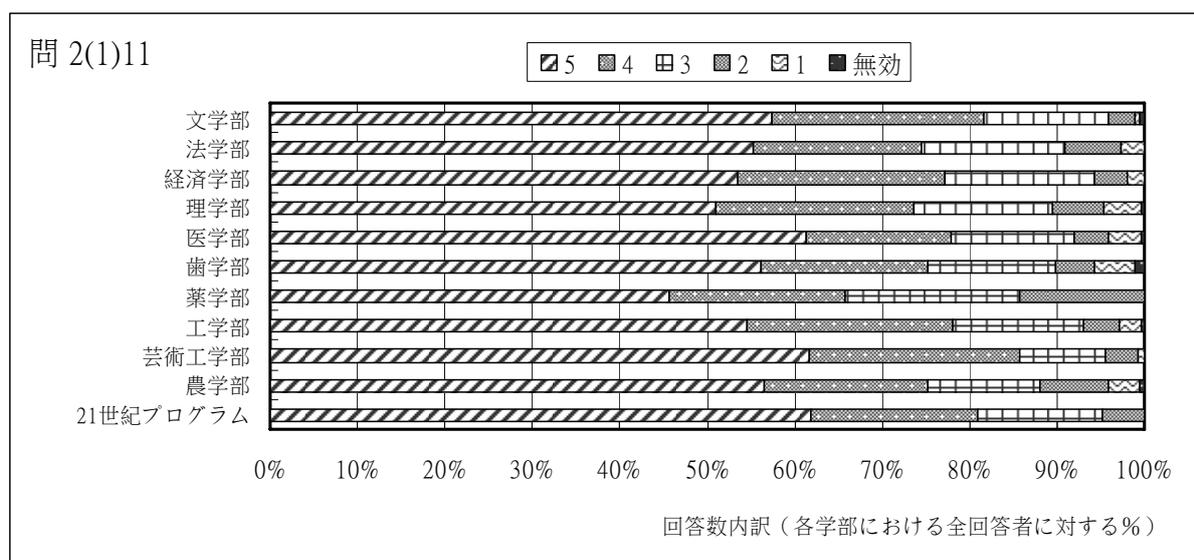
大学における外国語教育ニーズ分析

11. 外国で生活するのに英語が必要

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 11	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	100	42	25	5	1	1	174
法学部	104	36	31	12	5	0	188
経済学部	133	59	43	9	5	0	249
理学部	131	58	41	15	11	1	257
医学部	152	41	35	10	9	1	248
歯学部	50	17	13	4	4	1	89
薬学部	16	7	7	5	0	0	35
工学部	488	211	134	38	22	3	896
芸術工学部	82	32	13	5	1	0	133
農学部	123	41	28	17	8	1	218
21世紀プログラム	13	4	3	1	0	0	21
合計	1379	544	370	120	66	8	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	57.5%	24.1%	14.4%	2.9%	0.6%	0.6%	100.0%
法学部	55.3%	19.1%	16.5%	6.4%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	53.4%	23.7%	17.3%	3.6%	2.0%	0.0%	100.0%
理学部	51.0%	22.6%	16.0%	5.8%	4.3%	0.4%	100.0%
医学部	61.3%	16.5%	14.1%	4.0%	3.6%	0.4%	100.0%
歯学部	56.2%	19.1%	14.6%	4.5%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	45.7%	20.0%	20.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	54.5%	23.5%	15.0%	4.2%	2.5%	0.3%	100.0%
芸術工学部	61.7%	24.1%	9.8%	3.8%	0.8%	0.0%	100.0%
農学部	56.4%	18.8%	12.8%	7.8%	3.7%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	61.9%	19.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	55.0%	21.7%	14.8%	4.8%	2.6%	0.3%	100.0%



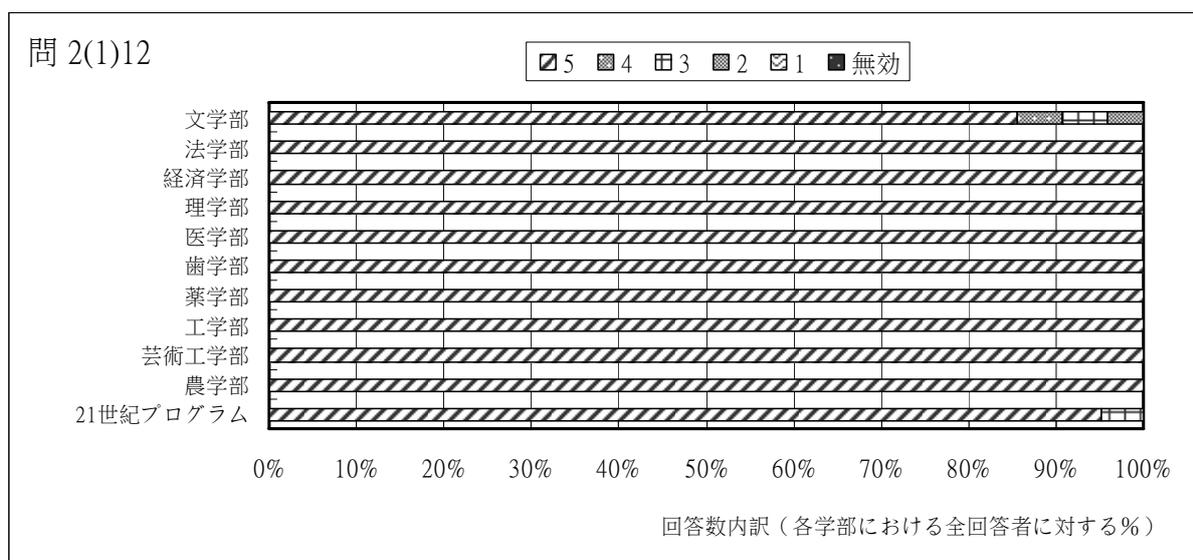
大学における外国語教育ニーズ分析

12. 外国の大学・大学院に留学するのに英語が必要

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (1) 12	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	103	40	22	5	3	1	174
法学部	105	39	26	9	4	5	188
経済学部	122	55	45	16	9	2	249
理学部	150	41	38	12	12	4	257
医学部	148	48	34	8	9	1	248
歯学部	52	20	8	3	3	3	89
薬学部	16	6	9	3	0	1	35
工学部	492	179	122	50	37	16	896
芸術工学部	77	31	16	5	1	3	133
農学部	127	37	27	14	8	5	218
21世紀プログラム	12	6	3	0	0	0	21
合計	1404	502	350	125	86	41	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	59.2%	23.0%	12.6%	2.9%	1.7%	0.6%	100.0%
法学部	55.9%	20.7%	13.8%	4.8%	2.1%	2.7%	100.0%
経済学部	49.0%	22.1%	18.1%	6.4%	3.6%	0.8%	100.0%
理学部	58.4%	16.0%	14.8%	4.7%	4.7%	1.6%	100.0%
医学部	59.7%	19.4%	13.7%	3.2%	3.6%	0.4%	100.0%
歯学部	58.4%	22.5%	9.0%	3.4%	3.4%	3.4%	100.0%
薬学部	45.7%	17.1%	25.7%	8.6%	0.0%	2.9%	100.0%
工学部	54.9%	20.0%	13.6%	5.6%	4.1%	1.8%	100.0%
芸術工学部	57.9%	23.3%	12.0%	3.8%	0.8%	2.3%	100.0%
農学部	58.3%	17.0%	12.4%	6.4%	3.7%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	56.0%	20.0%	14.0%	5.0%	3.4%	1.6%	100.0%



13. その他英語が必要になると考えられる状況があれば以下に具体的に書いてください。

- ・ 友達と話す (1)
- ・ 資格 (1)
- ・ 海外旅行 (9)
- ・ 海外の HP を閲覧する (調べものや趣味のために) (6)
- ・ 論文を読む (11)
- ・ 一般的または専門的な内容について文書を読む (論文他) (3)
- ・ 英文の資料等をよむのに必要 (1)
- ・ 英語の本を読む (1)
- ・ 小説の原文を読むとき (1)
- ・ 研究のため (1)
- ・ 留学生とのコミュニケーションなど (3)
- ・ 留学、国外での就労 (1)
- ・ 外国の人と話すとき (1)
- ・ 外国の方に話し掛けられた時 (2)
- ・ 隣の人が外人で英語を話す人で自分が話しかけたいとき (1)
- ・ 非英語圏の人々と話をするとき (2)
- ・ 道を外国の人に聞かれる (7)
- ・ 観光 *sight seeing*、逆に観光にきた外国人を案内する (1)
- ・ 就職先に外国出身の人がいるとき (2)
- ・ 就職先での企画のプレゼンテーション (2)
- ・ 就職先がどのようなところであれ接客や応接に必要不可欠である (3)
- ・ 外資で勤務する (1)
- ・ 就職 (6)
- ・ バイト先に外人が来たとき、社員が得意げに話すのでムカツクンでおれも話せて、「おまえがなんや？」みたいなカンジで (1)
- ・ バイト先 (居酒屋) に外国の方が来た時 (1)
- ・ 自分の趣味、教養のため (1)
- ・ 自分の考えを伝えなきゃいけない状況 (1)
- ・ 日常生活 (4)
- ・ 日本は世界とコミュニケーションを図ろうとすれば英語以外にそれは成し得ない (1)
- ・ この先きっと国際交流が広がるので日常の中で必要になってくると思います (2)
- ・ コンピュータ関係の仕事をする場合、または趣味で扱う場合 (1)
- ・ 学習塾で英語を教える時 (2)
- ・ 学外で (1)
- ・ 外人と付き合う時 (5)
- ・ 外国にホームステイで語学勉強と交流・ボランティアで海外へ (1)
- ・ 外国人全般と簡易的コミュニケーションをとりたいとき (1)
- ・ 英語圏の文化を知る (1)
- ・ 映画を楽しむ (1)
- ・ おなかがすいた時 (1)
- ・ always (1)
- ・ らちされたとき (1)
- ・ ポップ、またはクールなデザインに用いる (1)
- ・ ハリウッドスターと友達になる (1)
- ・ 入学時の英語力を維持すればよいと思う (1)
- ・ 尊大な九大生 (自称) には必要ないだろう (1)
- ・ 授業を英語でやったら、理解が浅くなると思う (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

(2)

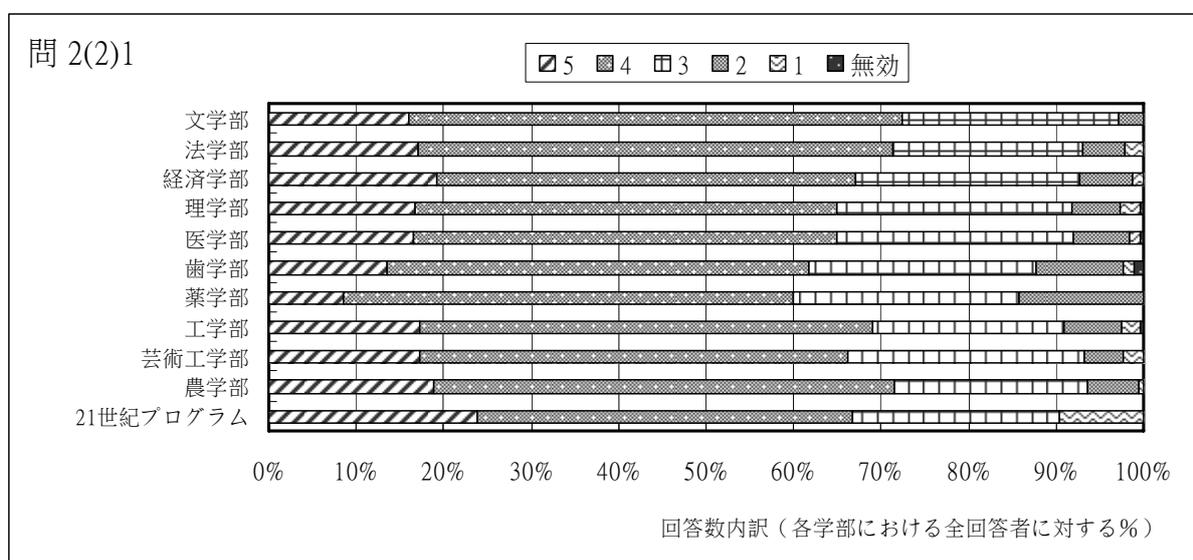
平均的な学生の学部卒業時の英語能力はどの程度であると思いますか。以下のそれぞれの項目について、5段階評価（5 極めて高い<——>1 極めて低い）で教えてください。

1. 英語の文書を読んで理解する能力

(5 極めて高い<——>1 極めて低い)

2 (2) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	28	98	43	5	0	0	174
法学部	32	102	41	9	4	0	188
経済学部	48	119	64	15	3	0	249
理学部	43	124	69	14	6	1	257
医学部	41	120	67	16	3	1	248
歯学部	12	43	23	9	1	1	89
薬学部	3	18	9	5	0	0	35
工学部	154	464	196	60	19	3	896
芸術工学部	23	65	36	6	3	0	133
農学部	41	115	48	13	1	0	218
21世紀プログラム	5	9	5	0	2	0	21
合計	430	1277	601	152	42	6	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	16.1%	56.3%	24.7%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
法学部	17.0%	54.3%	21.8%	4.8%	2.1%	0.0%	100.0%
経済学部	19.3%	47.8%	25.7%	6.0%	1.2%	0.0%	100.0%
理学部	16.7%	48.2%	26.8%	5.4%	2.3%	0.4%	100.0%
医学部	16.5%	48.4%	27.0%	6.5%	1.2%	0.4%	100.0%
歯学部	13.5%	48.3%	25.8%	10.1%	1.1%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	51.4%	25.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	17.2%	51.8%	21.9%	6.7%	2.1%	0.3%	100.0%
芸術工学部	17.3%	48.9%	27.1%	4.5%	2.3%	0.0%	100.0%
農学部	18.8%	52.8%	22.0%	6.0%	0.5%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	42.9%	23.8%	0.0%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	17.1%	50.9%	24.0%	6.1%	1.7%	0.2%	100.0%



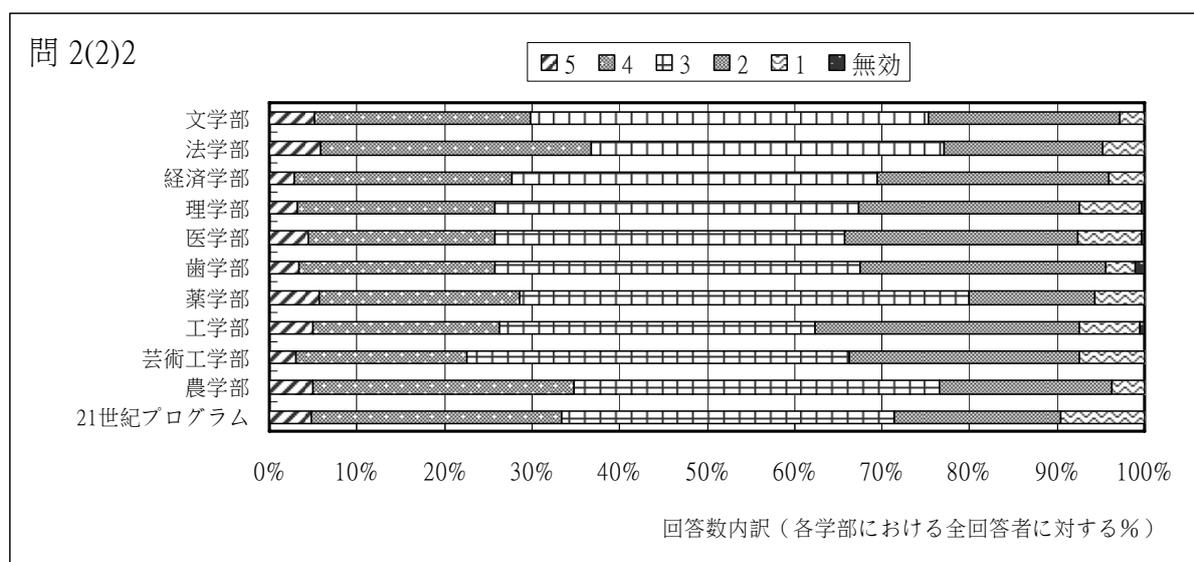
大学における外国語教育ニーズ分析

2. ライティング（英語文書作成）の能力

(5 極めて高い <—> 1 極めて低い)

2 (2) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	9	43	79	38	5	0	174
法学部	11	58	76	34	9	0	188
経済学部	7	62	104	66	10	0	249
理学部	8	58	107	65	18	1	257
医学部	11	53	99	66	18	1	248
歯学部	3	20	37	25	3	1	89
薬学部	2	8	18	5	2	0	35
工学部	44	191	323	271	63	4	896
芸術工学部	4	26	58	35	10	0	133
農学部	11	65	91	43	8	0	218
21世紀プログラム	1	6	8	4	2	0	21
合計	111	590	1000	652	148	7	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	5.2%	24.7%	45.4%	21.8%	2.9%	0.0%	100.0%
法学部	5.9%	30.9%	40.4%	18.1%	4.8%	0.0%	100.0%
経済学部	2.8%	24.9%	41.8%	26.5%	4.0%	0.0%	100.0%
理学部	3.1%	22.6%	41.6%	25.3%	7.0%	0.4%	100.0%
医学部	4.4%	21.4%	39.9%	26.6%	7.3%	0.4%	100.0%
歯学部	3.4%	22.5%	41.6%	28.1%	3.4%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	22.9%	51.4%	14.3%	5.7%	0.0%	100.0%
工学部	4.9%	21.3%	36.0%	30.2%	7.0%	0.4%	100.0%
芸術工学部	3.0%	19.5%	43.6%	26.3%	7.5%	0.0%	100.0%
農学部	5.0%	29.8%	41.7%	19.7%	3.7%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	4.8%	28.6%	38.1%	19.0%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	4.4%	23.5%	39.9%	26.0%	5.9%	0.3%	100.0%



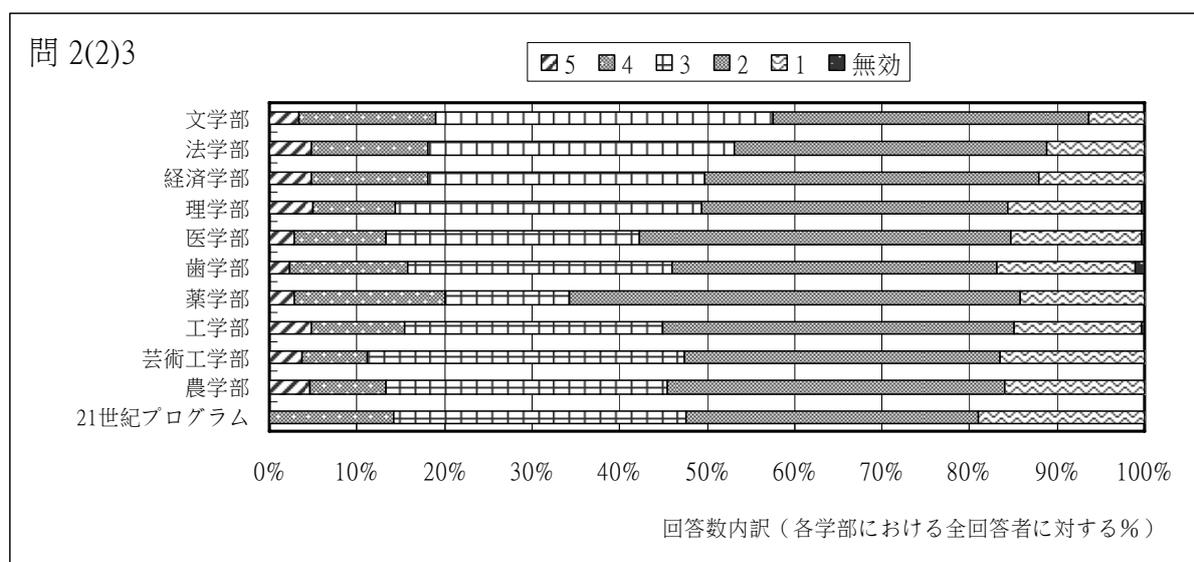
大学における外国語教育ニーズ分析

3. 英語を聞いて理解する能力

(5 極めて高い <——> 1 極めて低い)

2 (2) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	6	27	67	63	11	0	174
法学部	9	25	66	67	21	0	188
経済学部	12	33	79	95	30	0	249
理学部	13	24	90	90	39	1	257
医学部	7	26	72	105	37	1	248
歯学部	2	12	27	33	14	1	89
薬学部	1	6	5	18	5	0	35
工学部	43	96	264	360	130	3	896
芸術工学部	5	10	48	48	22	0	133
農学部	10	19	70	84	35	0	218
21世紀プログラム	0	3	7	7	4	0	21
合計	108	281	795	970	348	6	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	3.4%	15.5%	38.5%	36.2%	6.3%	0.0%	100.0%
法学部	4.8%	13.3%	35.1%	35.6%	11.2%	0.0%	100.0%
経済学部	4.8%	13.3%	31.7%	38.2%	12.0%	0.0%	100.0%
理学部	5.1%	9.3%	35.0%	35.0%	15.2%	0.4%	100.0%
医学部	2.8%	10.5%	29.0%	42.3%	14.9%	0.4%	100.0%
歯学部	2.2%	13.5%	30.3%	37.1%	15.7%	1.1%	100.0%
薬学部	2.9%	17.1%	14.3%	51.4%	14.3%	0.0%	100.0%
工学部	4.8%	10.7%	29.5%	40.2%	14.5%	0.3%	100.0%
芸術工学部	3.8%	7.5%	36.1%	36.1%	16.5%	0.0%	100.0%
農学部	4.6%	8.7%	32.1%	38.5%	16.1%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	0.0%	14.3%	33.3%	33.3%	19.0%	0.0%	100.0%
合計	4.3%	11.2%	31.7%	38.7%	13.9%	0.2%	100.0%



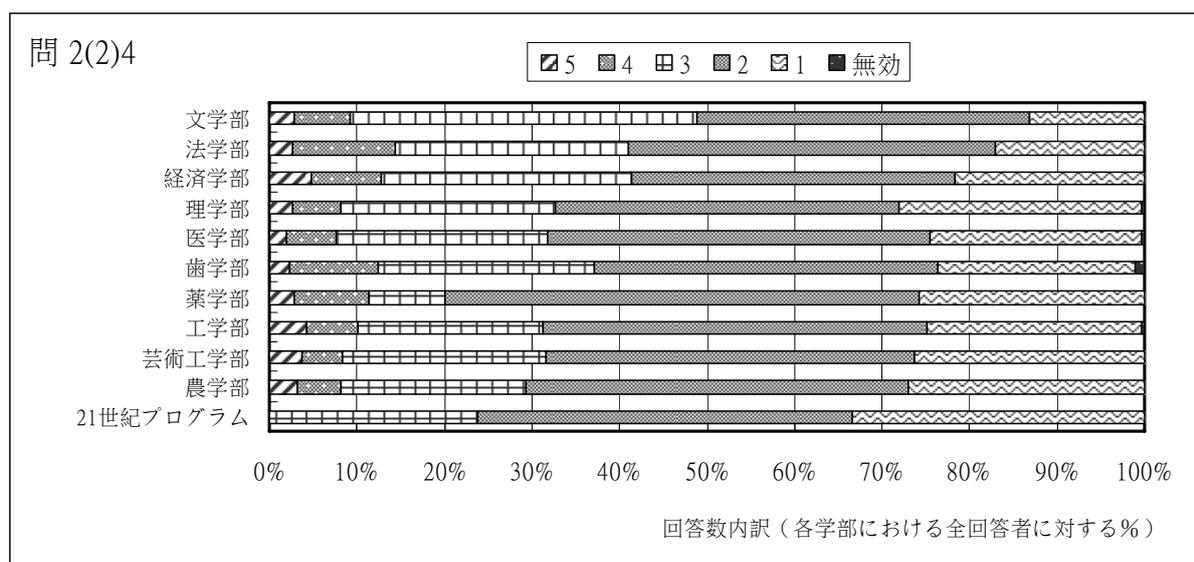
大学における外国語教育ニーズ分析

4. 日常会話を英語で行う能力

(5 極めて高い <—> 1 極めて低い)

2 (2) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	5	11	69	66	23	0	174
法学部	5	22	50	79	32	0	188
経済学部	12	20	71	92	54	0	249
理学部	7	14	63	101	71	1	257
医学部	5	14	60	108	60	1	248
歯学部	2	9	22	35	20	1	89
薬学部	1	3	3	19	9	0	35
工学部	38	52	190	393	220	3	896
芸術工学部	5	6	31	56	35	0	133
農学部	7	11	46	95	59	0	218
21世紀プログラム	0	0	5	9	7	0	21
合計	87	162	610	1053	590	6	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	2.9%	6.3%	39.7%	37.9%	13.2%	0.0%	100.0%
法学部	2.7%	11.7%	26.6%	42.0%	17.0%	0.0%	100.0%
経済学部	4.8%	8.0%	28.5%	36.9%	21.7%	0.0%	100.0%
理学部	2.7%	5.4%	24.5%	39.3%	27.6%	0.4%	100.0%
医学部	2.0%	5.6%	24.2%	43.5%	24.2%	0.4%	100.0%
歯学部	2.2%	10.1%	24.7%	39.3%	22.5%	1.1%	100.0%
薬学部	2.9%	8.6%	8.6%	54.3%	25.7%	0.0%	100.0%
工学部	4.2%	5.8%	21.2%	43.9%	24.6%	0.3%	100.0%
芸術工学部	3.8%	4.5%	23.3%	42.1%	26.3%	0.0%	100.0%
農学部	3.2%	5.0%	21.1%	43.6%	27.1%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	0.0%	0.0%	23.8%	42.9%	33.3%	0.0%	100.0%
合計	3.5%	6.5%	24.3%	42.0%	23.5%	0.2%	100.0%



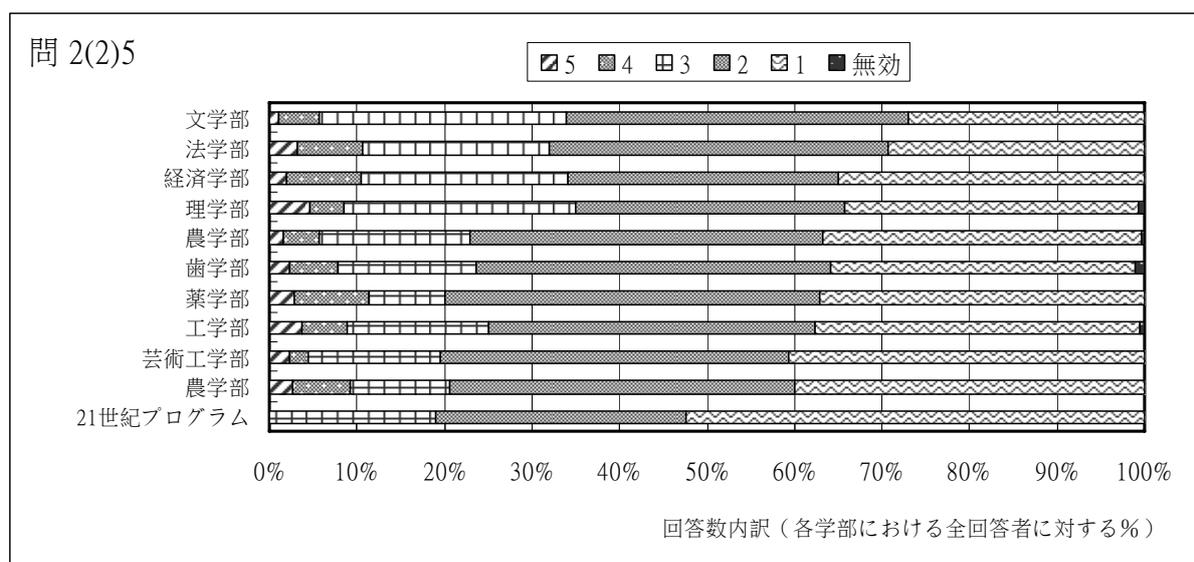
大学における外国語教育ニーズ分析

5. 討論・討議・口頭発表を英語で行う能力

(5 極めて高い <——> 1 極めて低い)

2 (2) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	2	8	49	68	47	0	174
法学部	6	14	40	73	55	0	188
経済学部	5	21	59	77	87	0	249
理学部	12	10	68	79	86	2	257
医学部	4	10	43	100	90	1	248
歯学部	2	5	14	36	31	1	89
薬学部	1	3	3	15	13	0	35
工学部	34	46	144	334	334	4	896
芸術工学部	3	3	20	53	54	0	133
農学部	6	14	25	86	87	0	218
21世紀プログラム	0	0	4	6	11	0	21
合計	75	134	469	927	895	8	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	1.1%	4.6%	28.2%	39.1%	27.0%	0.0%	100.0%
法学部	3.2%	7.4%	21.3%	38.8%	29.3%	0.0%	100.0%
経済学部	2.0%	8.4%	23.7%	30.9%	34.9%	0.0%	100.0%
理学部	4.7%	3.9%	26.5%	30.7%	33.5%	0.8%	100.0%
医学部	1.6%	4.0%	17.3%	40.3%	36.3%	0.4%	100.0%
歯学部	2.2%	5.6%	15.7%	40.4%	34.8%	1.1%	100.0%
薬学部	2.9%	8.6%	8.6%	42.9%	37.1%	0.0%	100.0%
工学部	3.8%	5.1%	16.1%	37.3%	37.3%	0.4%	100.0%
芸術工学部	2.3%	2.3%	15.0%	39.8%	40.6%	0.0%	100.0%
農学部	2.8%	6.4%	11.5%	39.4%	39.9%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	0.0%	0.0%	19.0%	28.6%	52.4%	0.0%	100.0%
合計	3.0%	5.3%	18.7%	37.0%	35.7%	0.3%	100.0%



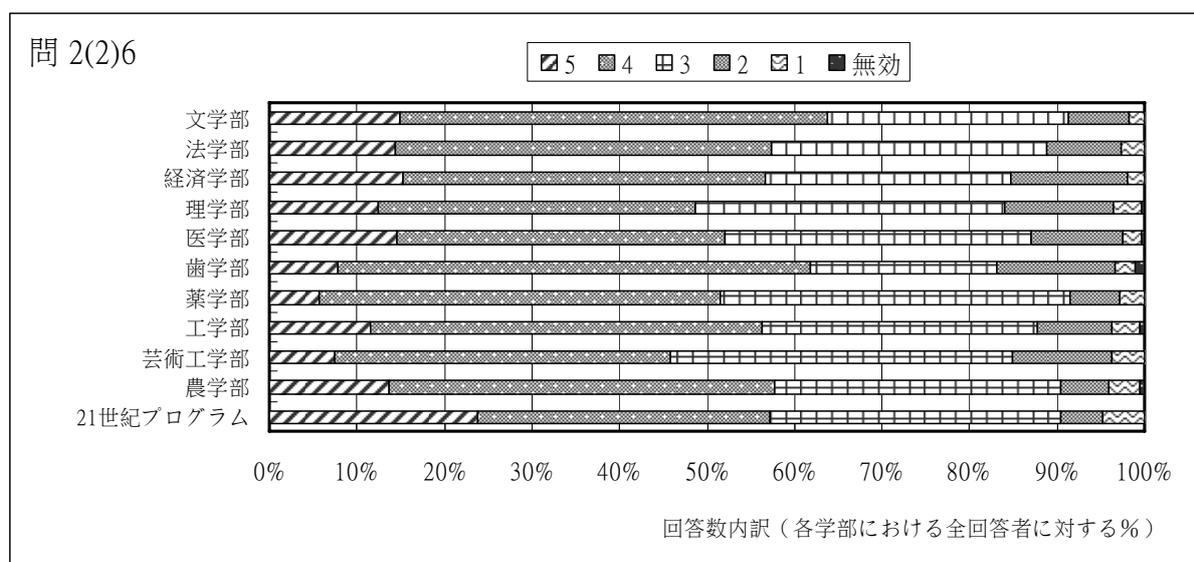
大学における外国語教育ニーズ分析

6. 英語の文法

(5 極めて高い <——> 1 極めて低い)

2 (2) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	26	85	48	12	3	0	174
法学部	27	81	59	16	5	0	188
経済学部	38	103	70	33	5	0	249
理学部	32	93	91	32	8	1	257
医学部	36	93	87	26	5	1	248
歯学部	7	48	19	12	2	1	89
薬学部	2	16	14	2	1	0	35
工学部	103	401	282	77	29	4	896
芸術工学部	10	51	52	15	5	0	133
農学部	30	96	71	12	8	1	218
21世紀プログラム	5	7	7	1	1	0	21
合計	316	1074	800	238	72	8	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14.9%	48.9%	27.6%	6.9%	1.7%	0.0%	100.0%
法学部	14.4%	43.1%	31.4%	8.5%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	15.3%	41.4%	28.1%	13.3%	2.0%	0.0%	100.0%
理学部	12.5%	36.2%	35.4%	12.5%	3.1%	0.4%	100.0%
医学部	14.5%	37.5%	35.1%	10.5%	2.0%	0.4%	100.0%
歯学部	7.9%	53.9%	21.3%	13.5%	2.2%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	45.7%	40.0%	5.7%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	11.5%	44.8%	31.5%	8.6%	3.2%	0.4%	100.0%
芸術工学部	7.5%	38.3%	39.1%	11.3%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	13.8%	44.0%	32.6%	5.5%	3.7%	0.5%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	33.3%	33.3%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	12.6%	42.8%	31.9%	9.5%	2.9%	0.3%	100.0%



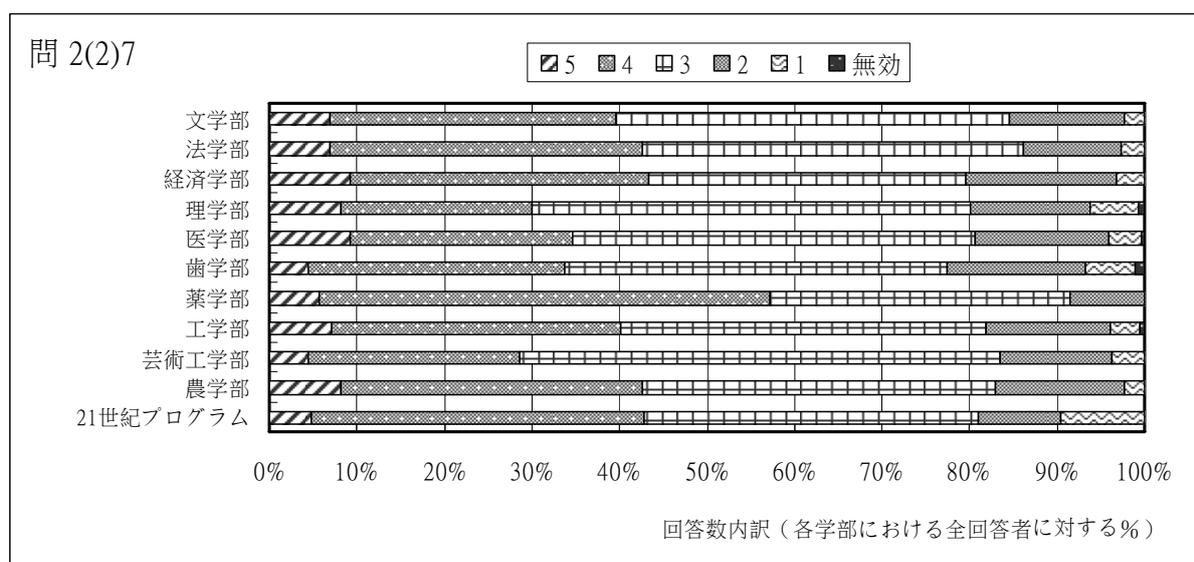
大学における外国語教育ニーズ分析

7. 英語の語彙

(5 極めて高い <—> 1 極めて低い)

2 (2) 7	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12	57	78	23	4	0	174
法学部	13	67	82	21	5	0	188
経済学部	23	85	90	43	8	0	249
理学部	21	56	129	35	14	2	257
医学部	23	63	114	38	9	1	248
歯学部	4	26	39	14	5	1	89
薬学部	2	18	12	3	0	0	35
工学部	64	296	373	128	31	4	896
芸術工学部	6	32	73	17	5	0	133
農学部	18	75	88	32	5	0	218
21世紀プログラム	1	8	8	2	2	0	21
合計	187	783	1086	356	88	8	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	6.9%	32.8%	44.8%	13.2%	2.3%	0.0%	100.0%
法学部	6.9%	35.6%	43.6%	11.2%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	9.2%	34.1%	36.1%	17.3%	3.2%	0.0%	100.0%
理学部	8.2%	21.8%	50.2%	13.6%	5.4%	0.8%	100.0%
医学部	9.3%	25.4%	46.0%	15.3%	3.6%	0.4%	100.0%
歯学部	4.5%	29.2%	43.8%	15.7%	5.6%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	51.4%	34.3%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	7.1%	33.0%	41.6%	14.3%	3.5%	0.4%	100.0%
芸術工学部	4.5%	24.1%	54.9%	12.8%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	8.3%	34.4%	40.4%	14.7%	2.3%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	4.8%	38.1%	38.1%	9.5%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	7.5%	31.2%	43.3%	14.2%	3.5%	0.3%	100.0%



8. 学生の学部卒業時の英語能力について具体的な意見があれば以下に書いてください。

- ・ **卒業時の英語能力について（実際）**
- ・ 学部入学時よりも低下していると思う（2年で必修は終わるので）（36）
- ・ 実際にはあまり使えない（1）
- ・ おそらく日常生活では使い物にならない（1）
- ・ 外人すら聞きとれない英語力（1）
- ・ 読み書きはできても会話は難しい（15）
- ・ 会話やリスニングの能力が低い（9）
- ・ 読む能力はあると思いますが、書く、聞く、話す能力はあまり上達していないと思います。（1）
- ・ ライティング、リスニング、スピーキングはとても低いレベルだと思う（1）
- ・ 中高大学で英語を勉強してきたのにいまだに英語で会話ができないのは変ですね（1）
- ・ よく使う専門語のみしか理解できなさそう（1）
- ・ 身近な生活にもとづくものではないので能力として低い（1）
- ・ 受験の影響で実用的な能力が欠けている（1）
- ・ とりあえず話せんとするよ（1）
- ・ だんだん英語に触れなくなっていっているので低下している（2）
- ・ 大学受験の時と変わらない（1）
- ・ そんなの学部生に聞いてもわからんと思う（1）
- ・ まだ1年なのでどの程度の能力になるのか予想がつかない（1）
- ・ ショボい（1）
- ・ センターで点数がとれている割にみんな英語ができない（1）
- ・ これからの頑張り次第だと思うが、大学入試のときよりも文法などは忘れていくという話をよく聞くので低いイメージがある。
- ・ 個々の差が大きいと思う（3）
- ・ 高校までで習得されたことが生かされていない（1）
- ・ 学術的な用語の知識や文章力はあってもそれが実際に会話することと結びついていない（1）
- ・ 書き・話は苦手だと思う。英作文の授業があるが必須つまり落とせない授業というプレッシャーのせいで受動的な授業になりがち（1）
- ・
- ・ **大学英語教育で必要と思われるカリキュラム（希望、意見）**
- ・ 論文が書ける程度の英語能力を段階的に見につけていけば良いのでは？（1）
- ・ 留学生と会話でコミュニケーションを取れる程度の英語会話能力は必要だと思います（1）
- ・ 討論に参加したり、会話をしたりする能力をもっと伸ばすべきである（1）
- ・ リスニング・スピーキングの能力があまり伸ばせないと思う（1）
- ・ 理系の生徒は英語で書かれた論文を読むことが多いから、読解能力が一番大切だと思う。当然会話できた方がいいけれども（1）
- ・ もっと話すこと、聞くことに力を入れるべき。単語や文法ばかり暗記させる授業はいらんと思う。（1）
- ・ 会話やリスニングに重点を置いてほしい（7）
- ・ ほぼ日常会話に困らないレベルに至るべき専門書などは英語で読むべき（1）
- ・ 僕自身、大した英語能力はないが、その僕が九大生の英語力の無さには驚かされる（1）
- ・ 勉強しない馬鹿もんだと思う（1）
- ・ 脳がくさってる（1）
- ・ 英語は必要だから個人でもやるべきだ（2）
- ・ 九大生は勉強しなさすぎ（1）
- ・ 文法だとか、教科書に載っているような英語だけでなく、日常会話で伝えるようなくだけた英語も必要（What's up?など）（1）
- ・ 意思疎通ができたらい（1）
- ・ 普通に話せるくらいの英語力（2）
- ・ 使える英語を身に付ける（1）
- ・ 当人の進路に見合った能力になればいい（2）
- ・ 日常会話や討論・口頭発表等の能力を高める必要がある。卒業後このような能力が必要とさ

大学における外国語教育ニーズ分析

- れると思うので (1)
- ・ 時々、高校で何をやってたんだ？と思わせる人がいるので、語彙や文法を一年のうちに再び詰め込む授業を行うべきだ (1)
 - ・ 第二外国語を選択（廃止）にして、英語の時間を増やして欲しい (1)
 - ・ 授業レベルが低い。あまり力をつけようとしてないように思える。いっそのこと TOEIC 対策クラスを選択で作り、やる気のある生徒だけでものばして、どんどん留学させれば良いと思う (1)
 - ・ 授業のみの英語では、英語力はなに一つ伸びない (1)
 - ・ 授業内容が実践的でないので、日常でまったく使えない (1)
 - ・ 授業じゃ時間足りないなので、家で聞いて耳慣らしできる CD があればもっと英語が向上すると思。もしくは他の科目で英語でレポートを書く機会があればいい (1)
 - ・ 自分の持っているものを外に出すため、もっと英語ができるべき (1)
 - ・ 実用会話に自分の知識を生かせる能力が必要 (1)
 - ・ 自然な英語を使えるような授業であって欲しい。リーディングは高校で嫌という程やってきたのに、大学に入ってまでリーディング重視の授業があり、しかもそれが全く双方向性のない授業で幻滅した (1 年後期、英米言語文化演習 I)
 - ・ しっかりした英文が書けるようにならないとまずいと思う (1)
 - ・ 最低でも外国へ出た時に自分の意見を英語で言える程度の力は必要だと思う。
 - ・ 高校までの履修で深く突っ込めなかった文法理論や作文、スピーキング、リスニング、発音などについて大学らしく専門的な深くつっこんだところまで研究授業があってほしい (1)
 - ・ クラスがより少人数になれば、会話能力が向上するのではないかと (1)
 - ・ 技術英語の修得 (1)
 - ・ 外国語に興味があり、積極的にとりくむ人でなければどの能力も 3～4 だと思われる (1)
 - ・ 海外でも十分一人で会話ができるような英語力が必要である (1)
 - ・
 - ・
 - ・ 教える側教えられる側双方にやる気がないのだから芳しいはずがない (1)
 - ・ 英語よりももっと国語を充実させ、日本語の本を読ませるべきだ (1)
 - ・ 英語の科目が少なすぎる (1)
 - ・ 院試に必要なければやらないと思う (1)
 - ・ 1～2 年前期で習ったことも意識的に用いなければ忘れます (1)
 - ・ 英検準 1 級クラス (1)
 - ・ TOEIC を必ずうけていること (1)
 - ・ TOEIC や TOEFL 対策、それ用の授業を導入すべき (1)
 - ・ TOEIC, TOEFL 満点 (1)
 - ・ no good (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

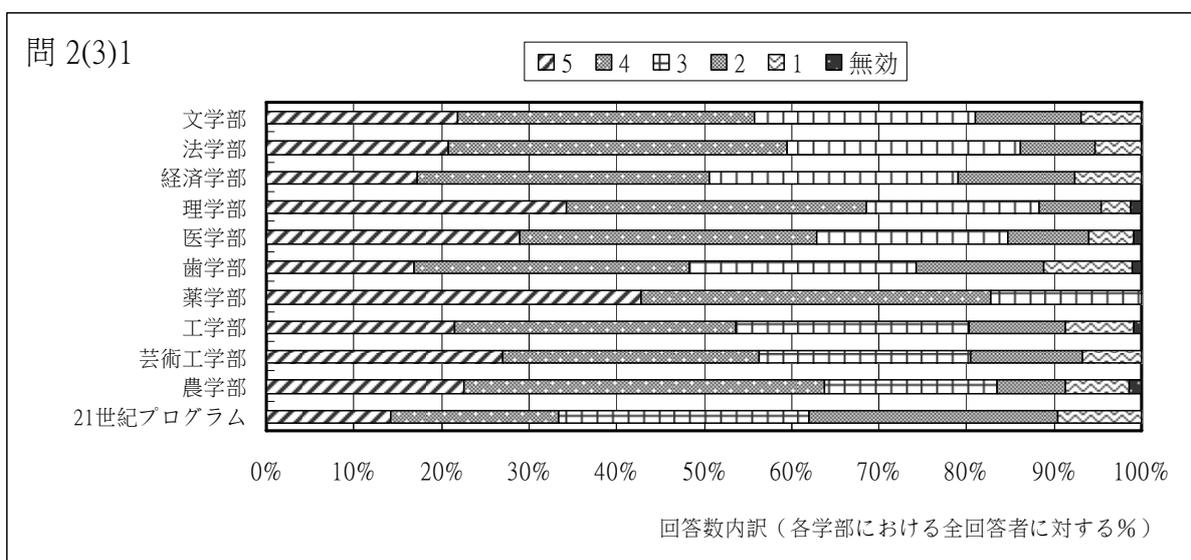
(3) 言語文化科目Ⅰ（六本松地区で開講の必修外国語科目）の英語科目の授業内容について、5段階評価（5 非常に必要である<——>1 全く必要でない）で教えてください。

1. 学生の専門分野に直接関係する内容の教材を用いる

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	38	59	44	21	12	0	174
法学部	39	73	50	16	10	0	188
経済学部	43	83	71	33	19	0	249
理学部	88	88	51	18	9	3	257
医学部	72	84	54	23	13	2	248
歯学部	15	28	23	13	9	1	89
薬学部	15	14	6	0	0	0	35
工学部	192	288	239	99	70	8	896
芸術工学部	36	39	32	17	9	0	133
農学部	49	90	43	17	16	3	218
21世紀プログラム	3	4	6	6	2	0	21
合計	590	850	619	263	169	17	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	21.8%	33.9%	25.3%	12.1%	6.9%	0.0%	100.0%
法学部	20.7%	38.8%	26.6%	8.5%	5.3%	0.0%	100.0%
経済学部	17.3%	33.3%	28.5%	13.3%	7.6%	0.0%	100.0%
理学部	34.2%	34.2%	19.8%	7.0%	3.5%	1.2%	100.0%
医学部	29.0%	33.9%	21.8%	9.3%	5.2%	0.8%	100.0%
歯学部	16.9%	31.5%	25.8%	14.6%	10.1%	1.1%	100.0%
薬学部	42.9%	40.0%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	21.4%	32.1%	26.7%	11.0%	7.8%	0.9%	100.0%
芸術工学部	27.1%	29.3%	24.1%	12.8%	6.8%	0.0%	100.0%
農学部	22.5%	41.3%	19.7%	7.8%	7.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	19.0%	28.6%	28.6%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	23.5%	33.9%	24.7%	10.5%	6.7%	0.7%	100.0%



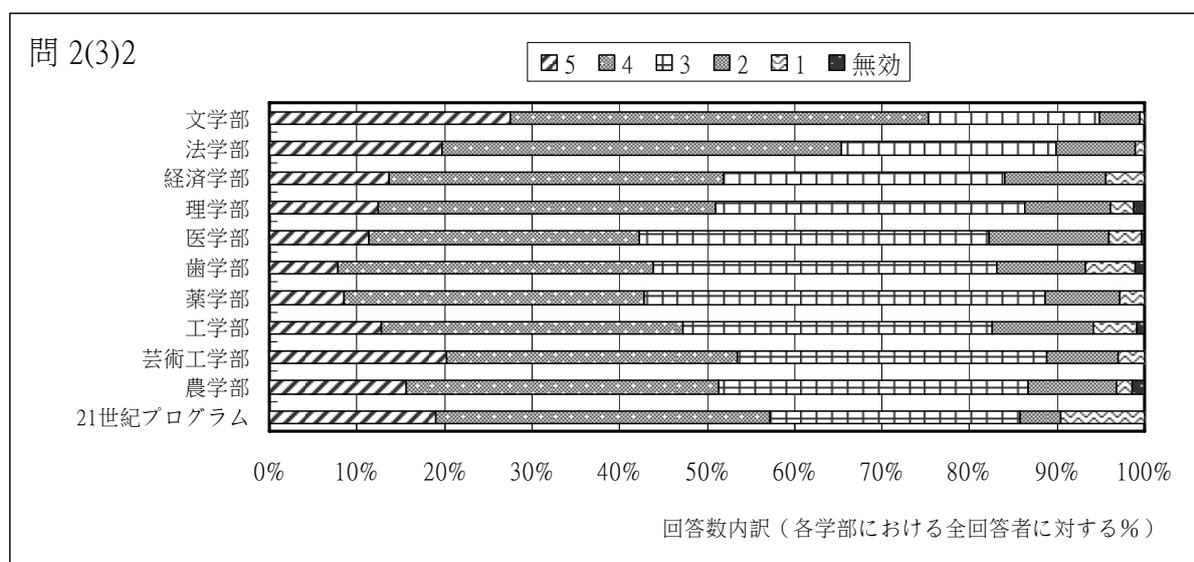
大学における外国語教育ニーズ分析

2. 英米豪など英語圏の文化を扱う教材を用いる

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	48	83	34	8	1	0	174
法学部	37	86	46	17	2	0	188
経済学部	34	95	80	29	11	0	249
理学部	32	99	91	25	7	3	257
医学部	28	77	99	34	9	1	248
歯学部	7	32	35	9	5	1	89
薬学部	3	12	16	3	1	0	35
工学部	114	310	316	104	44	8	896
芸術工学部	27	44	47	11	4	0	133
農学部	34	78	77	22	4	3	218
21世紀プログラム	4	8	6	1	2	0	21
合計	368	924	847	263	90	16	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	27.6%	47.7%	19.5%	4.6%	0.6%	0.0%	100.0%
法学部	19.7%	45.7%	24.5%	9.0%	1.1%	0.0%	100.0%
経済学部	13.7%	38.2%	32.1%	11.6%	4.4%	0.0%	100.0%
理学部	12.5%	38.5%	35.4%	9.7%	2.7%	1.2%	100.0%
医学部	11.3%	31.0%	39.9%	13.7%	3.6%	0.4%	100.0%
歯学部	7.9%	36.0%	39.3%	10.1%	5.6%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	34.3%	45.7%	8.6%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	12.7%	34.6%	35.3%	11.6%	4.9%	0.9%	100.0%
芸術工学部	20.3%	33.1%	35.3%	8.3%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	15.6%	35.8%	35.3%	10.1%	1.8%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	38.1%	28.6%	4.8%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	14.7%	36.8%	33.8%	10.5%	3.6%	0.6%	100.0%



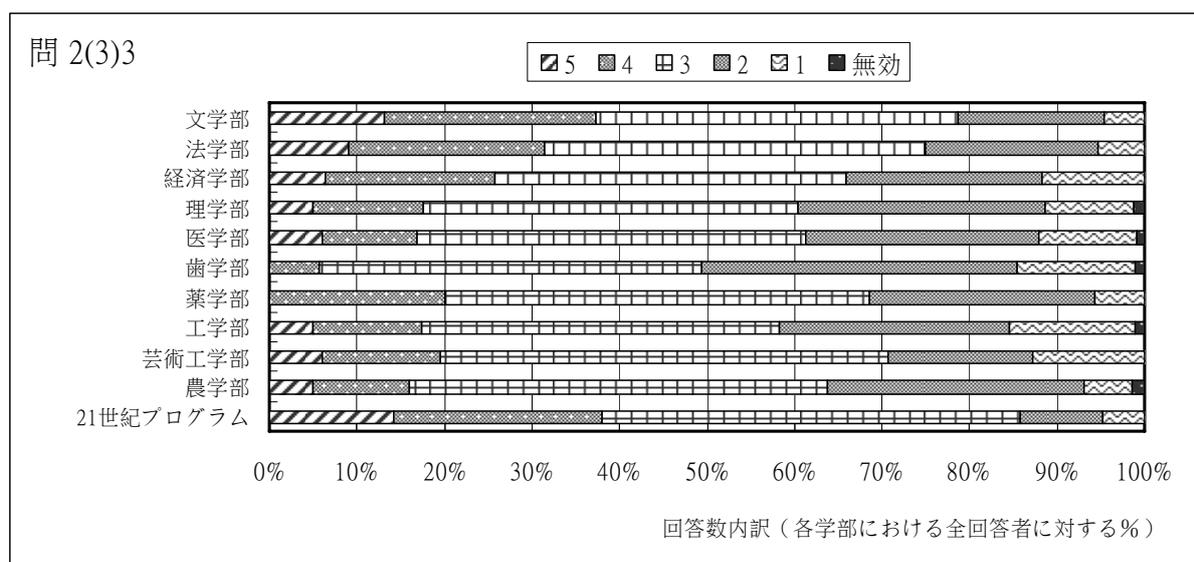
大学における外国語教育ニーズ分析

3. それ以外の地域の文化を扱う教材を用いる

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	23	42	72	29	8	0	174
法学部	17	42	82	37	10	0	188
経済学部	16	48	100	56	29	0	249
理学部	13	32	110	73	26	3	257
医学部	15	27	110	66	28	2	248
歯学部	0	5	39	32	12	1	89
薬学部	0	7	17	9	2	0	35
工学部	45	111	366	235	129	10	896
芸術工学部	8	18	68	22	17	0	133
農学部	11	24	104	64	12	3	218
21世紀プログラム	3	5	10	2	1	0	21
合計	151	361	1078	625	274	19	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	13.2%	24.1%	41.4%	16.7%	4.6%	0.0%	100.0%
法学部	9.0%	22.3%	43.6%	19.7%	5.3%	0.0%	100.0%
経済学部	6.4%	19.3%	40.2%	22.5%	11.6%	0.0%	100.0%
理学部	5.1%	12.5%	42.8%	28.4%	10.1%	1.2%	100.0%
医学部	6.0%	10.9%	44.4%	26.6%	11.3%	0.8%	100.0%
歯学部	0.0%	5.6%	43.8%	36.0%	13.5%	1.1%	100.0%
薬学部	0.0%	20.0%	48.6%	25.7%	5.7%	0.0%	100.0%
工学部	5.0%	12.4%	40.8%	26.2%	14.4%	1.1%	100.0%
芸術工学部	6.0%	13.5%	51.1%	16.5%	12.8%	0.0%	100.0%
農学部	5.0%	11.0%	47.7%	29.4%	5.5%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	23.8%	47.6%	9.5%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	6.0%	14.4%	43.0%	24.9%	10.9%	0.8%	100.0%



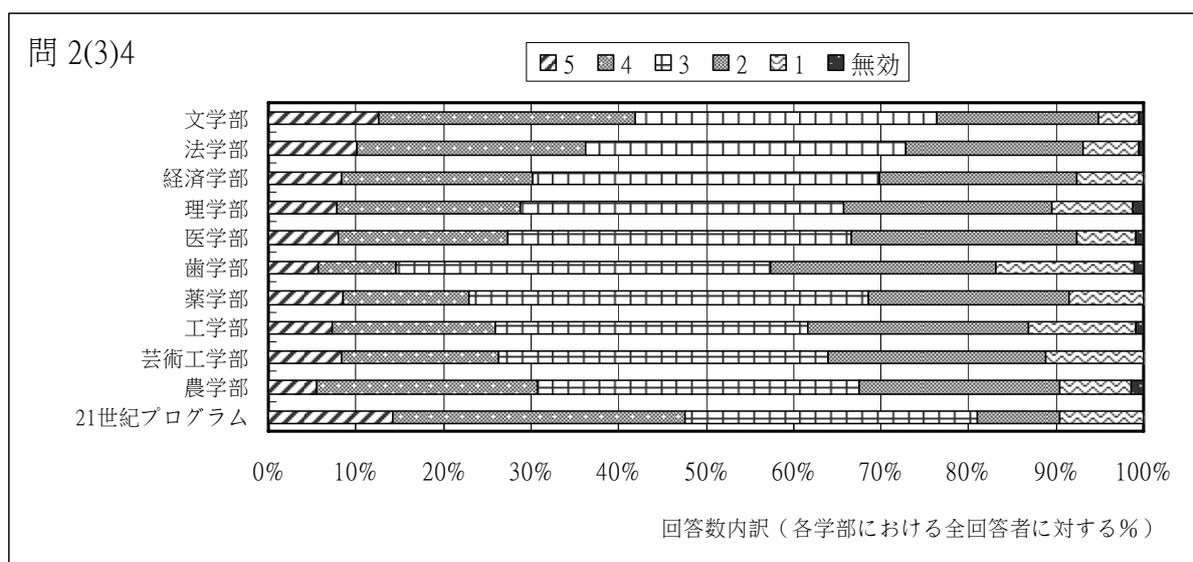
大学における外国語教育ニーズ分析

4. 日本の文化を扱う教材を用いる

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	22	51	60	32	8	1	174
法学部	19	49	69	38	12	1	188
経済学部	21	54	99	56	19	0	249
理学部	20	54	95	61	24	3	257
医学部	20	48	97	64	17	2	248
歯学部	5	8	38	23	14	1	89
薬学部	3	5	16	8	3	0	35
工学部	66	166	320	226	110	8	896
芸術工学部	11	24	50	33	15	0	133
農学部	12	55	80	50	18	3	218
21世紀プログラム	3	7	7	2	2	0	21
合計	202	521	931	593	242	19	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.6%	29.3%	34.5%	18.4%	4.6%	0.6%	100.0%
法学部	10.1%	26.1%	36.7%	20.2%	6.4%	0.5%	100.0%
経済学部	8.4%	21.7%	39.8%	22.5%	7.6%	0.0%	100.0%
理学部	7.8%	21.0%	37.0%	23.7%	9.3%	1.2%	100.0%
医学部	8.1%	19.4%	39.1%	25.8%	6.9%	0.8%	100.0%
歯学部	5.6%	9.0%	42.7%	25.8%	15.7%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	14.3%	45.7%	22.9%	8.6%	0.0%	100.0%
工学部	7.4%	18.5%	35.7%	25.2%	12.3%	0.9%	100.0%
芸術工学部	8.3%	18.0%	37.6%	24.8%	11.3%	0.0%	100.0%
農学部	5.5%	25.2%	36.7%	22.9%	8.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	33.3%	33.3%	9.5%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	8.1%	20.8%	37.1%	23.6%	9.6%	0.8%	100.0%



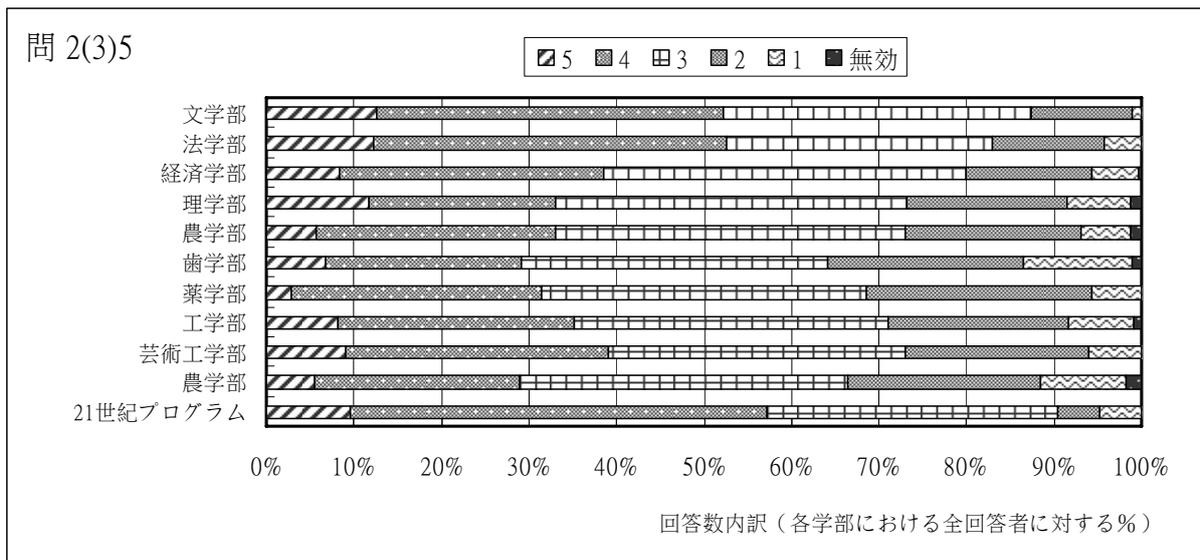
大学における外国語教育ニーズ分析

5. 文学作品や評論などを読んで内容を理解する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	22	69	61	20	2	0	174
法学部	23	76	57	24	8	0	188
経済学部	21	75	103	36	13	1	249
理学部	30	55	103	47	19	3	257
医学部	14	68	99	50	14	3	248
歯学部	6	20	31	20	11	1	89
薬学部	1	10	13	9	2	0	35
工学部	73	242	322	184	67	8	896
芸術工学部	12	40	45	28	8	0	133
農学部	12	51	82	48	21	4	218
21世紀プログラム	2	10	7	1	1	0	21
合計	216	716	923	467	166	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.6%	39.7%	35.1%	11.5%	1.1%	0.0%	100.0%
法学部	12.2%	40.4%	30.3%	12.8%	4.3%	0.0%	100.0%
経済学部	8.4%	30.1%	41.4%	14.5%	5.2%	0.4%	100.0%
理学部	11.7%	21.4%	40.1%	18.3%	7.4%	1.2%	100.0%
医学部	5.6%	27.4%	39.9%	20.2%	5.6%	1.2%	100.0%
歯学部	6.7%	22.5%	34.8%	22.5%	12.4%	1.1%	100.0%
薬学部	2.9%	28.6%	37.1%	25.7%	5.7%	0.0%	100.0%
工学部	8.1%	27.0%	35.9%	20.5%	7.5%	0.9%	100.0%
芸術工学部	9.0%	30.1%	33.8%	21.1%	6.0%	0.0%	100.0%
農学部	5.5%	23.4%	37.6%	22.0%	9.6%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	47.6%	33.3%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	8.6%	28.5%	36.8%	18.6%	6.6%	0.8%	100.0%



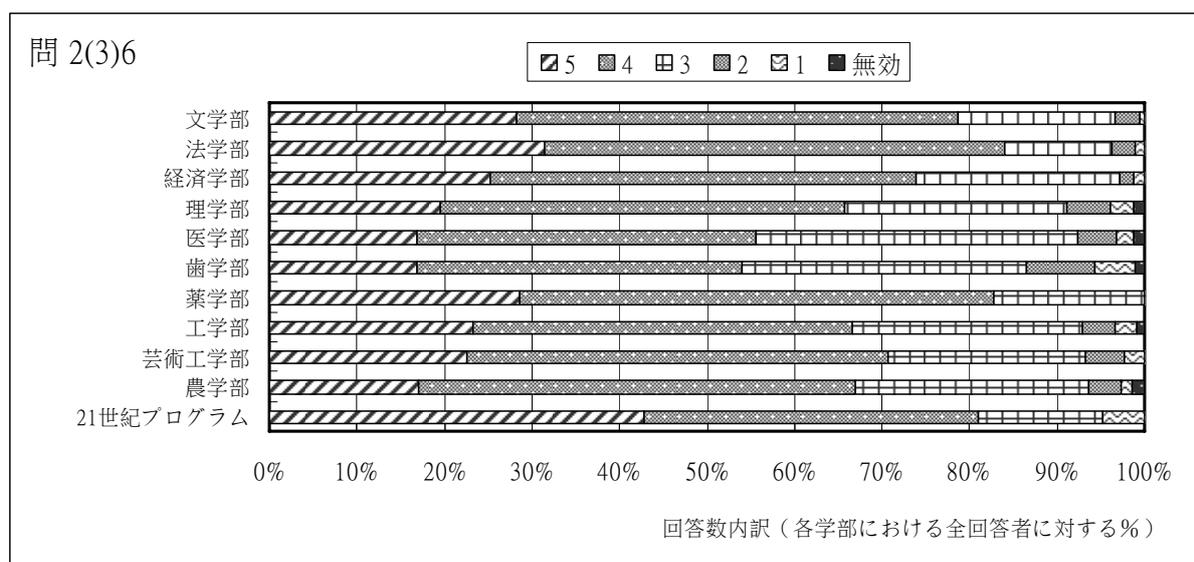
大学における外国語教育ニーズ分析

6. ニュースや説明文を読んで内容を理解する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	49	88	31	5	1	0	174
法学部	59	99	23	5	2	0	188
経済学部	63	121	58	4	3	0	249
理学部	50	119	65	13	7	3	257
医学部	42	96	91	11	5	3	248
歯学部	15	33	29	7	4	1	89
薬学部	10	19	6	0	0	0	35
工学部	208	389	236	32	23	8	896
芸術工学部	30	64	30	6	3	0	133
農学部	37	109	58	8	3	3	218
21世紀プログラム	9	8	3	0	1	0	21
合計	572	1145	630	91	52	18	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	28.2%	50.6%	17.8%	2.9%	0.6%	0.0%	100.0%
法学部	31.4%	52.7%	12.2%	2.7%	1.1%	0.0%	100.0%
経済学部	25.3%	48.6%	23.3%	1.6%	1.2%	0.0%	100.0%
理学部	19.5%	46.3%	25.3%	5.1%	2.7%	1.2%	100.0%
医学部	16.9%	38.7%	36.7%	4.4%	2.0%	1.2%	100.0%
歯学部	16.9%	37.1%	32.6%	7.9%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	28.6%	54.3%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	23.2%	43.4%	26.3%	3.6%	2.6%	0.9%	100.0%
芸術工学部	22.6%	48.1%	22.6%	4.5%	2.3%	0.0%	100.0%
農学部	17.0%	50.0%	26.6%	3.7%	1.4%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	38.1%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	22.8%	45.7%	25.1%	3.6%	2.1%	0.7%	100.0%



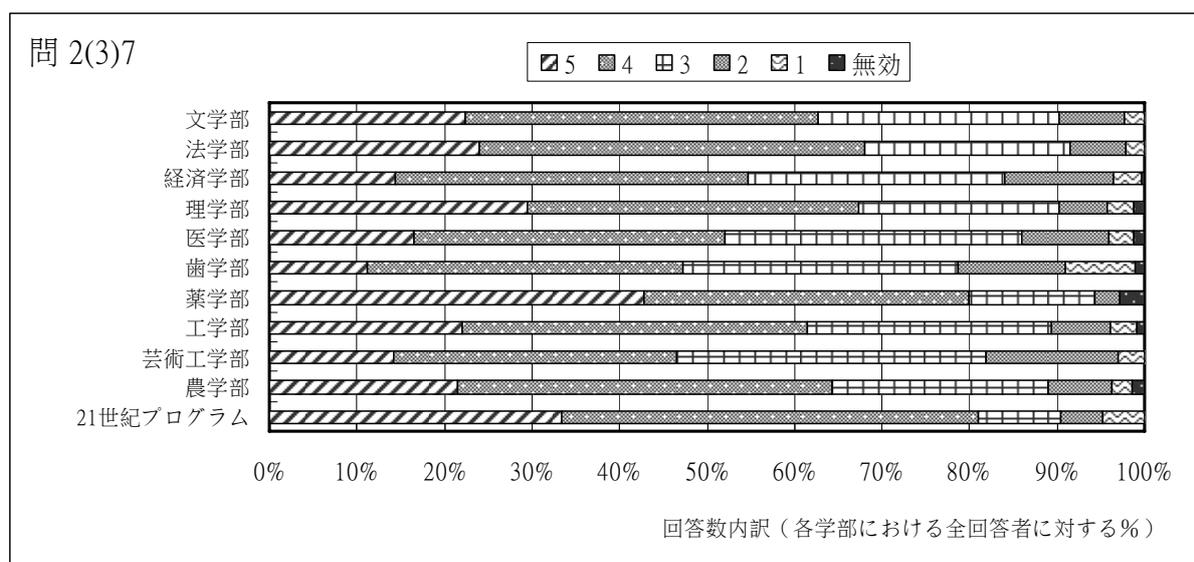
大学における外国語教育ニーズ分析

7. 論文やレポートを読んで内容を理解する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 7	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	39	70	48	13	4	0	174
法学部	45	83	44	12	4	0	188
経済学部	36	100	73	31	8	1	249
理学部	76	97	59	14	8	3	257
医学部	41	88	84	25	7	3	248
歯学部	10	32	28	11	7	1	89
薬学部	15	13	5	1	0	1	35
工学部	198	352	251	60	27	8	896
芸術工学部	19	43	47	20	4	0	133
農学部	47	93	54	16	5	3	218
21世紀プログラム	7	10	2	1	1	0	21
合計	533	981	695	204	75	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	22.4%	40.2%	27.6%	7.5%	2.3%	0.0%	100.0%
法学部	23.9%	44.1%	23.4%	6.4%	2.1%	0.0%	100.0%
経済学部	14.5%	40.2%	29.3%	12.4%	3.2%	0.4%	100.0%
理学部	29.6%	37.7%	23.0%	5.4%	3.1%	1.2%	100.0%
医学部	16.5%	35.5%	33.9%	10.1%	2.8%	1.2%	100.0%
歯学部	11.2%	36.0%	31.5%	12.4%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	42.9%	37.1%	14.3%	2.9%	0.0%	2.9%	100.0%
工学部	22.1%	39.3%	28.0%	6.7%	3.0%	0.9%	100.0%
芸術工学部	14.3%	32.3%	35.3%	15.0%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	21.6%	42.7%	24.8%	7.3%	2.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	47.6%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	21.3%	39.1%	27.7%	8.1%	3.0%	0.8%	100.0%



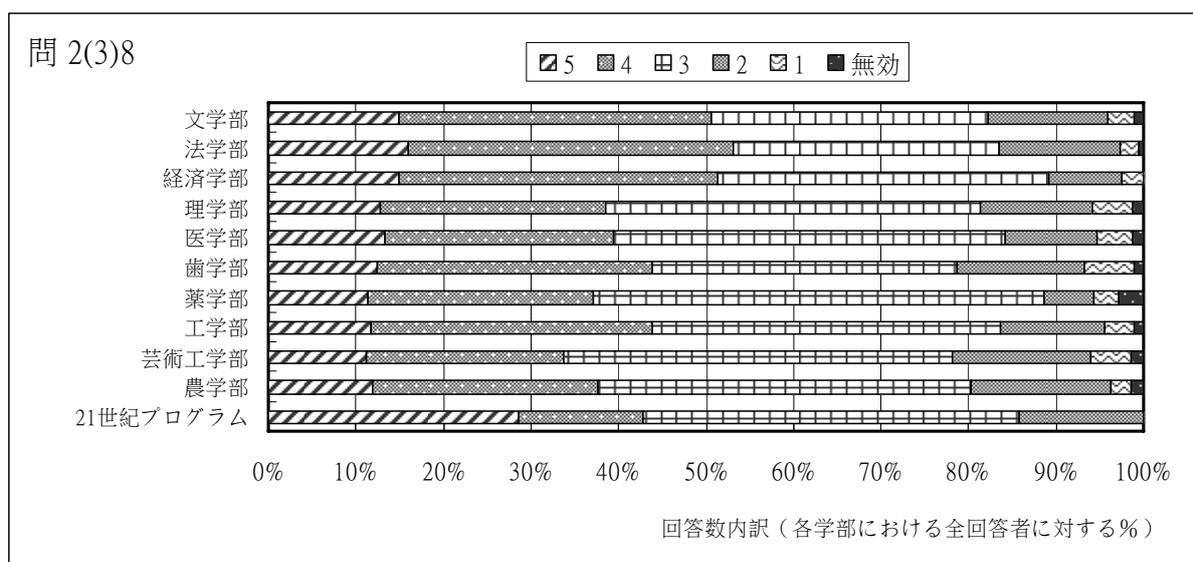
大学における外国語教育ニーズ分析

8. 手紙やメモを読んで内容を理解する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 8	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	26	62	55	24	5	2	174
法学部	30	70	57	26	4	1	188
経済学部	37	91	94	21	6	0	249
理学部	33	66	110	33	12	3	257
医学部	33	65	111	26	10	3	248
歯学部	11	28	31	13	5	1	89
薬学部	4	9	18	2	1	1	35
工学部	105	288	357	106	30	10	896
芸術工学部	15	30	59	21	6	2	133
農学部	26	56	93	35	5	3	218
21世紀プログラム	6	3	9	3	0	0	21
合計	326	768	994	310	84	26	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14.9%	35.6%	31.6%	13.8%	2.9%	1.1%	100.0%
法学部	16.0%	37.2%	30.3%	13.8%	2.1%	0.5%	100.0%
経済学部	14.9%	36.5%	37.8%	8.4%	2.4%	0.0%	100.0%
理学部	12.8%	25.7%	42.8%	12.8%	4.7%	1.2%	100.0%
医学部	13.3%	26.2%	44.8%	10.5%	4.0%	1.2%	100.0%
歯学部	12.4%	31.5%	34.8%	14.6%	5.6%	1.1%	100.0%
薬学部	11.4%	25.7%	51.4%	5.7%	2.9%	2.9%	100.0%
工学部	11.7%	32.1%	39.8%	11.8%	3.3%	1.1%	100.0%
芸術工学部	11.3%	22.6%	44.4%	15.8%	4.5%	1.5%	100.0%
農学部	11.9%	25.7%	42.7%	16.1%	2.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	13.0%	30.6%	39.6%	12.4%	3.3%	1.0%	100.0%



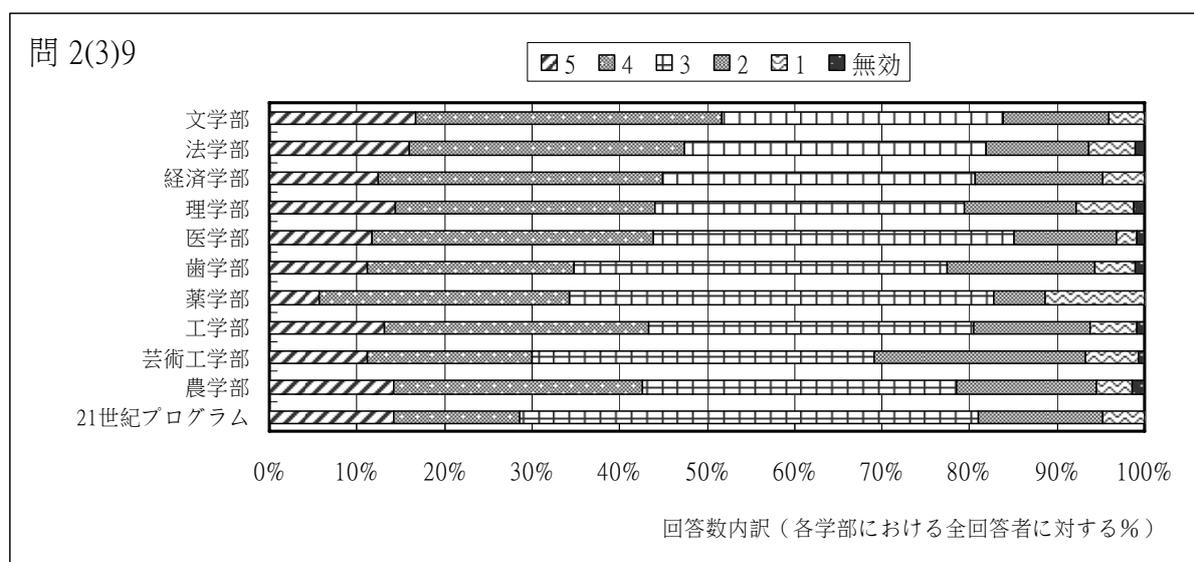
大学における外国語教育ニーズ分析

9. 英文和訳（翻訳）をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 9	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	29	61	56	21	7	0	174
法学部	30	59	65	22	10	2	188
経済学部	31	81	89	36	12	0	249
理学部	37	76	91	33	17	3	257
医学部	29	80	102	29	6	2	248
歯学部	10	21	38	15	4	1	89
薬学部	2	10	17	2	4	0	35
工学部	117	272	332	119	48	8	896
芸術工学部	15	25	52	32	8	1	133
農学部	31	62	78	35	9	3	218
21世紀プログラム	3	3	11	3	1	0	21
合計	334	750	931	347	126	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	16.7%	35.1%	32.2%	12.1%	4.0%	0.0%	100.0%
法学部	16.0%	31.4%	34.6%	11.7%	5.3%	1.1%	100.0%
経済学部	12.4%	32.5%	35.7%	14.5%	4.8%	0.0%	100.0%
理学部	14.4%	29.6%	35.4%	12.8%	6.6%	1.2%	100.0%
医学部	11.7%	32.3%	41.1%	11.7%	2.4%	0.8%	100.0%
歯学部	11.2%	23.6%	42.7%	16.9%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	28.6%	48.6%	5.7%	11.4%	0.0%	100.0%
工学部	13.1%	30.4%	37.1%	13.3%	5.4%	0.9%	100.0%
芸術工学部	11.3%	18.8%	39.1%	24.1%	6.0%	0.8%	100.0%
農学部	14.2%	28.4%	35.8%	16.1%	4.1%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	14.3%	52.4%	14.3%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	13.3%	29.9%	37.1%	13.8%	5.0%	0.8%	100.0%



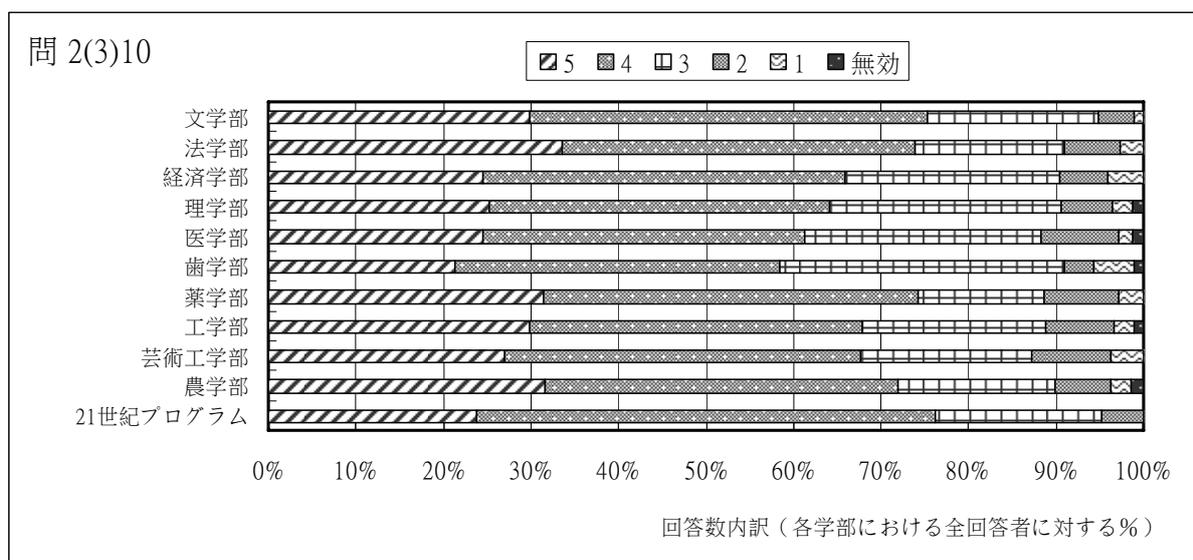
大学における外国語教育ニーズ分析

10. 英文を速読・多読する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 10	5	4	3	2	1	0	合計
医学部	52	79	34	7	2	0	174
法学部	63	76	32	12	5	0	188
経済学部	61	103	61	14	10	0	249
理学部	65	100	68	15	6	3	257
医学部	61	91	67	22	4	3	248
歯学部	19	33	29	3	4	1	89
薬学部	11	15	5	3	1	0	35
工学部	268	340	188	70	20	10	896
芸術工学部	36	54	26	12	5	0	133
農学部	69	88	39	14	5	3	218
21世紀プログラム	5	11	4	1	0	0	21
合計	710	990	553	173	62	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	29.9%	45.4%	19.5%	4.0%	1.1%	0.0%	100.0%
法学部	33.5%	40.4%	17.0%	6.4%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	24.5%	41.4%	24.5%	5.6%	4.0%	0.0%	100.0%
理学部	25.3%	38.9%	26.5%	5.8%	2.3%	1.2%	100.0%
医学部	24.6%	36.7%	27.0%	8.9%	1.6%	1.2%	100.0%
歯学部	21.3%	37.1%	32.6%	3.4%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	31.4%	42.9%	14.3%	8.6%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	29.9%	37.9%	21.0%	7.8%	2.2%	1.1%	100.0%
芸術工学部	27.1%	40.6%	19.5%	9.0%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	31.7%	40.4%	17.9%	6.4%	2.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	52.4%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	28.3%	39.5%	22.0%	6.9%	2.5%	0.8%	100.0%



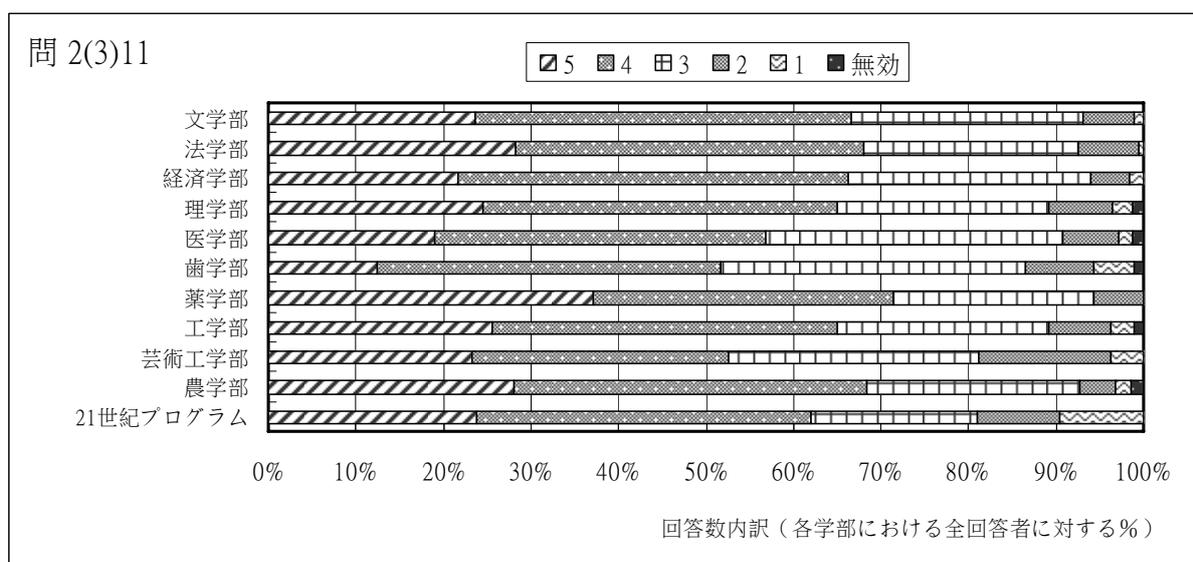
大学における外国語教育ニーズ分析

11. 英文を読んで内容を要約する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 11	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	41	75	46	10	2	0	174
法学部	53	75	46	13	1	0	188
経済学部	54	111	69	11	4	0	249
理学部	63	104	62	19	6	3	257
医学部	47	94	84	16	4	3	248
歯学部	11	35	31	7	4	1	89
薬学部	13	12	8	2	0	0	35
工学部	229	353	217	64	23	10	896
芸術工学部	31	39	38	20	5	0	133
農学部	61	88	53	9	4	3	218
21世紀プログラム	5	8	4	2	2	0	21
合計	608	994	658	173	55	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	23.6%	43.1%	26.4%	5.7%	1.1%	0.0%	100.0%
法学部	28.2%	39.9%	24.5%	6.9%	0.5%	0.0%	100.0%
経済学部	21.7%	44.6%	27.7%	4.4%	1.6%	0.0%	100.0%
理学部	24.5%	40.5%	24.1%	7.4%	2.3%	1.2%	100.0%
医学部	19.0%	37.9%	33.9%	6.5%	1.6%	1.2%	100.0%
歯学部	12.4%	39.3%	34.8%	7.9%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	37.1%	34.3%	22.9%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	25.6%	39.4%	24.2%	7.1%	2.6%	1.1%	100.0%
芸術工学部	23.3%	29.3%	28.6%	15.0%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	28.0%	40.4%	24.3%	4.1%	1.8%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	38.1%	19.0%	9.5%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	24.2%	39.6%	26.2%	6.9%	2.2%	0.8%	100.0%



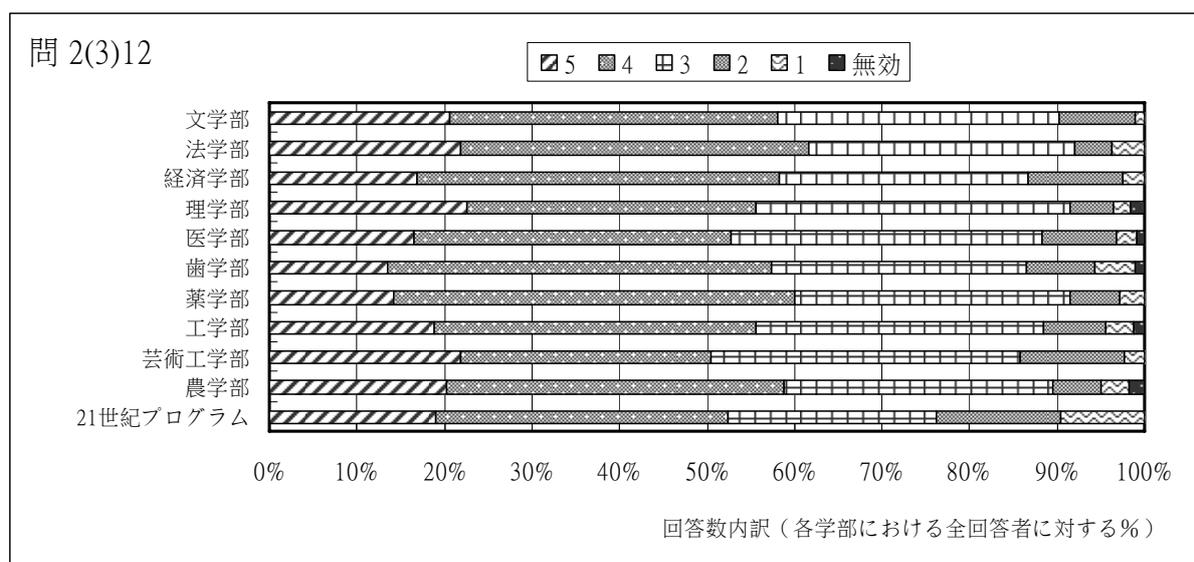
大学における外国語教育ニーズ分析

12. 和文英訳（翻訳）をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 12	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36	65	56	15	2	0	174
法学部	41	75	57	8	7	0	188
経済学部	42	103	71	27	6	0	249
理学部	58	85	92	13	5	4	257
医学部	41	90	88	21	6	2	248
歯学部	12	39	26	7	4	1	89
薬学部	5	16	11	2	1	0	35
工学部	168	330	294	64	29	11	896
芸術工学部	29	38	47	16	3	0	133
農学部	44	84	67	12	7	4	218
21世紀プログラム	4	7	5	3	2	0	21
合計	480	932	814	188	72	22	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	37.4%	32.2%	8.6%	1.1%	0.0%	100.0%
法学部	21.8%	39.9%	30.3%	4.3%	3.7%	0.0%	100.0%
経済学部	16.9%	41.4%	28.5%	10.8%	2.4%	0.0%	100.0%
理学部	22.6%	33.1%	35.8%	5.1%	1.9%	1.6%	100.0%
医学部	16.5%	36.3%	35.5%	8.5%	2.4%	0.8%	100.0%
歯学部	13.5%	43.8%	29.2%	7.9%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	14.3%	45.7%	31.4%	5.7%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	18.8%	36.8%	32.8%	7.1%	3.2%	1.2%	100.0%
芸術工学部	21.8%	28.6%	35.3%	12.0%	2.3%	0.0%	100.0%
農学部	20.2%	38.5%	30.7%	5.5%	3.2%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	33.3%	23.8%	14.3%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	19.1%	37.2%	32.5%	7.5%	2.9%	0.9%	100.0%



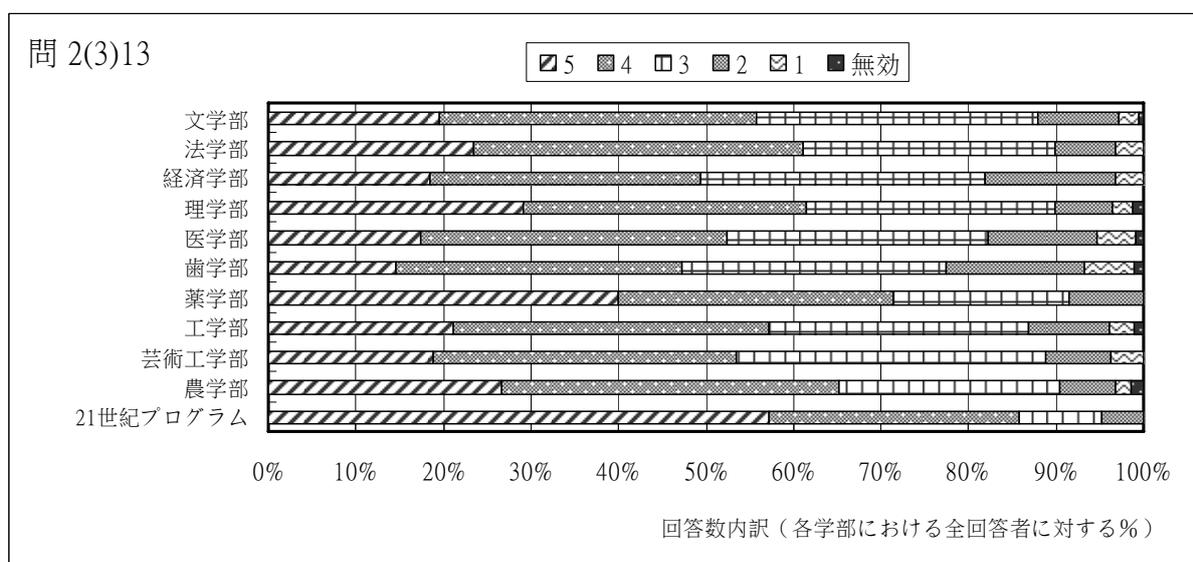
大学における外国語教育ニーズ分析

13. 論文やレポートを書く

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 13	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	34	63	56	16	4	1	174
法学部	44	71	54	13	6	0	188
経済学部	46	77	81	37	8	0	249
理学部	75	83	73	17	6	3	257
医学部	43	87	74	31	11	2	248
歯学部	13	29	27	14	5	1	89
薬学部	14	11	7	3	0	0	35
工学部	190	323	265	83	26	9	896
芸術工学部	25	46	47	10	5	0	133
農学部	58	84	55	14	4	3	218
21世紀プログラム	12	6	2	1	0	0	21
合計	554	880	741	239	75	19	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	19.5%	36.2%	32.2%	9.2%	2.3%	0.6%	100.0%
法学部	23.4%	37.8%	28.7%	6.9%	3.2%	0.0%	100.0%
経済学部	18.5%	30.9%	32.5%	14.9%	3.2%	0.0%	100.0%
理学部	29.2%	32.3%	28.4%	6.6%	2.3%	1.2%	100.0%
医学部	17.3%	35.1%	29.8%	12.5%	4.4%	0.8%	100.0%
歯学部	14.6%	32.6%	30.3%	15.7%	5.6%	1.1%	100.0%
薬学部	40.0%	31.4%	20.0%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	21.2%	36.0%	29.6%	9.3%	2.9%	1.0%	100.0%
芸術工学部	18.8%	34.6%	35.3%	7.5%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	26.6%	38.5%	25.2%	6.4%	1.8%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	57.1%	28.6%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	22.1%	35.1%	29.5%	9.5%	3.0%	0.8%	100.0%



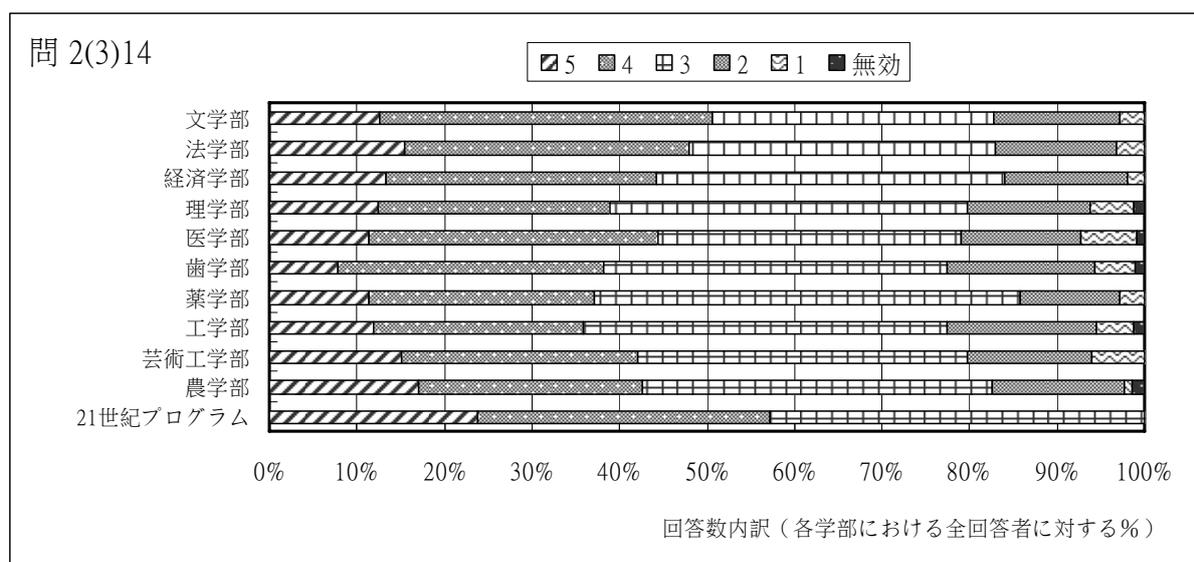
大学における外国語教育ニーズ分析

14. 手紙やメモを書く

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 14	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	22	66	56	25	5	0	174
法学部	29	61	66	26	6	0	188
経済学部	33	77	99	35	5	0	249
理学部	32	68	105	36	13	3	257
医学部	28	82	86	34	16	2	248
歯学部	7	27	35	15	4	1	89
薬学部	4	9	17	4	1	0	35
工学部	106	215	373	153	38	11	896
芸術工学部	20	36	50	19	8	0	133
農学部	37	56	87	33	2	3	218
21世紀プログラム	5	7	9	0	0	0	21
合計	323	704	983	380	98	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.6%	37.9%	32.2%	14.4%	2.9%	0.0%	100.0%
法学部	15.4%	32.4%	35.1%	13.8%	3.2%	0.0%	100.0%
経済学部	13.3%	30.9%	39.8%	14.1%	2.0%	0.0%	100.0%
理学部	12.5%	26.5%	40.9%	14.0%	5.1%	1.2%	100.0%
医学部	11.3%	33.1%	34.7%	13.7%	6.5%	0.8%	100.0%
歯学部	7.9%	30.3%	39.3%	16.9%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	11.4%	25.7%	48.6%	11.4%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	11.8%	24.0%	41.6%	17.1%	4.2%	1.2%	100.0%
芸術工学部	15.0%	27.1%	37.6%	14.3%	6.0%	0.0%	100.0%
農学部	17.0%	25.7%	39.9%	15.1%	0.9%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	33.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	12.9%	28.1%	39.2%	15.2%	3.9%	0.8%	100.0%



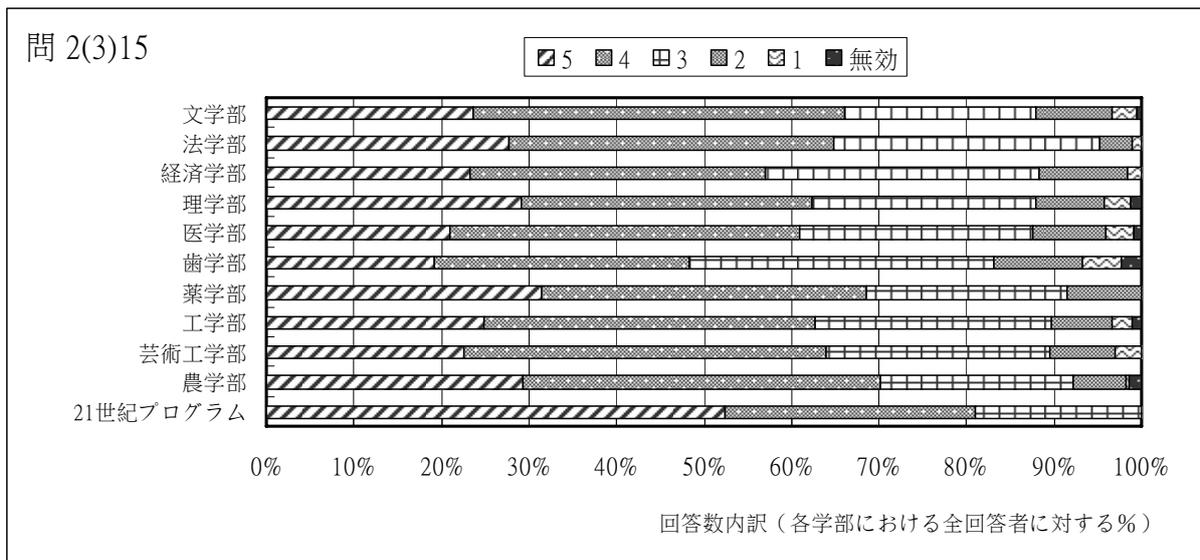
大学における外国語教育ニーズ分析

15. 講義やスピーチを聴いて理解する・メモを取る

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 15	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	41	74	38	15	5	1	174
法学部	52	70	57	7	2	0	188
経済学部	58	84	78	25	4	0	249
理学部	75	85	66	20	8	3	257
医学部	52	99	66	21	8	2	248
歯学部	17	26	31	9	4	2	89
薬学部	11	13	8	3	0	0	35
工学部	223	339	242	61	22	9	896
芸術工学部	30	55	34	10	4	0	133
農学部	64	89	48	13	1	3	218
21世紀プログラム	11	6	4	0	0	0	21
合計	634	940	672	184	58	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	23.6%	42.5%	21.8%	8.6%	2.9%	0.6%	100.0%
法学部	27.7%	37.2%	30.3%	3.7%	1.1%	0.0%	100.0%
経済学部	23.3%	33.7%	31.3%	10.0%	1.6%	0.0%	100.0%
理学部	29.2%	33.1%	25.7%	7.8%	3.1%	1.2%	100.0%
医学部	21.0%	39.9%	26.6%	8.5%	3.2%	0.8%	100.0%
歯学部	19.1%	29.2%	34.8%	10.1%	4.5%	2.2%	100.0%
薬学部	31.4%	37.1%	22.9%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	24.9%	37.8%	27.0%	6.8%	2.5%	1.0%	100.0%
芸術工学部	22.6%	41.4%	25.6%	7.5%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	29.4%	40.8%	22.0%	6.0%	0.5%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	52.4%	28.6%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	25.3%	37.5%	26.8%	7.3%	2.3%	0.8%	100.0%



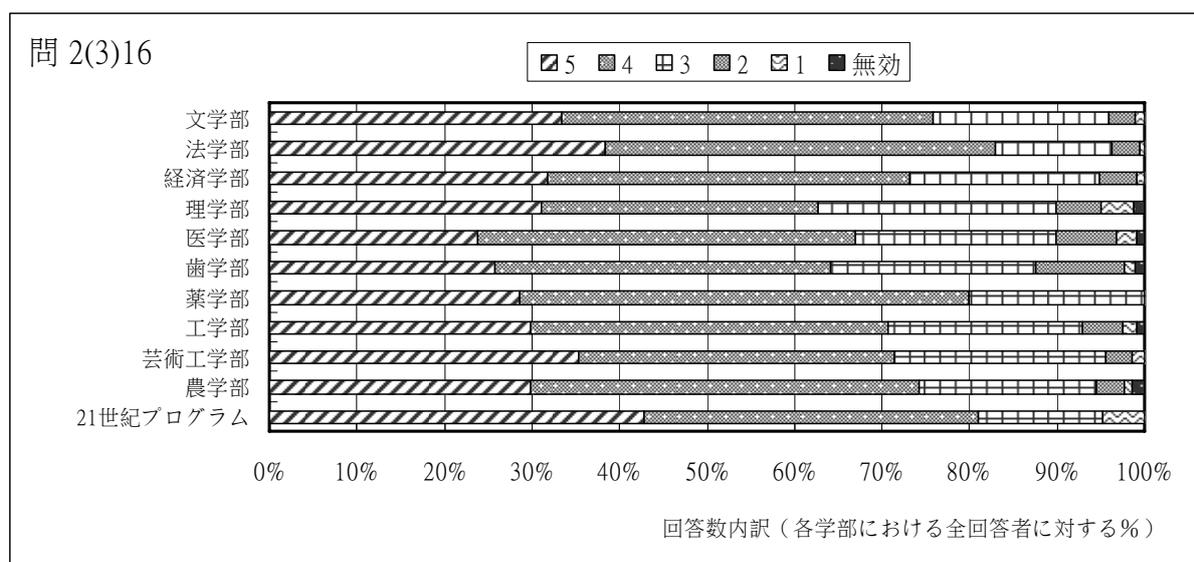
大学における外国語教育ニーズ分析

16. ニュースなどを聴いて理解する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 16	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	58	74	35	5	2	0	174
法学部	72	84	25	6	1	0	188
経済学部	79	103	54	11	2	0	249
理学部	80	81	70	13	10	3	257
医学部	59	107	57	17	6	2	248
歯学部	23	34	21	9	1	1	89
薬学部	10	18	7	0	0	0	35
工学部	267	366	200	40	15	8	896
芸術工学部	47	48	32	4	2	0	133
農学部	65	97	44	7	2	3	218
21世紀プログラム	9	8	3	0	1	0	21
合計	769	1020	548	112	42	17	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	33.3%	42.5%	20.1%	2.9%	1.1%	0.0%	100.0%
法学部	38.3%	44.7%	13.3%	3.2%	0.5%	0.0%	100.0%
経済学部	31.7%	41.4%	21.7%	4.4%	0.8%	0.0%	100.0%
理学部	31.1%	31.5%	27.2%	5.1%	3.9%	1.2%	100.0%
医学部	23.8%	43.1%	23.0%	6.9%	2.4%	0.8%	100.0%
歯学部	25.8%	38.2%	23.6%	10.1%	1.1%	1.1%	100.0%
薬学部	28.6%	51.4%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	29.8%	40.8%	22.3%	4.5%	1.7%	0.9%	100.0%
芸術工学部	35.3%	36.1%	24.1%	3.0%	1.5%	0.0%	100.0%
農学部	29.8%	44.5%	20.2%	3.2%	0.9%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	38.1%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	30.7%	40.7%	21.9%	4.5%	1.7%	0.7%	100.0%



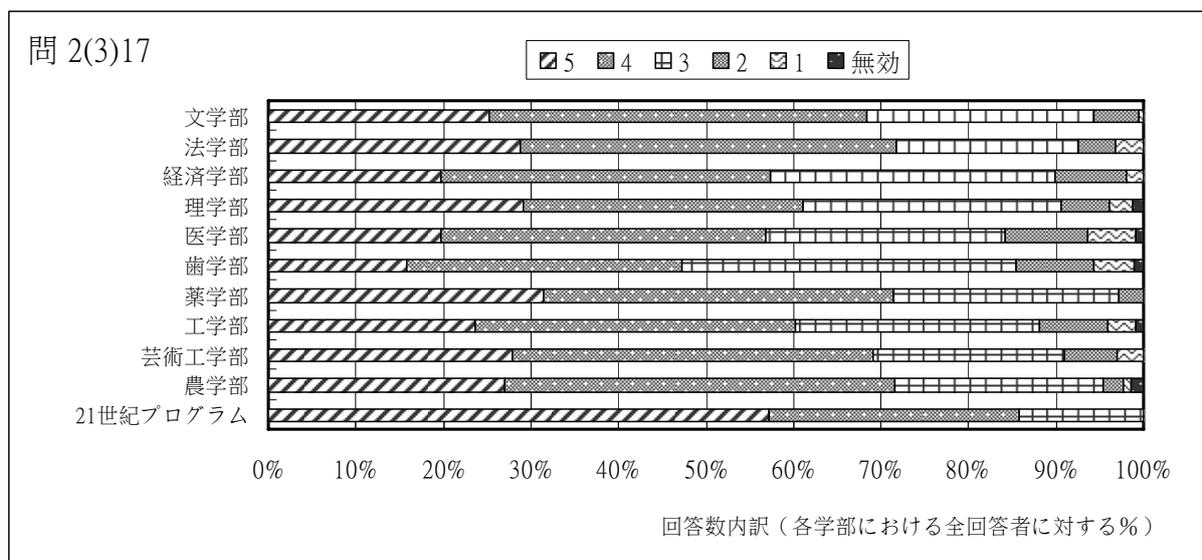
大学における外国語教育ニーズ分析

17. スピーチ・口頭発表をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 17	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	44	75	45	9	1	0	174
法学部	54	81	39	8	6	0	188
経済学部	49	94	81	20	5	0	249
理学部	75	82	76	14	7	3	257
医学部	49	92	68	23	14	2	248
歯学部	14	28	34	8	4	1	89
薬学部	11	14	9	1	0	0	35
工学部	212	328	249	70	29	8	896
芸術工学部	37	55	29	8	4	0	133
農学部	59	97	52	5	2	3	218
21世紀プログラム	12	6	3	0	0	0	21
合計	616	952	685	166	72	17	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	25.3%	43.1%	25.9%	5.2%	0.6%	0.0%	100.0%
法学部	28.7%	43.1%	20.7%	4.3%	3.2%	0.0%	100.0%
経済学部	19.7%	37.8%	32.5%	8.0%	2.0%	0.0%	100.0%
理学部	29.2%	31.9%	29.6%	5.4%	2.7%	1.2%	100.0%
医学部	19.8%	37.1%	27.4%	9.3%	5.6%	0.8%	100.0%
歯学部	15.7%	31.5%	38.2%	9.0%	4.5%	1.1%	100.0%
薬学部	31.4%	40.0%	25.7%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	23.7%	36.6%	27.8%	7.8%	3.2%	0.9%	100.0%
芸術工学部	27.8%	41.4%	21.8%	6.0%	3.0%	0.0%	100.0%
農学部	27.1%	44.5%	23.9%	2.3%	0.9%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	24.6%	38.0%	27.3%	6.6%	2.9%	0.7%	100.0%



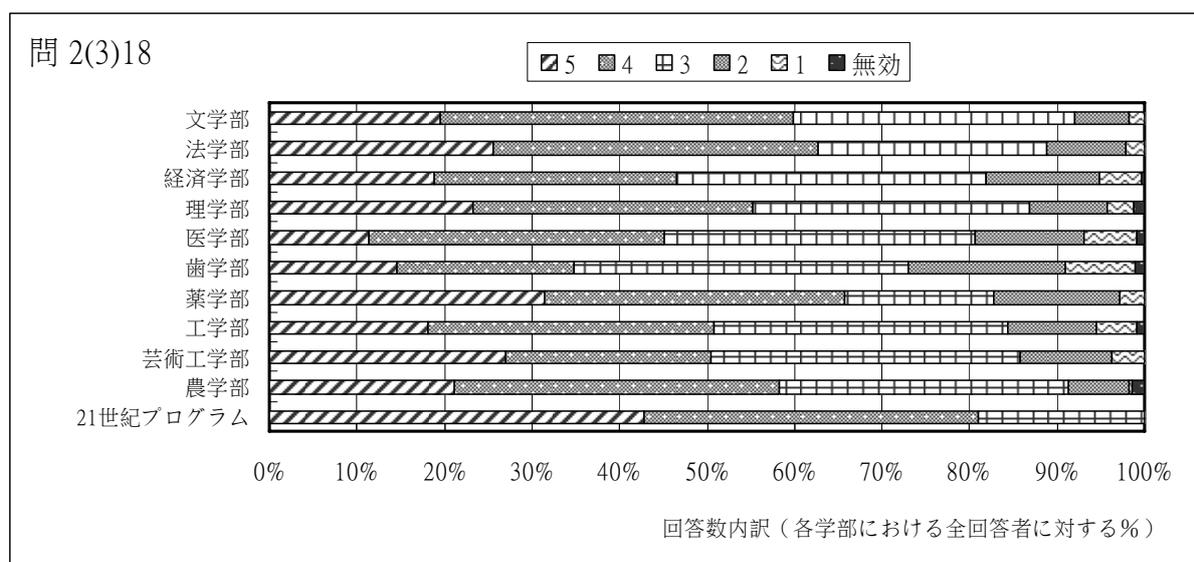
大学における外国語教育ニーズ分析

18. 討議・討論をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 18	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	34	70	56	11	3	0	174
法学部	48	70	49	17	4	0	188
経済学部	47	69	88	32	12	1	249
理学部	60	82	81	23	8	3	257
医学部	28	84	88	31	15	2	248
歯学部	13	18	34	16	7	1	89
薬学部	11	12	6	5	1	0	35
工学部	162	293	301	90	42	8	896
芸術工学部	36	31	47	14	5	0	133
農学部	46	81	72	15	1	3	218
21世紀プログラム	9	8	4	0	0	0	21
合計	494	818	826	254	98	18	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	19.5%	40.2%	32.2%	6.3%	1.7%	0.0%	100.0%
法学部	25.5%	37.2%	26.1%	9.0%	2.1%	0.0%	100.0%
経済学部	18.9%	27.7%	35.3%	12.9%	4.8%	0.4%	100.0%
理学部	23.3%	31.9%	31.5%	8.9%	3.1%	1.2%	100.0%
医学部	11.3%	33.9%	35.5%	12.5%	6.0%	0.8%	100.0%
歯学部	14.6%	20.2%	38.2%	18.0%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	31.4%	34.3%	17.1%	14.3%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	18.1%	32.7%	33.6%	10.0%	4.7%	0.9%	100.0%
芸術工学部	27.1%	23.3%	35.3%	10.5%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	21.1%	37.2%	33.0%	6.9%	0.5%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	38.1%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	19.7%	32.6%	32.9%	10.1%	3.9%	0.7%	100.0%



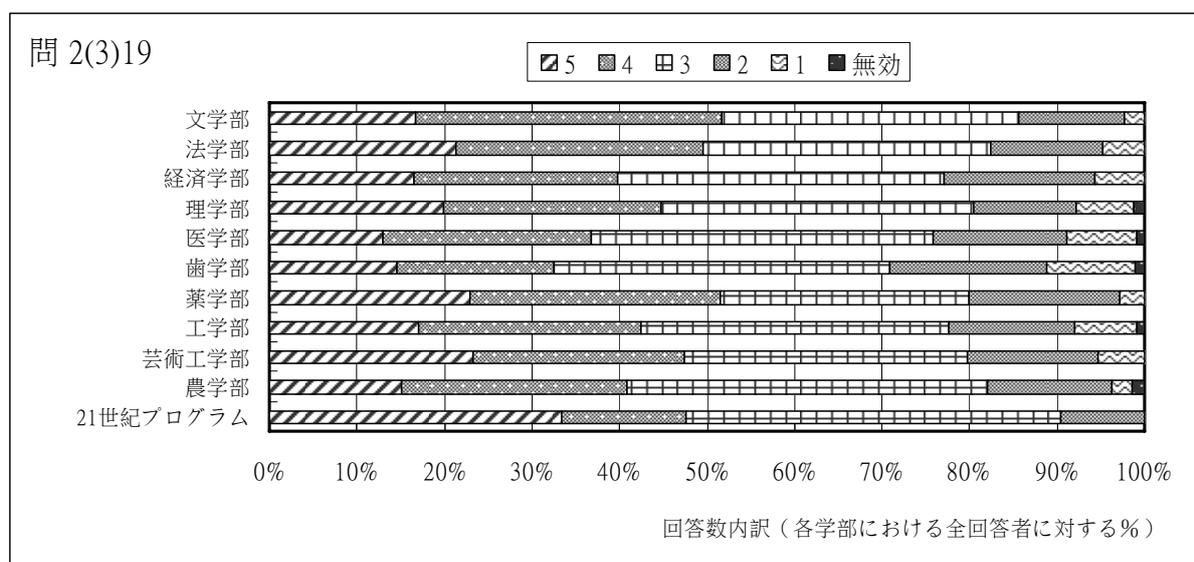
大学における外国語教育ニーズ分析

19. 説得・交渉をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 19	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	29	61	59	21	4	0	174
法学部	40	53	62	24	9	0	188
経済学部	41	58	93	43	14	0	249
理学部	51	64	92	30	17	3	257
医学部	32	59	97	38	20	2	248
歯学部	13	16	34	16	9	1	89
薬学部	8	10	10	6	1	0	35
工学部	153	228	314	130	63	8	896
芸術工学部	31	32	43	20	7	0	133
農学部	33	56	90	31	5	3	218
21世紀プログラム	7	3	9	2	0	0	21
合計	438	640	903	361	149	17	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	16.7%	35.1%	33.9%	12.1%	2.3%	0.0%	100.0%
法学部	21.3%	28.2%	33.0%	12.8%	4.8%	0.0%	100.0%
経済学部	16.5%	23.3%	37.3%	17.3%	5.6%	0.0%	100.0%
理学部	19.8%	24.9%	35.8%	11.7%	6.6%	1.2%	100.0%
医学部	12.9%	23.8%	39.1%	15.3%	8.1%	0.8%	100.0%
歯学部	14.6%	18.0%	38.2%	18.0%	10.1%	1.1%	100.0%
薬学部	22.9%	28.6%	28.6%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	17.1%	25.4%	35.0%	14.5%	7.0%	0.9%	100.0%
芸術工学部	23.3%	24.1%	32.3%	15.0%	5.3%	0.0%	100.0%
農学部	15.1%	25.7%	41.3%	14.2%	2.3%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	14.3%	42.9%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	17.5%	25.5%	36.0%	14.4%	5.9%	0.7%	100.0%



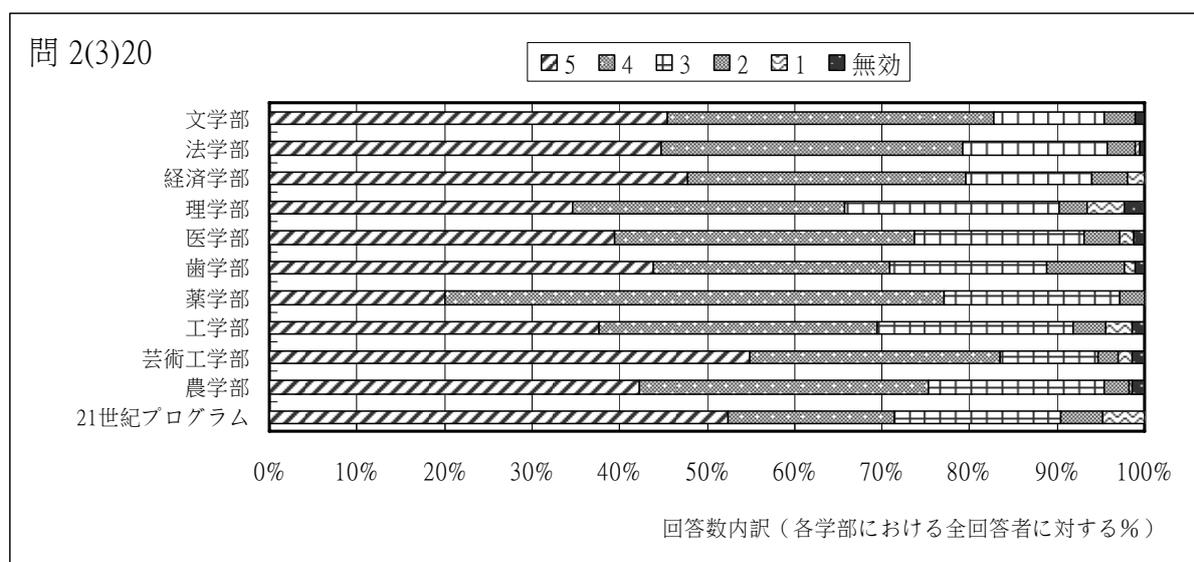
大学における外国語教育ニーズ分析

20. 日常会話をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (3) 20	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	79	65	22	6	0	2	174
法学部	84	65	31	6	1	1	188
経済学部	119	79	36	10	5	0	249
理学部	89	80	63	8	11	6	257
医学部	98	85	48	10	4	3	248
歯学部	39	24	16	8	1	1	89
薬学部	7	20	7	1	0	0	35
工学部	338	285	199	34	27	13	896
芸術工学部	73	38	15	3	2	2	133
農学部	92	72	44	6	1	3	218
21世紀プログラム	11	4	4	1	1	0	21
合計	1029	817	485	93	53	31	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	45.4%	37.4%	12.6%	3.4%	0.0%	1.1%	100.0%
法学部	44.7%	34.6%	16.5%	3.2%	0.5%	0.5%	100.0%
経済学部	47.8%	31.7%	14.5%	4.0%	2.0%	0.0%	100.0%
理学部	34.6%	31.1%	24.5%	3.1%	4.3%	2.3%	100.0%
医学部	39.5%	34.3%	19.4%	4.0%	1.6%	1.2%	100.0%
歯学部	43.8%	27.0%	18.0%	9.0%	1.1%	1.1%	100.0%
薬学部	20.0%	57.1%	20.0%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	37.7%	31.8%	22.2%	3.8%	3.0%	1.5%	100.0%
芸術工学部	54.9%	28.6%	11.3%	2.3%	1.5%	1.5%	100.0%
農学部	42.2%	33.0%	20.2%	2.8%	0.5%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	52.4%	19.0%	19.0%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	41.0%	32.6%	19.3%	3.7%	2.1%	1.2%	100.0%



21. その他英語科目の授業内容で必要だと思われるものがあれば以下に具体的に書いてください。

- ・ 留学生と交流 (1)
- ・ 多文化交流 (1)
- ・ リスニングで耳からきたえる (1)
- ・ 読む訓練 (1)
- ・ もっとフリーな会話 (1)
- ・ ぼったくりのような学費に見合うそれ相応の授業 (特に詐欺のような日本人の行うもの) (1)
- ・ 話さないと能力は高くないと思います (1)
- ・ 発音型の英語理解もちろん必要だが、それを支える文法理論にも重点をおいてほしい (1)
- ・ ネイティブスピーカの会話を聞き取るなど、実用的なもの (1)
- ・ 何より、英語で自分を表現する習慣を身につけさせてほしい (1)
- ・ とにかく日常会話が完璧にできなければ、文化理解や討論ができるはずがない (1)
- ・ 単語の小テスト。実質的に最も結果を生みそう。自主性じゃない (1)
- ・ 対話をすることが必ず必要 (1)
- ・ 睡眠学習 (1)
- ・ 週二回の授業のうち片方を日常会話 (話し言葉) 的内容、もう片方を論文、エッセイ、小説 (書き言葉) 的内容にすべきだと思う (1)
- ・ 就職試験対策 (1)
- ・ 自分で難易度や、どのような場面で使う英語を習うのか、などを選ぶことができれば生徒の姿勢も変わってくるのではないかと (1)
- ・ 事情があって1、2分遅れて授業を受けられなかった (田中とかいう先生だった) (1)
- ・ 結局高校と似たようなことやるな (1)
- ・ 継続できること (1)
- ・ ネイティブの人が授業してほしい (1)
- ・ native speaker との交流 (1)
- ・ 日本人のことも嫌いじゃないネイティブの先生と生徒のやる気 (1)
- ・ 実際の外国人教師との英会話 (1)
- ・ 金髪美人教師の配備 (1)
- ・ 格闘技をする (1)
- ・ 学生にもっと、YES, NOなどの短文だけでなく、しっかりとした文章を英語で答えさせるべき (1)
- ・ 科学技術英語についての科目がほしい (1)
- ・ 英文のロジック取得 (1)
- ・ 英語を口に出す授業・内容が少なすぎる。もっと増やすべき (1)
- ・ 英語を嫌いにならない授業 (1)
- ・ 英語を聞いて理解すること (1)
- ・ 英語のみで行う授業 (ネイティブによる) (3)
- ・ 英語で笑える話を作る (アメリカンジョークや、英語でコント等) (1)
- ・ 英語で物事を考える能力 (1)
- ・ 英語字幕で外国映画を観る。(日本映画でも可) (2)
- ・ 親しみやすい音楽を聞き、詞を聞きとる (1)
- ・ 英語教師の人間性 (1)
- ・ TOEIC、TOIFL等の授業を必修にすべきと思う (1)
- ・ TOEICをもっと受けるようにすすめる (1)
- ・ TOEIC対策をメインでやればやる気が出て英語を好きになったり授業に対する期待も増えるかもしれない (1)
- ・ TOEIC対策。これこそが客観的に見て一番効果がある (1)
- ・ TOEIC (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

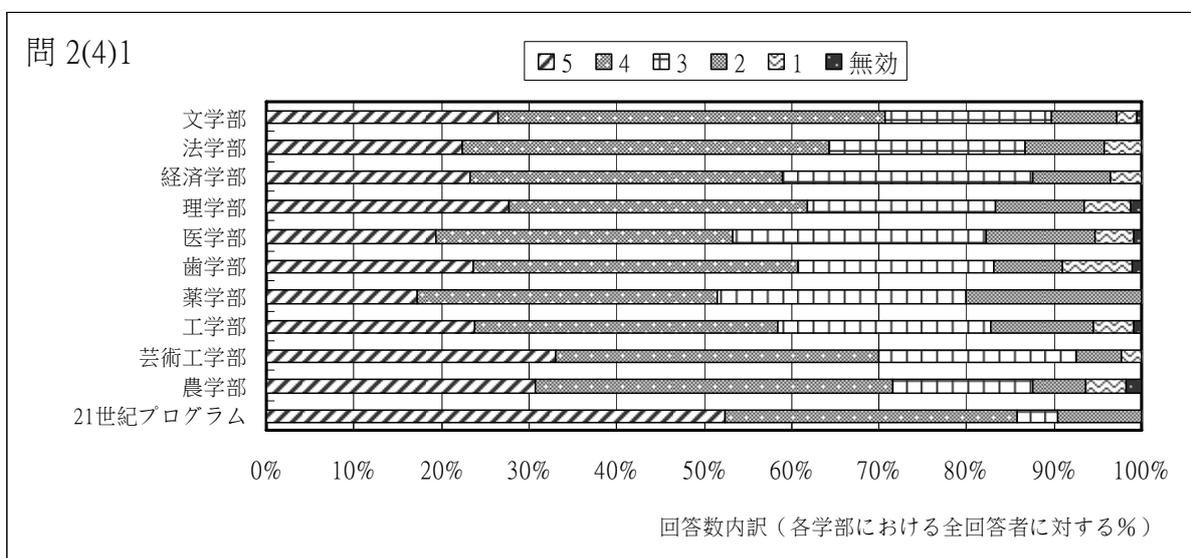
(4) 言語文化科目Ⅰ(六本松地区で開講の必修外国語科目)の英語科目の授業方法などについて、5段階評価(5非常に必要である<——>1全く必要でない)で答えてください。

1. 授業中にできるだけ英語のみを使用する

(5非常に必要である<——>1全く必要でない)

2 (4) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	46	77	33	13	4	1	174
法学部	42	79	42	17	8	0	188
経済学部	58	89	71	22	9	0	249
理学部	71	88	55	26	14	3	257
医学部	48	84	72	31	11	2	248
歯学部	21	33	20	7	7	1	89
薬学部	6	12	10	7	0	0	35
工学部	213	310	218	105	42	8	896
芸術工学部	44	49	30	7	3	0	133
農学部	67	89	35	13	10	4	218
21世紀プログラム	11	7	1	2	0	0	21
合計	627	917	587	250	108	19	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	26.4%	44.3%	19.0%	7.5%	2.3%	0.6%	100.0%
法学部	22.3%	42.0%	22.3%	9.0%	4.3%	0.0%	100.0%
経済学部	23.3%	35.7%	28.5%	8.8%	3.6%	0.0%	100.0%
理学部	27.6%	34.2%	21.4%	10.1%	5.4%	1.2%	100.0%
医学部	19.4%	33.9%	29.0%	12.5%	4.4%	0.8%	100.0%
歯学部	23.6%	37.1%	22.5%	7.9%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	17.1%	34.3%	28.6%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	23.8%	34.6%	24.3%	11.7%	4.7%	0.9%	100.0%
芸術工学部	33.1%	36.8%	22.6%	5.3%	2.3%	0.0%	100.0%
農学部	30.7%	40.8%	16.1%	6.0%	4.6%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	52.4%	33.3%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	25.0%	36.6%	23.4%	10.0%	4.3%	0.8%	100.0%



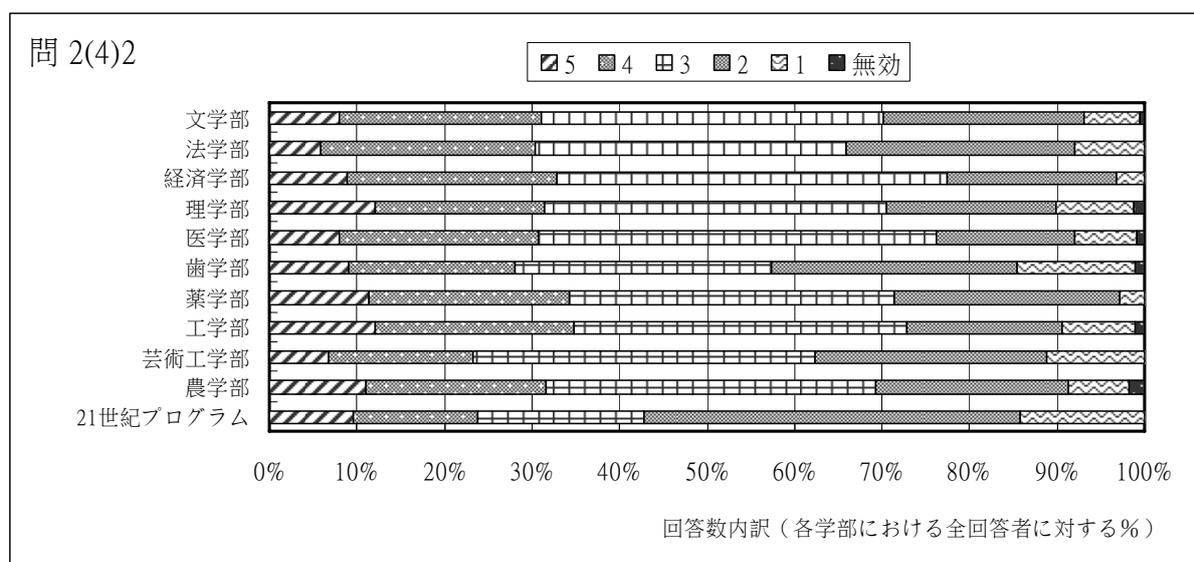
大学における外国語教育ニーズ分析

2. 授業中にできるだけ日本語でわかりやすく説明をする

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14	40	68	40	11	1	174
法学部	11	46	67	49	15	0	188
経済学部	22	60	111	48	8	0	249
理学部	31	50	100	50	23	3	257
医学部	20	56	113	39	18	2	248
歯学部	8	17	26	25	12	1	89
薬学部	4	8	13	9	1	0	35
工学部	109	203	340	159	76	9	896
芸術工学部	9	22	52	35	15	0	133
農学部	24	45	82	48	15	4	218
21世紀プログラム	2	3	4	9	3	0	21
合計	254	550	976	511	197	20	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	8.0%	23.0%	39.1%	23.0%	6.3%	0.6%	100.0%
法学部	5.9%	24.5%	35.6%	26.1%	8.0%	0.0%	100.0%
経済学部	8.8%	24.1%	44.6%	19.3%	3.2%	0.0%	100.0%
理学部	12.1%	19.5%	38.9%	19.5%	8.9%	1.2%	100.0%
医学部	8.1%	22.6%	45.6%	15.7%	7.3%	0.8%	100.0%
歯学部	9.0%	19.1%	29.2%	28.1%	13.5%	1.1%	100.0%
薬学部	11.4%	22.9%	37.1%	25.7%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	12.2%	22.7%	37.9%	17.7%	8.5%	1.0%	100.0%
芸術工学部	6.8%	16.5%	39.1%	26.3%	11.3%	0.0%	100.0%
農学部	11.0%	20.6%	37.6%	22.0%	6.9%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	14.3%	19.0%	42.9%	14.3%	0.0%	100.0%
合計	10.1%	21.9%	38.9%	20.4%	7.9%	0.8%	100.0%



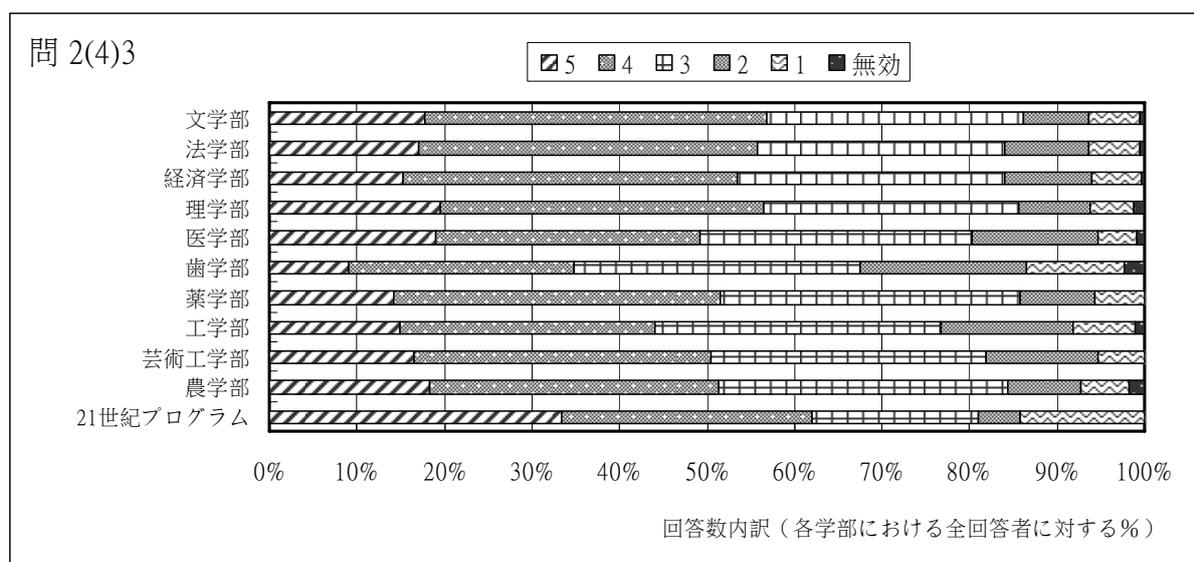
大学における外国語教育ニーズ分析

3. 小グループやペアでの練習

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	31	68	51	13	10	1	174
法学部	32	73	53	18	11	1	188
経済学部	38	95	76	25	14	1	249
理学部	50	95	75	21	13	3	257
医学部	47	75	77	36	11	2	248
歯学部	8	23	29	17	10	2	89
薬学部	5	13	12	3	2	0	35
工学部	133	261	293	136	64	9	896
芸術工学部	22	45	42	17	7	0	133
農学部	40	72	72	18	12	4	218
21世紀プログラム	7	6	4	1	3	0	21
合計	413	826	784	305	157	23	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	17.8%	39.1%	29.3%	7.5%	5.7%	0.6%	100.0%
法学部	17.0%	38.8%	28.2%	9.6%	5.9%	0.5%	100.0%
経済学部	15.3%	38.2%	30.5%	10.0%	5.6%	0.4%	100.0%
理学部	19.5%	37.0%	29.2%	8.2%	5.1%	1.2%	100.0%
医学部	19.0%	30.2%	31.0%	14.5%	4.4%	0.8%	100.0%
歯学部	9.0%	25.8%	32.6%	19.1%	11.2%	2.2%	100.0%
薬学部	14.3%	37.1%	34.3%	8.6%	5.7%	0.0%	100.0%
工学部	14.8%	29.1%	32.7%	15.2%	7.1%	1.0%	100.0%
芸術工学部	16.5%	33.8%	31.6%	12.8%	5.3%	0.0%	100.0%
農学部	18.3%	33.0%	33.0%	8.3%	5.5%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	28.6%	19.0%	4.8%	14.3%	0.0%	100.0%
合計	16.5%	32.9%	31.3%	12.2%	6.3%	0.9%	100.0%



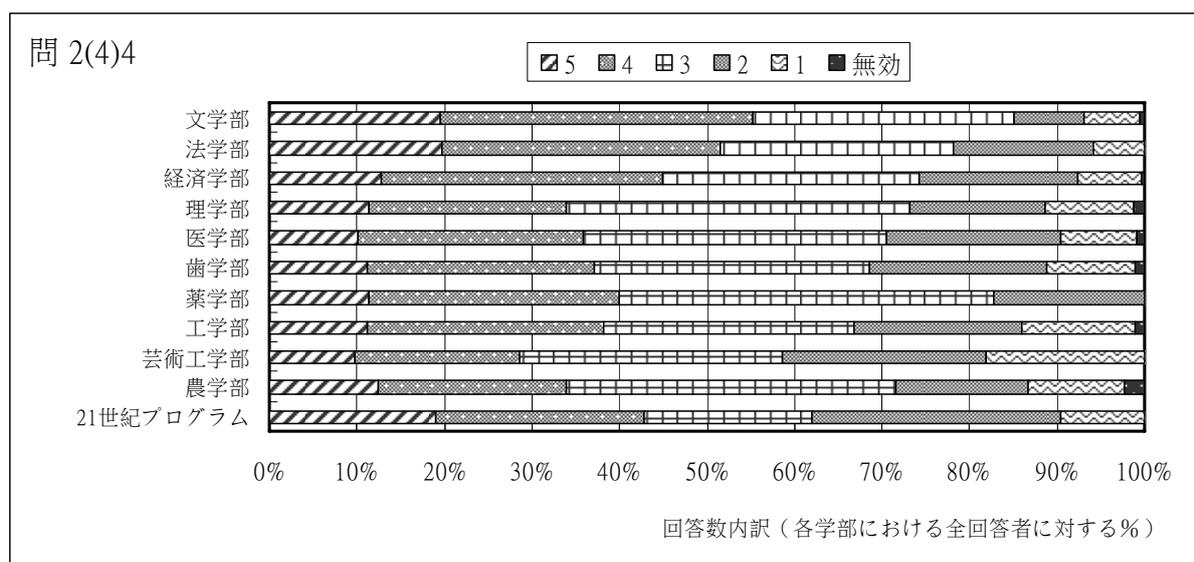
大学における外国語教育ニーズ分析

4. LL、CALL（コンピューターを使った語学学習）など機器を利用した教育

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	34	62	52	14	11	1	174
法学部	37	60	50	30	11	0	188
経済学部	32	80	73	45	18	1	249
理学部	29	58	101	40	26	3	257
医学部	25	64	86	49	22	2	248
歯学部	10	23	28	18	9	1	89
薬学部	4	10	15	6	0	0	35
工学部	101	241	256	172	116	10	896
芸術工学部	13	25	40	31	24	0	133
農学部	27	47	82	33	24	5	218
21世紀プログラム	4	5	4	6	2	0	21
合計	316	675	787	444	263	23	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	19.5%	35.6%	29.9%	8.0%	6.3%	0.6%	100.0%
法学部	19.7%	31.9%	26.6%	16.0%	5.9%	0.0%	100.0%
経済学部	12.9%	32.1%	29.3%	18.1%	7.2%	0.4%	100.0%
理学部	11.3%	22.6%	39.3%	15.6%	10.1%	1.2%	100.0%
医学部	10.1%	25.8%	34.7%	19.8%	8.9%	0.8%	100.0%
歯学部	11.2%	25.8%	31.5%	20.2%	10.1%	1.1%	100.0%
薬学部	11.4%	28.6%	42.9%	17.1%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	11.3%	26.9%	28.6%	19.2%	12.9%	1.1%	100.0%
芸術工学部	9.8%	18.8%	30.1%	23.3%	18.0%	0.0%	100.0%
農学部	12.4%	21.6%	37.6%	15.1%	11.0%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	23.8%	19.0%	28.6%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	12.6%	26.9%	31.4%	17.7%	10.5%	0.9%	100.0%



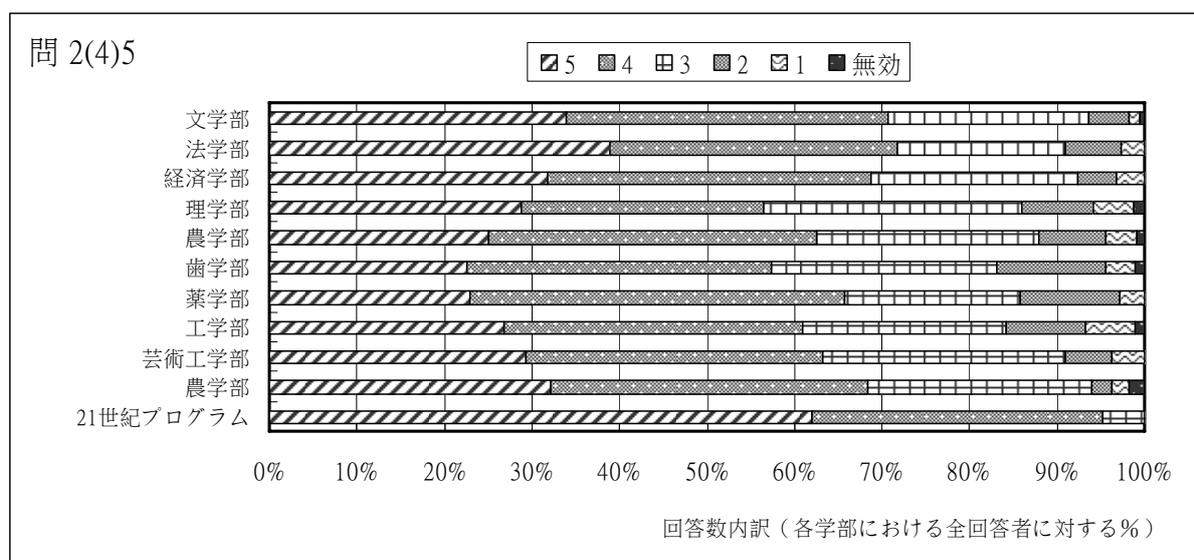
大学における外国語教育ニーズ分析

5. 20人以下の少人数クラスでの指導

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	59	64	40	8	2	1	174
法学部	73	62	36	12	5	0	188
経済学部	79	92	59	11	8	0	249
理学部	74	71	76	21	12	3	257
医学部	62	93	63	19	9	2	248
歯学部	20	31	23	11	3	1	89
薬学部	8	15	7	4	1	0	35
工学部	241	305	208	82	50	10	896
芸術工学部	39	45	37	7	5	0	133
農学部	70	79	56	5	4	4	218
21世紀プログラム	13	7	1	0	0	0	21
合計	738	864	606	180	99	21	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	33.9%	36.8%	23.0%	4.6%	1.1%	0.6%	100.0%
法学部	38.8%	33.0%	19.1%	6.4%	2.7%	0.0%	100.0%
経済学部	31.7%	36.9%	23.7%	4.4%	3.2%	0.0%	100.0%
理学部	28.8%	27.6%	29.6%	8.2%	4.7%	1.2%	100.0%
医学部	25.0%	37.5%	25.4%	7.7%	3.6%	0.8%	100.0%
歯学部	22.5%	34.8%	25.8%	12.4%	3.4%	1.1%	100.0%
薬学部	22.9%	42.9%	20.0%	11.4%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	26.9%	34.0%	23.2%	9.2%	5.6%	1.1%	100.0%
芸術工学部	29.3%	33.8%	27.8%	5.3%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	32.1%	36.2%	25.7%	2.3%	1.8%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	29.4%	34.4%	24.2%	7.2%	3.9%	0.8%	100.0%

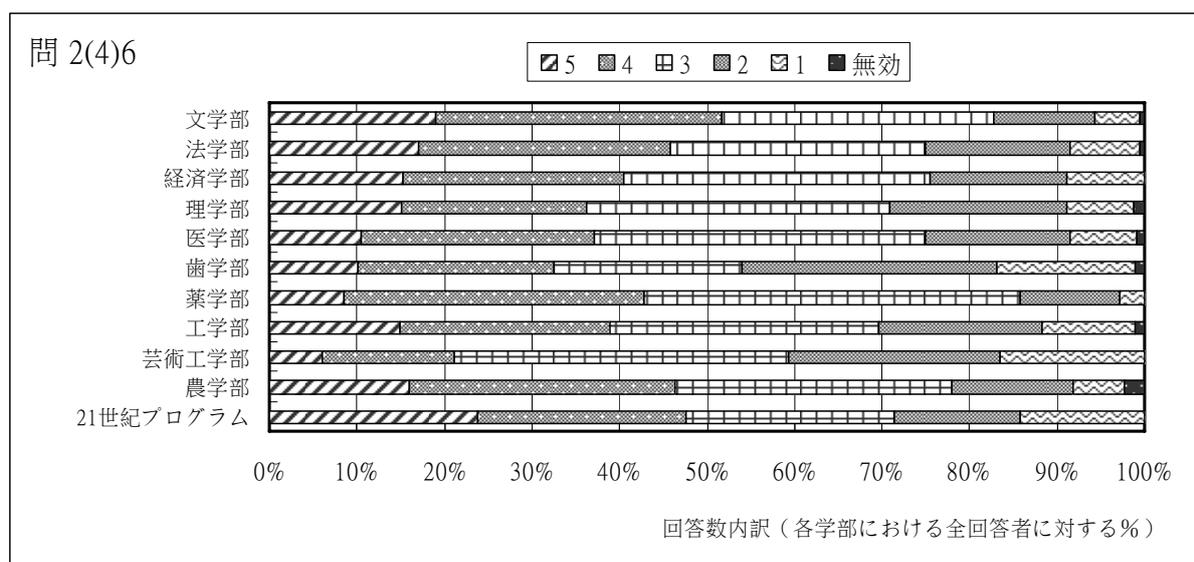


大学における外国語教育ニーズ分析

6. TA（大学院生のティーチング・アシスタント）を活用して反復練習などをさせる
 (5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	33	57	54	20	9	1	174
法学部	32	54	55	31	15	1	188
経済学部	38	63	87	39	22	0	249
理学部	39	54	89	52	20	3	257
医学部	26	66	94	41	19	2	248
歯学部	9	20	19	26	14	1	89
薬学部	3	12	15	4	1	0	35
工学部	133	215	276	167	95	10	896
芸術工学部	8	20	51	32	22	0	133
農学部	35	66	69	30	13	5	218
21世紀プログラム	5	5	5	3	3	0	21
合計	361	632	814	445	233	23	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	19.0%	32.8%	31.0%	11.5%	5.2%	0.6%	100.0%
法学部	17.0%	28.7%	29.3%	16.5%	8.0%	0.5%	100.0%
経済学部	15.3%	25.3%	34.9%	15.7%	8.8%	0.0%	100.0%
理学部	15.2%	21.0%	34.6%	20.2%	7.8%	1.2%	100.0%
医学部	10.5%	26.6%	37.9%	16.5%	7.7%	0.8%	100.0%
歯学部	10.1%	22.5%	21.3%	29.2%	15.7%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	34.3%	42.9%	11.4%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	14.8%	24.0%	30.8%	18.6%	10.6%	1.1%	100.0%
芸術工学部	6.0%	15.0%	38.3%	24.1%	16.5%	0.0%	100.0%
農学部	16.1%	30.3%	31.7%	13.8%	6.0%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	23.8%	23.8%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
合計	14.4%	25.2%	32.5%	17.7%	9.3%	0.9%	100.0%



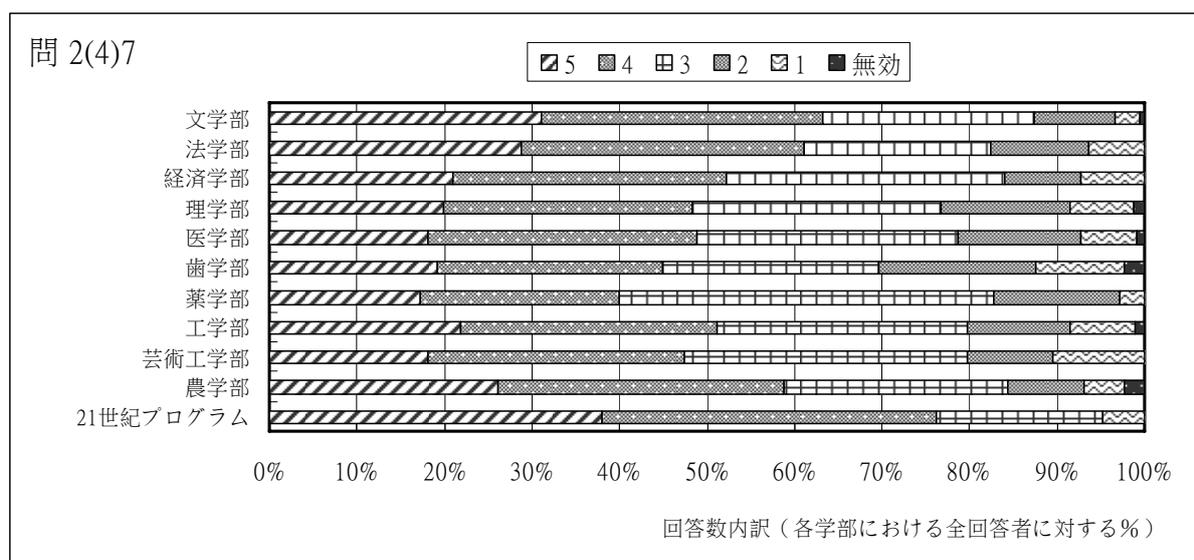
大学における外国語教育ニーズ分析

7. 留学生をTAとして活用する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 7	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	54	56	42	16	5	1	174
法学部	54	61	40	21	12	0	188
経済学部	52	78	79	22	18	0	249
理学部	51	73	73	38	19	3	257
医学部	45	76	74	35	16	2	248
歯学部	17	23	22	16	9	2	89
薬学部	6	8	15	5	1	0	35
工学部	195	264	255	106	67	9	896
芸術工学部	24	39	43	13	14	0	133
農学部	57	71	56	19	10	5	218
21世紀プログラム	8	8	4	0	1	0	21
合計	563	757	703	291	172	22	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	31.0%	32.2%	24.1%	9.2%	2.9%	0.6%	100.0%
法学部	28.7%	32.4%	21.3%	11.2%	6.4%	0.0%	100.0%
経済学部	20.9%	31.3%	31.7%	8.8%	7.2%	0.0%	100.0%
理学部	19.8%	28.4%	28.4%	14.8%	7.4%	1.2%	100.0%
医学部	18.1%	30.6%	29.8%	14.1%	6.5%	0.8%	100.0%
歯学部	19.1%	25.8%	24.7%	18.0%	10.1%	2.2%	100.0%
薬学部	17.1%	22.9%	42.9%	14.3%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	21.8%	29.5%	28.5%	11.8%	7.5%	1.0%	100.0%
芸術工学部	18.0%	29.3%	32.3%	9.8%	10.5%	0.0%	100.0%
農学部	26.1%	32.6%	25.7%	8.7%	4.6%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	38.1%	38.1%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	22.4%	30.2%	28.0%	11.6%	6.9%	0.9%	100.0%



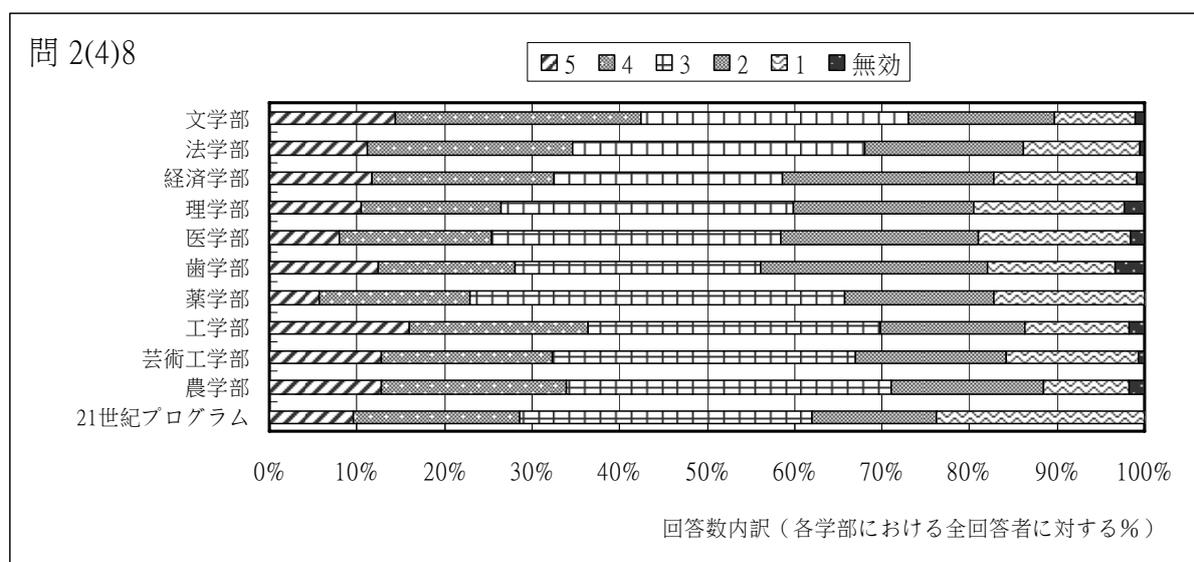
大学における外国語教育ニーズ分析

8. 週当たりの総時間数を多くする（例えば、英語週2コマを週4コマに）

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 8	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	25	49	53	29	16	2	174
法学部	21	44	63	34	25	1	188
経済学部	29	52	65	60	41	2	249
理学部	27	41	86	53	44	6	257
医学部	20	43	82	56	43	4	248
歯学部	11	14	25	23	13	3	89
薬学部	2	6	15	6	6	0	35
工学部	144	182	300	147	107	16	896
芸術工学部	17	26	46	23	20	1	133
農学部	28	46	81	38	21	4	218
21世紀プログラム	2	4	7	3	5	0	21
合計	326	507	823	472	341	39	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14.4%	28.2%	30.5%	16.7%	9.2%	1.1%	100.0%
法学部	11.2%	23.4%	33.5%	18.1%	13.3%	0.5%	100.0%
経済学部	11.6%	20.9%	26.1%	24.1%	16.5%	0.8%	100.0%
理学部	10.5%	16.0%	33.5%	20.6%	17.1%	2.3%	100.0%
医学部	8.1%	17.3%	33.1%	22.6%	17.3%	1.6%	100.0%
歯学部	12.4%	15.7%	28.1%	25.8%	14.6%	3.4%	100.0%
薬学部	5.7%	17.1%	42.9%	17.1%	17.1%	0.0%	100.0%
工学部	16.1%	20.3%	33.5%	16.4%	11.9%	1.8%	100.0%
芸術工学部	12.8%	19.5%	34.6%	17.3%	15.0%	0.8%	100.0%
農学部	12.8%	21.1%	37.2%	17.4%	9.6%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	19.0%	33.3%	14.3%	23.8%	0.0%	100.0%
合計	13.0%	20.2%	32.8%	18.8%	13.6%	1.6%	100.0%

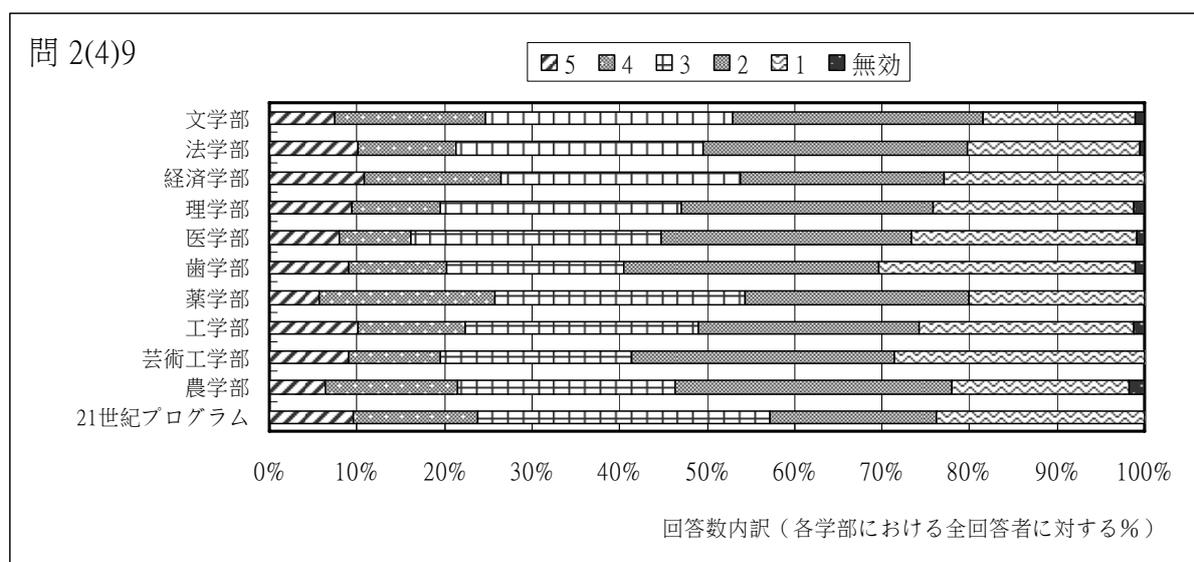


大学における外国語教育ニーズ分析

9. 短期間に集中的な授業形態を採用する(例えば、夏休みに1日90分3コマを5日間行なう等)
(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 9	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	13	30	49	50	30	2	174
法学部	19	21	53	57	37	1	188
経済学部	27	39	68	58	57	0	249
理学部	24	26	71	74	59	3	257
医学部	20	20	71	71	64	2	248
歯学部	8	10	18	26	26	1	89
薬学部	2	7	10	9	7	0	35
工学部	91	110	239	225	220	11	896
芸術工学部	12	14	29	40	38	0	133
農学部	14	33	54	69	44	4	218
21世紀プログラム	2	3	7	4	5	0	21
合計	232	313	669	683	587	24	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	7.5%	17.2%	28.2%	28.7%	17.2%	1.1%	100.0%
法学部	10.1%	11.2%	28.2%	30.3%	19.7%	0.5%	100.0%
経済学部	10.8%	15.7%	27.3%	23.3%	22.9%	0.0%	100.0%
理学部	9.3%	10.1%	27.6%	28.8%	23.0%	1.2%	100.0%
医学部	8.1%	8.1%	28.6%	28.6%	25.8%	0.8%	100.0%
歯学部	9.0%	11.2%	20.2%	29.2%	29.2%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	20.0%	28.6%	25.7%	20.0%	0.0%	100.0%
工学部	10.2%	12.3%	26.7%	25.1%	24.6%	1.2%	100.0%
芸術工学部	9.0%	10.5%	21.8%	30.1%	28.6%	0.0%	100.0%
農学部	6.4%	15.1%	24.8%	31.7%	20.2%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	14.3%	33.3%	19.0%	23.8%	0.0%	100.0%
合計	9.3%	12.5%	26.7%	27.2%	23.4%	1.0%	100.0%



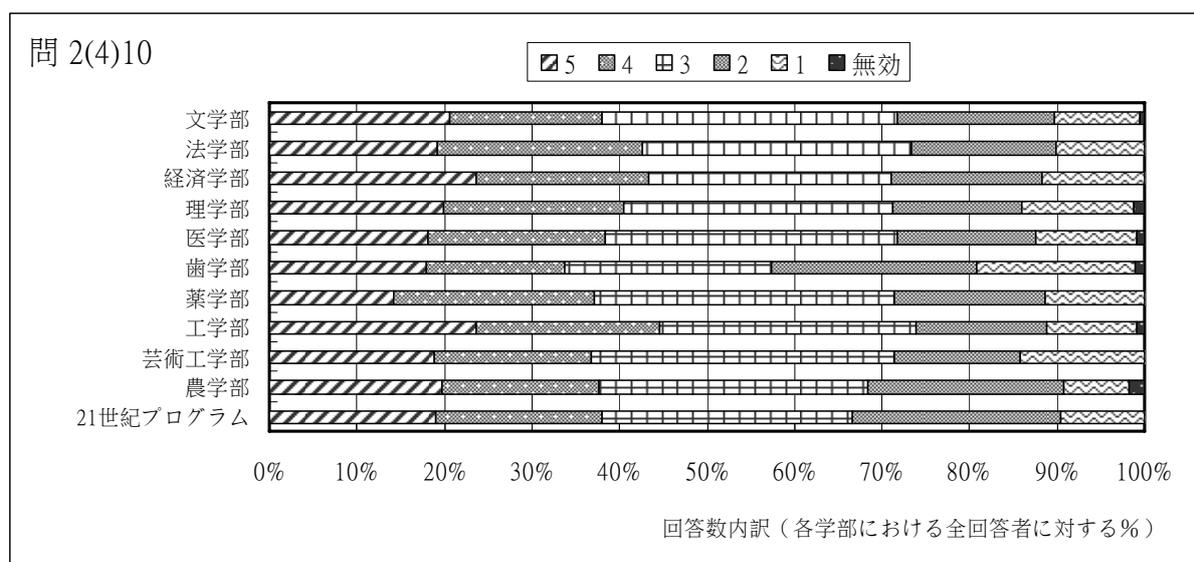
大学における外国語教育ニーズ分析

10. 英語の必修単位は2年間ではなく卒業までに取得させる

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 10	5	4	3	2	1	0	合計
医学部	36	30	59	31	17	1	174
法学部	36	44	58	31	19	0	188
経済学部	59	49	69	43	29	0	249
理学部	51	53	79	38	33	3	257
医学部	45	50	83	39	29	2	248
歯学部	16	14	21	21	16	1	89
薬学部	5	8	12	6	4	0	35
工学部	211	188	263	133	93	8	896
芸術工学部	25	24	46	19	19	0	133
農学部	43	39	67	49	16	4	218
21世紀プログラム	4	4	6	5	2	0	21
合計	531	503	763	415	277	19	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	17.2%	33.9%	17.8%	9.8%	0.6%	100.0%
法学部	19.1%	23.4%	30.9%	16.5%	10.1%	0.0%	100.0%
経済学部	23.7%	19.7%	27.7%	17.3%	11.6%	0.0%	100.0%
理学部	19.8%	20.6%	30.7%	14.8%	12.8%	1.2%	100.0%
医学部	18.1%	20.2%	33.5%	15.7%	11.7%	0.8%	100.0%
歯学部	18.0%	15.7%	23.6%	23.6%	18.0%	1.1%	100.0%
薬学部	14.3%	22.9%	34.3%	17.1%	11.4%	0.0%	100.0%
工学部	23.5%	21.0%	29.4%	14.8%	10.4%	0.9%	100.0%
芸術工学部	18.8%	18.0%	34.6%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
農学部	19.7%	17.9%	30.7%	22.5%	7.3%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	19.0%	28.6%	23.8%	9.5%	0.0%	100.0%
合計	21.2%	20.1%	30.4%	16.5%	11.0%	0.8%	100.0%



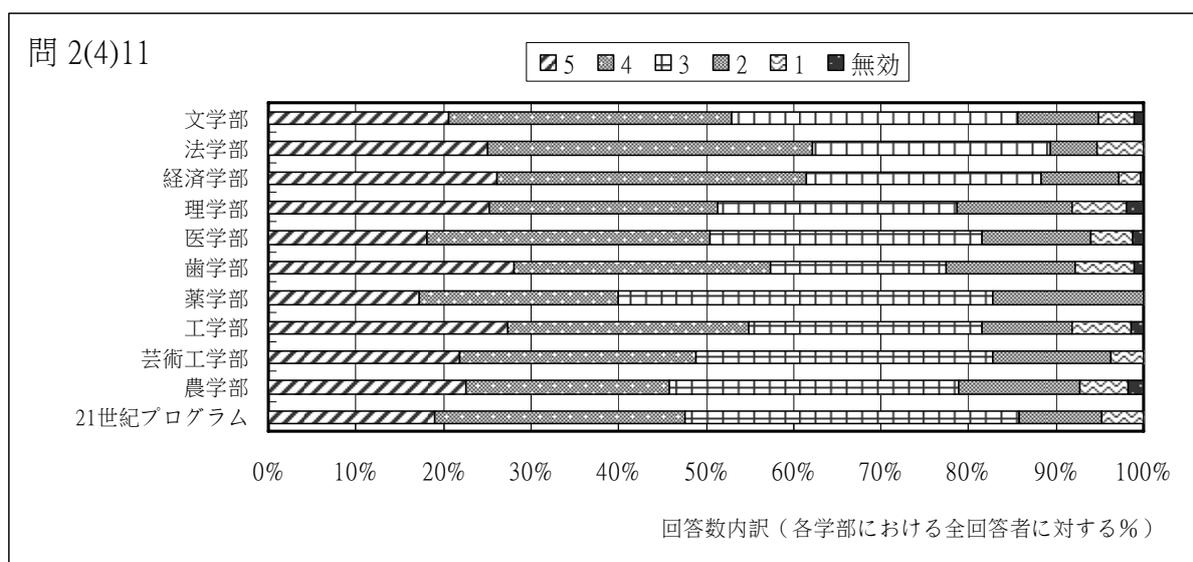
大学における外国語教育ニーズ分析

11. 指定された自習教材による学習成果を単位として認める

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 11	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36	56	57	16	7	2	174
法学部	47	70	51	10	10	0	188
経済学部	65	88	67	22	6	1	249
理学部	65	67	70	34	16	5	257
医学部	45	80	77	31	12	3	248
歯学部	25	26	18	13	6	1	89
薬学部	6	8	15	6	0	0	35
工学部	245	247	238	93	60	13	896
芸術工学部	29	36	45	18	5	0	133
農学部	49	51	72	30	12	4	218
21世紀プログラム	4	6	8	2	1	0	21
合計	616	735	718	275	135	29	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	32.2%	32.8%	9.2%	4.0%	1.1%	100.0%
法学部	25.0%	37.2%	27.1%	5.3%	5.3%	0.0%	100.0%
経済学部	26.1%	35.3%	26.9%	8.8%	2.4%	0.4%	100.0%
理学部	25.3%	26.1%	27.2%	13.2%	6.2%	1.9%	100.0%
医学部	18.1%	32.3%	31.0%	12.5%	4.8%	1.2%	100.0%
歯学部	28.1%	29.2%	20.2%	14.6%	6.7%	1.1%	100.0%
薬学部	17.1%	22.9%	42.9%	17.1%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	27.3%	27.6%	26.6%	10.4%	6.7%	1.5%	100.0%
芸術工学部	21.8%	27.1%	33.8%	13.5%	3.8%	0.0%	100.0%
農学部	22.5%	23.4%	33.0%	13.8%	5.5%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	28.6%	38.1%	9.5%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	24.6%	29.3%	28.6%	11.0%	5.4%	1.2%	100.0%



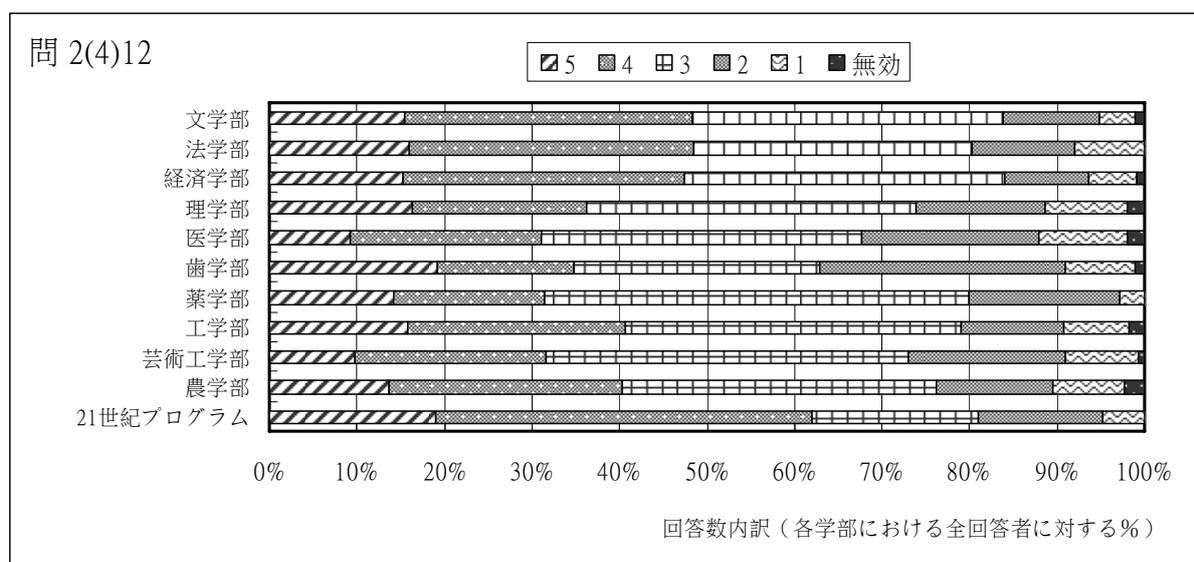
大学における外国語教育ニーズ分析

12. プレースメントテストによる能力別クラスを実施する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 12	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	27	57	62	19	7	2	174
法学部	30	61	60	22	15	0	188
経済学部	38	80	91	24	14	2	249
理学部	42	51	97	38	24	5	257
医学部	23	54	91	50	25	5	248
歯学部	17	14	25	25	7	1	89
薬学部	5	6	17	6	1	0	35
工学部	141	224	343	105	67	16	896
芸術工学部	13	29	55	24	11	1	133
農学部	30	58	78	29	18	5	218
21世紀プログラム	4	9	4	3	1	0	21
合計	370	643	923	345	190	37	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	15.5%	32.8%	35.6%	10.9%	4.0%	1.1%	100.0%
法学部	16.0%	32.4%	31.9%	11.7%	8.0%	0.0%	100.0%
経済学部	15.3%	32.1%	36.5%	9.6%	5.6%	0.8%	100.0%
理学部	16.3%	19.8%	37.7%	14.8%	9.3%	1.9%	100.0%
医学部	9.3%	21.8%	36.7%	20.2%	10.1%	2.0%	100.0%
歯学部	19.1%	15.7%	28.1%	28.1%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	14.3%	17.1%	48.6%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	15.7%	25.0%	38.3%	11.7%	7.5%	1.8%	100.0%
芸術工学部	9.8%	21.8%	41.4%	18.0%	8.3%	0.8%	100.0%
農学部	13.8%	26.6%	35.8%	13.3%	8.3%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	42.9%	19.0%	14.3%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	14.8%	25.6%	36.8%	13.8%	7.6%	1.5%	100.0%



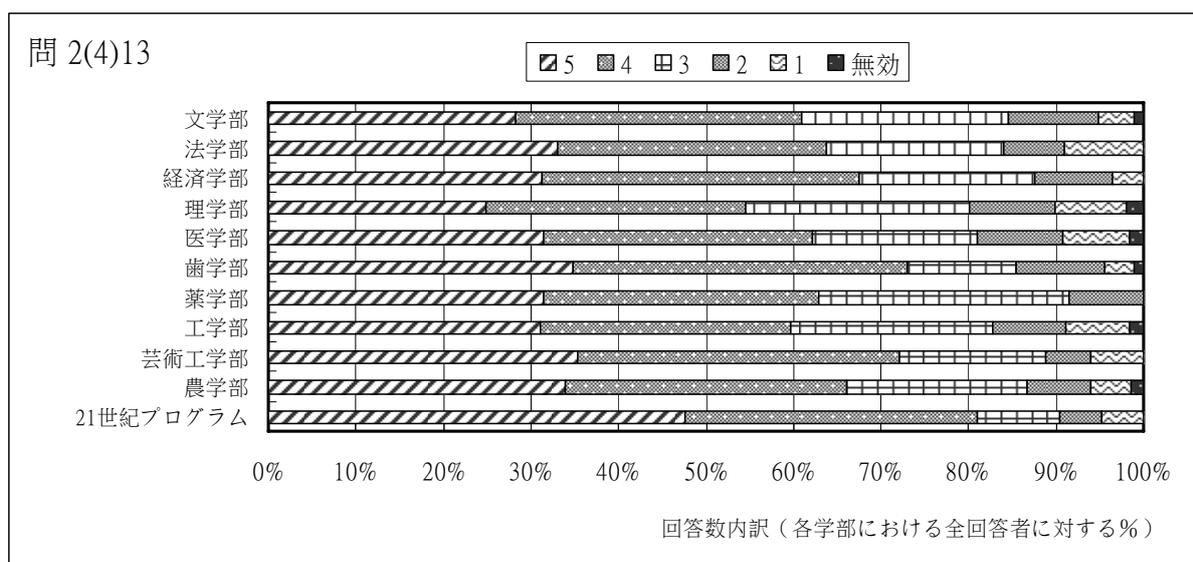
大学における外国語教育ニーズ分析

13. 英語圏への研修旅行などを単位化する

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 13	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	49	57	41	18	7	2	174
法学部	62	58	38	13	17	0	188
経済学部	78	90	50	22	9	0	249
理学部	64	76	66	25	21	5	257
医学部	78	76	47	24	19	4	248
歯学部	31	34	11	9	3	1	89
薬学部	11	11	10	3	0	0	35
工学部	278	257	207	74	66	14	896
芸術工学部	47	49	22	7	8	0	133
農学部	74	70	45	16	10	3	218
21世紀プログラム	10	7	2	1	1	0	21
合計	782	785	539	212	161	29	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	28.2%	32.8%	23.6%	10.3%	4.0%	1.1%	100.0%
法学部	33.0%	30.9%	20.2%	6.9%	9.0%	0.0%	100.0%
経済学部	31.3%	36.1%	20.1%	8.8%	3.6%	0.0%	100.0%
理学部	24.9%	29.6%	25.7%	9.7%	8.2%	1.9%	100.0%
医学部	31.5%	30.6%	19.0%	9.7%	7.7%	1.6%	100.0%
歯学部	34.8%	38.2%	12.4%	10.1%	3.4%	1.1%	100.0%
薬学部	31.4%	31.4%	28.6%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	31.0%	28.7%	23.1%	8.3%	7.4%	1.6%	100.0%
芸術工学部	35.3%	36.8%	16.5%	5.3%	6.0%	0.0%	100.0%
農学部	33.9%	32.1%	20.6%	7.3%	4.6%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	47.6%	33.3%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	31.2%	31.3%	21.5%	8.5%	6.4%	1.2%	100.0%



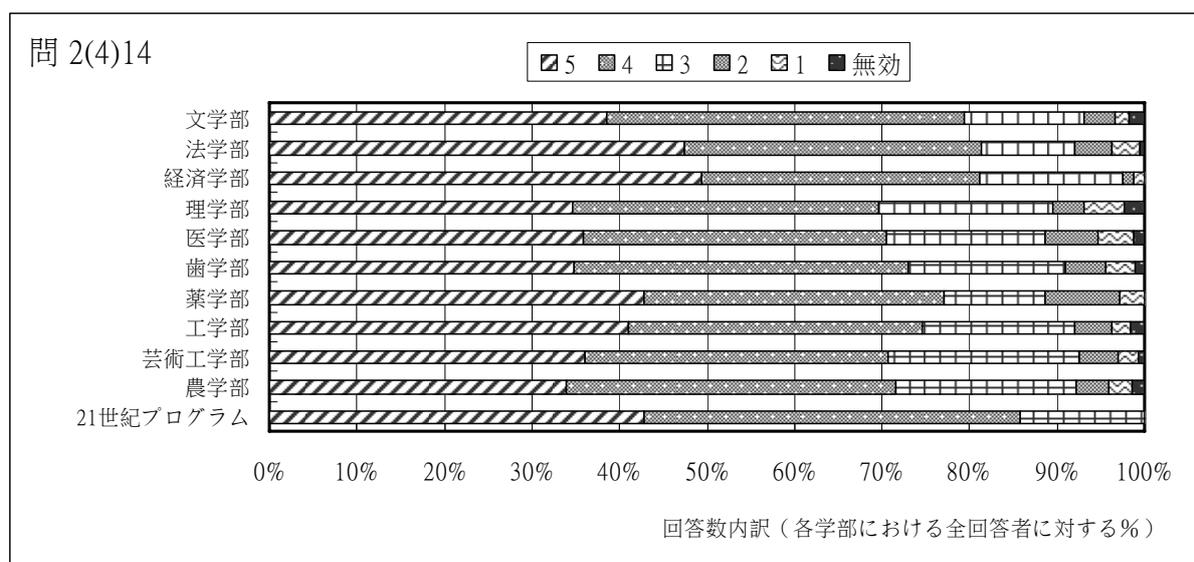
大学における外国語教育ニーズ分析

14. TOEFL/TOEIC など検定試験により一部単位の授与を行う

(5 非常に必要である<——>1 全く必要でない)

2 (4) 14	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	67	71	24	6	3	3	174
法学部	89	64	20	8	6	1	188
経済学部	123	79	41	3	3	0	249
理学部	89	90	51	9	12	6	257
医学部	89	86	45	15	10	3	248
歯学部	31	34	16	4	3	1	89
薬学部	15	12	4	3	1	0	35
工学部	368	301	156	38	19	14	896
芸術工学部	48	46	29	6	3	1	133
農学部	74	82	45	8	6	3	218
21世紀プログラム	9	9	3	0	0	0	21
合計	1002	874	434	100	66	32	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	38.5%	40.8%	13.8%	3.4%	1.7%	1.7%	100.0%
法学部	47.3%	34.0%	10.6%	4.3%	3.2%	0.5%	100.0%
経済学部	49.4%	31.7%	16.5%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%
理学部	34.6%	35.0%	19.8%	3.5%	4.7%	2.3%	100.0%
医学部	35.9%	34.7%	18.1%	6.0%	4.0%	1.2%	100.0%
歯学部	34.8%	38.2%	18.0%	4.5%	3.4%	1.1%	100.0%
薬学部	42.9%	34.3%	11.4%	8.6%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	41.1%	33.6%	17.4%	4.2%	2.1%	1.6%	100.0%
芸術工学部	36.1%	34.6%	21.8%	4.5%	2.3%	0.8%	100.0%
農学部	33.9%	37.6%	20.6%	3.7%	2.8%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	40.0%	34.8%	17.3%	4.0%	2.6%	1.3%	100.0%



15. その他英語科目の授業方法で必要だと思われるものがあれば以下に具体的に書いてください。

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 箱崎で再履ができる環境を作ってほしい (1)
- ・ 週1回の授業では身につかない、同じ教官で、週に複数回の授業が必要 (1)
- ・ 教授ごとに授業レベルがバラバラすぎるので統一してほしい (1)
- ・ 授業が上手い講師を迎える (経験豊富、容量良し、評判高い、等) (1)
- ・ native speaker との交流 (2)
- ・ Japanese teacher Should be thrown away (1)
- ・ やる気のあるネイティブの先生のみで授業する (1)
- ・ ネーティブと多くふれあう。生活に結び付ける授業 (1)
- ・ ネイティブの先生に習うチャンスを少なくとも1回 (1期) は作ってほしい (1)
- ・ 日本英語の発音ではなく、ネイティブの発音を聞かせるべきだ。何故ここに「ネガティブと話す」項目がないのか理解できない (1)
- ・ 日本人同士でも、英語でコミュニケーションさせるべき!! (1)
- ・ 外国人と個々で話すか、小人数で話す機会をつくる (1)
- ・ 少人数(4~5人)の英会話クラス (2)
- ・ 上記の項目も、具体的な学習方法によって必要度は全然違うと思う。例えば、2、3人のグループで、全て英語でやり取りしても日本人英語を使うもの同士では英会話の練習にならないと思う (1)
- ・ 留学 (1)
- ・ 読む絶対量を多くしてほしい (1)
- ・ 難しい長文読解(専門分野やニュースなど、色々) (1)
- ・ 世の中、生徒のニーズとの合致 (1)
- ・ 幼稚園児 (英語幼稚園) と会話して、自分のレベルの低さを実感する (1)
- ・ ポルノをよむ (1)
- ・ 発音練習 (1)
- ・ 独語の田中俊明教授みたいに厳しい授業法 (1)
- ・ 単位や授業は極力日本語で。トラブルの元になる (1)
- ・ 単位とは関係なく日常英会話を練習し、留学へとつなげる講座がほしい (1)
- ・ 第2外国語をなくして英語の授業にする (1)
- ・ 卒業時までの英語授業の継続 (1)
- ・ 総時間数はそのまま、コマ数を多くする。短時間の授業をたくさんする (1)
- ・ ゼミ英語 (1)
- ・ ずっと英語の授業があるのはいやだが身につくためには長い間やらせる必要があると思う (1)
- ・ 小テスト(イディオムや単語) (1)
- ・ 英語は4年生まで必修にした方が良いと思う (4)
- ・ 語彙の語源を教える授業を選択で良いので作るべき (1)
- ・ クォーター制はスピードについていけない人といけな人の落差が激しいので導入すべきでない (1)
- ・ 外国人講師を増やす。楽しみながら勉強することの重要性を知っているから (1)
- ・ 英語のみの講義は教官による (1)
- ・ 英語の必修単位を増やす (2)
- ・ 英語科目の授業だけでも、気軽に発言できる雰囲気を使った方がよいと思う (1)
- ・ 英会話教室である程度上のクラスにいったら、単位の認定をする (1)
- ・ TOEIC は今後の人生、みんな必要になってくるので、どうかとらせる方向にもっていくのがよくないですかね? (1)
- ・ TOEFL/TOEIC 用の授業 (1)
- ・ TOEFL、TOEIC の単位認定の期間を1年中いつでもにする。今は期間が短く、申請を忘れた (1)
- ・ PCによる遠隔講義をし、レポートで評価されるべき。元岡と箱崎がはなれすぎているから (1)
- ・ LL教室の設備が古すぎる (1)
- ・ ⑫について、能力というより熱意が大事だと思う (1)
- ・ 8. についてですが、時間を増やしていいと思うのは同じ先生が授業するときのみです (1)
- ・ 2年の後期に週1回英語を受けるために六本松に来るのは、時間も費用ももったいない。2年の前期で2単位取るかどうかしたほうがよい。 (1)
- ・ 14 (検定試験により単位授与) は大変面白いと思う (1)

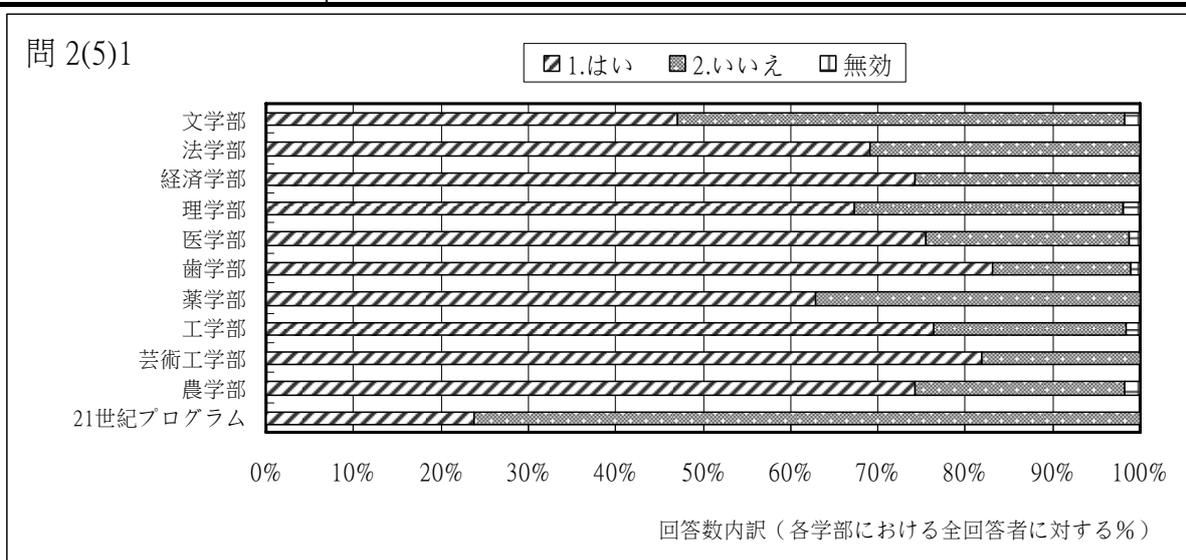
大学における外国語教育ニーズ分析

- (5) 言語文化科目 II とは、言語文化科目 I の履修に引き続いて、より高度な外国語運用能力修得をめざす学生を対象とした科目です。2004 年度前期の英語科目は延べ受講者数は 331 名です。現在、言語文化研究院箱崎分室において、英語に関しては以下の科目がレベル別に開講されています： 英語会話、英語リスニング、時事英語講読、自然科学英語講読、人文科学英語講読、英語文学講読、実用英語演習、英語エッセイライティング I

1. このような授業が開講されていることを知っていますか。(1. はい 2. いいえ)

2 (5) 1	1 はい	2 いいえ	0 無回答	合計
文学部	89	82	3	174
法学部	58	130	0	188
経済学部	64	185	0	249
理学部	79	173	5	257
医学部	58	187	3	248
歯学部	14	74	1	89
薬学部	13	22	0	35
工学部	198	684	14	896
芸術工学部	24	109	0	133
農学部	52	162	4	218
21 世紀プログラム	16	5	0	21
合計	665	1813	30	2508

%	1 はい	2 いいえ	0 無回答	合計
文学部	51.1%	47.1%	1.7%	100.0%
法学部	30.9%	69.1%	0.0%	100.0%
経済学部	25.7%	74.3%	0.0%	100.0%
理学部	30.7%	67.3%	1.9%	100.0%
医学部	23.4%	75.4%	1.2%	100.0%
歯学部	15.7%	83.1%	1.1%	100.0%
薬学部	37.1%	62.9%	0.0%	100.0%
工学部	22.1%	76.3%	1.6%	100.0%
芸術工学部	18.0%	82.0%	0.0%	100.0%
農学部	23.9%	74.3%	1.8%	100.0%
21 世紀プログラム	76.2%	23.8%	0.0%	100.0%
合計	26.5%	72.3%	1.2%	100.0%



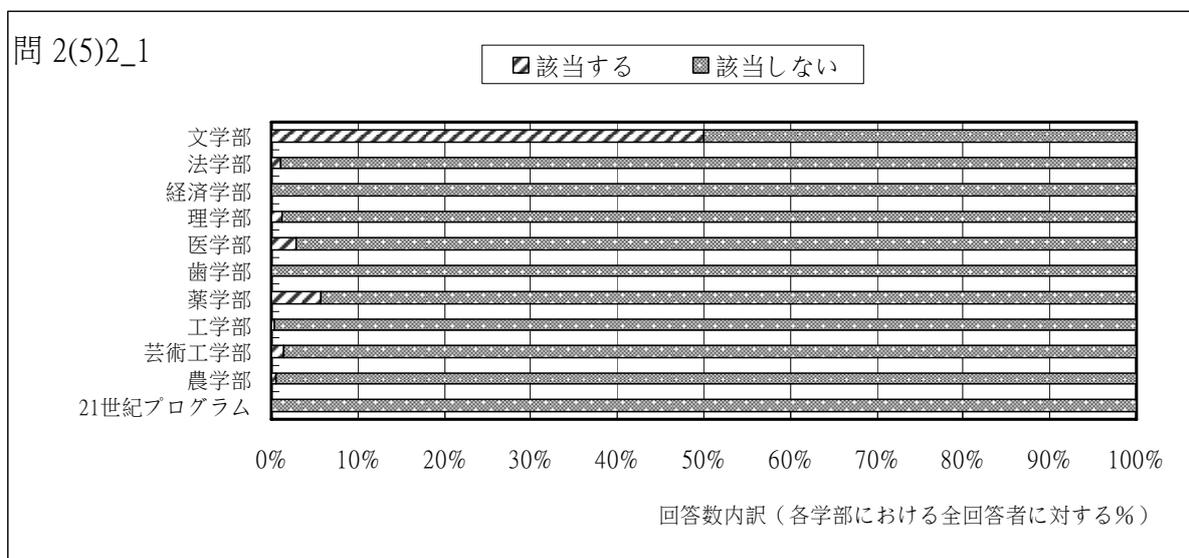
大学における外国語教育ニーズ分析

2. 上で「はい」と答えた方に尋ねます。何によって知りましたか。該当する番号を○で囲んでください。

1. 『言文フォーラム』・『言文だより』

2 (5) 2_1	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	4	4	8
法学部	2	186	188
経済学部	0	249	249
理学部	3	254	257
医学部	7	241	248
歯学部	0	89	89
薬学部	2	33	35
工学部	4	892	896
芸術工学部	2	131	133
農学部	1	217	218
21世紀プログラム	0	21	21
合計	25	2317	2342

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	50.0%	50.0%	100.0%
法学部	1.1%	98.9%	100.0%
経済学部	0.0%	100.0%	100.0%
理学部	1.2%	98.8%	100.0%
医学部	2.8%	97.2%	100.0%
歯学部	0.0%	100.0%	100.0%
薬学部	5.7%	94.3%	100.0%
工学部	0.4%	99.6%	100.0%
芸術工学部	1.5%	98.5%	100.0%
農学部	0.5%	99.5%	100.0%
21世紀プログラム	0.0%	100.0%	100.0%
合計	1.1%	98.9%	100.0%

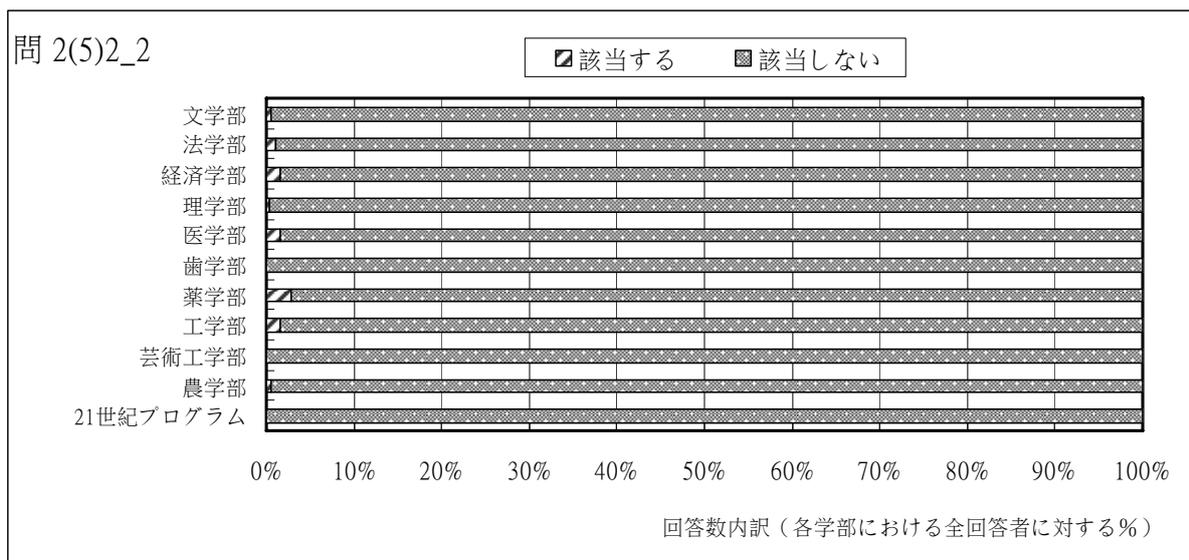


大学における外国語教育ニーズ分析

2. 『九大広報』

2 (5) 2_2	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	1	173	174
法学部	2	186	188
経済学部	4	245	249
理学部	1	256	257
医学部	4	244	248
歯学部	0	89	89
薬学部	1	34	35
工学部	15	881	896
芸術工学部	0	133	133
農学部	1	217	218
21世紀プログラム	0	21	21
合計	29	2479	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	0.6%	99.4%	100.0%
法学部	1.1%	98.9%	100.0%
経済学部	1.6%	98.4%	100.0%
理学部	0.4%	99.6%	100.0%
医学部	1.6%	98.4%	100.0%
歯学部	0.0%	100.0%	100.0%
薬学部	2.9%	97.1%	100.0%
工学部	1.7%	98.3%	100.0%
芸術工学部	0.0%	100.0%	100.0%
農学部	0.5%	99.5%	100.0%
21世紀プログラム	0.0%	100.0%	100.0%
合計	1.2%	98.8%	100.0%

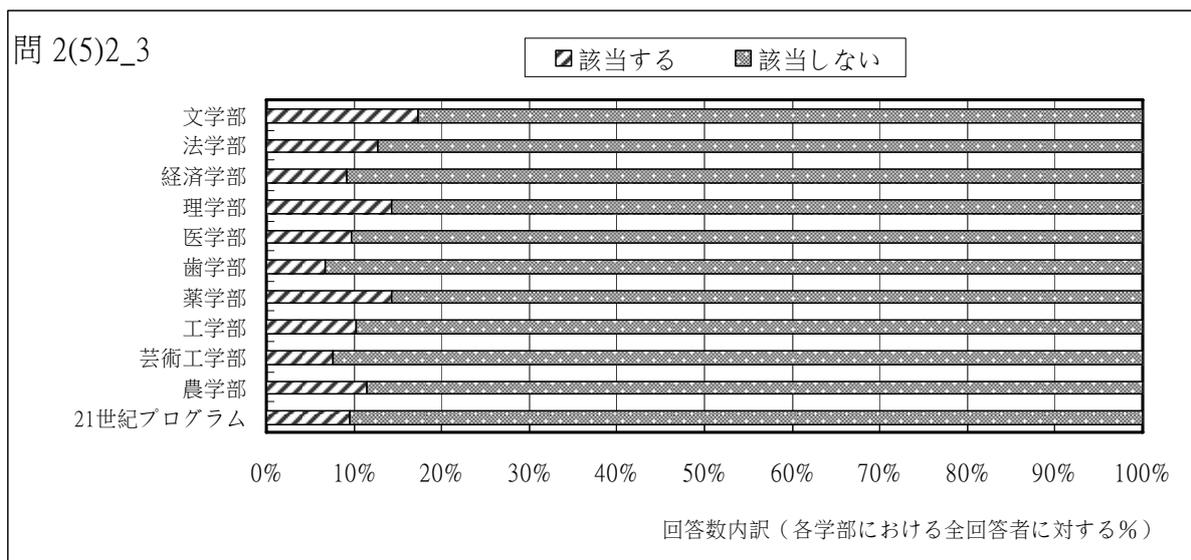


大学における外国語教育ニーズ分析

3. 学内掲示

2 (5) 2_3	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	30	144	174
法学部	24	164	188
経済学部	23	226	249
理学部	37	220	257
医学部	24	224	248
歯学部	6	83	89
薬学部	5	30	35
工学部	92	804	896
芸術工学部	10	123	133
農学部	25	193	218
21世紀プログラム	2	19	21
合計	278	2230	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	17.2%	82.8%	100.0%
法学部	12.8%	87.2%	100.0%
経済学部	9.2%	90.8%	100.0%
理学部	14.4%	85.6%	100.0%
医学部	9.7%	90.3%	100.0%
歯学部	6.7%	93.3%	100.0%
薬学部	14.3%	85.7%	100.0%
工学部	10.3%	89.7%	100.0%
芸術工学部	7.5%	92.5%	100.0%
農学部	11.5%	88.5%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	90.5%	100.0%
合計	11.1%	88.9%	100.0%

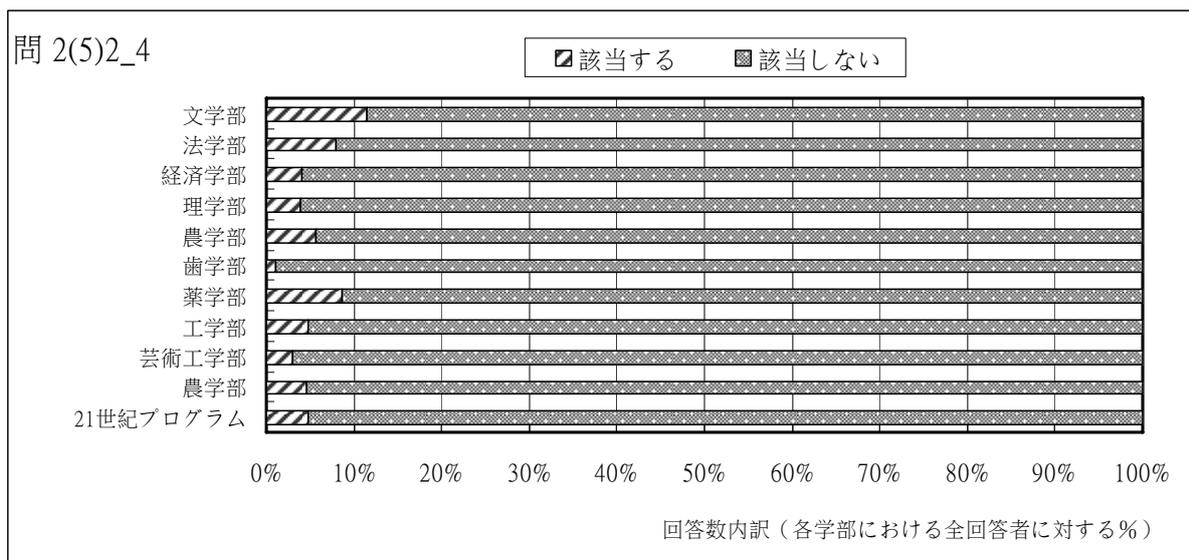


大学における外国語教育ニーズ分析

4. ウェブ

2 (5) 2_4	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	20	154	174
法学部	15	173	188
経済学部	10	239	249
理学部	10	247	257
医学部	14	234	248
歯学部	1	88	89
薬学部	3	32	35
工学部	43	853	896
芸術工学部	4	129	133
農学部	10	208	218
21世紀プログラム	1	20	21
合計	131	2377	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	11.5%	88.5%	100.0%
法学部	8.0%	92.0%	100.0%
経済学部	4.0%	96.0%	100.0%
理学部	3.9%	96.1%	100.0%
医学部	5.6%	94.4%	100.0%
歯学部	1.1%	98.9%	100.0%
薬学部	8.6%	91.4%	100.0%
工学部	4.8%	95.2%	100.0%
芸術工学部	3.0%	97.0%	100.0%
農学部	4.6%	95.4%	100.0%
21世紀プログラム	4.8%	95.2%	100.0%
合計	5.2%	94.8%	100.0%

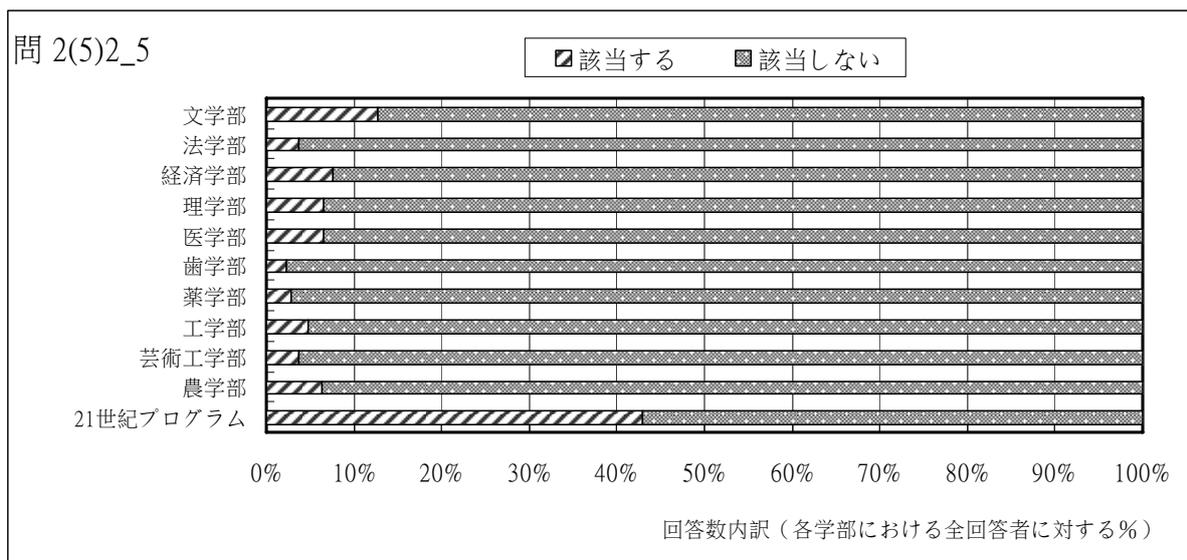


大学における外国語教育ニーズ分析

5. 友人・知人から聞いて

2 (5) 2_5	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	22	152	174
法学部	7	181	188
経済学部	19	230	249
理学部	17	240	257
医学部	16	232	248
歯学部	2	87	89
薬学部	1	34	35
工学部	42	854	896
芸術工学部	5	128	133
農学部	14	204	218
21世紀プログラム	9	12	21
合計	154	2354	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	12.6%	87.4%	100.0%
法学部	3.7%	96.3%	100.0%
経済学部	7.6%	92.4%	100.0%
理学部	6.6%	93.4%	100.0%
医学部	6.5%	93.5%	100.0%
歯学部	2.2%	97.8%	100.0%
薬学部	2.9%	97.1%	100.0%
工学部	4.7%	95.3%	100.0%
芸術工学部	3.8%	96.2%	100.0%
農学部	6.4%	93.6%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	57.1%	100.0%
合計	6.1%	93.9%	100.0%

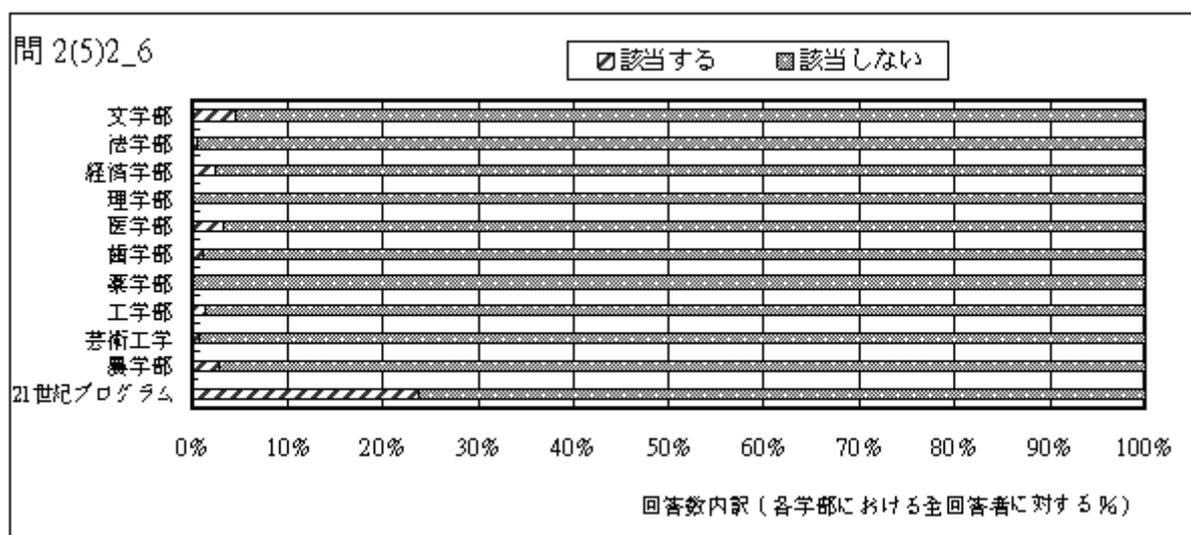


大学における外国語教育ニーズ分析

6. 教員から聞いて

2 (5) 2_6	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	8	166	174
法学部	1	187	188
経済学部	6	243	249
理学部	0	257	257
医学部	8	240	248
歯学部	1	88	89
薬学部	0	35	35
工学部	12	884	896
芸術工学部	1	132	133
農学部	6	212	218
21世紀プログラム	5	16	21
合計	48	2460	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	4.6%	95.4%	100.0%
法学部	0.5%	99.5%	100.0%
経済学部	2.4%	97.6%	100.0%
理学部	0.0%	100.0%	100.0%
医学部	3.2%	96.8%	100.0%
歯学部	1.1%	98.9%	100.0%
薬学部	0.0%	100.0%	100.0%
工学部	1.3%	98.7%	100.0%
芸術工学部	0.8%	99.2%	100.0%
農学部	2.8%	97.2%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	76.2%	100.0%
合計	1.9%	98.1%	100.0%

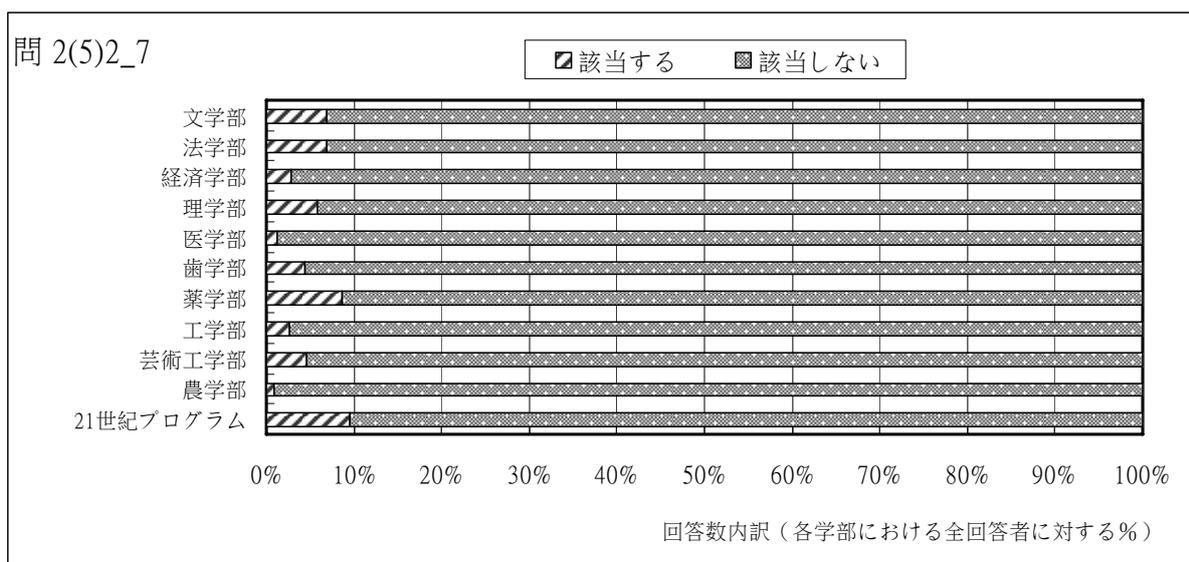


大学における外国語教育ニーズ分析

7. その他の方法で（右に具体的に記入してください）

2 (5) 2_7	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	12	162	174
法学部	13	175	188
経済学部	7	242	249
理学部	15	242	257
医学部	3	245	248
歯学部	4	85	89
薬学部	3	32	35
工学部	24	872	896
芸術工学部	6	127	133
農学部	2	216	218
21世紀プログラム	2	19	21
合計	91	2417	2508

%	1 該当する	0 該当しない	合計
文学部	6.9%	93.1%	100.0%
法学部	6.9%	93.1%	100.0%
経済学部	2.8%	97.2%	100.0%
理学部	5.8%	94.2%	100.0%
医学部	1.2%	98.8%	100.0%
歯学部	4.5%	95.5%	100.0%
薬学部	8.6%	91.4%	100.0%
工学部	2.7%	97.3%	100.0%
芸術工学部	4.5%	95.5%	100.0%
農学部	0.9%	99.1%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	90.5%	100.0%
合計	3.6%	96.4%	100.0%



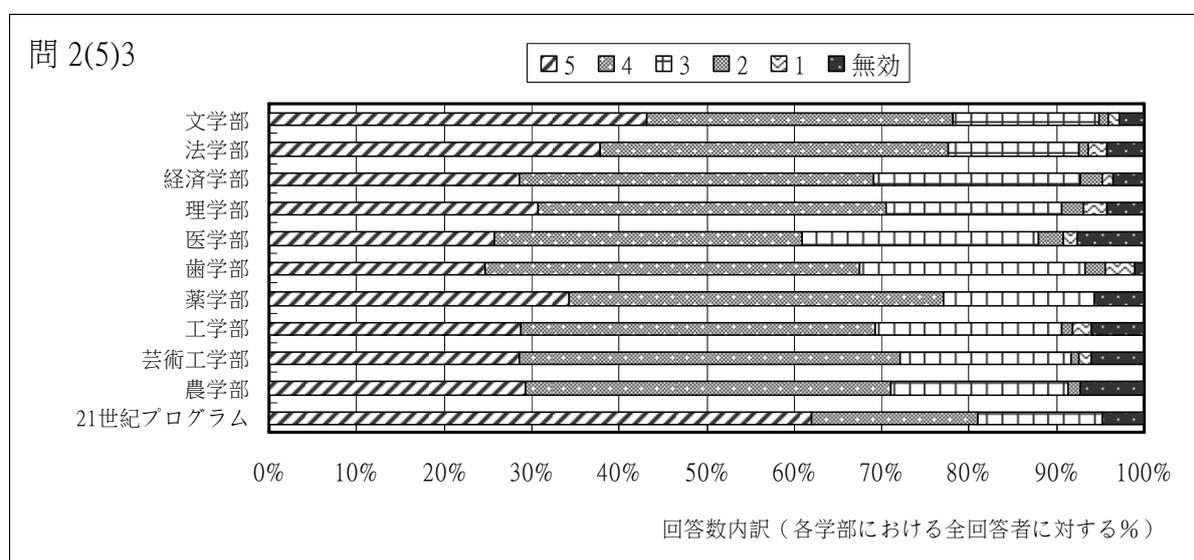
その他の欄の記入内容

履修の手引き (88)、箱崎分室に授業に行ったとき (1)、相談員の人にキイタ (1)、エスペラント語を受けたので (1)、TOEICの単位認定面接にて (1)、Internet (2)、なんとなく (3)

3. このような科目の提供は必要だと思いますか。5段階評価 (5 非常に必要である<——>1 全く必要でない) で教えてください。回答は該当する番号を○で囲んでください。

2 (5) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	75	61	29	2	2	5	174
法学部	71	75	28	2	4	8	188
経済学部	71	101	59	6	3	9	249
理学部	79	102	52	6	7	11	257
医学部	64	87	67	7	4	19	248
歯学部	22	38	23	2	3	1	89
薬学部	12	15	6	0	0	2	35
工学部	258	362	191	12	19	54	896
芸術工学部	38	58	26	1	2	8	133
農学部	64	91	44	3	0	16	218
21世紀プログラム	13	4	3	0	0	1	21
合計	767	994	528	41	44	134	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	43.1%	35.1%	16.7%	1.1%	1.1%	2.9%	100.0%
法学部	37.8%	39.9%	14.9%	1.1%	2.1%	4.3%	100.0%
経済学部	28.5%	40.6%	23.7%	2.4%	1.2%	3.6%	100.0%
理学部	30.7%	39.7%	20.2%	2.3%	2.7%	4.3%	100.0%
医学部	25.8%	35.1%	27.0%	2.8%	1.6%	7.7%	100.0%
歯学部	24.7%	42.7%	25.8%	2.2%	3.4%	1.1%	100.0%
薬学部	34.3%	42.9%	17.1%	0.0%	0.0%	5.7%	100.0%
工学部	28.8%	40.4%	21.3%	1.3%	2.1%	6.0%	100.0%
芸術工学部	28.6%	43.6%	19.5%	0.8%	1.5%	6.0%	100.0%
農学部	29.4%	41.7%	20.2%	1.4%	0.0%	7.3%	100.0%
21世紀プログラム	61.9%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	30.6%	39.6%	21.1%	1.6%	1.8%	5.3%	100.0%



4. 他にあればよいと思う英語科目があれば以下に具体的に書いてください。

- ・ 文化科目 I より II をした方がいい (2)
- ・ 発音を徹底的に指導してくれる授業があればいい。舌や口の筋肉をどう動かせば正しい発音になるか等 (1)
- ・ 同時通訳練習 (1)
- ・ 論文を書くために必要な知識を習得できる。各学部ごとの授業 (2)
- ・ 専門知識を学べるところ (7)
- ・ それぞれの専門に対して役立つ科目 (1)
- ・ 専門を中心とした論文の読解授業 (2)
- ・ 職業別・分野別英会話 (4)
- ・ 英語で日本語を学ぶ科目。母国語を客観的に見られる (1)
- ・ 日本語と英語の本質的な違いを学ぶ科目 (1)
- ・ 英語で算数や簡単なレベルの他教科をする科目 (1)
- ・ 英会話 (1)
- ・ 英語スラング (1)
- ・ 理系英語 (5)
- ・ 医系英語 (専門用語) (1)
- ・ Web 英語 (1)
- ・ 古典英語 (1)
- ・ 法学英語購読 (1)
- ・ 留学英語学 (1)
- ・ 自分の留学しようと考えている国について学べる授業。たとえば、アメリカ文化や慣習など (1)
- ・ 英文法を深く学ぶ講座 (1)
- ・ 英字新聞を読んでみる授業 (1)
- ・ 一年次は暇なので、一年次にもとりたい (1)
- ・ 留学生と一緒に外に出てその場所で使用する言語を互いに教え合う (2)
- ・ 留学生と 1 対 1 で英語のみで話す授業 (1)
- ・ 英語のみで何日か生活せざるを得ない環境を作る科目(ホームステイとか) (1)
- ・ ホームステイ (1)
- ・ 現地研修 (1)
- ・ プレゼンテーション・ディスカッション (7)
- ・ 小人数で英語を使ったディベートなどを行うクラス (2)
- ・ 箱崎だけでなく、他のキャンパスでも行ってほしい (1)
- ・ ふやしてほしいです。第 2 外国語の授業もほしい。私はもっと韓国語をマスターしたいです。箱崎で第 2 外国語選択者用のための授業をして下さい。速修だけじゃなくて。(1)
- ・ 科目は十分であるが、六本松でも開講してほしい。私は芸工学部なので箱崎まで行くのに時間がかかりすぎる為 (1)
- ・ 科目以前に芸工キャンパスにも上記のようなものを設置しなさい。箱崎に行く機会はないし、行く気もありません (1)
- ・ 英会話を六本松でも開いてほしい (1)
- ・ ピロートーク入門 (1)
- ・ ひたすらイディオムと単語の小テストをするもの。講義では使い方の説明 (1)
- ・ ネイティブが半分以上のクラス(中・高生でもいいと思う) (1)
- ・ ネイティブと話す時間。できるだけ少数で (1)
- ・ ネイティブと話す (2)
- ・ 日常会話中心の講義 (3)
- ・ 苦手な人用の英語科目 (1)
- ・ ていうか、もっとみんなに知れるようにしてほしい (1)
- ・ 中国人の人に英語をおしえてほしい (1)
- ・ 田中俊明英語 (1)
- ・ 先生によって回答は違う (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 設問とは関係ないだろうが、言語文化科目Ⅱをもっと早い時間帯にやってほしい(1)
- ・ 授業中英語しか使わず、英語を母国語とする人を1人以上含んで全員で討論(全員が知っている共通の話題、ニュース)(1)
- ・ 語源をおしえる(2)
- ・ 官能小説 in English(1)
- ・ 簡単な英文を読んで数をこなしていく多読の授業(1)
- ・ 考え中(1)
- ・ カリキュラムが組まれていて、自分が身に付けたい能力が身に付く科目(1)
- ・ 会話やコミュニケーション能力をのばす科目(できれば必修)(3)
- ・ 遅い時間でも良いので、開講時間を増やしてほしい(1)
- ・ 院の先輩が、学会の英語が全く分からないと言っていたのでその対策ができるもの(1)
- ・ TOEIC対策(25)
- ・ 大学院入試対策用英語(1)
- ・ 資格試験対策。「良い点をとろう」とするゲーム感覚ができあがり、「他の講義でそれぞれの能力(聞いたり読んだり)を上げよう」ということで、他の講義も盛り上がる。(1)
- ・ placement testをうけなくても受講できる授業(1)
- ・ NOVA や GEOS といった実績あるところから講師を呼んで英会話をする(1)

大学における外国語教育ニーズ分析

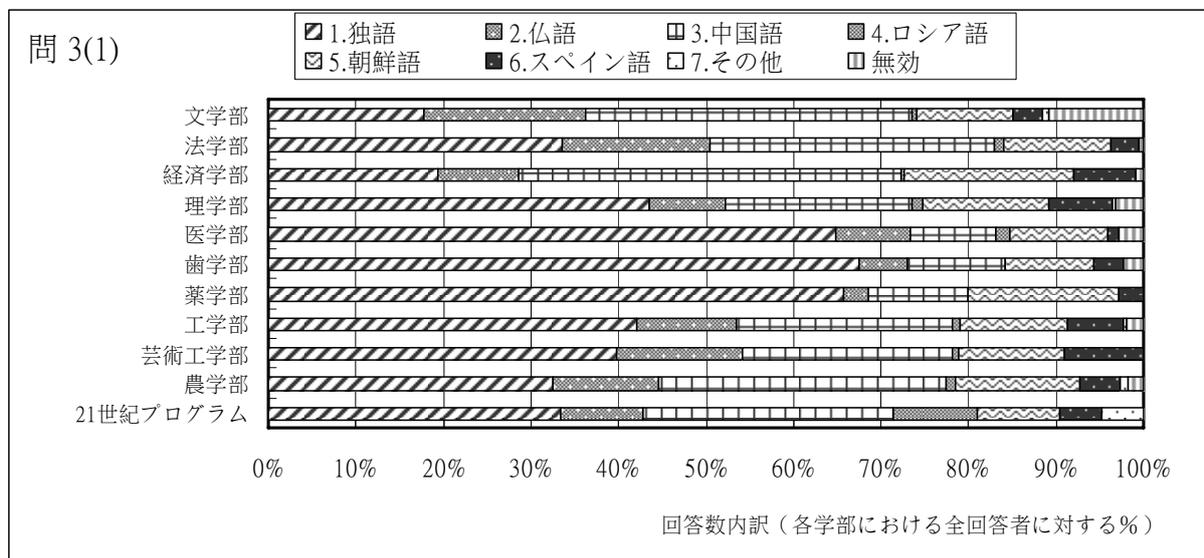
3. 英語以外の外国語についてお尋ねします。

(1) あなたが学部・大学院で履修した（あるいは、履修している）英語以外の外国語は何ですか。
 複数ある場合は主なものを1つ選び、該当する番号を○で囲んでください。

1. 独語 2. 仏語 3. 中国語 4. ロシア語 5. 朝鮮語 6. スペイン語
 7. その他（右に具体的に記入してください）

3 (1)	7	6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	1	6	19	1	65	32	31	19	174
法学部	0	6	23	2	61	32	63	1	188
経済学部	0	18	48	1	109	23	48	2	249
理学部	1	19	37	3	55	22	112	8	257
医学部	0	3	28	4	24	21	161	7	248
歯学部	0	3	9	0	10	5	60	2	89
薬学部	0	1	6	0	4	1	23	0	35
工学部	3	58	109	9	221	102	377	17	896
芸術工学部	0	12	16	1	32	19	53	0	133
農学部	2	10	31	2	72	26	71	4	218
21世紀プログラム	1	1	2	2	6	2	7	0	21
合計	8	137	328	25	659	285	1006	60	2508

%	7	6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	10.9%	0.6%	37.4%	18.4%	17.8%	18.4%	17.8%	10.9%	100.0%
法学部	12.2%	1.1%	32.4%	17.0%	33.5%	17.0%	33.5%	0.5%	100.0%
経済学部	19.3%	0.4%	43.8%	9.2%	19.3%	9.2%	19.3%	0.8%	100.0%
理学部	14.4%	1.2%	21.4%	8.6%	43.6%	8.6%	43.6%	3.1%	100.0%
医学部	11.3%	1.6%	9.7%	8.5%	64.9%	8.5%	64.9%	2.8%	100.0%
歯学部	10.1%	0.0%	11.2%	5.6%	67.4%	5.6%	67.4%	2.2%	100.0%
薬学部	17.1%	0.0%	11.4%	2.9%	65.7%	2.9%	65.7%	0.0%	100.0%
工学部	12.2%	1.0%	24.7%	11.4%	42.1%	11.4%	42.1%	1.9%	100.0%
芸術工学部	12.0%	0.8%	24.1%	14.3%	39.8%	14.3%	39.8%	0.0%	100.0%
農学部	14.2%	0.9%	33.0%	11.9%	32.6%	11.9%	32.6%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	9.5%	28.6%	9.5%	33.3%	9.5%	33.3%	0.0%	100.0%
合計	0.3%	5.5%	13.1%	1.0%	26.3%	11.4%	40.1%	2.4%	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

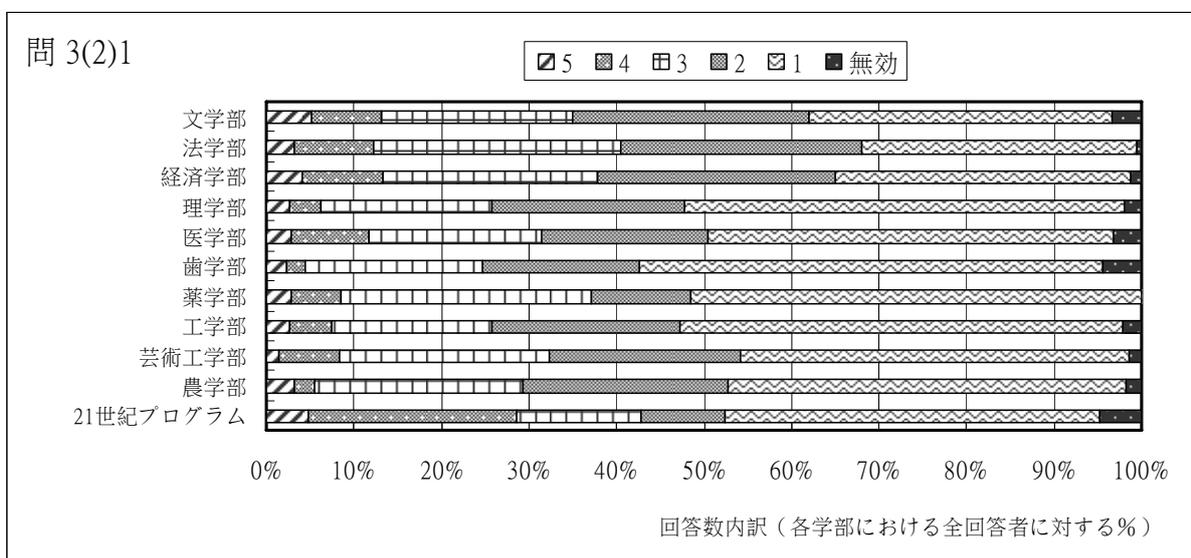
(2) (1)で選んだ外国語を履修した(あるいは、履修している)理由は何ですか。以下のそれぞれの項目について、5段階評価(5非常にあてはまる<——>1全くあてはまらない)で答えてください。回答は該当する番号を○で囲んでください。

1. 就職に有利だから

(5非常にあてはまる<——>1全くあてはまらない)

3 (2) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	9	14	38	47	60	6	174
法学部	6	17	53	52	59	1	188
経済学部	10	23	61	68	84	3	249
理学部	7	9	50	57	129	5	257
医学部	7	22	49	47	115	8	248
歯学部	2	2	18	16	47	4	89
薬学部	1	2	10	4	18	0	35
工学部	24	43	164	192	454	19	896
芸術工学部	2	9	32	29	59	2	133
農学部	7	5	52	51	99	4	218
21世紀プログラム	1	5	3	2	9	1	21
合計	76	151	530	565	1133	53	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	5.2%	8.0%	21.8%	27.0%	34.5%	3.4%	100.0%
法学部	3.2%	9.0%	28.2%	27.7%	31.4%	0.5%	100.0%
経済学部	4.0%	9.2%	24.5%	27.3%	33.7%	1.2%	100.0%
理学部	2.7%	3.5%	19.5%	22.2%	50.2%	1.9%	100.0%
医学部	2.8%	8.9%	19.8%	19.0%	46.4%	3.2%	100.0%
歯学部	2.2%	2.2%	20.2%	18.0%	52.8%	4.5%	100.0%
薬学部	2.9%	5.7%	28.6%	11.4%	51.4%	0.0%	100.0%
工学部	2.7%	4.8%	18.3%	21.4%	50.7%	2.1%	100.0%
芸術工学部	1.5%	6.8%	24.1%	21.8%	44.4%	1.5%	100.0%
農学部	3.2%	2.3%	23.9%	23.4%	45.4%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	4.8%	23.8%	14.3%	9.5%	42.9%	4.8%	100.0%
合計	3.0%	6.0%	21.1%	22.5%	45.2%	2.1%	100.0%



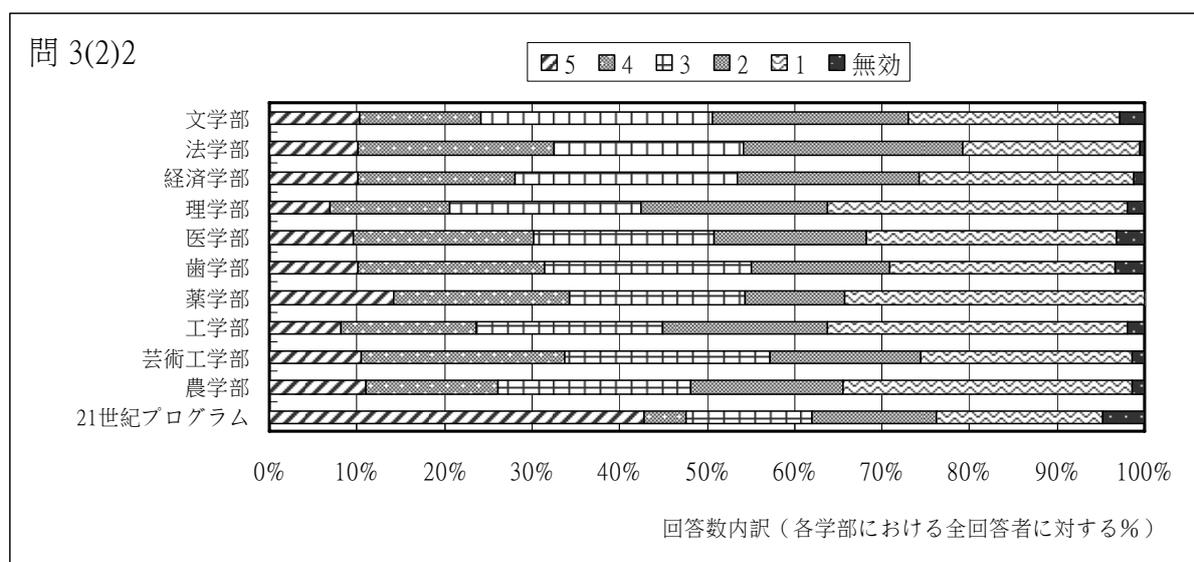
大学における外国語教育ニーズ分析

2. 広い意味で仕事に役立つから

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (2) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	18	24	46	39	42	5	174
法学部	19	42	41	47	38	1	188
経済学部	25	45	63	52	61	3	249
理学部	18	35	56	55	88	5	257
医学部	24	51	51	43	71	8	248
歯学部	9	19	21	14	23	3	89
薬学部	5	7	7	4	12	0	35
工学部	73	139	191	169	306	18	896
芸術工学部	14	31	31	23	32	2	133
農学部	24	33	48	38	72	3	218
21世紀プログラム	9	1	3	3	4	1	21
合計	238	427	558	487	749	49	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	10.3%	13.8%	26.4%	22.4%	24.1%	2.9%	100.0%
法学部	10.1%	22.3%	21.8%	25.0%	20.2%	0.5%	100.0%
経済学部	10.0%	18.1%	25.3%	20.9%	24.5%	1.2%	100.0%
理学部	7.0%	13.6%	21.8%	21.4%	34.2%	1.9%	100.0%
医学部	9.7%	20.6%	20.6%	17.3%	28.6%	3.2%	100.0%
歯学部	10.1%	21.3%	23.6%	15.7%	25.8%	3.4%	100.0%
薬学部	14.3%	20.0%	20.0%	11.4%	34.3%	0.0%	100.0%
工学部	8.1%	15.5%	21.3%	18.9%	34.2%	2.0%	100.0%
芸術工学部	10.5%	23.3%	23.3%	17.3%	24.1%	1.5%	100.0%
農学部	11.0%	15.1%	22.0%	17.4%	33.0%	1.4%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	4.8%	14.3%	14.3%	19.0%	4.8%	100.0%
合計	9.5%	17.0%	22.2%	19.4%	29.9%	2.0%	100.0%



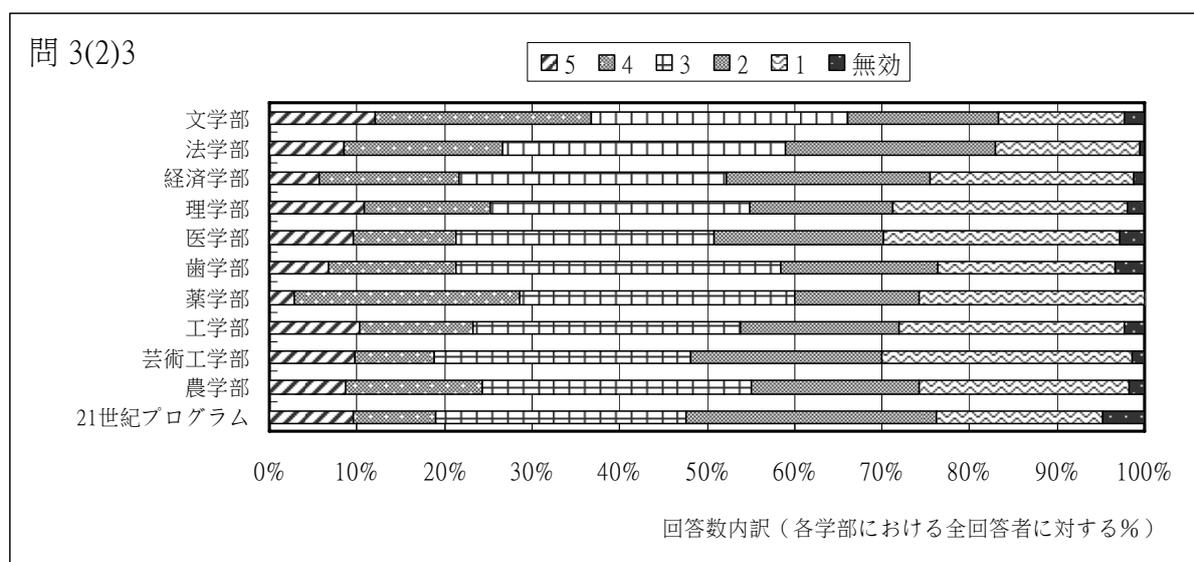
大学における外国語教育ニーズ分析

3. 九州大学の学生の教養として必要だから

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (2) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	21	43	51	30	25	4	174
法学部	16	34	61	45	31	1	188
経済学部	14	40	76	58	58	3	249
理学部	28	37	76	42	69	5	257
医学部	24	29	73	48	67	7	248
歯学部	6	13	33	16	18	3	89
薬学部	1	9	11	5	9	0	35
工学部	93	115	275	161	232	20	896
芸術工学部	13	12	39	29	38	2	133
農学部	19	34	67	42	52	4	218
21世紀プログラム	2	2	6	6	4	1	21
合計	237	368	768	482	603	50	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.1%	24.7%	29.3%	17.2%	14.4%	2.3%	100.0%
法学部	8.5%	18.1%	32.4%	23.9%	16.5%	0.5%	100.0%
経済学部	5.6%	16.1%	30.5%	23.3%	23.3%	1.2%	100.0%
理学部	10.9%	14.4%	29.6%	16.3%	26.8%	1.9%	100.0%
医学部	9.7%	11.7%	29.4%	19.4%	27.0%	2.8%	100.0%
歯学部	6.7%	14.6%	37.1%	18.0%	20.2%	3.4%	100.0%
薬学部	2.9%	25.7%	31.4%	14.3%	25.7%	0.0%	100.0%
工学部	10.4%	12.8%	30.7%	18.0%	25.9%	2.2%	100.0%
芸術工学部	9.8%	9.0%	29.3%	21.8%	28.6%	1.5%	100.0%
農学部	8.7%	15.6%	30.7%	19.3%	23.9%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	9.5%	28.6%	28.6%	19.0%	4.8%	100.0%
合計	9.4%	14.7%	30.6%	19.2%	24.0%	2.0%	100.0%



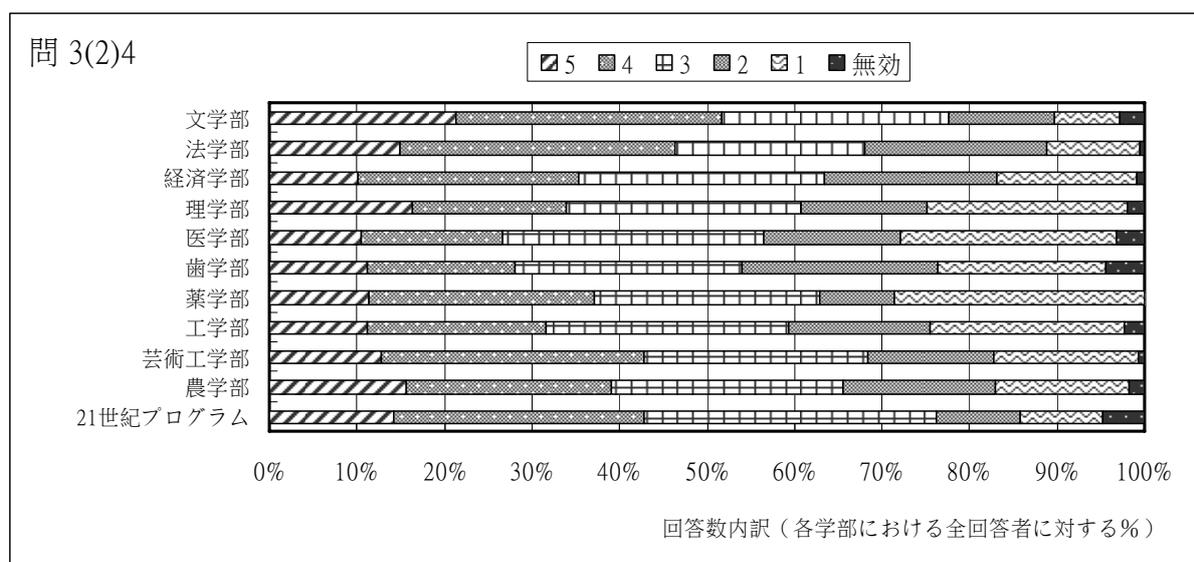
大学における外国語教育ニーズ分析

4. 自らの文化また異文化をよりよく理解することができるから

(5 非常にあてはまる<————>1 全くあてはまらない)

3 (2) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	37	53	45	21	13	5	174
法学部	28	59	41	39	20	1	188
経済学部	25	63	70	49	40	2	249
理学部	42	45	69	37	59	5	257
医学部	26	40	74	39	61	8	248
歯学部	10	15	23	20	17	4	89
薬学部	4	9	9	3	10	0	35
工学部	101	183	247	146	199	20	896
芸術工学部	17	40	34	19	22	1	133
農学部	34	51	58	38	33	4	218
21世紀プログラム	3	6	7	2	2	1	21
合計	327	564	677	413	476	51	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	21.3%	30.5%	25.9%	12.1%	7.5%	2.9%	100.0%
法学部	14.9%	31.4%	21.8%	20.7%	10.6%	0.5%	100.0%
経済学部	10.0%	25.3%	28.1%	19.7%	16.1%	0.8%	100.0%
理学部	16.3%	17.5%	26.8%	14.4%	23.0%	1.9%	100.0%
医学部	10.5%	16.1%	29.8%	15.7%	24.6%	3.2%	100.0%
歯学部	11.2%	16.9%	25.8%	22.5%	19.1%	4.5%	100.0%
薬学部	11.4%	25.7%	25.7%	8.6%	28.6%	0.0%	100.0%
工学部	11.3%	20.4%	27.6%	16.3%	22.2%	2.2%	100.0%
芸術工学部	12.8%	30.1%	25.6%	14.3%	16.5%	0.8%	100.0%
農学部	15.6%	23.4%	26.6%	17.4%	15.1%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	28.6%	33.3%	9.5%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	13.0%	22.5%	27.0%	16.5%	19.0%	2.0%	100.0%



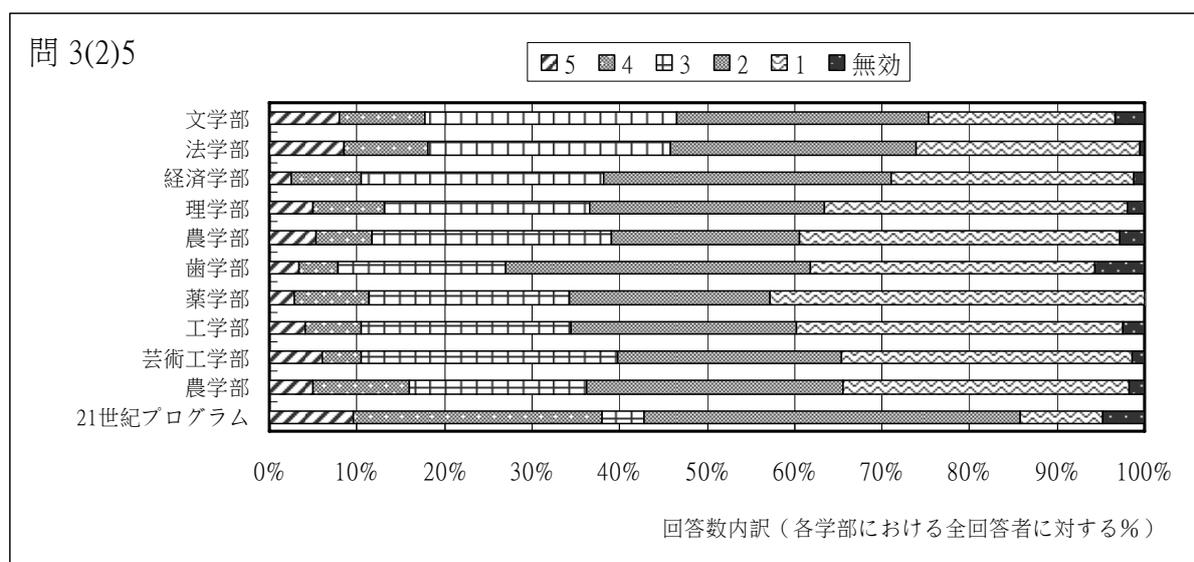
大学における外国語教育ニーズ分析

5. 留学生・研修生・同僚との交流・親睦のために

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (2) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14	17	50	50	37	6	174
法学部	16	18	52	53	48	1	188
経済学部	6	20	69	82	69	3	249
理学部	13	21	60	69	89	5	257
医学部	13	16	68	53	91	7	248
歯学部	3	4	17	31	29	5	89
薬学部	1	3	8	8	15	0	35
工学部	36	58	214	231	335	22	896
芸術工学部	8	6	39	34	44	2	133
農学部	11	24	44	64	71	4	218
21世紀プログラム	2	6	1	9	2	1	21
合計	123	193	622	684	830	56	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	8.0%	9.8%	28.7%	28.7%	21.3%	3.4%	100.0%
法学部	8.5%	9.6%	27.7%	28.2%	25.5%	0.5%	100.0%
経済学部	2.4%	8.0%	27.7%	32.9%	27.7%	1.2%	100.0%
理学部	5.1%	8.2%	23.3%	26.8%	34.6%	1.9%	100.0%
医学部	5.2%	6.5%	27.4%	21.4%	36.7%	2.8%	100.0%
歯学部	3.4%	4.5%	19.1%	34.8%	32.6%	5.6%	100.0%
薬学部	2.9%	8.6%	22.9%	22.9%	42.9%	0.0%	100.0%
工学部	4.0%	6.5%	23.9%	25.8%	37.4%	2.5%	100.0%
芸術工学部	6.0%	4.5%	29.3%	25.6%	33.1%	1.5%	100.0%
農学部	5.0%	11.0%	20.2%	29.4%	32.6%	1.8%	100.0%
21世紀プログラム	9.5%	28.6%	4.8%	42.9%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	4.9%	7.7%	24.8%	27.3%	33.1%	2.2%	100.0%



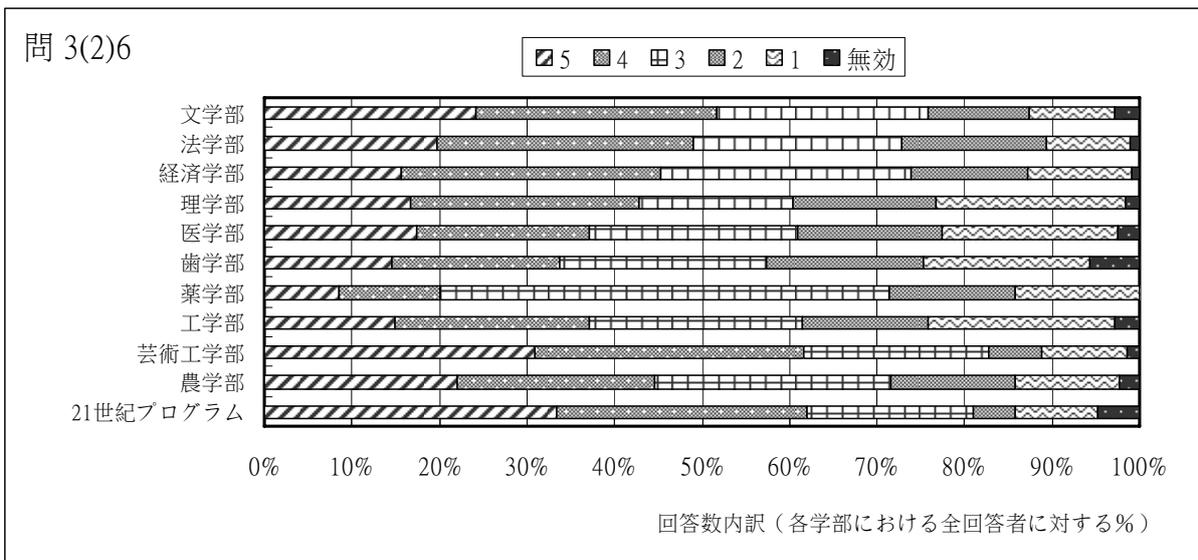
大学における外国語教育ニーズ分析

6. 海外でのコミュニケーションのために

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (2) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	42	48	42	20	17	5	174
法学部	37	55	45	31	18	2	188
経済学部	39	74	71	33	30	2	249
理学部	43	67	45	42	56	4	257
医学部	43	49	59	41	50	6	248
歯学部	13	17	21	16	17	5	89
薬学部	3	4	18	5	5	0	35
工学部	134	198	218	130	191	25	896
芸術工学部	41	41	28	8	13	2	133
農学部	48	49	59	31	26	5	218
21世紀プログラム	7	6	4	1	2	1	21
合計	450	608	610	358	425	57	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	24.1%	27.6%	24.1%	11.5%	9.8%	2.9%	100.0%
法学部	19.7%	29.3%	23.9%	16.5%	9.6%	1.1%	100.0%
経済学部	15.7%	29.7%	28.5%	13.3%	12.0%	0.8%	100.0%
理学部	16.7%	26.1%	17.5%	16.3%	21.8%	1.6%	100.0%
医学部	17.3%	19.8%	23.8%	16.5%	20.2%	2.4%	100.0%
歯学部	14.6%	19.1%	23.6%	18.0%	19.1%	5.6%	100.0%
薬学部	8.6%	11.4%	51.4%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
工学部	15.0%	22.1%	24.3%	14.5%	21.3%	2.8%	100.0%
芸術工学部	30.8%	30.8%	21.1%	6.0%	9.8%	1.5%	100.0%
農学部	22.0%	22.5%	27.1%	14.2%	11.9%	2.3%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	28.6%	19.0%	4.8%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	17.9%	24.2%	24.3%	14.3%	16.9%	2.3%	100.0%



7. その他に履修の理由があれば以下に具体的に書いてください。

- ・ 中国が経済成長を遂げている (3)
- ・ 文字・新聞などよむ (3)
- ・ 専門分野のための知識習得に必要 (1)
- ・ 論文を読むための基礎知識として (3)
- ・ ドイツ語の専門書をよく読むため (1)
- ・ ドラマや映画を字幕無しで見られるようになりたいから (2)
- ・ 漢文が好きだったから (2)
- ・ 漢文を白文で読んでみたかったから (1)
- ・ 漢字ならわかりやすいと思った (2)
- ・ ハングル文字に興味があったから (1)
- ・ 楽だから (6)
- ・ 私は留学生で日本語を取るのには時間がもったいなかったのだから中国語を取っただけです (1)
- ・ ロシアアヴァンギャルドが好きだから (1)
- ・ 旅行に行きたいから (5)
- ・ 留学中1年間勉強したので、ちゃんとしたと思ったから (1)
- ・ 理科系は将来ドイツ語が必要になると思ったから (6)
- ・ 理解しやすそうだったから (1)
- ・ 良い感じがしたから (1)
- ・ 友人がいるため (2)
- ・ 他の言語よりも、簡単だと聞いたから (2)
- ・ 法律といえばドイツ語かな、と思ったから。ドイツ語はかんたん外国のススメ (九大でもらった) にかいてあったから (1)
- ・ 法学に必要なと思ったから (5)
- ・ 北京オリンピックを見に行きたいから (1)
- ・ 文法 (1)
- ・ フランス人の女性と仲よくなれるように (1)
- ・ フランスはサッカーが盛んだから (1)
- ・ フランス人は英語で話すのを嫌うので、フランスに行った時にこまる (1)
- ・ 福岡には日仏があるから。(ゲート・インスティテュートなどが無い。) (1)
- ・ ブームだから (1)
- ・ ひびきが好きだったから(発音の) (1)
- ・ 人にすすめられたから (7)
- ・ はっきりいうと全く意味がない。通じない英語を習っているのと同じ。役に立たない (1)
- ・ 農学関係の学問が進んでいるのが、イギリスとドイツだったので。(1)
- ・ 日本で勉強のために (1)
- ・ 日本語の語学的な理解につながるから (1)
- ・ 南米では広く普及している言語だから、少しでもわかれば話せる人が増えるから (1)
- ・ 何となく (9)
- ・ なんでもよかったんです (4)
- ・ 第二外国語に関しては自分を含め漠然と選択している人が多いと思われる (1)
- ・ それしか残ってなかった (1)
- ・ なかなか他の大学にはなさそうだから (1)
- ・ ドイツリートの意味を理解したかったから (1)
- ・ ドイツ語が最も一般的だと考えたから (1)
- ・ ドイツ語が一番有用だと聞いたので (1)
- ・ デザインで有名なドイツを訪れる際、深く内容を理解するために必要だから (1)
- ・ デザイン専門書に独語が多い (1)
- ・ 朝鮮語をとりたかったが親に強制で (1)
- ・ 近いし、身近に感じるから (8)
- ・ 単位取得のため (22)
- ・ 単位がとりやすい (10)
- ・ 楽しいから (1)
- ・ その他の言語よりも短期間で理解しやすいから (1)
- ・ その言語を話す人口が非常に多いから (1)
- ・ スタートラインが同じ。将来、ロシア語の論文を読む機械があるから (1)
- ・ 好きだから (10)
- ・ 将来的に必要なかもしれない (5)
- ・ 自分の進みたい専門分野が独語か仏語を取っていた方が有利だと聞いていたから (1)
- ・ 自分の興味のある分野に必要なと思ったから (3)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 卒業必修単位だから (20)
- ・ 専門で必要 (8)
- ・ 専門書を読むために (4)
- ・ 先輩にすすめられて。／工学で中国語が将来役に立つと聞いたから (1)
- ・ せんたくしが少なかった (1)
- ・ 世界征服 (1)
- ・ 世界人口における中国人の割合が大きいため (3)
- ・ 世界情報に着目して (1)
- ・ 西洋ばかり見てはだめだと思ったから (1)
- ・ スペインに行って遺跡を見たいと思ったから (1)
- ・ スペインという国にあこがれているから (1)
- ・ 雑学 (1)
- ・ 三国志 (日本語版) が好きだから (1)
- ・ ゲーテを好んで読むため (1)
- ・ これからはアジアだと思ったから (1)
- ・ これからは中国の時代 (11)
- ・ これから重要になってくる言語だと思ったから。 (1)
- ・ 興味があった (文化、国) (40)
- ・ おもしろそう (3)
- ・ カッコいいから (5)
- ・ W杯 (13)
- ・ 流行 (1)
- ・ 韓流ブームだから (4)
- ・ 一番有名だから (1)
- ・ イタリアに近いから (1)
- ・ 言語が好きだから (2)
- ・ 研究のため (2)
- ・ 消去法で (1)
- ・ インターネットなどを介して目にする仕事があったため (1)
- ・ キリル文字が読めるようになりたかったから (1)
- ・ 教養を深める (1)
- ・ 簡単そうだったから (5)
- ・ 医学部だから (3)
- ・ カルテが独語で書かれるから (3)
- ・ 化学系はドイツが強かった時代があったので (1)
- ・ 外人と付き合う時 (1)
- ・ 多くの生徒が履修しているから (3)
- ・ 英語に次ぐ公用語とされているから (1)
- ・ 英語に影響をあたえる言語だと思うから (1)
- ・ 英語と似ている点が多いから (文法など) (2)
- ・ 英語と中国語の両方ができれば、世界のほとんどの人と話せるから。(少なくとも中国語は4人に1人) (1)
- ・ 英語だけの方がよっぽどいい (2)
- ・ 歌いたい (1)
- ・ 今から需要が高いと思ったから (1)
- ・ 今一番伸びてきている所なので。後々学ぶときに有利で考えたため (1)
- ・ 行きつけの中華料理のオバちゃん(ネイティブ)と中国語で話してみたかったから (1)
- ・ 新しいことに挑戦するという意味がある (1)
- ・ アジア圏の言語を学びたかったから (1)
- ・ 6年間やった英語もできないのに独語をやっても無駄だと思ったが必修なので仕方なく (1)
- ・ 6に近いと思うが、将来フランスを訪れた時に最小限のフランス語は話せたいから (1)
- ・ 3年に上がれないから (1)
- ・ 『失われた時を求めて』を原書で読みたいから (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

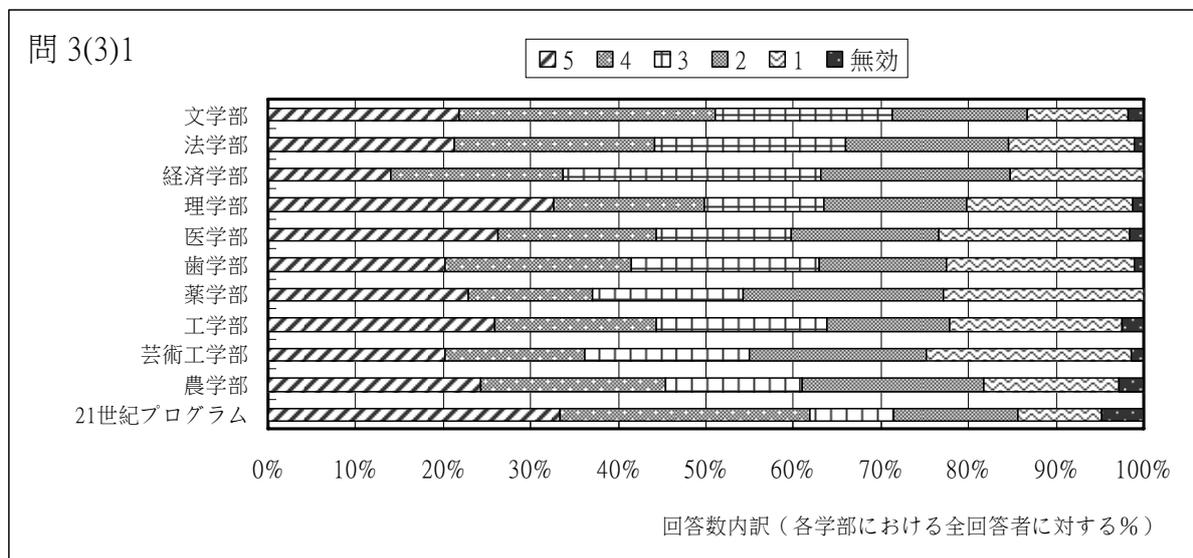
(3) (1)の外国語のどのような技能を特に身につけたいですか。以下のそれぞれの項目について、5段階評価（5非常にあてはまる<——>1全くあてはまらない）で答えてください。回答は該当する番号を○で囲んでください。

1. 専門的な内容について書かれた文書（専門書、論文、職務文書、e-mail、web-page等）を読む

(5非常にあてはまる<——>1全くあてはまらない)

3 (3) 1	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	38	51	35	27	20	3	174
法学部	40	43	41	35	27	2	188
経済学部	35	49	73	54	38	0	249
理学部	84	44	35	42	49	3	257
医学部	65	45	38	42	54	4	248
歯学部	18	19	19	13	19	1	89
薬学部	8	5	6	8	8	0	35
工学部	232	165	175	126	176	22	896
芸術工学部	27	21	25	27	31	2	133
農学部	53	46	34	45	34	6	218
21世紀プログラム	7	6	2	3	2	1	21
合計	607	494	483	422	458	44	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	21.8%	29.3%	20.1%	15.5%	11.5%	1.7%	100.0%
法学部	21.3%	22.9%	21.8%	18.6%	14.4%	1.1%	100.0%
経済学部	14.1%	19.7%	29.3%	21.7%	15.3%	0.0%	100.0%
理学部	32.7%	17.1%	13.6%	16.3%	19.1%	1.2%	100.0%
医学部	26.2%	18.1%	15.3%	16.9%	21.8%	1.6%	100.0%
歯学部	20.2%	21.3%	21.3%	14.6%	21.3%	1.1%	100.0%
薬学部	22.9%	14.3%	17.1%	22.9%	22.9%	0.0%	100.0%
工学部	25.9%	18.4%	19.5%	14.1%	19.6%	2.5%	100.0%
芸術工学部	20.3%	15.8%	18.8%	20.3%	23.3%	1.5%	100.0%
農学部	24.3%	21.1%	15.6%	20.6%	15.6%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	28.6%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	24.2%	19.7%	19.3%	16.8%	18.3%	1.8%	100.0%

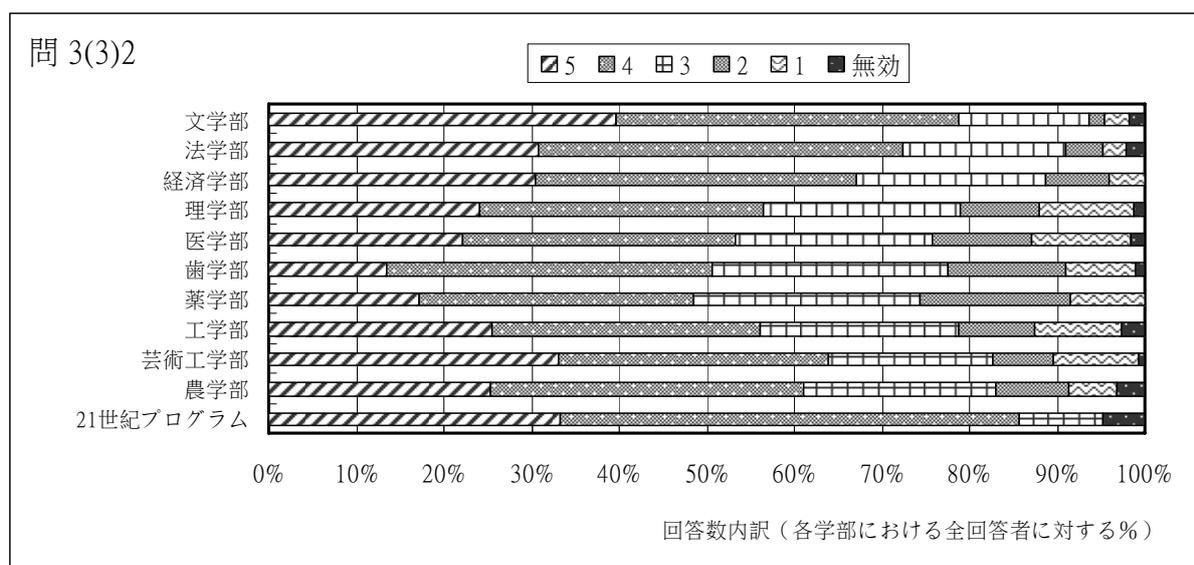


大学における外国語教育ニーズ分析

2. 一般的な内容について書かれた文書（一般雑誌や新聞、e-mail、web-page等）を読む
 (5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 2	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	69	68	26	3	5	3	174
法学部	58	78	35	8	5	4	188
経済学部	76	91	54	18	10	0	249
理学部	62	83	58	23	28	3	257
医学部	55	77	56	28	28	4	248
歯学部	12	33	24	12	7	1	89
薬学部	6	11	9	6	3	0	35
工学部	229	273	204	78	89	23	896
芸術工学部	44	41	25	9	13	1	133
農学部	55	78	48	18	12	7	218
21世紀プログラム	7	11	2	0	0	1	21
合計	673	844	541	203	200	47	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	39.7%	39.1%	14.9%	1.7%	2.9%	1.7%	100.0%
法学部	30.9%	41.5%	18.6%	4.3%	2.7%	2.1%	100.0%
経済学部	30.5%	36.5%	21.7%	7.2%	4.0%	0.0%	100.0%
理学部	24.1%	32.3%	22.6%	8.9%	10.9%	1.2%	100.0%
医学部	22.2%	31.0%	22.6%	11.3%	11.3%	1.6%	100.0%
歯学部	13.5%	37.1%	27.0%	13.5%	7.9%	1.1%	100.0%
薬学部	17.1%	31.4%	25.7%	17.1%	8.6%	0.0%	100.0%
工学部	25.6%	30.5%	22.8%	8.7%	9.9%	2.6%	100.0%
芸術工学部	33.1%	30.8%	18.8%	6.8%	9.8%	0.8%	100.0%
農学部	25.2%	35.8%	22.0%	8.3%	5.5%	3.2%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	52.4%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	26.8%	33.7%	21.6%	8.1%	8.0%	1.9%	100.0%

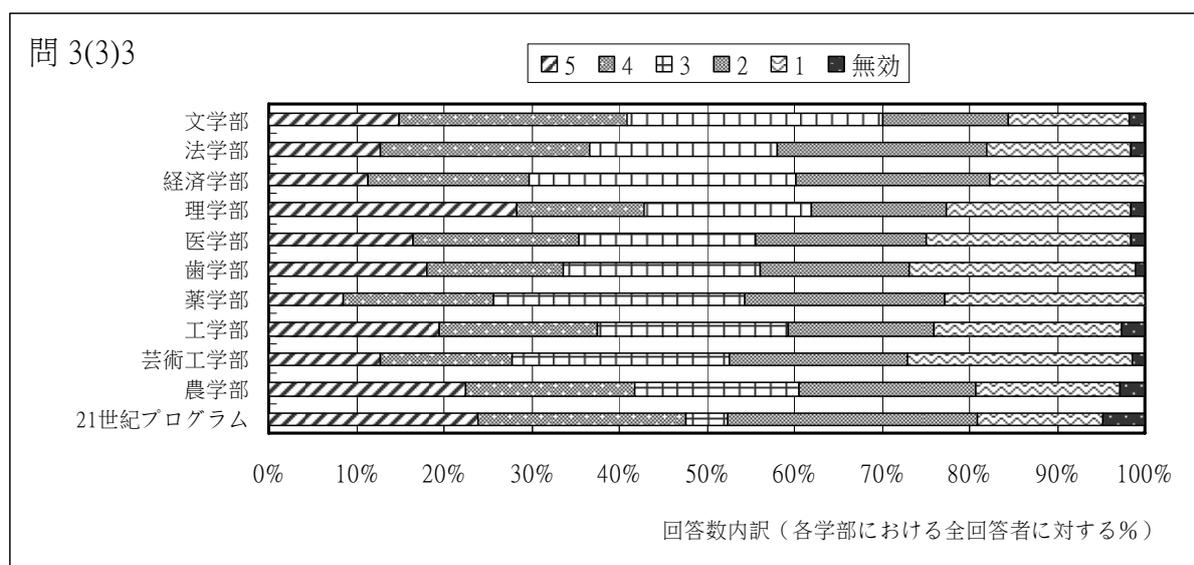


大学における外国語教育ニーズ分析

3. 専門的な内容について文書（論文、職務文書、e-mail、web-page等）を書く
 (5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 3	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	26	45	51	25	24	3	174
法学部	24	45	40	45	31	3	188
経済学部	28	46	76	55	44	0	249
理学部	73	37	49	40	54	4	257
医学部	41	47	50	48	58	4	248
歯学部	16	14	20	15	23	1	89
薬学部	3	6	10	8	8	0	35
工学部	175	161	195	150	191	24	896
芸術工学部	17	20	33	27	34	2	133
農学部	49	42	41	44	36	6	218
21世紀プログラム	5	5	1	6	3	1	21
合計	457	468	566	463	506	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14.9%	25.9%	29.3%	14.4%	13.8%	1.7%	100.0%
法学部	12.8%	23.9%	21.3%	23.9%	16.5%	1.6%	100.0%
経済学部	11.2%	18.5%	30.5%	22.1%	17.7%	0.0%	100.0%
理学部	28.4%	14.4%	19.1%	15.6%	21.0%	1.6%	100.0%
医学部	16.5%	19.0%	20.2%	19.4%	23.4%	1.6%	100.0%
歯学部	18.0%	15.7%	22.5%	16.9%	25.8%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	17.1%	28.6%	22.9%	22.9%	0.0%	100.0%
工学部	19.5%	18.0%	21.8%	16.7%	21.3%	2.7%	100.0%
芸術工学部	12.8%	15.0%	24.8%	20.3%	25.6%	1.5%	100.0%
農学部	22.5%	19.3%	18.8%	20.2%	16.5%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	23.8%	4.8%	28.6%	14.3%	4.8%	100.0%
合計	18.2%	18.7%	22.6%	18.5%	20.2%	1.9%	100.0%



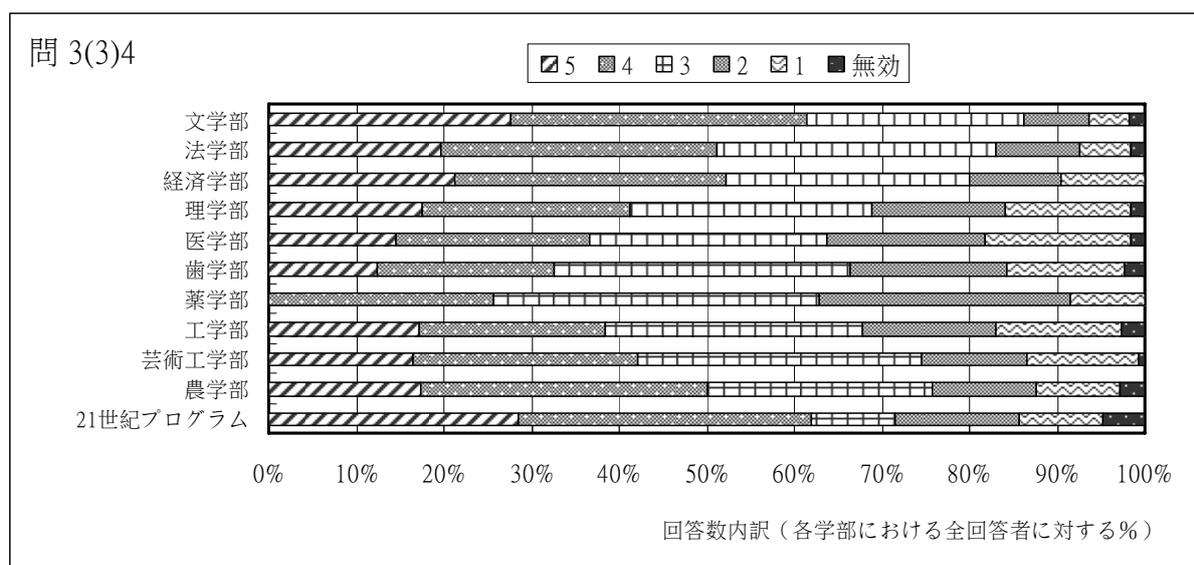
大学における外国語教育ニーズ分析

4. 一般的な内容について文書を書く

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 4	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	48	59	43	13	8	3	174
法学部	37	59	60	18	11	3	188
経済学部	53	77	69	26	24	0	249
理学部	45	61	71	39	37	4	257
医学部	36	55	67	45	41	4	248
歯学部	11	18	30	16	12	2	89
薬学部	0	9	13	10	3	0	35
工学部	154	190	264	135	129	24	896
芸術工学部	22	34	43	16	17	1	133
農学部	38	71	56	26	21	6	218
21世紀プログラム	6	7	2	3	2	1	21
合計	450	640	718	347	305	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	27.6%	33.9%	24.7%	7.5%	4.6%	1.7%	100.0%
法学部	19.7%	31.4%	31.9%	9.6%	5.9%	1.6%	100.0%
経済学部	21.3%	30.9%	27.7%	10.4%	9.6%	0.0%	100.0%
理学部	17.5%	23.7%	27.6%	15.2%	14.4%	1.6%	100.0%
医学部	14.5%	22.2%	27.0%	18.1%	16.5%	1.6%	100.0%
歯学部	12.4%	20.2%	33.7%	18.0%	13.5%	2.2%	100.0%
薬学部	0.0%	25.7%	37.1%	28.6%	8.6%	0.0%	100.0%
工学部	17.2%	21.2%	29.5%	15.1%	14.4%	2.7%	100.0%
芸術工学部	16.5%	25.6%	32.3%	12.0%	12.8%	0.8%	100.0%
農学部	17.4%	32.6%	25.7%	11.9%	9.6%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	28.6%	33.3%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	17.9%	25.5%	28.6%	13.8%	12.2%	1.9%	100.0%

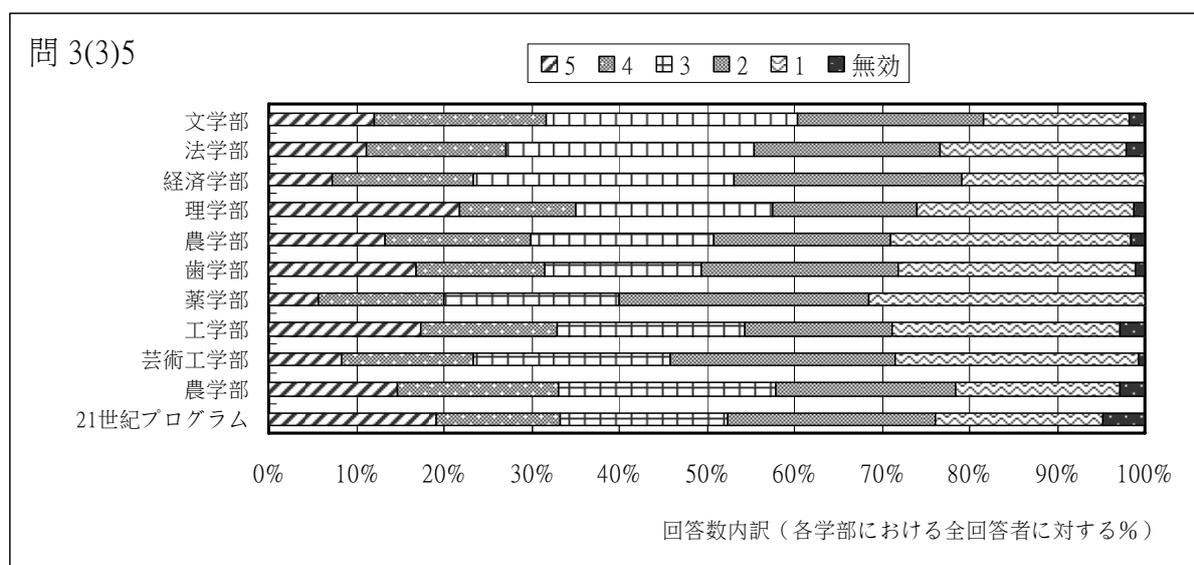


大学における外国語教育ニーズ分析

5. 専門的な内容について発表や講演 (presentation) をする
(5 非常にあてはまる <——> 1 全くあてはまらない)

3 (3) 5	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	21	34	50	37	29	3	174
法学部	21	30	53	40	40	4	188
経済学部	18	40	74	65	52	0	249
理学部	56	34	58	42	64	3	257
医学部	33	41	52	50	68	4	248
歯学部	15	13	16	20	24	1	89
薬学部	2	5	7	10	11	0	35
工学部	155	140	192	151	233	25	896
芸術工学部	11	20	30	34	37	1	133
農学部	32	40	54	45	41	6	218
21世紀プログラム	4	3	4	5	4	1	21
合計	368	400	590	499	603	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.1%	19.5%	28.7%	21.3%	16.7%	1.7%	100.0%
法学部	11.2%	16.0%	28.2%	21.3%	21.3%	2.1%	100.0%
経済学部	7.2%	16.1%	29.7%	26.1%	20.9%	0.0%	100.0%
理学部	21.8%	13.2%	22.6%	16.3%	24.9%	1.2%	100.0%
医学部	13.3%	16.5%	21.0%	20.2%	27.4%	1.6%	100.0%
歯学部	16.9%	14.6%	18.0%	22.5%	27.0%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	14.3%	20.0%	28.6%	31.4%	0.0%	100.0%
工学部	17.3%	15.6%	21.4%	16.9%	26.0%	2.8%	100.0%
芸術工学部	8.3%	15.0%	22.6%	25.6%	27.8%	0.8%	100.0%
農学部	14.7%	18.3%	24.8%	20.6%	18.8%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	14.3%	19.0%	23.8%	19.0%	4.8%	100.0%
合計	14.7%	15.9%	23.5%	19.9%	24.0%	1.9%	100.0%

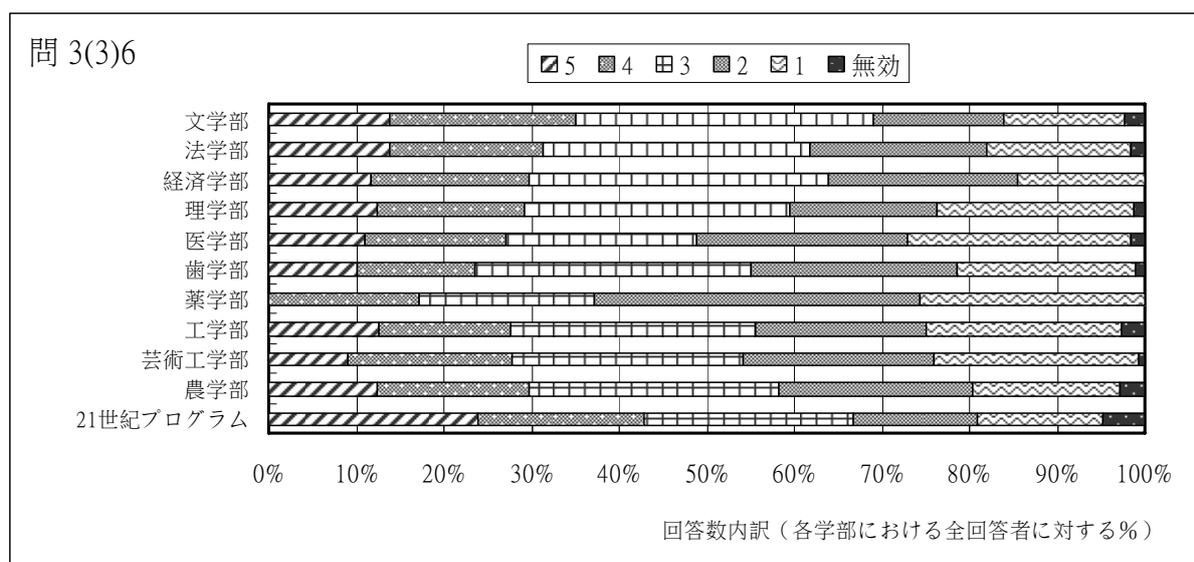


大学における外国語教育ニーズ分析

6. 一般的な内容について発表や講演 (presentation) をする
(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 6	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	24	37	59	26	24	4	174
法学部	26	33	57	38	31	3	188
経済学部	29	45	85	54	36	0	249
理学部	32	43	78	43	58	3	257
医学部	27	40	54	60	63	4	248
歯学部	9	12	28	21	18	1	89
薬学部	0	6	7	13	9	0	35
工学部	113	135	250	174	200	24	896
芸術工学部	12	25	35	29	31	1	133
農学部	27	38	62	48	37	6	218
21世紀プログラム	5	4	5	3	3	1	21
合計	304	418	720	509	510	47	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	13.8%	21.3%	33.9%	14.9%	13.8%	2.3%	100.0%
法学部	13.8%	17.6%	30.3%	20.2%	16.5%	1.6%	100.0%
経済学部	11.6%	18.1%	34.1%	21.7%	14.5%	0.0%	100.0%
理学部	12.5%	16.7%	30.4%	16.7%	22.6%	1.2%	100.0%
医学部	10.9%	16.1%	21.8%	24.2%	25.4%	1.6%	100.0%
歯学部	10.1%	13.5%	31.5%	23.6%	20.2%	1.1%	100.0%
薬学部	0.0%	17.1%	20.0%	37.1%	25.7%	0.0%	100.0%
工学部	12.6%	15.1%	27.9%	19.4%	22.3%	2.7%	100.0%
芸術工学部	9.0%	18.8%	26.3%	21.8%	23.3%	0.8%	100.0%
農学部	12.4%	17.4%	28.4%	22.0%	17.0%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	19.0%	23.8%	14.3%	14.3%	4.8%	100.0%
合計	12.1%	16.7%	28.7%	20.3%	20.3%	1.9%	100.0%



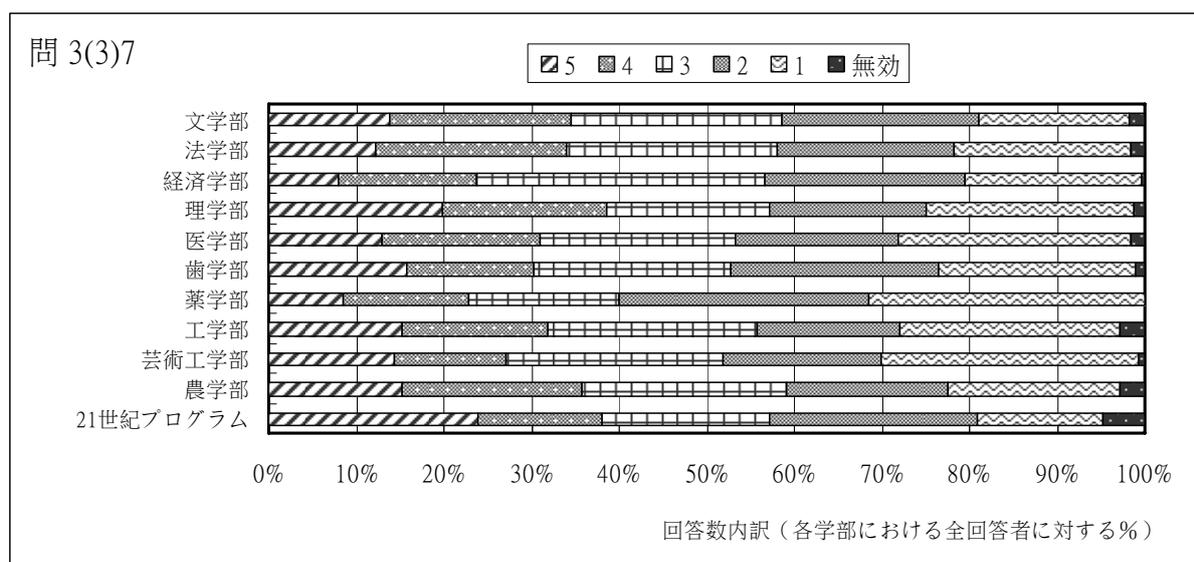
大学における外国語教育ニーズ分析

7. 専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 7	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	24	36	42	39	30	3	174
法学部	23	41	45	38	38	3	188
経済学部	20	39	82	57	50	1	249
理学部	51	48	48	46	61	3	257
医学部	32	45	55	46	66	4	248
歯学部	14	13	20	21	20	1	89
薬学部	3	5	6	10	11	0	35
工学部	136	149	215	145	226	25	896
芸術工学部	19	17	33	24	39	1	133
農学部	33	45	51	40	43	6	218
21世紀プログラム	5	3	4	5	3	1	21
合計	360	441	601	471	587	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	13.8%	20.7%	24.1%	22.4%	17.2%	1.7%	100.0%
法学部	12.2%	21.8%	23.9%	20.2%	20.2%	1.6%	100.0%
経済学部	8.0%	15.7%	32.9%	22.9%	20.1%	0.4%	100.0%
理学部	19.8%	18.7%	18.7%	17.9%	23.7%	1.2%	100.0%
医学部	12.9%	18.1%	22.2%	18.5%	26.6%	1.6%	100.0%
歯学部	15.7%	14.6%	22.5%	23.6%	22.5%	1.1%	100.0%
薬学部	8.6%	14.3%	17.1%	28.6%	31.4%	0.0%	100.0%
工学部	15.2%	16.6%	24.0%	16.2%	25.2%	2.8%	100.0%
芸術工学部	14.3%	12.8%	24.8%	18.0%	29.3%	0.8%	100.0%
農学部	15.1%	20.6%	23.4%	18.3%	19.7%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	14.3%	19.0%	23.8%	14.3%	4.8%	100.0%
合計	14.4%	17.6%	24.0%	18.8%	23.4%	1.9%	100.0%



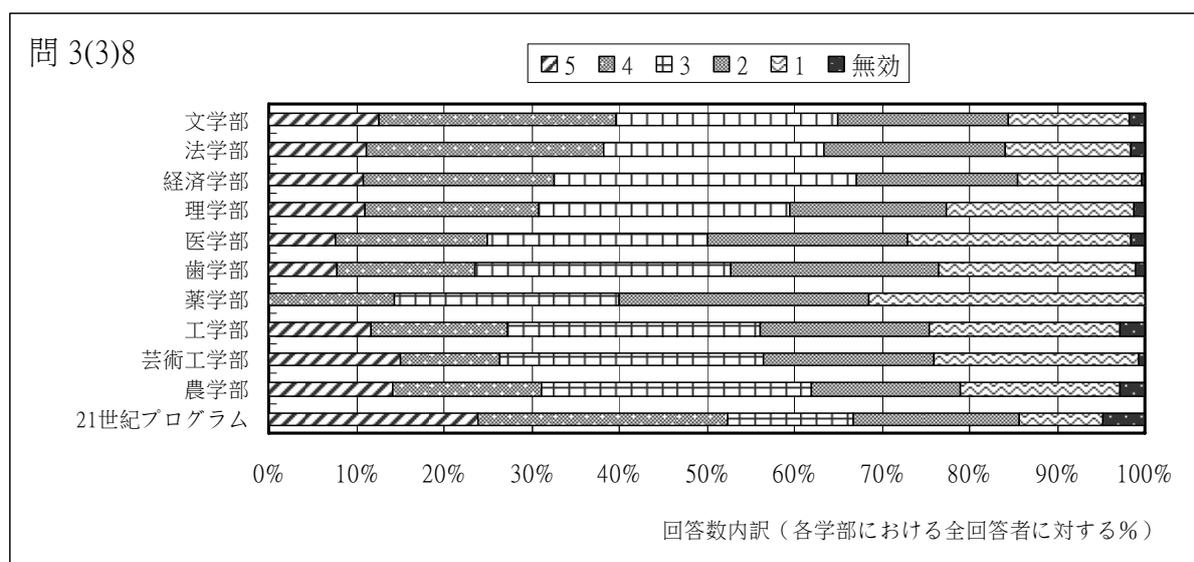
大学における外国語教育ニーズ分析

8. 一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 8	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	22	47	44	34	24	3	174
法学部	21	51	47	39	27	3	188
経済学部	27	54	86	46	35	1	249
理学部	28	51	74	46	55	3	257
医学部	19	43	62	57	63	4	248
歯学部	7	14	26	21	20	1	89
薬学部	0	5	9	10	11	0	35
工学部	105	139	258	174	195	25	896
芸術工学部	20	15	40	26	31	1	133
農学部	31	37	67	37	40	6	218
21世紀プログラム	5	6	3	4	2	1	21
合計	285	462	716	494	503	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.6%	27.0%	25.3%	19.5%	13.8%	1.7%	100.0%
法学部	11.2%	27.1%	25.0%	20.7%	14.4%	1.6%	100.0%
経済学部	10.8%	21.7%	34.5%	18.5%	14.1%	0.4%	100.0%
理学部	10.9%	19.8%	28.8%	17.9%	21.4%	1.2%	100.0%
医学部	7.7%	17.3%	25.0%	23.0%	25.4%	1.6%	100.0%
歯学部	7.9%	15.7%	29.2%	23.6%	22.5%	1.1%	100.0%
薬学部	0.0%	14.3%	25.7%	28.6%	31.4%	0.0%	100.0%
工学部	11.7%	15.5%	28.8%	19.4%	21.8%	2.8%	100.0%
芸術工学部	15.0%	11.3%	30.1%	19.5%	23.3%	0.8%	100.0%
農学部	14.2%	17.0%	30.7%	17.0%	18.3%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	23.8%	28.6%	14.3%	19.0%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	11.4%	18.4%	28.5%	19.7%	20.1%	1.9%	100.0%



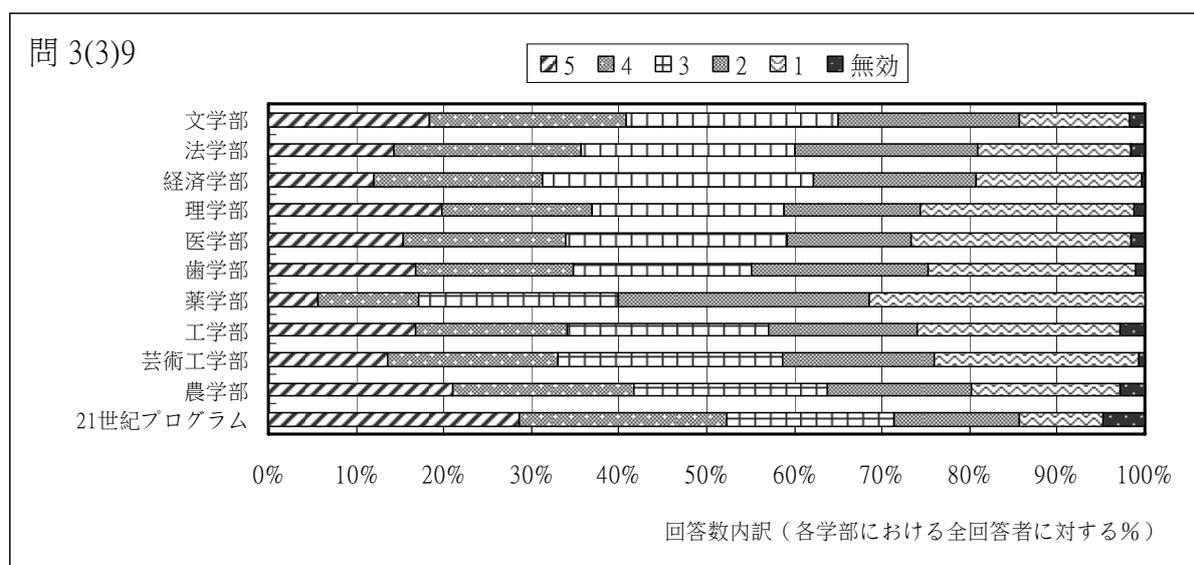
大学における外国語教育ニーズ分析

9. 専門的な内容について会話・会談・交渉をする

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 9	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	32	39	42	36	22	3	174
法学部	27	40	46	39	33	3	188
経済学部	30	48	77	46	47	1	249
理学部	51	44	56	40	63	3	257
医学部	38	46	63	35	62	4	248
歯学部	15	16	18	18	21	1	89
薬学部	2	4	8	10	11	0	35
工学部	150	156	205	152	208	25	896
芸術工学部	18	26	34	23	31	1	133
農学部	46	45	48	36	37	6	218
21世紀プログラム	6	5	4	3	2	1	21
合計	415	469	601	438	537	48	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	18.4%	22.4%	24.1%	20.7%	12.6%	1.7%	100.0%
法学部	14.4%	21.3%	24.5%	20.7%	17.6%	1.6%	100.0%
経済学部	12.0%	19.3%	30.9%	18.5%	18.9%	0.4%	100.0%
理学部	19.8%	17.1%	21.8%	15.6%	24.5%	1.2%	100.0%
医学部	15.3%	18.5%	25.4%	14.1%	25.0%	1.6%	100.0%
歯学部	16.9%	18.0%	20.2%	20.2%	23.6%	1.1%	100.0%
薬学部	5.7%	11.4%	22.9%	28.6%	31.4%	0.0%	100.0%
工学部	16.7%	17.4%	22.9%	17.0%	23.2%	2.8%	100.0%
芸術工学部	13.5%	19.5%	25.6%	17.3%	23.3%	0.8%	100.0%
農学部	21.1%	20.6%	22.0%	16.5%	17.0%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	28.6%	23.8%	19.0%	14.3%	9.5%	4.8%	100.0%
合計	16.5%	18.7%	24.0%	17.5%	21.4%	1.9%	100.0%



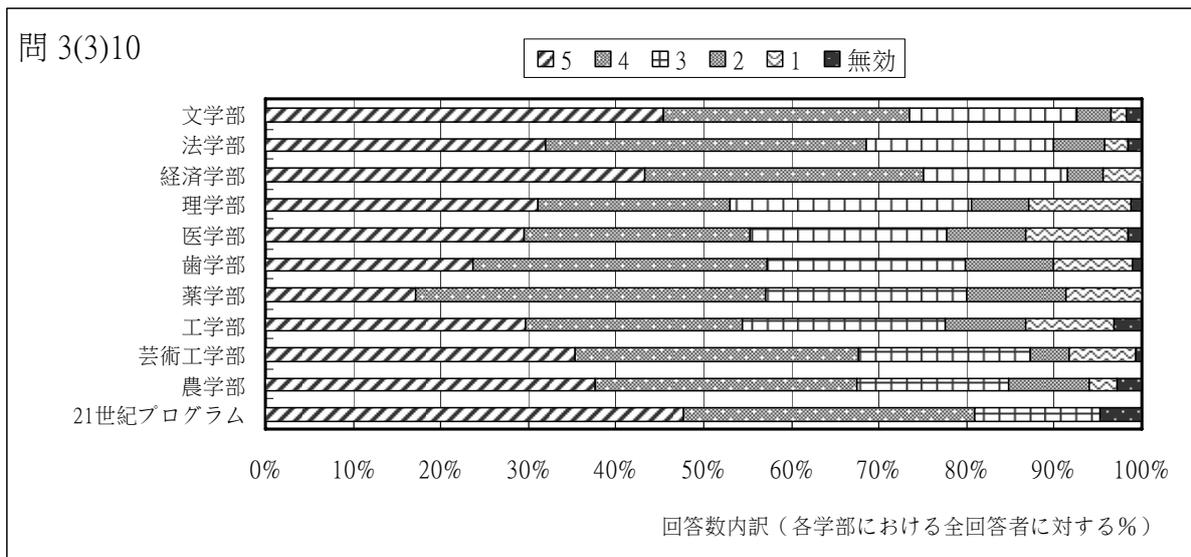
大学における外国語教育ニーズ分析

10. 一般的な内容について会話をする

(5 非常にあてはまる<——>1 全くあてはまらない)

3 (3) 10	5	4	3	2	1	0	合計
医学部	79	49	33	7	3	3	174
法学部	60	69	40	11	5	3	188
経済学部	108	79	41	10	11	0	249
理学部	80	56	71	17	30	3	257
医学部	73	64	56	22	29	4	248
歯学部	21	30	20	9	8	1	89
薬学部	6	14	8	4	3	0	35
工学部	266	222	207	83	90	28	896
芸術工学部	47	43	26	6	10	1	133
農学部	82	65	38	20	7	6	218
21世紀プログラム	10	7	3	0	0	1	21
合計	832	698	543	189	196	50	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	45.4%	28.2%	19.0%	4.0%	1.7%	1.7%	100.0%
法学部	31.9%	36.7%	21.3%	5.9%	2.7%	1.6%	100.0%
経済学部	43.4%	31.7%	16.5%	4.0%	4.4%	0.0%	100.0%
理学部	31.1%	21.8%	27.6%	6.6%	11.7%	1.2%	100.0%
医学部	29.4%	25.8%	22.6%	8.9%	11.7%	1.6%	100.0%
歯学部	23.6%	33.7%	22.5%	10.1%	9.0%	1.1%	100.0%
薬学部	17.1%	40.0%	22.9%	11.4%	8.6%	0.0%	100.0%
工学部	29.7%	24.8%	23.1%	9.3%	10.0%	3.1%	100.0%
芸術工学部	35.3%	32.3%	19.5%	4.5%	7.5%	0.8%	100.0%
農学部	37.6%	29.8%	17.4%	9.2%	3.2%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	47.6%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	33.2%	27.8%	21.7%	7.5%	7.8%	2.0%	100.0%



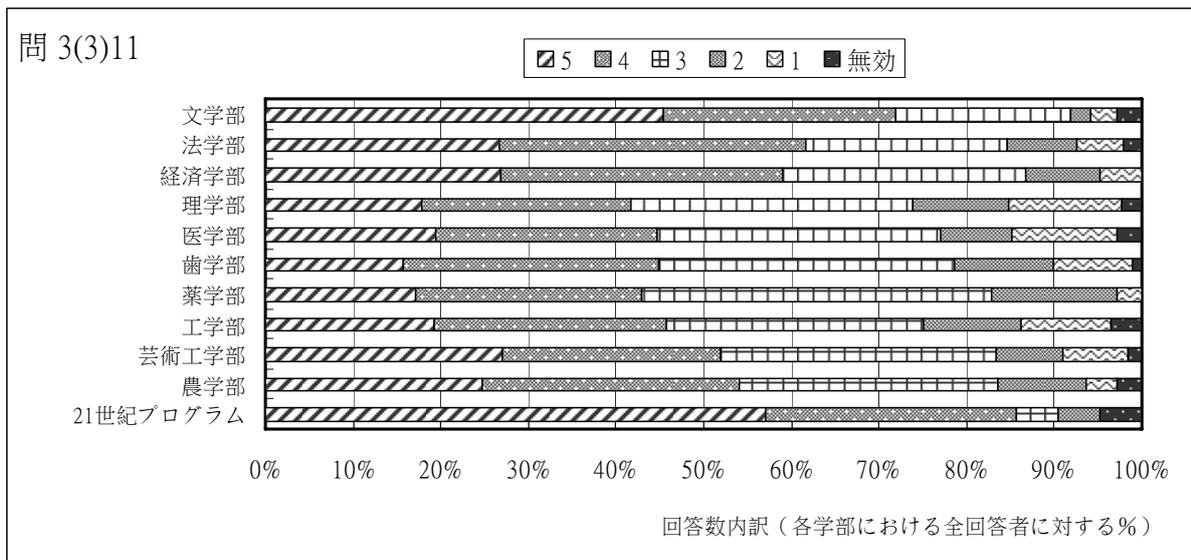
大学における外国語教育ニーズ分析

11. 当該言語が使用されている地域の文化・社会的状況の理解

(5 非常にあてはまる <——> 1 全くあてはまらない)

3 (3) 11	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	79	46	35	4	5	5	174
法学部	50	66	43	15	10	4	188
経済学部	67	80	69	21	12	0	249
理学部	46	61	83	28	33	6	257
医学部	48	63	80	20	30	7	248
歯学部	14	26	30	10	8	1	89
薬学部	6	9	14	5	1	0	35
工学部	173	237	263	99	92	32	896
芸術工学部	36	33	42	10	10	2	133
農学部	54	64	64	22	8	6	218
21世紀プログラム	12	6	1	1	0	1	21
合計	585	691	724	235	209	64	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	45.4%	26.4%	20.1%	2.3%	2.9%	2.9%	100.0%
法学部	26.6%	35.1%	22.9%	8.0%	5.3%	2.1%	100.0%
経済学部	26.9%	32.1%	27.7%	8.4%	4.8%	0.0%	100.0%
理学部	17.9%	23.7%	32.3%	10.9%	12.8%	2.3%	100.0%
医学部	19.4%	25.4%	32.3%	8.1%	12.1%	2.8%	100.0%
歯学部	15.7%	29.2%	33.7%	11.2%	9.0%	1.1%	100.0%
薬学部	17.1%	25.7%	40.0%	14.3%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	19.3%	26.5%	29.4%	11.0%	10.3%	3.6%	100.0%
芸術工学部	27.1%	24.8%	31.6%	7.5%	7.5%	1.5%	100.0%
農学部	24.8%	29.4%	29.4%	10.1%	3.7%	2.8%	100.0%
21世紀プログラム	57.1%	28.6%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	23.3%	27.6%	28.9%	9.4%	8.3%	2.6%	100.0%



12. その他に身につけたい技能があれば以下に具体的に書いてください。

- ・ 日常会話 (3)
- ・ リンゴを片手で握りつぶす (1)
- ・ 翻訳 (1)
- ・ 方言 (1)
- ・ 文法 (2)
- ・ フランスの工学部門での様子が知りたい (1)
- ・ 話せること。 (2)
- ・ ニュース、ラジオ etc の聞きとり (1)
- ・ ドラマ、映画の字幕なしでの理解 (1)
- ・ とにかく英語になれたい (1)
- ・ 知識として簡単な文章の理解や会話ができれば十分 (1)
- ・ 単語力 (1)
- ・ 単語の由来を知りたい (1)
- ・ 単位がもらえれば、その後は使わない。 (1)
- ・ その言語圏の文化知識 (1)
- ・ しっかりとした英語を使いたい (1)
- ・ 原文でゲーテの詩集を読めるようになりたい (1)
- ・ 検定を受けたい。 (1)
- ・ 危険物取扱の免許 (1)
- ・ 韓国の映画を字幕なしで観たかった。無理だった。ぼくかのが観たい。 (1)
- ・ 外国語を使わず日本語だけで誇らしく生きていく技能 (1)
- ・ 海外での生活で用いる (会話や新聞ニュースなどを見る) (1)
- ・ いらぬ、費用、時間の無駄、もっと他に身につけるべき能力がある、必要な人は自分で勉強するはず、第二外国語の教官を雇う税金がもったいない (2)
- ・ 一般的な講演を聞く。 (1)
- ・ 生きる術 (1)

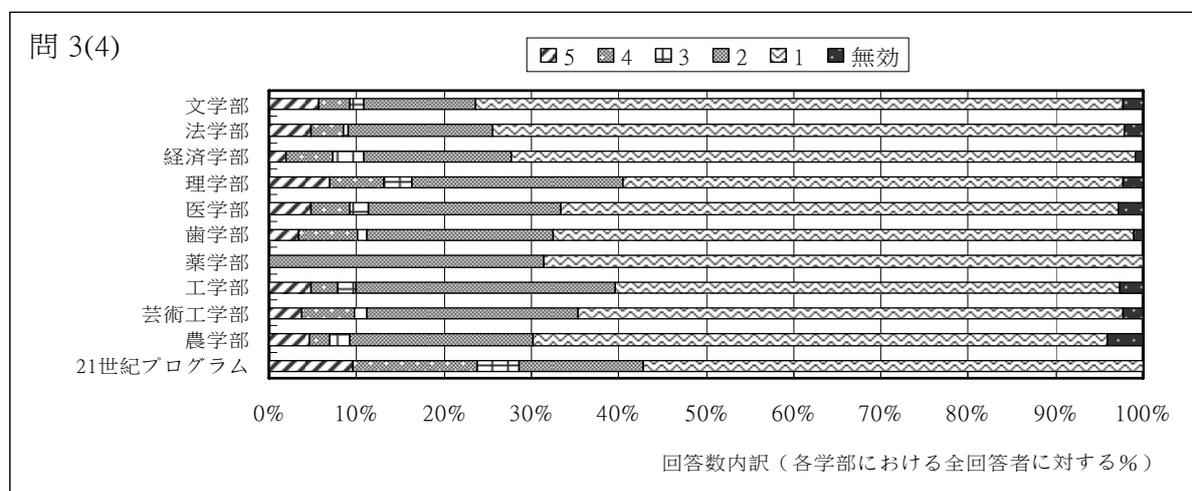
(4) 現在、九州大学では第1外国語と第2外国語の2つの外国語が必修となっています。この点についてどう思いますか。(「必修」とは当該科目の履修単位が卒業に必要な単位数の中に含まれていることを指します。現在、文系では第1外国語7単位、第2外国語5単位、理系では第1外国語6単位、第2外国語4単位が必修となっています。)

1. 現状のままでよい、2. 必修とすべき外国語は1つだけでよい、3. 必修とすべき外国語の数はもっと増やした方がよい、4. 外国語は必修とする必要はない、5. よくわからない

大学における外国語教育ニーズ分析

3 (4)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	10	6	3	22	129	4	174
法学部	9	7	1	31	136	4	188
経済学部	5	13	9	42	178	2	249
理学部	18	16	8	62	147	6	257
医学部	12	11	5	55	158	7	248
歯学部	3	6	1	19	59	1	89
薬学部	0	0	0	11	24	0	35
工学部	43	27	19	266	517	24	896
芸術工学部	5	8	2	32	83	3	133
農学部	10	5	5	46	143	9	218
21世紀プログラム	2	3	1	3	12	0	21
合計	117	102	54	589	1586	60	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	4.8%	3.7%	0.5%	16.5%	72.3%	2.1%	100.0%
法学部	2.0%	5.2%	3.6%	16.9%	71.5%	0.8%	100.0%
経済学部	7.0%	6.2%	3.1%	24.1%	57.2%	2.3%	100.0%
理学部	4.8%	4.4%	2.0%	22.2%	63.7%	2.8%	100.0%
医学部	3.4%	6.7%	1.1%	21.3%	66.3%	1.1%	100.0%
歯学部	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%	68.6%	0.0%	100.0%
薬学部	4.8%	3.0%	2.1%	29.7%	57.7%	2.7%	100.0%
工学部	3.8%	6.0%	1.5%	24.1%	62.4%	2.3%	100.0%
芸術工学部	4.6%	2.3%	2.3%	21.1%	65.6%	4.1%	100.0%
農学部	9.5%	14.3%	4.8%	14.3%	57.1%	0.0%	100.0%
21世紀プログラム	4.7%	4.1%	2.2%	23.5%	63.2%	2.4%	100.0%
合計	4.7%	4.1%	2.2%	23.5%	63.2%	2.4%	100.0%



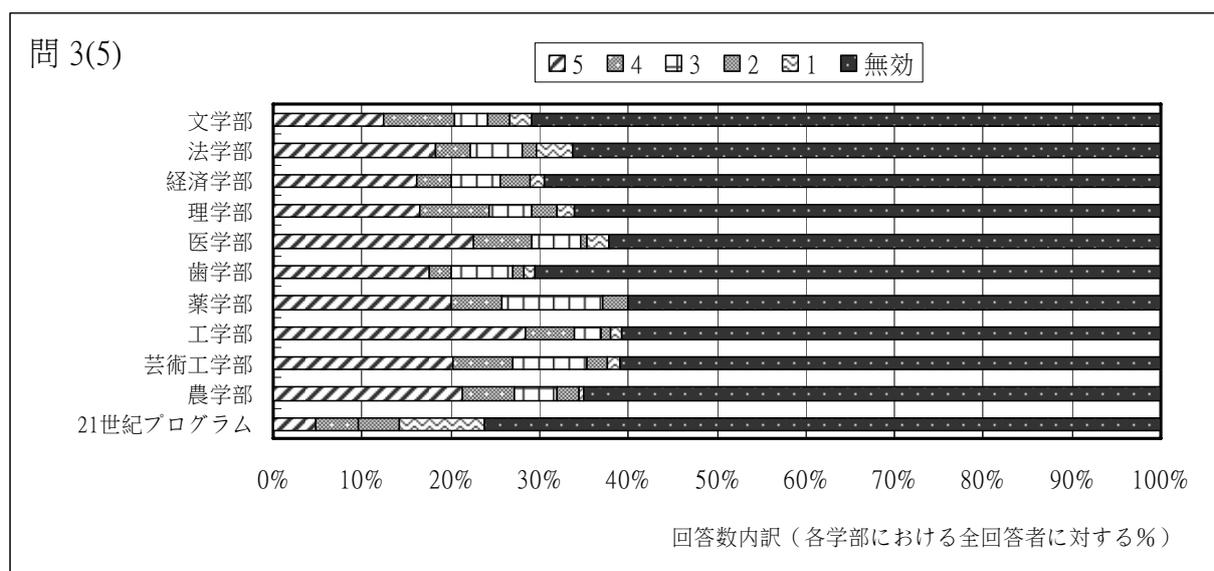
大学における外国語教育ニーズ分析

(5) (4)で2.を選んだ方に尋ねます。履修すべき1つの外国語として英語を指定することをどう思いますか。5段階評価で該当する番号を○で囲んでください。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (5)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20	13	6	4	4	114	161
法学部	32	7	10	3	7	116	175
経済学部	38	9	13	8	4	163	235
理学部	41	19	12	7	5	163	247
医学部	55	16	13	2	6	151	243
歯学部	15	2	6	1	1	60	85
薬学部	7	2	4	1	0	21	35
工学部	246	49	25	10	11	527	868
芸術工学部	27	9	11	3	2	81	133
農学部	44	12	10	5	1	134	206
21世紀プログラム	1	1	0	1	2	16	21
合計	526	139	110	45	43	1546	2409

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	12.4%	8.1%	3.7%	2.5%	2.5%	70.8%	100.0%
法学部	18.3%	4.0%	5.7%	1.7%	4.0%	66.3%	100.0%
経済学部	16.2%	3.8%	5.5%	3.4%	1.7%	69.4%	100.0%
理学部	16.6%	7.7%	4.9%	2.8%	2.0%	66.0%	100.0%
医学部	22.6%	6.6%	5.3%	0.8%	2.5%	62.1%	100.0%
歯学部	17.6%	2.4%	7.1%	1.2%	1.2%	70.6%	100.0%
薬学部	20.0%	5.7%	11.4%	2.9%	0.0%	60.0%	100.0%
工学部	28.3%	5.6%	2.9%	1.2%	1.3%	60.7%	100.0%
芸術工学部	20.3%	6.8%	8.3%	2.3%	1.5%	60.9%	100.0%
農学部	21.4%	5.8%	4.9%	2.4%	0.5%	65.0%	100.0%
21世紀プログラム	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	9.5%	76.2%	100.0%
合計	21.8%	5.8%	4.6%	1.9%	1.8%	64.2%	100.0%



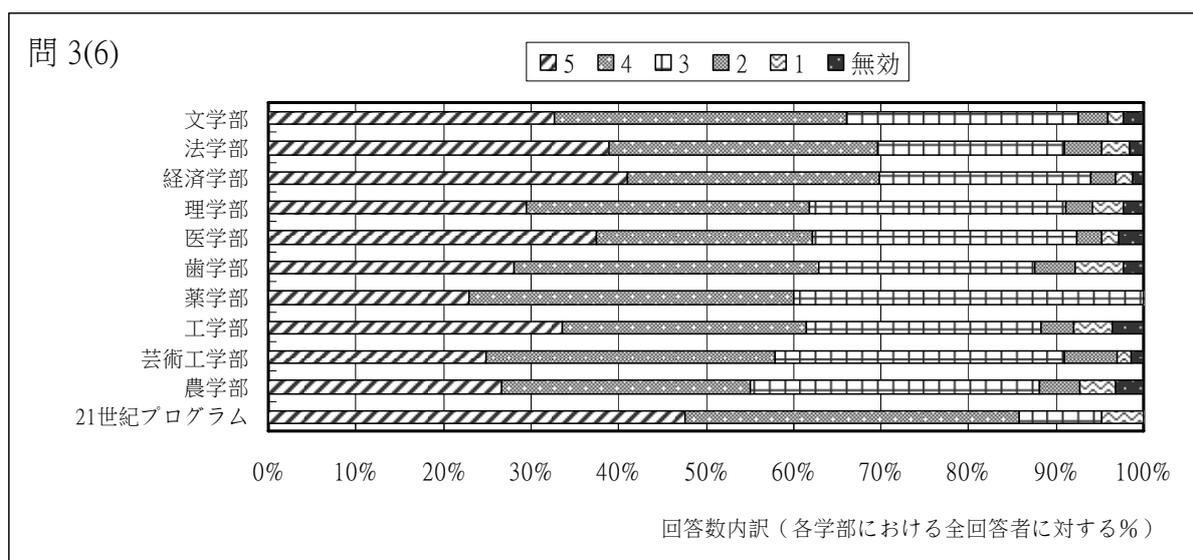
大学における外国語教育ニーズ分析

(6) 現在、英語以外の外国語の必修単位の一部を検定試験の結果で代替させることができる大学がありますがこの点についてどう思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (6)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	57	58	46	6	3	4	174
法学部	73	58	40	8	6	3	188
経済学部	102	72	60	7	5	3	249
理学部	76	83	75	8	9	6	257
医学部	93	61	75	7	5	7	248
歯学部	25	31	22	4	5	2	89
薬学部	8	13	14	0	0	0	35
工学部	300	251	240	33	40	32	896
芸術工学部	33	44	44	8	2	2	133
農学部	58	62	72	10	9	7	218
21世紀プログラム	10	8	2	0	1	0	21
合計	835	741	690	91	85	66	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	32.8%	33.3%	26.4%	3.4%	1.7%	2.3%	100.0%
法学部	38.8%	30.9%	21.3%	4.3%	3.2%	1.6%	100.0%
経済学部	41.0%	28.9%	24.1%	2.8%	2.0%	1.2%	100.0%
理学部	29.6%	32.3%	29.2%	3.1%	3.5%	2.3%	100.0%
医学部	37.5%	24.6%	30.2%	2.8%	2.0%	2.8%	100.0%
歯学部	28.1%	34.8%	24.7%	4.5%	5.6%	2.2%	100.0%
薬学部	22.9%	37.1%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	33.5%	28.0%	26.8%	3.7%	4.5%	3.6%	100.0%
芸術工学部	24.8%	33.1%	33.1%	6.0%	1.5%	1.5%	100.0%
農学部	26.6%	28.4%	33.0%	4.6%	4.1%	3.2%	100.0%
21世紀プログラム	47.6%	38.1%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
合計	33.3%	29.5%	27.5%	3.6%	3.4%	2.6%	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

(7) (6)で英語以外の外国語の検定試験による単位化に対して否定的な意見の方は、その理由を以下に具体的に書いてください。

- ・ 検定試験と単位は別だと思うから。検定試験を単位化したら授業における勉強よりも検定試験に重点をおいてしまうから。(4)
- ・ 英語以外の言語の試験のために時間をかけるよりは英語をした方がいいと思われる。それでも、他の言語をするのであれば授業の方がいい。(1)
- ・ やっぱ今からは英語でしょ。まあ、中国語もかなり需要でてくるかもですけど。(1)
- ・ もともとその言語ができる人に有利だから(5)
- ・ まず英語が必要だと思うから(17)
- ・ ほかの言語も勉強すべき。(2)
- ・ ペーパー試験では得られない能力がたくさんあるから(1)
- ・ ひととおり、きちんと授業を受けた方がいいから。(7)
- ・ 半年でそんなに理解することは不可能だから(2)
- ・ 発音などが身につかない。合格した後の言語の勉強に対する意欲の低下。(2)
- ・ 能力があるという以上に、経験を積むことが重要だと考えるから(1)
- ・ 何のために勉強するのが、将来のためということに集中しすぎるから(この点では英語も同じ)(1)
- ・ なんかせこい(1)
- ・ 特にないが必修にすること自体に反対だから(1)
- ・ テストのために勉強することと外国語を話せることは違うと考えるため(2)
- ・ つまんないじゃん(1)
- ・ 力のある人がうらやましい(1)
- ・ 第二外国語自体が必要ないから(1)
- ・ 大学の講義では能力の差に関わらず皆が平等に受けるべきだと思う(1)
- ・ 大学行ったらいい(1)
- ・ その時だけしか勉強しないので身につかない。(2)
- ・ その受験料は授業料の中から出すべきだ。(1)
- ・ その国の文化とかも知った方がいいと思うから、授業も必要(5)
- ・ せっかくの講義がもったいないし、個人的な理由で検定が受けられない人にも配慮すべき(1)
- ・ すでにそれを知っているなら第2外国語として他の自分の知らないものを選ぶべきだから。(1)
- ・ 出席する必然性がなくなる(3)
- ・ 授業を受けることを減らすことはあまりいいこととおもえないから(1)
- ・ 授業での教員とのコミュニケーションも大切だと思うから。(1)
- ・ 実際に英語で学生や先生とコミュニケーションを取ることが大事だと思う(1)
- ・ 試験だけでは判断できない技能を授業では身につけられると思うから。(2)
- ・ さらなる向上の可能性をなくしてしまう(1)
- ・ 個人差があるから。(1)
- ・ 講義に参加することに意味があると思うから(2)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 検定と授業では、得られるものがちがうから。(1)
- ・ 検定試験による単位化では、外国語の能力のみしか評価しないことになる。(1)
- ・ 検定試験ができたからといってその言語を修得したとは決していけないから(5)
- ・ 検定参加の強制力が生まれてくるから(1)
- ・ 検定があんまり一般的じゃないから(1)
- ・ 教官によって異なるが、身に付いて利用できる外国語を学ぶチャンスがふえるし、お金もかからない(1)
- ・ 会話をして実力を伸ばすべきだと思うから。(2)
- ・ 外国人だから(1)
- ・ 外国語は習慣的に学習すべきである(1)
- ・ 外国語により検定の難易度が異なるため(1)
- ・ 英語では認めていないのに、他の外国語でそれを認めるのはおかしい(1)
- ・ 英語がおろそかになる。(3)
- ・ 英語以外の外国語は、大学卒業後に用いることはあまりなく、検定試験による部分的な学習をするだけでは、すぐに忘れてしまうと思うから(1)
- ・ 英語以外の外国語の必修単位の一部を検定試験の結果で代替させるぐらいなら、まだ授業をしたほうが良いと思うから(1)
- ・ あんき系のしけんでいみがなさそう(1)
- ・ 1年という長い期間他言語にふれることは悪くないことである試験の勉強なんてほんのわずかなきかんですぐに忘れてしまう(2)

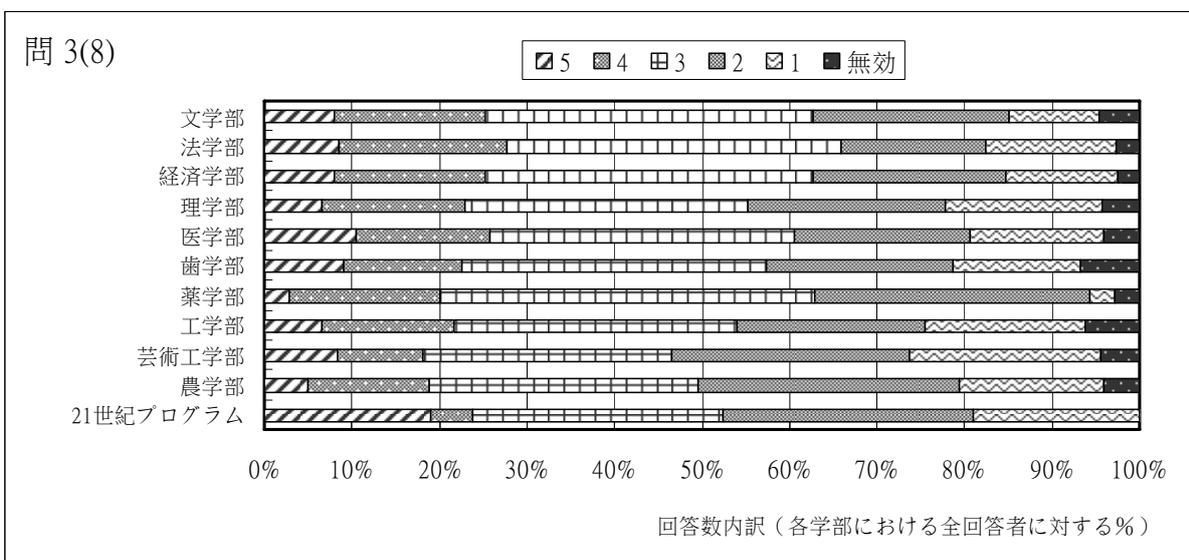
大学における外国語教育ニーズ分析

(8) 現在、外国語の授業が非対面方式、すなわち、コンピューター等の機材を用いて行われている大学もあります。この点についてどう思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (8)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	14	30	65	39	18	8	174
法学部	16	36	72	31	28	5	188
経済学部	20	43	93	55	32	6	249
理学部	17	42	83	58	46	11	257
医学部	26	38	86	50	38	10	248
歯学部	8	12	31	19	13	6	89
薬学部	1	6	15	11	1	1	35
工学部	59	135	290	192	164	56	896
芸術工学部	11	13	38	36	29	6	133
農学部	11	30	67	65	36	9	218
21世紀プログラム	4	1	6	6	4	0	21
合計	187	386	846	562	409	118	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	8.0%	17.2%	37.4%	22.4%	10.3%	4.6%	100.0%
法学部	8.5%	19.1%	38.3%	16.5%	14.9%	2.7%	100.0%
経済学部	8.0%	17.3%	37.3%	22.1%	12.9%	2.4%	100.0%
理学部	6.6%	16.3%	32.3%	22.6%	17.9%	4.3%	100.0%
医学部	10.5%	15.3%	34.7%	20.2%	15.3%	4.0%	100.0%
歯学部	9.0%	13.5%	34.8%	21.3%	14.6%	6.7%	100.0%
薬学部	2.9%	17.1%	42.9%	31.4%	2.9%	2.9%	100.0%
工学部	6.6%	15.1%	32.4%	21.4%	18.3%	6.3%	100.0%
芸術工学部	8.3%	9.8%	28.6%	27.1%	21.8%	4.5%	100.0%
農学部	5.0%	13.8%	30.7%	29.8%	16.5%	4.1%	100.0%
21世紀プログラム	19.0%	4.8%	28.6%	28.6%	19.0%	0.0%	100.0%
合計	7.5%	15.4%	33.7%	22.4%	16.3%	4.7%	100.0%

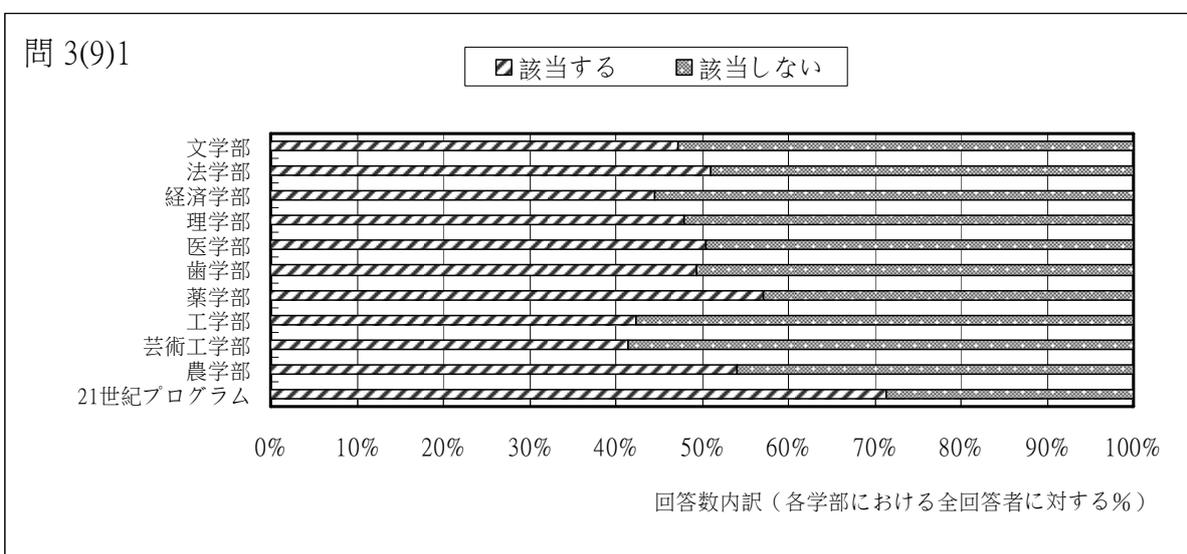


大学における外国語教育ニーズ分析

- (9) 九州大学では現在、言語文化科目Ⅱ（卒業に必要な外国語の単位には含まれない言語文化科目 1週間1回(90分)で2単位)として、イタリア語、オランダ語、エスペラント、インドネシア語が履修できるようになっています。これ以外の外国語を開講するとしたら、どのような外国語がよいでしょうか。該当する番号を○で囲んでください。複数回答可。

1. ベトナム語, タイ語といった東南アジア地域の言語

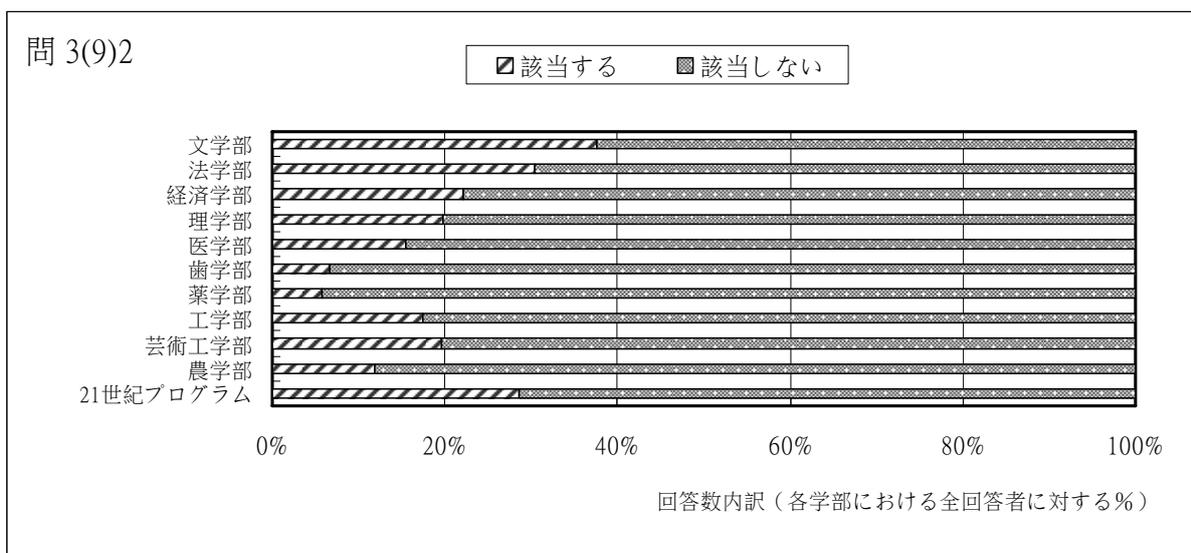
3 (9) 1	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	82	47.1%	92	52.9%	174	100.0%
法学部	96	51.1%	92	48.9%	188	100.0%
経済学部	111	44.6%	138	55.4%	249	100.0%
理学部	123	47.9%	134	52.1%	257	100.0%
医学部	125	50.4%	123	49.6%	248	100.0%
歯学部	44	49.4%	45	50.6%	89	100.0%
薬学部	20	57.1%	15	42.9%	35	100.0%
工学部	380	42.4%	516	57.6%	896	100.0%
芸術工学部	55	41.4%	78	58.6%	133	100.0%
農学部	118	54.1%	100	45.9%	218	100.0%
21世紀プログラム	15	71.4%	6	28.6%	21	100.0%
合計	1169	46.6%	1339	53.4%	2508	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

2. アラブ文化圏の言語

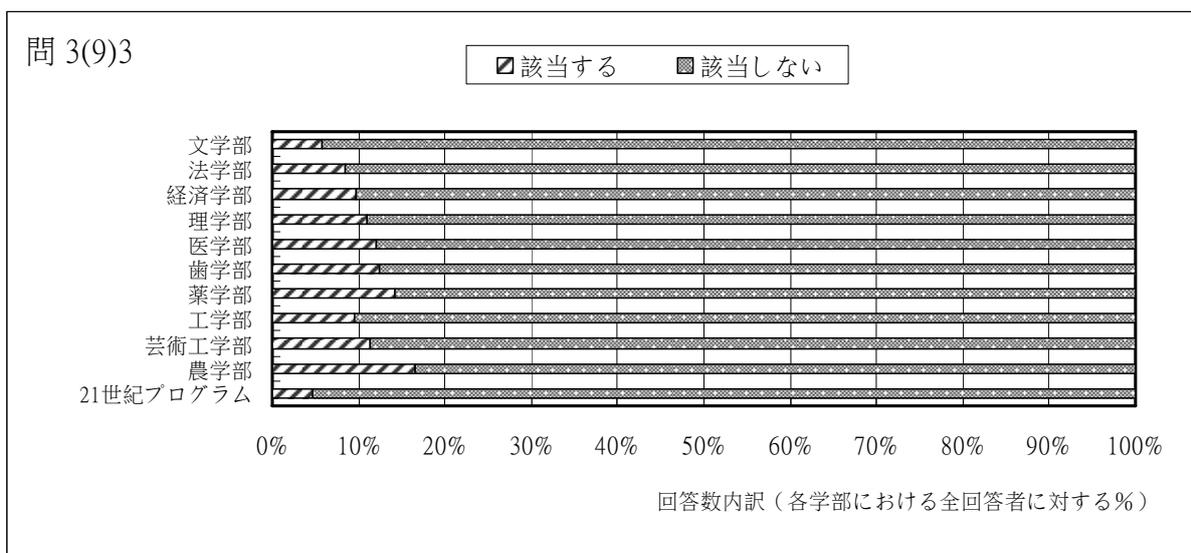
3 (9) 2	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	65	37.6%	108	62.4%	173	100.0%
法学部	57	30.3%	131	69.7%	188	100.0%
経済学部	55	22.1%	194	77.9%	249	100.0%
理学部	51	19.8%	206	80.2%	257	100.0%
医学部	38	15.4%	209	84.6%	247	100.0%
歯学部	6	6.7%	83	93.3%	89	100.0%
薬学部	2	5.7%	33	94.3%	35	100.0%
工学部	156	17.4%	739	82.6%	895	100.0%
芸術工学部	26	19.5%	107	80.5%	133	100.0%
農学部	26	11.9%	192	88.1%	218	100.0%
21世紀プログラム	6	28.6%	15	71.4%	21	100.0%
合計	488	19.5%	2017	80.5%	2505	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

3. アフリカ大陸の言語

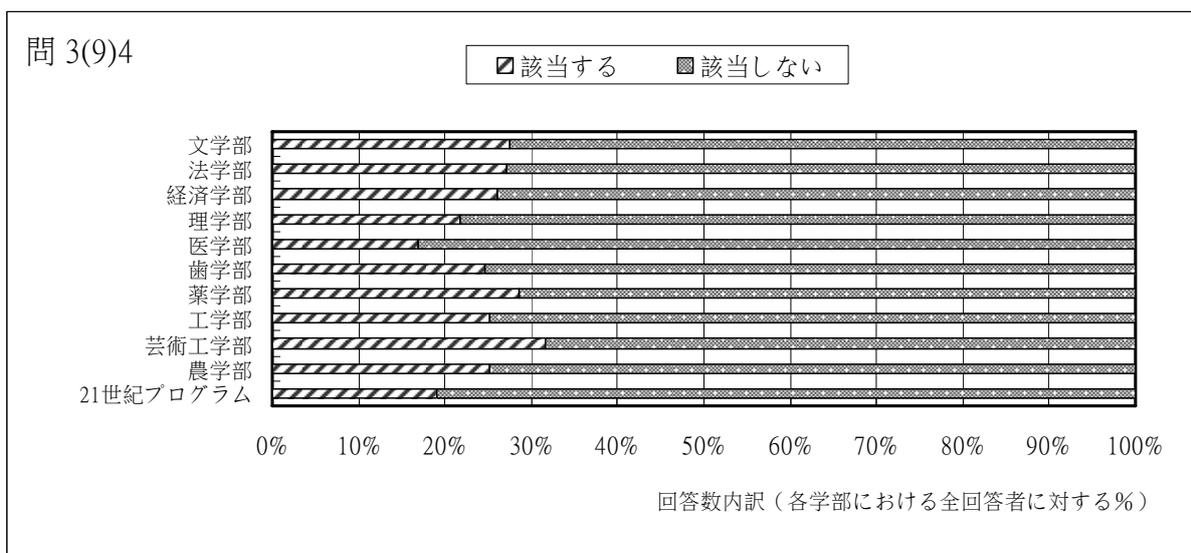
3 (9) 3	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	10	5.7%	164	94.3%	174	100.0%
法学部	16	8.5%	172	91.5%	188	100.0%
経済学部	24	9.6%	225	90.4%	249	100.0%
理学部	28	10.9%	229	89.1%	257	100.0%
医学部	30	12.1%	218	87.9%	248	100.0%
歯学部	11	12.4%	78	87.6%	89	100.0%
薬学部	5	14.3%	30	85.7%	35	100.0%
工学部	85	9.5%	811	90.5%	896	100.0%
芸術工学部	15	11.3%	118	88.7%	133	100.0%
農学部	36	16.5%	182	83.5%	218	100.0%
21世紀プログラム	1	4.8%	20	95.2%	21	100.0%
合計	261	10.4%	2247	89.6%	2508	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

4. 北欧の言語

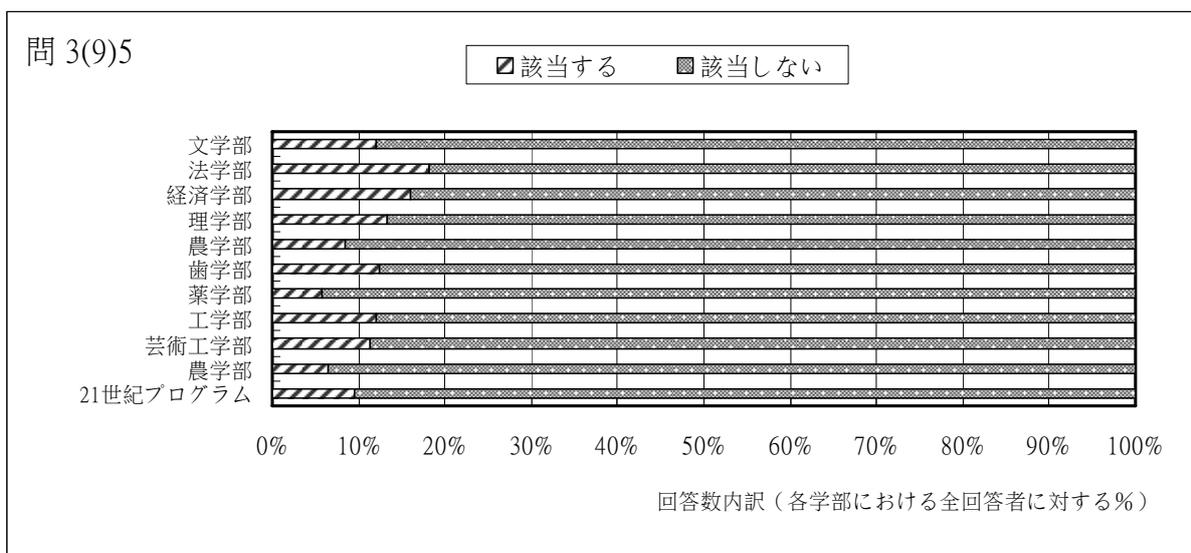
3 (9) 4	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	48	27.6%	126	72.4%	174	100.0%
法学部	51	27.1%	137	72.9%	188	100.0%
経済学部	65	26.1%	184	73.9%	249	100.0%
理学部	56	21.8%	201	78.2%	257	100.0%
医学部	42	16.9%	206	83.1%	248	100.0%
歯学部	22	24.7%	67	75.3%	89	100.0%
薬学部	10	28.6%	25	71.4%	35	100.0%
工学部	225	25.1%	671	74.9%	896	100.0%
芸術工学部	42	31.6%	91	68.4%	133	100.0%
農学部	55	25.2%	163	74.8%	218	100.0%
21世紀プログラム	4	19.0%	17	81.0%	21	100.0%
合計	620	24.7%	1888	75.3%	2508	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

5. 東欧の言語

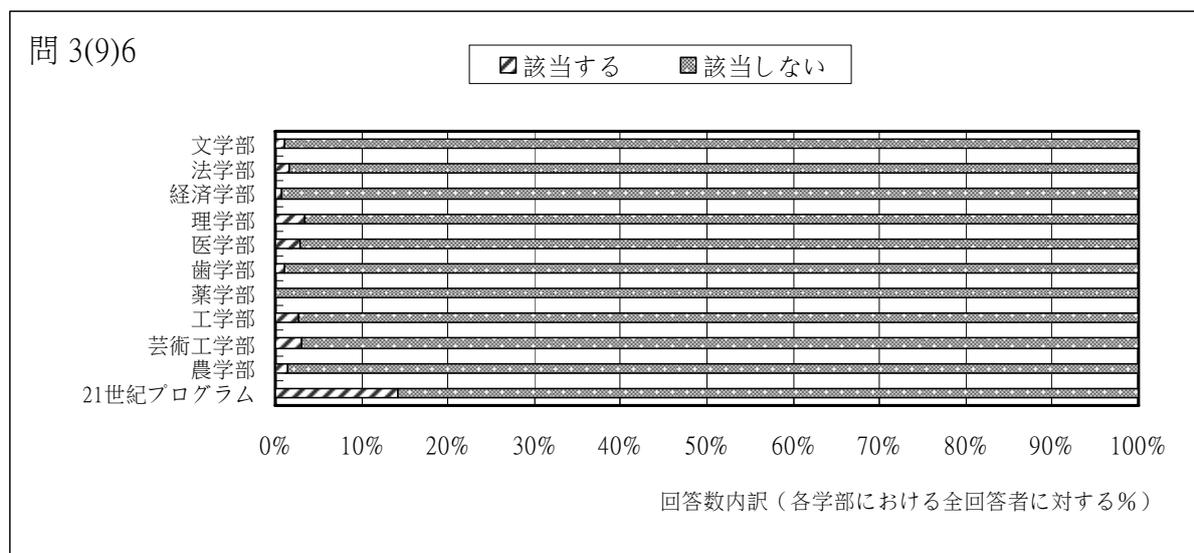
3 (9) 5	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	21	12.1%	153	87.9%	174	100.0%
法学部	34	18.1%	154	81.9%	188	100.0%
経済学部	40	16.1%	209	83.9%	249	100.0%
理学部	34	13.2%	223	86.8%	257	100.0%
医学部	21	8.5%	227	91.5%	248	100.0%
歯学部	11	12.4%	78	87.6%	89	100.0%
薬学部	2	5.7%	33	94.3%	35	100.0%
工学部	108	12.1%	788	87.9%	896	100.0%
芸術工学部	15	11.3%	118	88.7%	133	100.0%
農学部	14	6.4%	204	93.6%	218	100.0%
21世紀プログラム	2	9.5%	19	90.5%	21	100.0%
合計	302	12.0%	2206	88.0%	2508	100.0%



大学における外国語教育ニーズ分析

6. その他の言語があれば右に具体的にお書きください。

3 (9) 6	1 該当する		0 該当しない		合計	
文学部	2	1.1%	172	98.9%	174	100.0%
法学部	3	1.6%	185	98.4%	188	100.0%
経済学部	2	0.8%	247	99.2%	249	100.0%
理学部	9	3.5%	248	96.5%	257	100.0%
医学部	7	2.8%	241	97.2%	248	100.0%
歯学部	1	1.1%	88	98.9%	89	100.0%
薬学部	0	0.0%	35	100.0%	35	100.0%
工学部	24	2.7%	872	97.3%	896	100.0%
芸術工学部	4	3.0%	129	97.0%	133	100.0%
農学部	3	1.4%	215	98.6%	218	100.0%
21世紀プログラム	3	14.3%	18	85.7%	21	100.0%
合計	58	2.3%	2450	97.7%	2508	100.0%



具体的記入項目

- ・ 中国語 (1)
- ・ 広東語 (2)
- ・ ンジャメナ (1)
- ・ ラテン語ギリシャ語 (2)
- ・ ラテン語 (3)
- ・ モンゴル語・トルコ語 (1)
- ・ 宮言葉 (1)
- ・ マレー語 (1)
- ・ マジャーール語 (1)
- ・ ポルトガル語 (4)
- ・ 方言 (1)
- ・ ベルギー (1)
- ・ ヘブライ語 (1)
- ・ プログラミング言語 (1)
- ・ ブルガリア語 (1)
- ・ 不要と思う。(2)
- ・ ヒンドゥー語 (2)
- ・ ヒエログリフ (2)
- ・ 博多弁 (1)
- ・ 日本語 (2)
- ・ トルコ語 (3)
- ・ 特にタイとアルメニア語 ロシア語 (1)
- ・ 読心術・口の形で話を読む・手話・点字 (1)
- ・ 出来る限り多く (1)
- ・ 朝鮮語 (1)
- ・ 中国語の”方言”が学べる講座 (1)
- ・ 地域ごとの英語について (1)
- ・ スワヒリ語 (3)
- ・ これから伸びてくるとされる発展途上国の言語 (1)
- ・ 古代エジプト語 (1)
- ・ クメール語 (1)
- ・ かんこくご (1)
- ・ カタルーニャ語 (2)
- ・ エスペラント (1)
- ・ インドの言語 (2)
- ・ イタリア語、ヘブライ語、サンスクリット語、ラテン語、ヒンドゥー語 (1)
- ・ イスラム (1)
- ・ 伊語 (1)
- ・ アラビア語 (1)
- ・ アイヌ語 (3)

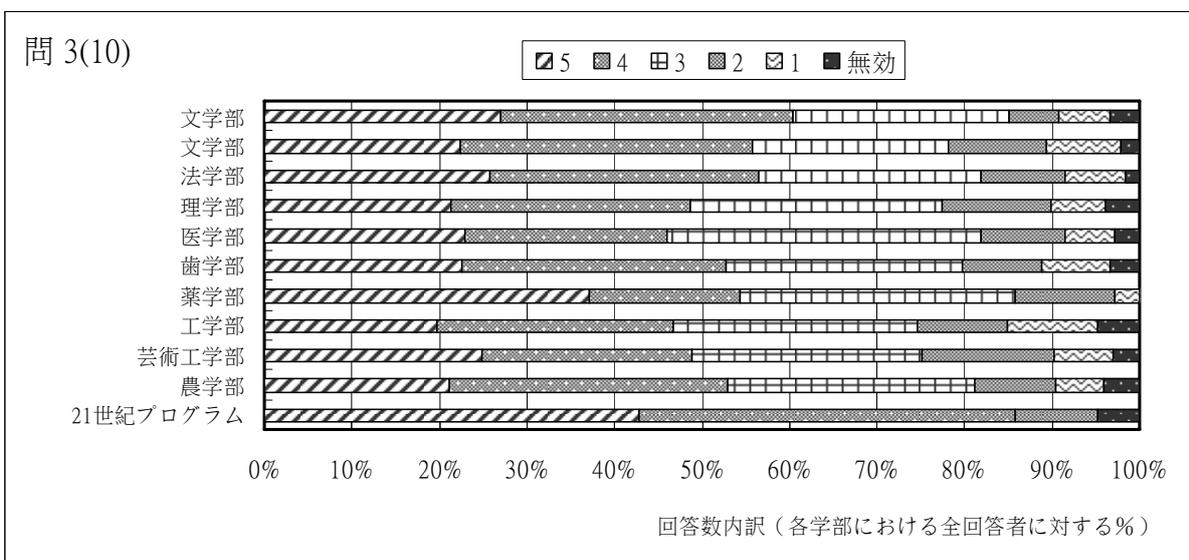
大学における外国語教育ニーズ分析

(10) 多様な外国語を学習するチャンスを提供するために、一部の必修以外の外国語授業は、例えば夏休みなどの短期集中で行う、という考えについてはどう思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (10)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	47	58	43	10	10	6	174
法学部	42	63	42	21	16	4	188
経済学部	64	76	63	24	17	5	249
理学部	55	70	74	32	16	10	257
歯学部	57	57	89	24	14	7	248
歯学部	20	27	24	8	7	3	89
薬学部	13	6	11	4	1	0	35
工学部	176	243	249	92	93	43	896
芸術工学部	33	32	35	20	9	4	133
農学部	46	69	61	20	12	10	218
21世紀プログラム	9	9	0	2	0	1	21
合計	567	714	694	259	196	93	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	27.0%	33.3%	24.7%	5.7%	5.7%	3.4%	100.0%
法学部	22.3%	33.5%	22.3%	11.2%	8.5%	2.1%	100.0%
経済学部	25.7%	30.5%	25.3%	9.6%	6.8%	2.0%	100.0%
理学部	21.4%	27.2%	28.8%	12.5%	6.2%	3.9%	100.0%
医学部	23.0%	23.0%	35.9%	9.7%	5.6%	2.8%	100.0%
歯学部	22.5%	30.3%	27.0%	9.0%	7.9%	3.4%	100.0%
薬学部	37.1%	17.1%	31.4%	11.4%	2.9%	0.0%	100.0%
工学部	19.6%	27.1%	27.8%	10.3%	10.4%	4.8%	100.0%
芸術工学部	24.8%	24.1%	26.3%	15.0%	6.8%	3.0%	100.0%
農学部	21.1%	31.7%	28.0%	9.2%	5.5%	4.6%	100.0%
21世紀プログラム	42.9%	42.9%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	22.6%	28.5%	27.7%	10.3%	7.8%	3.7%	100.0%



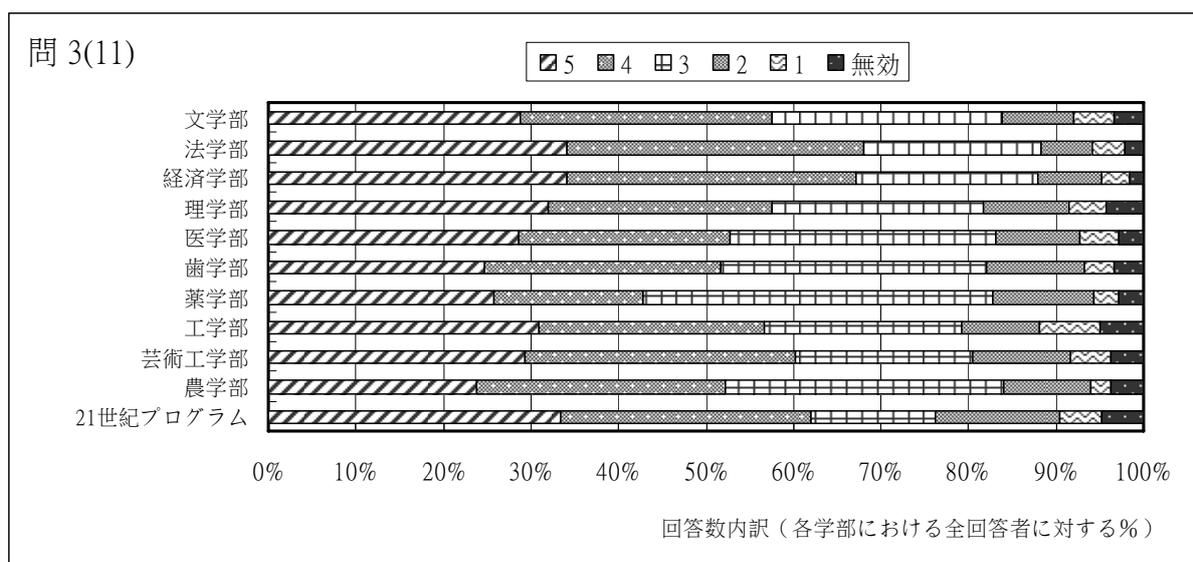
大学における外国語教育ニーズ分析

(11) 現在、英語以外の外国語は低年次（1・2年次）の間に修得することになっていますが、これを低年次に限らず卒業時までいつでも履修可能とする考えについてどう思いますか。

（全く賛成である）5—4—3—2—1（全く反対である）

3 (11)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	50	50	46	14	8	6	174
法学部	64	64	38	11	7	4	188
経済学部	85	82	52	18	8	4	249
理学部	82	66	62	25	11	11	257
薬学部	71	60	75	24	11	7	248
歯学部	22	24	27	10	3	3	89
芸術工学部	9	6	14	4	1	1	35
工学部	277	230	203	80	61	45	896
芸術工学部	39	41	27	15	6	5	133
農学部	52	62	69	22	5	8	218
21世紀プログラム	7	6	3	3	1	1	21
合計	758	691	616	226	122	95	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	28.7%	28.7%	26.4%	8.0%	4.6%	3.4%	100.0%
法学部	34.0%	34.0%	20.2%	5.9%	3.7%	2.1%	100.0%
経済学部	34.1%	32.9%	20.9%	7.2%	3.2%	1.6%	100.0%
理学部	31.9%	25.7%	24.1%	9.7%	4.3%	4.3%	100.0%
医学部	28.6%	24.2%	30.2%	9.7%	4.4%	2.8%	100.0%
歯学部	24.7%	27.0%	30.3%	11.2%	3.4%	3.4%	100.0%
薬学部	25.7%	17.1%	40.0%	11.4%	2.9%	2.9%	100.0%
工学部	30.9%	25.7%	22.7%	8.9%	6.8%	5.0%	100.0%
芸術工学部	29.3%	30.8%	20.3%	11.3%	4.5%	3.8%	100.0%
農学部	23.9%	28.4%	31.7%	10.1%	2.3%	3.7%	100.0%
21世紀プログラム	33.3%	28.6%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%	100.0%
合計	30.2%	27.6%	24.6%	9.0%	4.9%	3.8%	100.0%



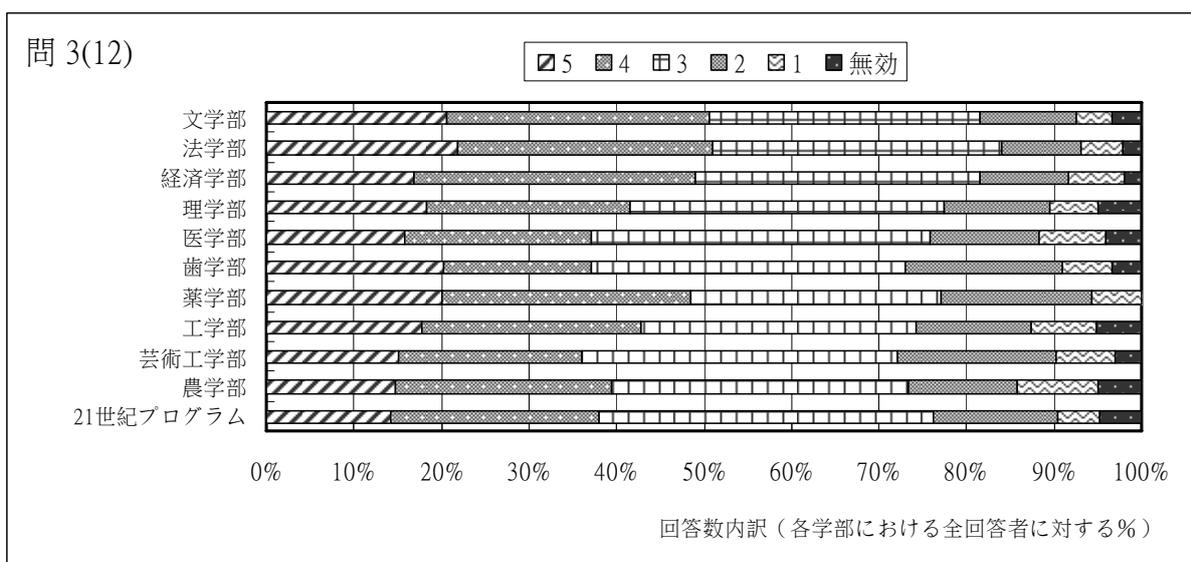
大学における外国語教育ニーズ分析

(12) 英語以外の外国語は、学生の当該言語のレベルに応じてクラス分けした授業を行うべきだと思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (12)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	36	52	54	19	7	6	174
法学部	41	55	62	17	9	4	188
経済学部	42	80	81	25	16	5	249
理学部	47	60	92	31	14	13	257
医学部	39	53	96	31	19	10	248
歯学部	18	15	32	16	5	3	89
薬学部	7	10	10	6	2	0	35
工学部	159	225	282	117	67	46	896
芸術工学部	20	28	48	24	9	4	133
農学部	32	54	74	27	20	11	218
21世紀プログラム	3	5	8	3	1	1	21
合計	444	637	839	316	169	103	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	20.7%	29.9%	31.0%	10.9%	4.0%	3.4%	100.0%
法学部	21.8%	29.3%	33.0%	9.0%	4.8%	2.1%	100.0%
経済学部	16.9%	32.1%	32.5%	10.0%	6.4%	2.0%	100.0%
理学部	18.3%	23.3%	35.8%	12.1%	5.4%	5.1%	100.0%
医学部	15.7%	21.4%	38.7%	12.5%	7.7%	4.0%	100.0%
歯学部	20.2%	16.9%	36.0%	18.0%	5.6%	3.4%	100.0%
薬学部	20.0%	28.6%	28.6%	17.1%	5.7%	0.0%	100.0%
工学部	17.7%	25.1%	31.5%	13.1%	7.5%	5.1%	100.0%
芸術工学部	15.0%	21.1%	36.1%	18.0%	6.8%	3.0%	100.0%
農学部	14.7%	24.8%	33.9%	12.4%	9.2%	5.0%	100.0%
21世紀プログラム	14.3%	23.8%	38.1%	14.3%	4.8%	4.8%	100.0%
合計	17.7%	25.4%	33.5%	12.6%	6.7%	4.1%	100.0%



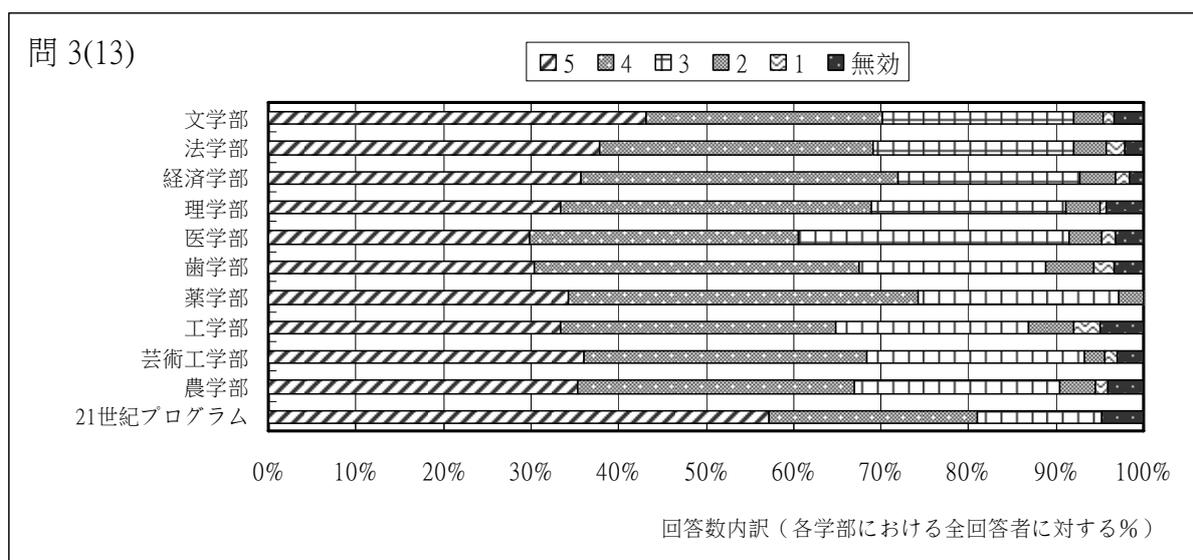
大学における外国語教育ニーズ分析

(13) 英語以外の外国語の高いレベル(必修単位数のみで習得できるレベル以上のレベル)を目指す学生のために、大学は特別な授業を提供するべきだと思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (13)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	75	47	38	6	2	6	174
法学部	71	59	43	7	4	4	188
経済学部	89	90	52	10	4	4	249
理学部	86	91	57	10	2	11	257
医学部	74	76	77	9	4	8	248
歯学部	27	33	19	5	2	3	89
薬学部	12	14	8	1	0	0	35
工学部	299	282	198	45	27	45	896
芸術工学部	48	43	33	3	2	4	133
農学部	77	69	51	9	3	9	218
21世紀プログラム	12	5	3	0	0	1	21
合計	870	809	579	105	50	95	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	43.1%	27.0%	21.8%	3.4%	1.1%	3.4%	100.0%
法学部	37.8%	31.4%	22.9%	3.7%	2.1%	2.1%	100.0%
経済学部	35.7%	36.1%	20.9%	4.0%	1.6%	1.6%	100.0%
理学部	33.5%	35.4%	22.2%	3.9%	0.8%	4.3%	100.0%
医学部	29.8%	30.6%	31.0%	3.6%	1.6%	3.2%	100.0%
歯学部	30.3%	37.1%	21.3%	5.6%	2.2%	3.4%	100.0%
薬学部	34.3%	40.0%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	33.4%	31.5%	22.1%	5.0%	3.0%	5.0%	100.0%
芸術工学部	36.1%	32.3%	24.8%	2.3%	1.5%	3.0%	100.0%
農学部	35.3%	31.7%	23.4%	4.1%	1.4%	4.1%	100.0%
21世紀プログラム	57.1%	23.8%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	34.7%	32.3%	23.1%	4.2%	2.0%	3.8%	100.0%



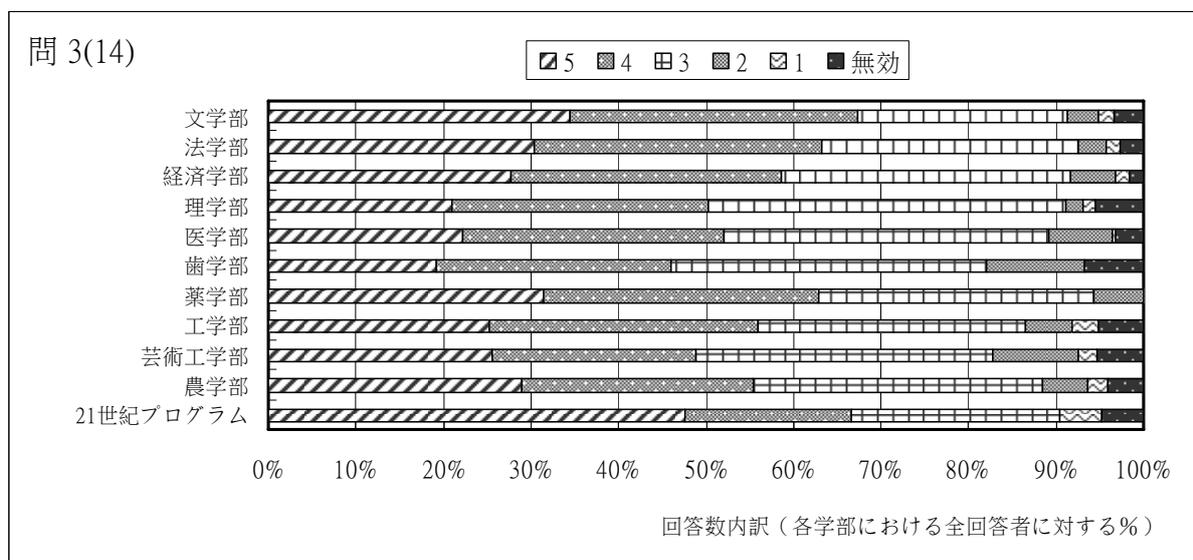
大学における外国語教育ニーズ分析

(14) 英語および英語以外の外国語の学習に関して、大学は、学生が自分の必要や欲求に応じて学習できる機材や教材を備えた自習室を設置すべきだと思いますか。

(全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である)

3 (14)	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	60	57	42	6	3	6	174
法学部	57	62	55	6	3	5	188
経済学部	69	77	82	13	4	4	249
理学部	54	75	105	5	4	14	257
農学部	55	74	92	18	1	8	248
歯学部	17	24	32	10	0	6	89
薬学部	11	11	11	2	0	0	35
工学部	226	275	274	47	28	46	896
芸術工学部	34	31	45	13	3	7	133
農学部	63	58	72	11	5	9	218
21世紀プログラム	10	4	5	0	1	1	21
合計	656	748	815	131	52	106	2508

%	5	4	3	2	1	0	合計
文学部	34.5%	32.8%	24.1%	3.4%	1.7%	3.4%	100.0%
法学部	30.3%	33.0%	29.3%	3.2%	1.6%	2.7%	100.0%
経済学部	27.7%	30.9%	32.9%	5.2%	1.6%	1.6%	100.0%
理学部	21.0%	29.2%	40.9%	1.9%	1.6%	5.4%	100.0%
医学部	22.2%	29.8%	37.1%	7.3%	0.4%	3.2%	100.0%
歯学部	19.1%	27.0%	36.0%	11.2%	0.0%	6.7%	100.0%
薬学部	31.4%	31.4%	31.4%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
工学部	25.2%	30.7%	30.6%	5.2%	3.1%	5.1%	100.0%
芸術工学部	25.6%	23.3%	33.8%	9.8%	2.3%	5.3%	100.0%
農学部	28.9%	26.6%	33.0%	5.0%	2.3%	4.1%	100.0%
21世紀プログラム	47.6%	19.0%	23.8%	0.0%	4.8%	4.8%	100.0%
合計	26.2%	29.8%	32.5%	5.2%	2.1%	4.2%	100.0%



4. 九州大学で行われている外国語（英語および英語以外）の授業に関して、ご意見・ご要望がありましたら、以下に自由に書いてください。

- ・ 必修ではなくもっと多くの言語を学習できるようにしてほしい (2)
- ・ 中国語の授業の教室が暑いです。XXX先生の授業です。調整しないと、いくら真面目でもあれはやばい!! (1)
- ・ 第二外国語は勉強するには多すぎるので、前・後期で授業を分けなくてほしい。時間がないために演習が不十分なうえ、ペースがはやくてついていけません。(1)
- ・ 先生によって違いがありすぎると思います (4)
- ・ 外国語教育についてあまり考えたことがなかったのでアンケートに答えにくかった。「プレースメントテスト」や「g h英語」の意味が分からなかった (1)
- ・ 英語に限らず、語学の学習は自学基本で教員も学生もそのことを肝に命ずべき。個人的には「これがここにあるよ」等々のアピールをしてよいと思う。ただ、教える側としては「何を伝えるべきか」は問うべきで、正しいロジックで英文を書くなどの訓練は授業として取り入れるべき。せっかく九大生としてある程度の能力は持っているのだから。(1)
- ・ 英語に関してはリーディングの授業がほとんどであるが、ライティングや文法、日常会話のみを中心に据え、それらを集中的あるいは専門的に行う授業を専攻分野（箱崎）とは別に全学教育としても多少は行くと、興味を持つし、面白いと思う。英語以外の外国語に関しても一年くらいは基礎力（文法）が必要だと思うので、最初はそれを行って、2年次あたりから、英語同様に少し専門的に行ってもよいと思う。たとえば仏文法入門、仏文法Ⅰ、仏作文Ⅰ、仏会話Ⅱなど。(1)
- ・ 六本松まで授業をとりに行く時間がありません。(2)
- ・ 六本松の電光掲示板に、箱崎分室のレベル分け試験の情報（日程など）を載せてほしい。箱崎の授業についての情報が少なく、情報収集が大変だった。もっと積極的に宣伝してほしい。(1)
- ・ レベルに応じて選抜と一般の2つの授業があるが、選抜のほうが試験が難しく、単位が取りにくいといった現状がゆるせない。(1)
- ・ レベルに応じて20人程度のクラスに分けるべきだと思う。(1)
- ・ レベル、レベルと言っているが、その前に九大生は英語を全然勉強していない。英語の勉強は一時的にやるものではなく、長期的にやるものなので。それが可能なplanを作る必要があるのではないか。その点、院試にTOEICをいれたのは良いと思われる。(1)
- ・ より小人数な授業にすべきだと思う (4)
- ・ やはりネイティブと触れあうというのが最重要かと。(1)
- ・ もっと授業料を増やして各専門分野に役立つような授業もしてほしい。(2)
- ・ もっと外国人講師を増やしてほしい (3)
- ・ もうちょっとやる気を出してほしい (1)
- ・ もう少し先進的なやり方を取り入れた方がいいと思います。中国の大学で行われているネイティブの話を取り入れる授業等。(1)
- ・ 保険学科の二年次の英語の授業はおかしいと思う。せめて大学院で行うにとどめてほしい。特に看護学における教員の質はひどい。英語よりも国語を勉強させるべきだ。正しい日本語の語彙、使い方、ことわざ、発音、イントネーション、文学作品などについて英語に代わって学ばせてほしい。日本語の本を読むなどもいいと思う (1)
- ・ ○○○は九大からいなくなってほしいです (1)
- ・ フラ語の単位がほしい (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 必修外国語の中にイタリア語やオランダ語を入れてほしい (1)
- ・ ネットアカデミーをじたくのPCで利用可能にして頂けると幸いです。 (6)
- ・ ネットアカデミーはまるで使えない。使っている人は何割くらいいるのか教えてほしい。 (1)
- ・ ネイティブの先生の講義はためになってよかった (2)
- ・ 人数が多すぎるので20人くらいにしてほしい。英米言語のテキストは非常に読みづらいので使用しないでほしい (1)
- ・ 日本の学生の大部分は聞く、話すという点で他の国の学生に劣っていると思います。自分のものとして使いこなせるような授業が必要だと思います (1)
- ・ 日本語を一切用いてない講義があったが、クラスの理解が少ないと思われる場合などは、日本語で少しでもよいので補足説明が欲しかった。 (1)
- ・ 日本語もちゃんとできていない人が多いのに、外国語の習得はむずかしいのではないかと思う。日本語の授業があっても良いのではないか。 (1)
- ・ 日本語での説明が下手な人がいるので、それを何とかしてほしい。2外は日本人に教えてほしい (1)
- ・ 日常会話が流暢にできるように結び付けた授業をしてほしい (5)
- ・ 何のために英語を習うのかを考える前に、楽しく英語を勉強したり、話せることの楽しさ、嬉しさを得られるような授業姿勢がほしいです。英語の学習の有り方について、チェイス先生から聞いてみて下さい。多くの学生はそれに賛成し、またそれを望んでいるはずで。3(4) : 2ヶ国語をあいまいに習うよりも一ヶ国語をしっかりと習わないと意味がない (1)
- ・ とりあえず生徒参加型の授業をふやしてほしい。そうすれば生徒のモチベーションが上がり自然に英語力は向上する (1)
- ・ 登録をせまいスペースでいきに行うのは間違いやすく、メリットが少ないと思う。 (1)
- ・ デンマーク語を言文科目Ⅱで開講してほしいです。あと箱崎地区での外国語授業を強化してほしいです。 (1)
- ・ 常に単位を落としたり・・・という危機感を感じないでいいようにしてほしい。つまり、卒業までに7単位取ればいいということにしてほしい。せっかく頑張っても2年後期で落としたりアウトってのはきつい。 (1)
- ・ 単位を取ったからといって自由に喋れるようになるわけではないし、英語は (1)
- ・ 単位がとれるような授業内容、試験内容にしてほしい (2)
- ・ ただ英文を訳すだけの授業に疑問が残る (3)
- ・ 田島きつよ (1)
- ・ 第二外国語は教養程度で、深くやらなくていいと思う。(簡単な文章を読める程度)しかし英語は将来(今も)絶対必要なので徹底して学習する必要がある。大学で能力が下がったという人が多いことは恥ずかしいことだ(4)
- ・ 第二外国語は一年目でしか勉強しないから、実際あまり身につかないし実質単位をとるためだけの勉強にしかない (1)
- ・ 第二外国語の他にも履修したいです。たとえばスペイン語と朝鮮語とか (1)
- ・ たいいていの講師は自己満足の授業しているだけ、生徒につたわっていません。特に数学とか。あと板書がきたない!!あと男と女のあつかに差がありすぎる。特に提出物期限がすぎて、女はうけとるけど、男はうけとらない (1)
- ・ 大学の授業は簡単なのに入試では高いレベルを要求するのはなぜか。高校時代に高いレベルで身につけたことも大学で全部おとろえる気がする (2)
- ・ 大学で受験英語のような授業は必要ない。 (1)
- ・ 第2外国語は履習して間もないのに、課題(テスト)が厳しすぎるような気がする。 (1)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 第2外国語は1年間勉強したぐらいじゃ何の役にも立たないと思うから、やるならもっと長期にわたってやるべきだ。でないと、みんな単位を取ることが目標となっている。(2)
- ・ 第2外国語の変更を容易にしてほしい。(1)
- ・ 選抜英語は、指名された学生は義務で受けなくてはならないのでしょうか？そのあたりがよく分からないのですが、義務ではなく、選抜英語受講権のようにして、より多くの希望者を受け入れられるとずっと良いと思います。(1)
- ・ 先生によって教材も教え方も評価基準も違うので、もっと統一するか選択させるかの方法にすべきだと思います。(7)
- ・ 先生と学生はできるだけ日本語ではなく、英語で授業を行うべきだ(1)
- ・ 全学以外の英語授業は、理系の学生は時間割の調整が難しいなどの理由で非常に取りにくい。まして元岡に行く学生はこれらの授業をとれるはずもない。また、中・高で speaking について勉強する機会がなかった自分たちにとっては、大学でその能力を身につけることが必要だと感じているが、現在の大人数の授業ではそれも期待できず、結局英会話スクールに通うはめになっている。小人数の speaking の授業をするべきだ(無理な話だが)(1)
- ・ せっかくの小人数授業も教官の方針や学生の態度のためにうまく機能していない(1)
- ・ 将来というよりも、外国への研修旅行へもっと多くの学生がいけるようになればいいと思う。交換留学生になれるハードルが高い(1)
- ・ 出席を取る授業と出席を取らない授業が大学にはある。しかし出席は必ず取るべきだと思うので、出席を採らない授業はなくしたほうがよいと思う(1)
- ・ 授業数が根本的に足りないと思う。言語は使わないと覚えられないし、身につかない。だから、1~4年で、時間をかけ、反復しながら読み、書き、聞く、話すといったものを成熟させるような授業割りを考えて欲しい。(5)
- ・ 週のコマ数をもっと少なくしてほしい。(1)
- ・ シャープ先生の授業が一番、英語を自分のものにするうえで、役に立っていると思います。それはちゃんとした発音や、ちゃんと使われている単語(熟語)を教えてくれるからです。(1)
- ・ 自分自身はリスニングの講義を受けてためになりました。(1)
- ・ 実際英語圏の地域へみんなで行きたい。(1)
- ・ このアンケートの結果が実際どのように役立ったか、成果を知らせてほしい(1)
- ・ 高学年次につれて英語が必要になるので、高学年になっても英語はあった方がいいと思う。(3)
- ・ 言語はこれからの時代ますます必要になってくるだろう。その時になってからではなく、日本の最先端を目指して言語を学べる様にしておくべきである。(1)
- ・ 言語科目のクォーター制反対。(1)
- ・ 結局は学生のやる気次第だよね~(1)
- ・ クラスによって授業内容がかなり異なっているので能力に差がでると思う。もし違うのならレベルに応じたクラス分けをした方がいいと思います。(2)
- ・ クラスによって、授業のレベルが全く違います。低年次ではクラスを選ぶことはできないので、そのまま受けることしかできません。授業をレベル別にするなど、学生一人一人が今の実力にあった授業を受けることができるようにしてほしいです。(3)
- ・ 強制的な教材の結果実験はやめてほしい(1)
- ・ 九州大学のみならず日本の英語教育方針では、独学以外において実践的な英語を身につけることは不可能だと思う(1)
- ・ 客観的な英語レベルを上げる努力をしてください。(1)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 技術英語は必要ない！絶対に上手くならないので。(1)
- ・ カリキュラム、先生の質が悪い。熱意も全然感じない(1)
- ・ 金を払う顧客(学生)が満足するような授業・態度をしる(1)
- ・ 学部専門の英語を学習できる機会を与えて欲しい(4)
- ・ 各専攻に将来必要とする言語を習わせてほしい。英語はどの学部でも絶対必要とするから文句はないです。(2)
- ・ 学習語習得のための熟に大学がなる必要はなく、言語と共に文化に付いて学べたら良いと思う。(1)
- ・ 会話できるようになるのではなくてまず読めるようになることが大事(1)
- ・ 解答、解説のついていないテキストがあるのでせめて解答だけでもつけてほしい(1)
- ・ 外国語の論文作成の方法を教えてほしい。先生をえらべるようにしてほしい。(とくに2外)(1)
- ・ 外国語の修得の必要性は個人差が大きいため、第二外国語の必修には疑問を感じる(5)
- ・ 外国語コミュニケーションコースドイツ語選択でとっているのですが、とても楽しく感じます。もっと外国語コミュニケーションコースに関する内容を学生に広めてもらいたいと思います。(1)
- ・ 教えることが下手な先生、発音が悪い先生は外国語の授業をするべきではない(1)
- ・ △△△先生は、英米言語文化演習Ⅰで、一週間に到底覚えきれない量の単語を小テストの範囲にしたり、学生を軽蔑したりします。解説も投げやりになっており、予習範囲が非常に多くて消化不良は避けられない状況です。私はこの授業を通して英語力を鍛えたかったのに、ありえない量を一方的に押し付けられるのでやる気をなくしてしまいました。これからは教える熱意に欠ける先生に授業を担当させないようにしていただきたいです。(1)
- ・ 英語を習得する理由別に授業を分けたほうが良いと思う。興味のない分野は意欲が湧かない(1)
- ・ 英語は必要になるまで勉強する気が起きにくい(勉強する気がでない)ので、低年次にすべて単位を取れるのはよくないと思う。(1)
- ・ 英語は高校と同じような方式では意味がないと思う。(翻訳してきて当てられて発表をして答えあわせをする、とか)ただ訳するにしてもその部分をどう思うか、日本との違いを考えるなど取り入れた授業はよいと思う(1)
- ・ 英語は、予習していることを前提に授業を進めすぎ。授業中にも考える時間がほしい。そうでないと間に合わない。予習した内容を生徒に言わせるだけなら誰でもできる(1)
- ・ 英語の文章をたくさん読みたいです。(1)
- ・ 英語のとることのできる時間数が少ない。学生の自主性に任せているのでしょうか？(2)
- ・ 英語の授業は教官によって厳しさ、負担が幅広すぎて、とても平等とは思えない。週2回の英語が両方とも厳しい教官の方だったら、とても苦痛になります。(1)
- ・ 英語の授業、特にリーディングが訳中心になって本文を速読する練習、発音しながら読む練習が少ないと思う(1)
- ・ 英語に関して言うと簡単すぎると思う。(2)
- ・ 英語教員の選考が第一になすべき事だ(1)
- ・ 英語以外(第二外国語)の授業を高年次までして、ある程度修得できるようにしてほしい。英語の授業の内容には、入学して以来失望した。高校や予備校の授業の方が充実していたし、力もついた。もっと高レベルなものをゆっくり勉強したい。「単位を稼ぐ」だけが目的で出席している現状にウンザリ。英語をマスターしたい(1)
- ・ 英会話の授業を増やしてほしい(3)
- ・ 英会話中心の授業ばかりなので英文読解や英作文も取り入れてください(1)
- ・ インテンシブ等、授業内容が異なるのにそれを選択できないのは不満である(1)
- ・ インテンシブ英語演習の教材レベルをある程度画一的なものにもらいたいです。(1)
- ・ 一年次から必修となっている講義を振り分けではなく選択制にしてほしい。(1)
- ・ イタリア語を言語文化科目Ⅰに加えてほしい。(1)

大学における外国語教育ニーズ分析

- ・ 異国人講師による講義は内容が薄い。英会話能力の向上に寄与していない。あるインテンシブ英語演習Ⅰの講義に関して、そう感じた。(1)
- ・ イギリス英語メインの講義が少ない。また、経済的に苦しい人でも学力次第で参加できるような充実した留学制度を増やしてほしい(1)
- ・ 家で聞き流せるCDのついた教科書がいい。(1)
- ・ あんたら時代の流れに飲みこまれて外国語の学習を必要不可欠なものと思ってないか。もっとよく考えてみな。(1)
- ・ アンケートは項目を少なくした方が真剣に答えてもらえる可能性が高いと思います。(1)
- ・ あまり身につけている実感が持てない授業が多い。検定などで、客観的に実力が計れるほうが良いと思う(2)
- ・ 新しく学ぶ文法などは、全くないといった状況なので、小問ばかりのテキストブック授業で解くのは時間の浪費に思える。もっと、自分の意見を英語で発表するといった形態や、発表できないまでも、まとめることができるような授業という、実際高校レベルではできないことをして欲しい。(1)
- ・ TOEIC や TOEFL の結果をできるだけ早く単位化できるように取り計らってほしい(1)
- ・ TOEIC で～以下進級不可にして放任すれはうまくいくと思います(1)
- ・ TOEIC、TOEFL 対策、コミュニケーション能力をあげる訓練(3)
- ・ gh 英語って何ですか？(1)
- ・ 3(9) この科目は受けたいけど受けられない人が多いと思います。スケジュール・カリキュラム的に受講不可能なことがほとんどなので。私はイタリア語を受けたかったのですが、専門の日と重なり無理でした…。六本松での授業(ドイツ語など)と同じ扱いにするなど工夫してほしいです。(1)
- ・ 3(4). 授業のやり方を変えた方がよい(1)
- ・ 3(4) 1. 第2外国語の必修単位が増やされることを望む(1)
- ・ 3(12) . どうやって分けるかが問題だと思います(1)
- ・ 3(10). 短期じゃ身につかない(1)
- ・ 2(4)6. TA の技量による(1)
- ・ 2(4)10. . 卒業時まで英語の単位を取らなければいけないようにした方がよいと思う(1)
- ・ 2(4)にも書いていますが、週に1日六本松に英語だけを受けに行くのは手間がかかる上、その分専攻の科目を箱崎で受けたい。・箱崎に英語の教師を連れてくる・2年前期に英語を2単位取得できるようにする・英語の単位を5単位で卒業とする・2年後期の英語は自主学習(パソコンを使うなど)にする等々どれか1つでも行った方がよい(1)
- ・ 自習用のコンピュータ機材、ソフトを充実させてほしい。・英語は大学入試まで6年以上学んできたものだから授業を理解できるが、第2外国語は全く始めてであるため、週2回の授業、1年程の期間で習得するのは難しいと思う。これではただの単位のための勉強になり、真に第2外国語を習得する人は少ないと思うため、もっと授業のコマ数を増やしてほしい。(1)
- ・ 教師の精選・学部・学科に合った外国語教師の配置(1)
- ・ 英米言語のテキストについて、内容は、語い集の単語が文学、人文学的なものにかたよっている気がする。また、このテスト、長文等の予習を課されることによって自分の目的のための英語学習をさまたげられているように思う。→負担が大きすぎる。受験英語のくり返しで、学習の意味をなさない。*保健学科に医療英会話があるように、専門に直結するような英語学習の方がよい。(1)

第4章 卒業生対象アンケート結果

九州大学外国語教育アンケート調査（卒業生対象）報告書（2006年3月31日）

九州大学大学院言語文化研究院
 外国語教育ニーズ分析研究グループ 代表 志水俊広
 言語教育学講座 2004-2005年度代表 井上奈良彦

1. 序

この調査は、2002年から始まった言語教育学講座の教員を中心とする外国語教育ニーズ分析研究プロジェクトの一部をなすものである。学部1、2年生と教員対象とする調査が全数調査となったのに比べ、卒業生対象の調査は諸般の事情からパイロット調査にとどまることになった。

今回の調査は限られた調査対象によるものであることの限界を注意しなければならない。また、得られた集計結果の内部においても年齢、男女、学部、学歴（学部卒、修士、博士）、職種などによる違いがあり、単純な合計や平均の報告はあくまでもそのような変数を考慮しない集計である。そのような詳細は元のデータ（CD-ROM添付）のさらなる分析と、より大規模な将来の調査を待つことにし、ここでは今回のデータの概略を示すものである。

なお、この研究は科学研究費（課題番号15652035）および九州大学比較社会文化学府リサーチ・アシスタント経費による助成を受けたものである。

2. 調査方法

九州大学大学院言語文化研究院の専用アドレス（edu@flc.kyushu-u.ac.jp）から『九州大学同窓名鑑』（文学部、法学部、理学部）にアドレスが掲載された卒業生にアンケート（質問紙票（610_graduates_questionnaire.doc））を送り、回答を返信してもらった。2005年3月10日に送信し、3月20日を締め切りとした。438人に送付し47人から有効回答を得た（回収率10.7%）。

3. 集計結果

3.1. 回答者の属性

年齢	人数
20台	7
30台	6
40台	15
50台	12
60台	5
70台	2
合計	47

性別	人数
男性	36
女性	11
合計	47

卒業年	人数
2000年代	4
1990年代	8
1980年代	14
1970年代	13
1960年代	5
1950年代	2
不明	1
合計	47

出身学部	人数
文	13
法	15
理	18
不明	1
合計	47

大学院	人数
修士	12
博士（中退含む）	5
不明	1
合計	13

*博士5名は修士12名に含まれる

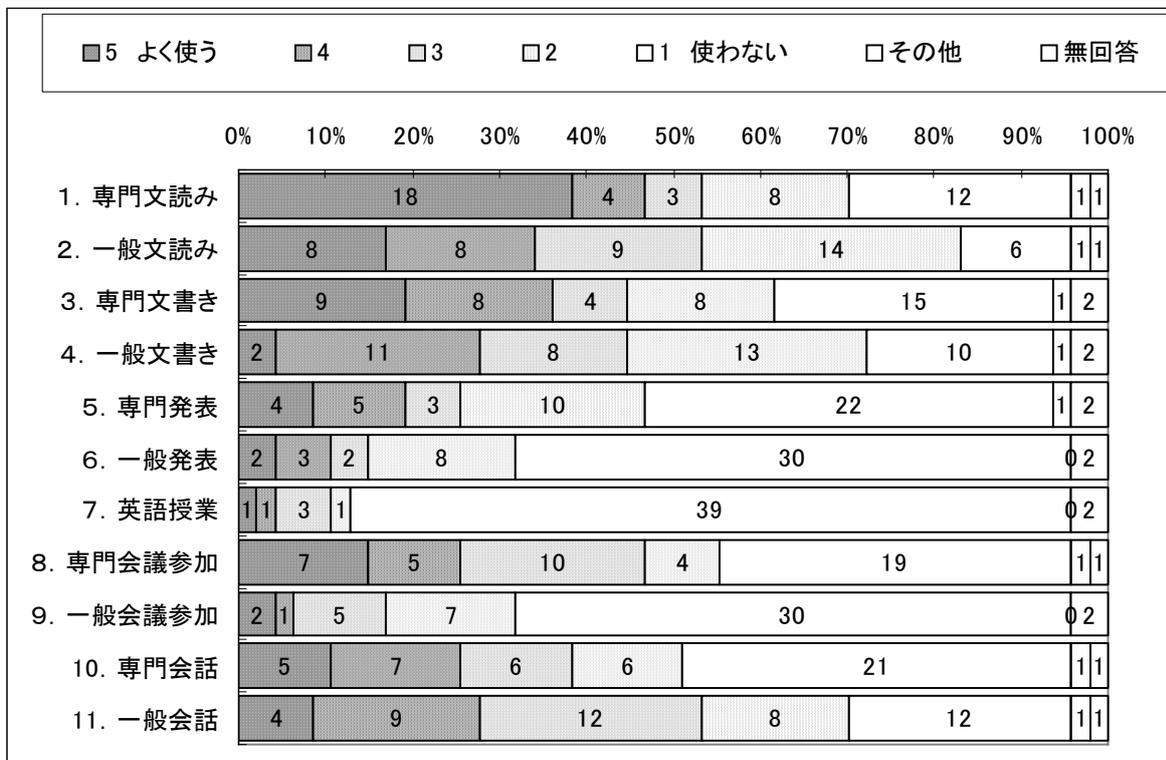
職種	人数
教育・研究職	14
事務系	13
理工系	11
医・歯・専門職	4
無職	1
無回答	4
合計	47

*自由回答を井上の判断で集計

3.2. 英語について

3.2. (1) 研究・教育・仕事・その他の状況で、どの程度英語を使用するか、5段階評価で回答。
(非常によく使う) 5—4—3—2—1 (全く使わない)

番号	質問項目	平均
1	専門的な内容について英語で書かれた文書(専門書、論文、職務文書、e-mail、web-page等)を読む	3.2
2	一般的な内容について英語で書かれた文書(一般雑誌や新聞、e-mail、web-page等)を読む	3
3	専門的な内容について英語で文書(論文、職務文書、e-mail、web-page等)を書く	2.7
4	一般的な内容について英語で文書を書く	2.6
5	専門的な内容について発表や講演(presentation)をする	2.1
6	一般的な内容について発表や講演(presentation)をする	1.6
7	英語で授業を行う	1.3
8	専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する	2.5
9	一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する	1.6
10	専門的な内容について会話・会談・交渉をする	2.3
11	一般的な内容について会話をする	2.7
12	その他よく使う状況があれば具体的にお書きください。	下記

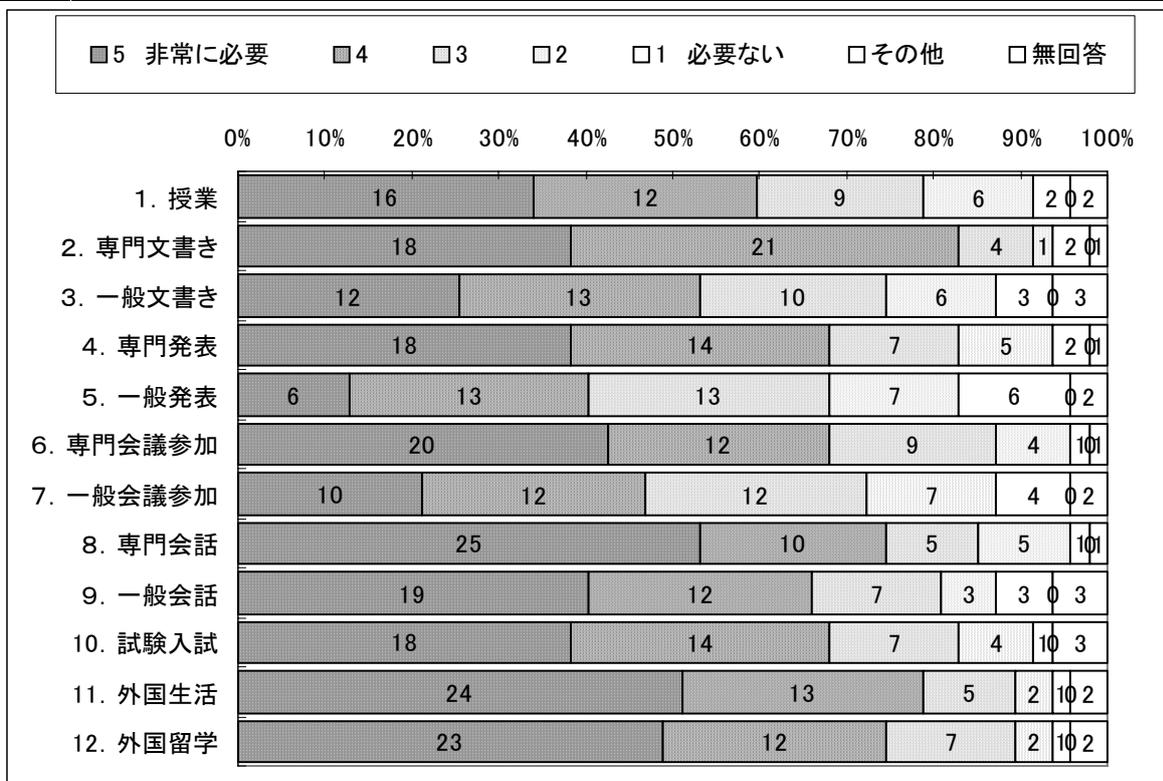


- 英語でTVのニュース・ラジオを聞く (20代 女 2004年 文 大学院生)
- ユーザーとの仕様交渉・販売促進活動 (40代 男 1980年 学部卒 総理工修士 機械製造販売)
- 英会話スクールで教える (40代 男 1982年 理 翻訳業)
- 英語、英会話、外国語の早期教育の必要性を一般人に説明する仕事をしている。(40代 女 1978年 文 子供英会話教育)
- 海外駐在時には、病院、役所など生活に必要な事項はすべて (40代 男 1982年 法 半導体製造業)
- 勤務先が外資系で直属の上司が英国人なので上司と話す場合は必ず英語です。(40代 男 1985年 理 プログラムマネージャー @ 自動車部品メーカー)
- 現職場では全く使用しないが、2年前まで出向していた先では、電話ででの交渉、文書のやりとりなど毎日恒常的に英語を使用していた。(30代 男 1993年 法 運輸業(航空会社))
- 国際会議出席 (40代 男 1983年 理 ソフトウェア関係)

3.2.(2) 九州大学の学生は将来（学部専門教育・大学院・就職先などにおいて）どのような状況で英語が必要になると考えられるか、5段階評価。

（非常に必要である）5—4—3—2—1（全く必要でない）

番号	質問項目	平均
1	学部や大学院の授業で用いる	3.8
2	専門的な内容について英語で文書を書く	4.1
3	一般的な内容について英語で文書を書く	3.6
4	専門的な内容について発表や講演をする	3.9
5	一般的な内容について発表や講演をする	3.1
6	専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する	4
7	一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する	3.4
8	専門的な内容について会話・会談・交渉をする	4.2
9	一般的な内容について会話をする	3.9
10	就職試験・大学院入試に英語が必要	4
11	外国で生活するのに英語が必要	4.3
12	外国の大学・大学院に留学するのに英語が必要	4.2
13	その他英語が必要になると考えられる状況があれば具体的にお書きください。	下記

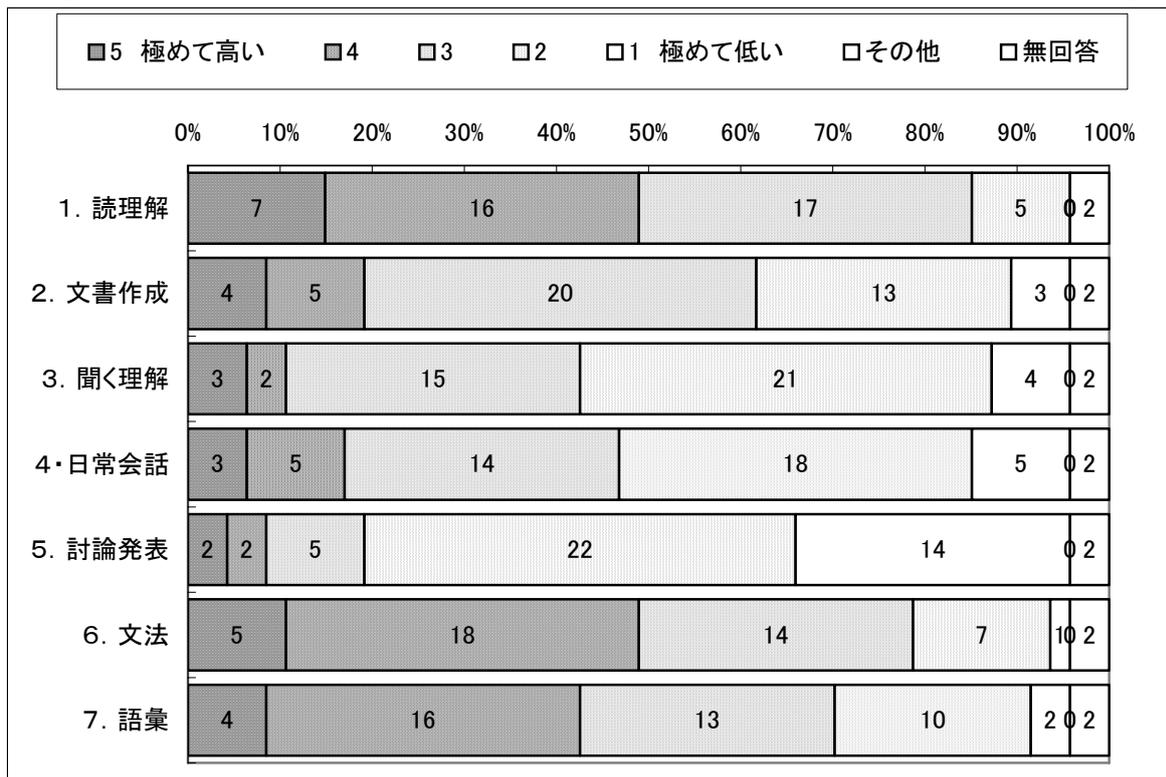


- これからの世界には英語はあらゆるところで不可（40代女 1978年文 子供英会話教育）
- どのようなビジネスでも英語がどこかで必要になってきている。その割には九大の学生の関心は東京の学生に比べて低い（70代男 1957年法）
- ほかの外国語（中国語など）が使えない場合、英語とその外国語両方使える人を通じてコミュニケーションする場合。（40代男 1982年法 半導体製造業）
- 海外勤務（40代男 1981年理 サービスエンジニア）
- 外国人患者の日本語がプアな場合はとりあえず英語で対応する（50代男 1972年文 歯科医師）
- 今後は就職後も仕事上英語が必要な機会が増えるのでは。（40代男 1985年理 プログラムマネージャー@自動車部品メーカー）
- 就職先で外資系や企業で海外取引の多いところは非常に必須（30代女 1994年理）

3.2.(3) 平均的な学生の学部卒業時の英語能力について尋ね、5段階評価で回答。

(極めて高い) 5—4—3—2—1 (極めて低い)

番号	質問項目	平均
1	英語の文書を読んで理解する能力	3.6
2	ライティング（英語文書作成）の能力	2.9
3	英語を聞いて理解する能力	2.5
4	日常会話を英語で行う能力	2.6
5	討論・討議・口頭発表を英語で行う能力	2
6	英語の文法	3.4
7	英語の語彙	3.2
8	学生の学部卒業時の英語能力についてご意見があれば具体的にお書きください。	下記



- 読むことや定型的文章を書く能力はある程度あると思う。学生が英語の必要性をあまり考えていない（70代男 1957年法）
- oral skill があまりにも低い（50代男 1970年理 理学修士博士 大学教授）
- とにかく会話・聴解の能力が低い。（20代女 2004年文 大学院生）
- どの学部の学生にせよ日常的な会話は当然出来ることが要求される。（50代男 1973年法 内科医）
- 英検2級、TOIEC 675点（30代女 1994年理）
- 英語より英会話が必要（40代女 1978年文 子供英会話教育）
- 企業として使えない人材が多すぎる。（20代男 2000年理 理学修士 企業化学者）
- 教養課程では英語は必須科目だが専門課程では選択科目なので英語学力は低下する（60代男 1961年法 無職）
- 自分がいた当時の自分たちのことを想像して書きましたが、よかったのでしょうか]（40代女 1981年理 大学教員）
- 自分の卒業時の英語能力は、学問にも職業にも役立たないレベルだった。個人の資質、意欲もあるが、今なら大学教育へいっそうの期待がある。大学における英語教育の必要性は大きい、日常的な基本会話その他は、お金がかかるが、個人が学外で習得したほうが効率がよい。大学内では、専門教育に関わる論文を題材にディベートさせたり、レポートを書かせる方が有益だし教育効果も大きいと思う。（40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職）
- 書いて読めるが話せない学生が多い。言葉はその国の文化を理解しないと本当の意味での理解はできないので、学生時代に色々な海外体験をしておくとい。（40代男 1982年法 半導体製造業）
- 専門書は読めること。論文は書けること。日常会話程度は話せること。（50代男 1972年文 歯科医師）

大学における外国語教育ニーズ分析

- 文法、語彙力はあるが、実践トレーニングが不足しているため、簡単な内容でもコミュニケーションが難しい面がある。(20代男 1998年法 地方公務員)
- 平均的には、とにかくネーティブの人間とコミュニケーションした経験が不足。英語の経験不足もさることながら日本人同士でも話をするに対して気持ちが後ろ向き。英語を云々する前に日本語での討論等の経験を増やすべきではないでしょうか。(40代男 1980年学部 総理工修士 機械製造販売)

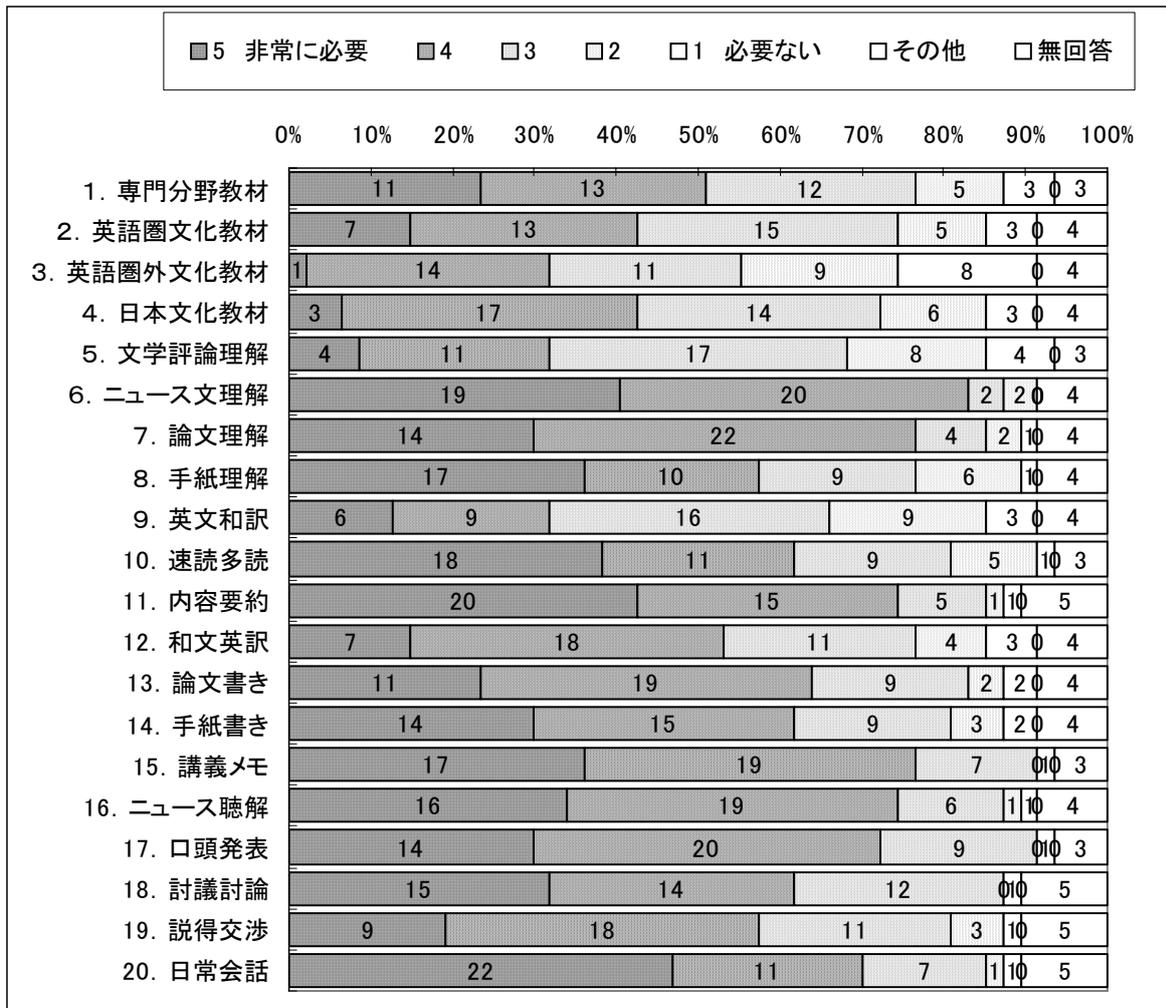
3.2.(4) 言語文化科目Ⅰ(六本松地区で開講。以前は教養課程で開講されていた必修外国語科目に相当)の英語科目の授業内容について、5段階評価で回答。

(非常に必要である)5—4—3—2—1(全く必要でない)

番号	質問項目	平均
1.	学生の専門分野に直接関係する内容の教材を用いる	3.5
2.	英米豪など英語圏の文化を扱う教材を用いる	3.4
3.	それ以外の地域の文化を扱う教材を用いる	2.8
4.	日本の文化を扱う教材を用いる	3.3
5.	文学作品や評論などを読んで内容を理解する	3.1
6.	ニュースや説明文を読んで内容を理解する	4.3
7.	論文やレポートを読んで内容を理解する	4.1
8.	手紙やメモを読んで内容を理解する	3.8
9.	英文和訳(翻訳)をする	3.1
10.	英文を速読・多読する	3.9
11.	英文を読んで内容を要約する	4.2
12.	和文英訳(翻訳)をする	3.5
13.	論文やレポートを書く	3.8
14.	手紙やメモを書く	3.8
15.	講義やスピーチを聴いて理解する・メモを取る	4.2
16.	ニュースなどを聴いて理解する	4.1
17.	スピーチ・口頭発表をする	4
18.	討議・討論をする	4
19.	説得・交渉をする	3.7
20.	日常会話をする	4.2
21.	その他英語科目の授業内容で必要だと思われるものがあれば具体的にお書きください。	下記

- TOEIC, TOEFL 講座 (20代女 2004年文 大学院生)
- TOEIC取得 (40代女 1978年文 子供英会話教育)
- いわゆる授業という形でないとりくみが大切かもしれません。外国人学生が多くキャンパスにいる大学出身の人は、コミュニケーション能力も高く、自分の意見日本語でも英語でもを整然といえるのが印象的でした。(30代女 1994年理)
- とにかく英語は必要不可欠で、会話したり議論したりできないと通用しない(40代女 1981年理 大学教員)
- ビジネス英語の使用 (70代男 1957年法)
- 英文和訳は書くのではなく、口頭がよいと思う (30代男 1998年理 理学修士 医薬品製造・開発)
- 言語はあくまでもコミュニケーションの道具であるので、話したり聞いたりできないと話にならない。(50代男 1970年理 理学修士博士 大学教授)
- 実践的なトレーニングが必要 (20代男 1998年法 地方公務員)
- 授業ではないが英語圏にしばらく居住してみる (50代男 1972年文 歯科医師)
- 絶対的に会話能力の向上が望まれる (50代男 1973年法 内科医)
- 標準的なE-mailの書き方。(40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職)

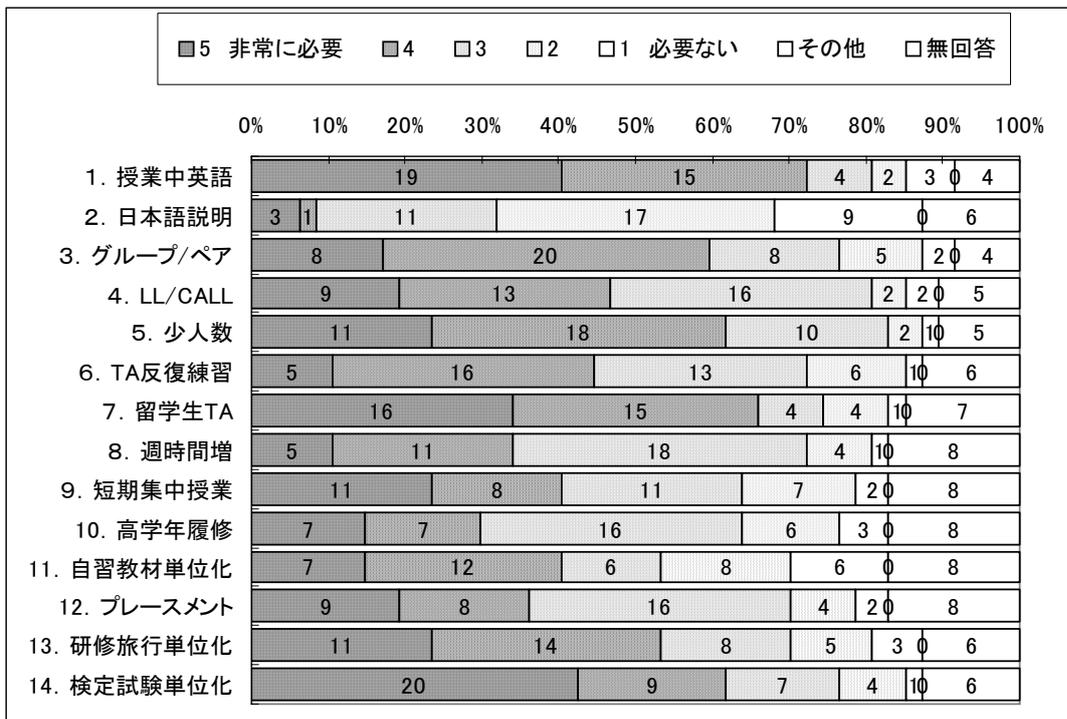
大学における外国語教育ニーズ分析



3.2.(5) 言語文化科目Ⅰ(六本松地区で開講の必修外国語科目)の英語科目の授業方法などについて、5段階評価で回答。(非常に必要である)5—4—3—2—1(全く必要でない)

番号	質問項目	平均
1	授業中にできるだけ英語のみを使用する	4.0
2	授業中にできるだけ日本語でわかりやすく説明をする	2.3
3	小グループやペアでの練習	3.6
4	LL、CALL(コンピューターを使った語学学習)など機器を利用した教育	3.6
5	20人以下の少人数クラスでの指導	3.9
6	TA(大学院生のティーチング・アシスタント)を活用して反復練習などをさせる	3.4
7	留学生をTAとして活用する	4.0
8	週当りの総時間数を多くする(例えば、英語週2コマを週4コマに)	3.4
9	短期間に集中的な授業形態を採用する(例えば、夏休みに1日90分3コマを5日間行なう等)	3.5
10	英語の必修単位は2年間ではなく卒業までに取得させる	3.2
11	指定された自習教材による学習成果を単位として認める	3.2
12	プレースメントテストによる能力別クラスを実施する	3.5
13	英語圏への研修旅行などを単位化する	3.6
14	TOEFL/TOEICなど検定試験により一部単位の授与を行う	4.0
15	その他英語科目の授業方法で必要だと思われるものがあれば具体的にお書きください。	下記

大学における外国語教育ニーズ分析



- ・ A F Nのニュースを教材として活用 (70代男 1957年法)
- ・ コミュニケーションの教育は楽しくなければいけない。アメリカ、イギリスの映画を理解したい、英語を母国語とする人とつき合いたい、メジャーリーグ、バスケットボールの情報を得たい、外国の音楽を聴いて、理解したい、色々な分野の最先端の情報を得たい (そのような場合はほとんど英語)、世界中の人々と対話して意見を聞きたい、そのような色々な各人の関心に沿った、目的のある英語教育がよい (50代男 1970年理 理学修士博士 大学教授)
- ・ 英会話は毎日の反復が不可 (40代女 1978年文 子供英会話教育)
- ・ 高校生の娘に英語勉強法を時々聞いてみるのですが、30年前とほとんど変わっていないように思う。音読する時間が皆無らしい。いわゆる受験英文法にまだ拘泥している日本の英語教育に暗澹たる思いです。昨年の国際英語力調査で日本があわや最下位になろうかという状況を真剣に考慮すべきです。(50代男 1973年法 内科医)
- ・ 最初に、学生個人個人に、習得したいレベルと習得の目的意識を持たせる。学部、専門によってかなりばらつきがあるはず。(40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職)
- ・ 生きた身につく英語を学びたいというモチベーションを上げるきチャンス何か考えられないか。必要にせまられるとか(専門分野での英語でのレポート提出とか(40代男 1982年法 半導体製造業))

3.2.(6) 言語文化科目 II について簡単な説明と開講科目名を与え質問した。

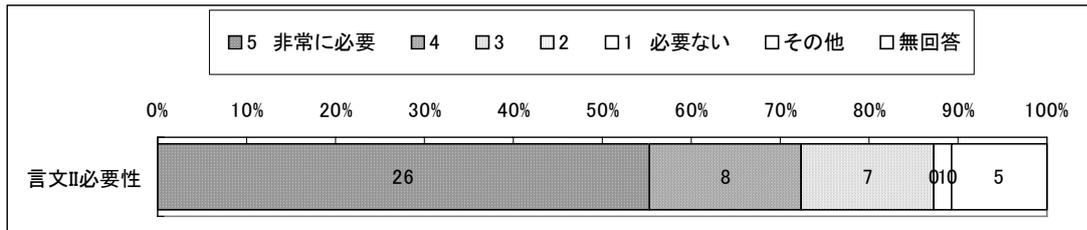
3.2.(6).1. このような授業が開講されていることをご存知ですか。

	人数	割合
1. はい	5	10.6%
2. いいえ	40	85.1%
無回答	2	4.3%
合計	47	100%

3.2.(6).2. 上で「1. はい」とお答えになった方にお聞きします。何によって知りましたか。

番号	人数	人数
1	『言文フォーラム』・『言文だより』	0
2	『九大広報』	1
3	学内掲示	1
4	ウェブ	0
5	友人・知人から聞いて	2
6	教員から聞いて	0
7	その他の方法で [(新聞で見ました)]	1
	合計	5

3.2.(6).3. このような科目の提供は必要と考えるか。5段階評価で回答。



3.2.(6).4. 他にあればよいと思う英語科目を記入。

- 卒業までに TOEIC730 点を目標にする (40 代女 1978 年文 子供英会話教育)
- 「実用」の意味が不明ですが、行政、ビジネスその他就職先で必要な英語でしょうか。もしそうでないなら、ビジネス英語などの英語科目。(40 代女 1983 年文 経済学修士博士 教育・研究職)
- 全て英語による語学以外の授業 (20 代女 2004 年文 大学院生)
- プレゼンテーション講座 (70 代男 1957 年法)

3.3. 英語以外の外国語について

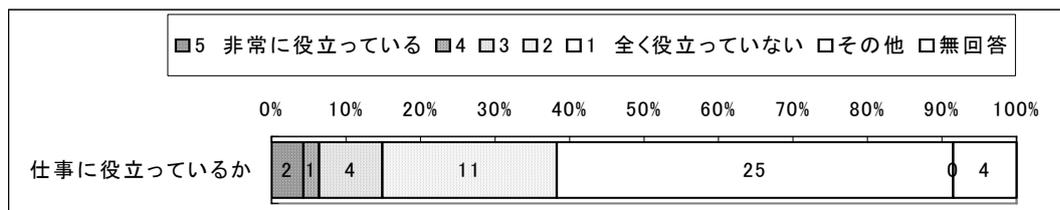
3.3.1. 言語文化科目 I 相当 (必修外国語) として

(1) 学部・大学院で履修した英語以外の外国語は何か、主なものを 1 つ選択。

言語名	人数	割合 (N=46)
1. 独語	25	54.3%
2. 仏語	14	30.4%
3. 中国語	3	6.5%
4. ロシア語	0	0
5. 朝鮮語	0	0
6. スペイン語	0	0
7. その他	2	4.3%
無回答	4	8.7%

* 7. その他は、「ラテン語」(40 代女 1978 年文 子供英会話教育)、「ラテン語・ロシア語・イタリア語」(20 代女 2004 年文 大学院生) 無効回答 1 名、「1, 2, 4」と複数を選択

(2) その外国語は現在の仕事に役に立っていますか。5段階評価。

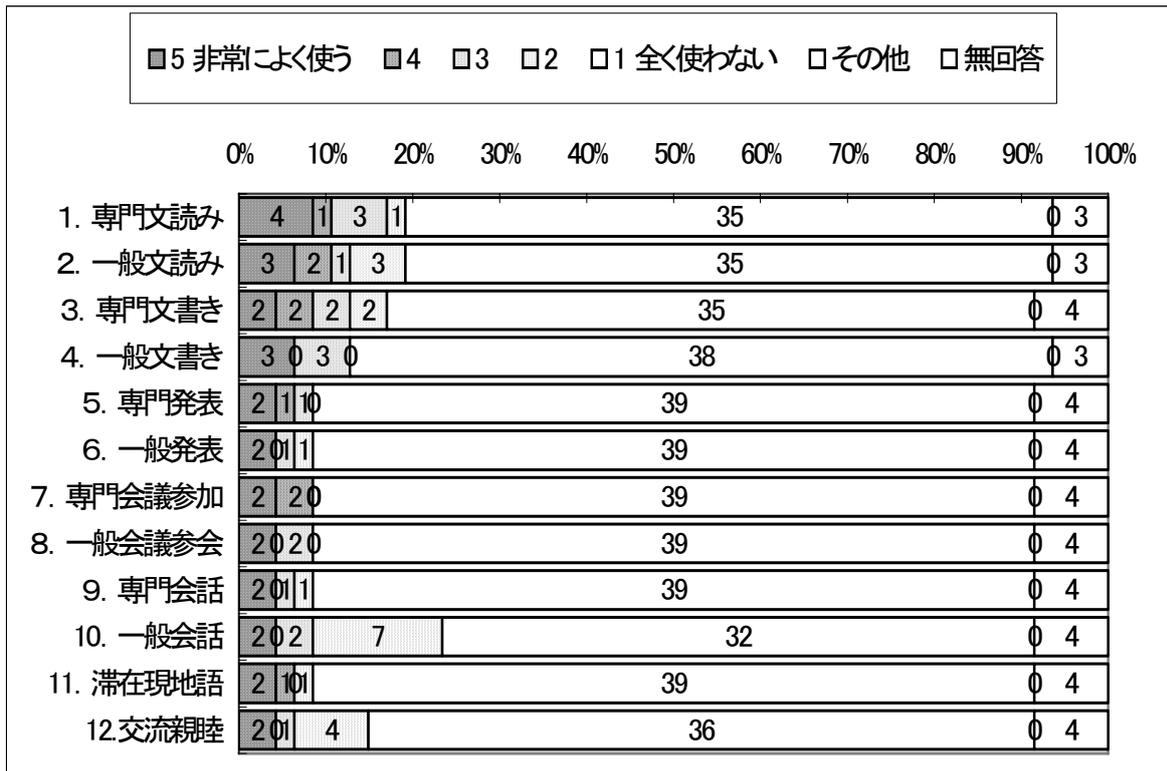


(3) (1)の外国語を研究・教育・仕事などの状況で、どの程度使用するか、5段階評価。

(非常によく使う) 5—4—3—2—1 (全く使わない)

番号	質問項目	平均
1	専門的な内容について書かれた文書 (専門書、論文、職務文書、e-mail、web-page 等) を読む	1.6
2	一般的な内容について書かれた文書 (一般雑誌や新聞、e-mail、web-page 等) を読む	1.5
3	専門的な内容について文書 (論文、職務文書、e-mail、web-page 等) を書く	1.5
4	一般的な内容について文書を書く	1.4
5	専門的な内容について発表や講演 (presentation) をする	1.3
6	一般的な内容について発表や講演 (presentation) をする	1.3
7	専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する	1.3
8	一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する	1.3
9	専門的な内容について会話・会談・交渉をする	1.3
10	一般的な内容について会話をする	1.4
11	研究のための滞在地の言語として日常的に使う	1.3
12	留学生・研修生・同僚の指導・交流・親睦に使う	1.3

13 その他よく使う状況があれば具体的にお書きください。 下記



- ほとんど使わない。(40代女 1978年文 子供英会話教育)
- 私が習った程度では使い物になっていませんので(40代女 1981年理 大学教員)

(4) 学生や後輩にぜひ履修してほしい英語以外の外国語があるか。

	人数	割合
1. はい	29	61.7%
2. いいえ	15	31.9%
無回答	3	6.4%
合計	47	100%

(5) (4)で「1. ある」を選んだ場合、それは何語か。

	人数	割合
1. 独語	2	7.4%
2. 仏語	1	3.7%
3. 中国語	12	44.4%
4. ロシア語	0	0.0%
5. 朝鮮語	5	18.5%
6. スペイン語	4	14.8%
7. その他	0	0.0%
無回答	3	11.1%
合計	27	100%

* 「中国語とスペイン語」 「とにかく英語以外の言語」

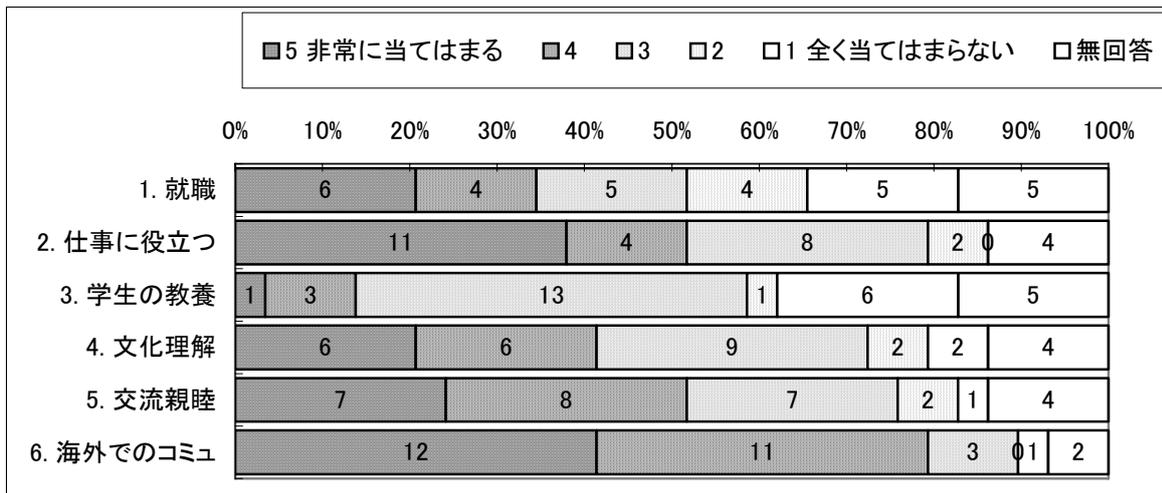
* 2名が中国語・朝鮮語を併記していたので集計から除外

(6) (5)にあげた外国語を学生や後輩に推奨する理由は何か、5段階評価。

(非常にあてはまる) 5—4—3—2—1 (全くあてはまらない)

番号	質問項目	平均
1.	就職に有利だから	3.1
2.	広い意味で仕事に役立つから	4.0
3.	九州大学の学生の教養として必要だから	2.7
4.	自らの文化また異文化をよりよく理解することができるから	3.5
5.	留学生・研修生・同僚との交流・親睦のために	3.7
6.	海外でのコミュニケーションのために	4.2
7.	その他推奨する理由があれば回答用紙に具体的にお書きください。	下記

大学における外国語教育ニーズ分析

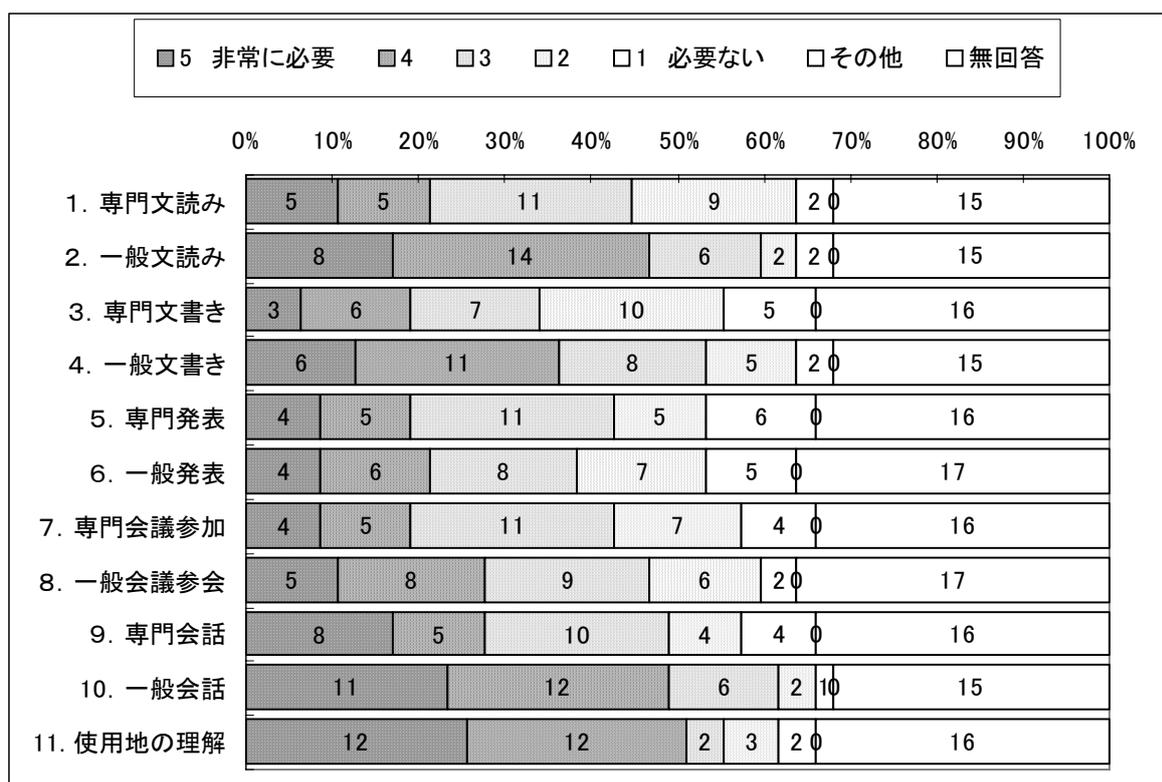


- 国際社会、世界平和のため (40代女 1978年文 子供英会話教育)
- より広い視野をもてる (50代女 1971年文)
- 英語以外の言語の習得は大事と思いますがそれは中国語であれドイツ語であれ何でも良いと思います。少数民族の言語でも構わないのではないのでしょうか。国際語としての英語が存在する以上その他の言語は、仕事で必要あるいは興味があるからというきっかけで何語でもいいというのが私の持論です。是非習得すべき第2外国語は限定不可能です。(50代男 1973年法 内科医)
- 英語圏以外(英語が通じない地域)にもビジネスチャンスが広がっている。専門分野以外に英語ともう一つ外国語がしゃべれると色々な意味で非常に強い力になる。(40代男 1982年法 半導体製造業)
- 英語圏以外の文化社会に対する興味を持たせるため。(40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職)
- 実務分野ではよく利用されている言語だから (40代男 1982年理 翻訳業)
- 短期間で修得できるから (50代男 1970年理 理学修士博士 大学教授)
- 東アジアの大学として中国学習に力を入れて欲しい。(20代男 1998年法 地方公務員)
- 同じアジア圏の国を理解することは今後ますます必要 (40代女 1981年理 大学教員)
- 文化的セントリズムの自覚的克服 (30代男 1990年文 修士博士 大学教員)

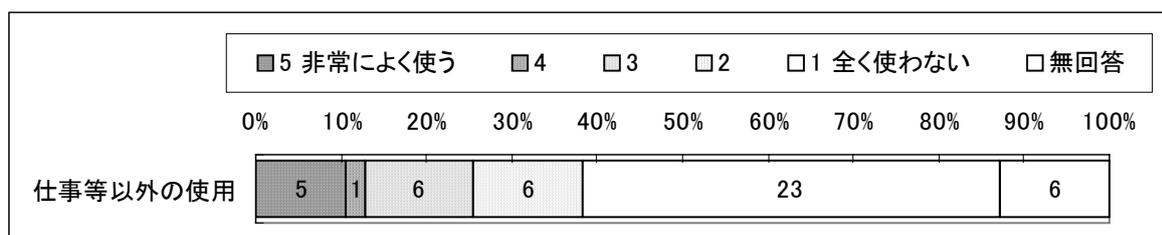
(7) 学生や後輩には(5)の外国語のどのような技能を特に身につけてほしいか、5段階評価。
(非常に必要である) 5—4—3—2—1 (全く必要でない)

番号	質問項目	平均
1.	専門的な内容について書かれた文書(専門書、論文、職務文書、e-mail、web-page等)を読む	3.1
2.	一般的な内容について書かれた文書(一般雑誌や新聞、e-mail、web-page等)を読む	3.8
3.	専門的な内容について文書(論文、職務文書、e-mail、web-page等)を書く	2.7
4.	一般的な内容について文書を書く	3.4
5.	専門的な内容について発表や講演(presentation)をする	2.9
6.	一般的な内容について発表や講演(presentation)をする	2.9
7.	専門的な内容についての講演・会議・討論に参加する	2.9
8.	一般的な内容についての講演・会議・討論に参加する	3.3
9.	専門的な内容について会話・会談・交渉をする	3.3
10.	一般的な内容について会話をする	3.9
11.	当該言語が使用されている地域の文化・社会的状況の理解	3.9
12.	その他よく使う状況があれば回答用紙に具体的にお書きください。	記入無し

大学における外国語教育ニーズ分析



(8) 英語以外の外国語を仕事・研究・教育以外の場面で使用することがあるか。



(9) 必修外国語の数

現在、文系では第1外国語7単位、第2外国語5単位、理系では第1外国語6単位、第2外国語4単位が必修となっていることを説明し、選択回答を求めた。

	人数	割合
1. 現状のままでよい	19	40.4%
2. 必修とすべき外国語は1つだけでよい	16	34.0%
3. 必修とすべき外国語の数はもっと増やした方がよい	5	10.6%
4. 外国語は必修とする必要はない	1	2.1%
5. よくわからない	1	2.1%
無回答	5	10.6%
合計	47	100%

(10) 英語のみ必修の理由

(9)で必修外国語は1つでよいという回答者に対し、英語を指定することについて、(全く賛成である)5—4—3—2—1(全く反対である)という5段階評価を求めた。回答は16人中、5が15名、2が1名、平均4.8であった。

3.3.2. 言語文化科目 II (必修以外) 相当について (質問票(14)番)

言語文化科目 II について、「卒業に必要な外国語の単位には含まれない言語文化科目 1 週間 1 回 (90 分) で 2 単位」と説明し、現在開講しているイタリア語、オランダ語、エスペラント、インドネシア語以外に開講したらよい外国語を回答してもらった。(複数回答可)。

言語	人数	割合
1. ベトナム語、タイ語といった東南アジア地域の言語	27	57.4%
2. アラブ文化圏の言語	17	36.2%
3. アフリカ大陸の言語	5	10.6%
4. 北欧の言語	3	6.4%
5. 東欧の言語	5	10.6%
6. その他*	1	2.1%
無回答	10	21.3%
合計**	47	144.7%

*6. その他の欄に記入された内容 (1~5 を選択した回答者も含まれる) は次の通り。

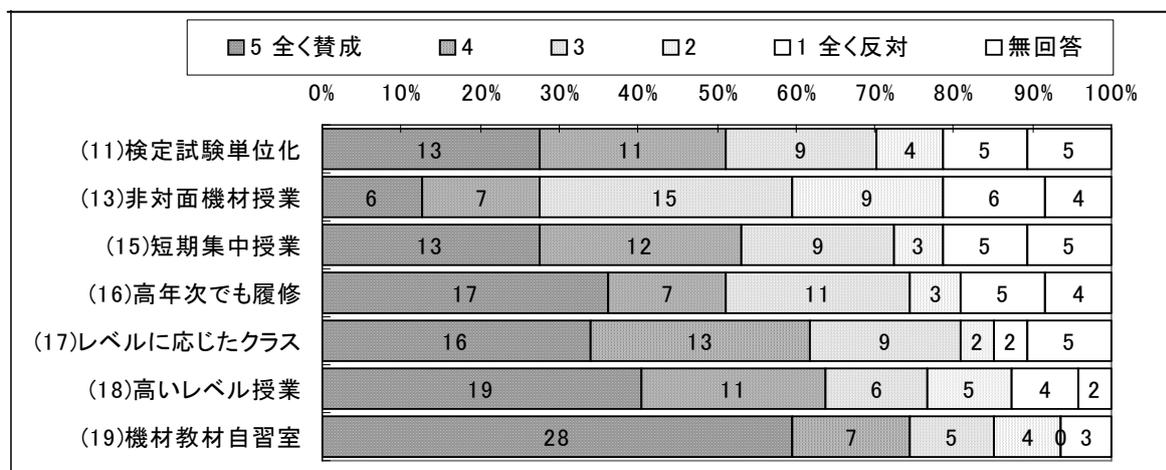
日本語?、ラテン語、スペイン語、教育体制が整っておればいかなる言語でも、スペイン語、中国語 (井上注: 日本語に? が付されていたのは、外国とと考えるべきか迷ったのであろう。スペイン語と中国語は開講されているがアンケートの説明に含まれていなかった。)

**1~5 を選択した回答者は 33 名。割合の分母は有効回答者総数の 47。

3.3.3. 授業方法や開講形態について

下記項目について (全く賛成である) 5—4—3—2—1 (全く反対である) という 5 段階評価。

(質問票番号) 質問内容	平均
(11) 現在、英語以外の外国語の必修単位の一部を検定試験の結果で代替させることができる大学がありますがこの点についてどう思われますか。	3.5
(13) 現在、外国語の授業が非対面方式、すなわち、コンピュータ等の機材を用いて行われている大学もあります。この点についてどう思われますか。	3
(15) 多様な外国語を学習するチャンスを生徒に与えるために、一部の必修以外の外国語授業は、例えば夏休みなどの短期集中で行う、という考えについてはどう思いますか。	3.6
(16) 現在、英語以外の外国語は低年次 (1・2 年次) の間に修得することになっていますが、これを低年次に限らず卒業時までいつでも履修可能とする考えについてどう思いますか。	3.7
(17) 英語以外の外国語は、学生の当該言語のレベルに応じてクラス分けした授業を行うべきだと思いますか。	3.9
(18) 英語以外の外国語の高いレベル (必修単位数のみで習得できるレベル以上のレベル) を目指す学生のために、大学は特別な授業を提供すべきだと思いますか。	3.8
(19) 英語および英語以外の外国語の学習に関して、大学は、学生が自分の必要や欲求に応じて学習できる機材や教材を備えた自習室を設置すべきだと思いますか。	4.3



質問番号 (12). 質問(11)番で英語以外の外国語の検定試験による単位化について否定的回答者の理由

- 大学の教育機能の自己否定ではないのか (40代男 1983年理 ソフトウェア関係)
- TOEICを自分も受験しての感想だが、試験勉強はかならずしも英語の理解を深めるには役立たない。目先の点を上げることは違う勉強が大学では必要だから。(40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職)
- その外国語の検定試験に通るような勉強の仕方が分からない学生が多いと思うから (40代男 1981年理 サービスエンジニア)
- 検定試験による。(30代男 1998年理 理学修士 医薬品製造・開発)
- 検定試験はマークシート方式が主流で、自分で英語を書く力は全く身に付かないかない (40代男 1982年理 翻訳業)
- 試験を受けるかどうかはあくまで個人の問題で、大学教育とは関係がないから。(40代男 1982年文 文学修士博士 大学教員)
- 大学での教育義務を放棄しているようなものだと思う (40代女 1981年理 大学教員)
- 大学の語学教育の放棄となる。また、授業料上も問題あり。(50代女 1971年文)
- 別の言語をもう1ヶ国語学習させる方がよい。(60代男 1961年法 無職 (元事務系))

3.4. 九州大学の外国語 (英語・英語以外) 授業に関する意見・要望自由記述

- 自分の専門分野で外国語が使えるベースを作ってほしい。その意味では専門分野のレポートや試験を英語やそのあの外国語で行うこともあってよい。これは教える側の体制作りが必要だが。実業の世界では新卒者であっても、語学力が専門レベルに達していると判断される場合には、即戦力として期待される。(40代男 1982年法 半導体製造業)
- いわゆる学問として教育していただくことも必要だと思いますが、実際のコミュニケーションに有用なトレーニングを強化していただきたいです。(20代男 1998年法 地方公務員)
- 大学の英語教育はもっと学部の学生の興味に沿った内容にすべきだと思います。例えば、経済学部の学生にはビジネスの場で使える英語、また工学部の学生には英語の専門書の読み方を教えるなどです。また、英語を使った実践的な職業のための講座・例えば翻訳や英語教師を目指す人にはそのための特別な講座を選択できるようにした方がよいと思います。それが難しければ、もっと一般的・共通な内容、例えばプレゼンテーションのやりかたなどを教えるとより実践的で有意義な英語教育になると思います。(20代女 2004年文 大学院生)
- なるべく NATIVE SPEAKER を講師に据えること (50代男 1972年文 歯科医師)
- 英語のみを特化するような外国語教育は、多元的な観点を否定することにつながるのではないか。(40代男 1982年文 文学修士博士 大学教員)
- 英語は世界最大の共通語で、日本人の場合日本語と同等の重要度をもつ。これに次ぐ外国語は使用人口からみても欧米系ではスペイン語、アジア系では中国語である。従来第二外国語はドイツ語かフランス語であったが、これらはいずれも既にその歴史的役割を終え、ほとんど役に立っていない現実がある。必修の第二外国語としてははスペイン語、中国語などに置き換えられるべきである。(60代男 1965年理 地質学)
- 外国語習得に限らず、学生が自分の必要や欲求に応じて学習できる機材や教材を備えた自習室を設置し、開放する事は重要である。(50代男 1977年文 システム開発、営業)
- 学生時代に受講した英語の講義に、単位取得後も全く意味を感じなかった。教官が好き勝手に自分の趣向に合わせて講義を行きすぎで、自己満足の講義にしか見えず、結果的に見ても何も身に付かなかった。人を見下す、差別的発言を繰り返す、赤青思想を語る教官に3人も当たったため、講義を受ける気すら起きなかったし、単位取得のためとはいえ、こんな人間達の話は聴かないといけないことに苛立ちすら感じた。教官を選べなかったことが原因として大きい。九大で受講した英語の講義には、今でも悪い印象しか残っていない。語学教育のシステムを考える前に、一部の人間的に問題がある教官に対する指導や教育から始めるべきではないでしょうか。(20代男 2000年理 理学修士 企業化学者)
- 現行の授業をよく知らないで、意見を持つことは難しいが、昨今の状況を想定して幾つか書かせて頂きます。(1) 学部、専門毎に、学生のモチベーションと要求水準が違うと思われるので、きめ細かい対応。(2) もし平均的学力をつけさせるといことが全学的目的なら、そのリサーチのために単位とは関係なく、定期的に TOEIC 受験などの義務化。(3) 卒業後、大学の外で仕事のために英語を使うなら、どのみち卒業後も自分でブラッシュアップすることが求められるが、その際、臆せずあきらめず勉強を続けられるだけの基礎学力と意欲を4年間で持ち続けられれば良いと思う。(40代女 1983年文 経済学修士博士 教育・研究職)
- 現在はどうかかわからないが、当時、大学でやった語学教育が役に立っていることは全くない。どういいう意図で語学教育をしていたのか、説明してほしいくらいだ。自分は語学学校に通っていた。大

- 学に在籍し授業料を払っていたことを考えると、遺憾だ。第二外国語のことを論じる前に、せめて英語だけは、使えるように、ちゃんとした教育方法を考えないと、先（社会人になって）通用しないと思う。(40代女 1981年理 大学教員)
- 語学は机にむかっておこなうだけでは身に付かないと思います。社会人になって、英語必須に仕事をおこなう人達は、自費で英会話学校に通う人が多くいます。会話をしないと英語を使えない、ということがわかっているからです。言語はあくまで手段であり、知識ではなく、体験しかないのでと思います。大学が提供できることは、開かれたキャンパス、いろんな国籍の学生もいて普通に会話すること、また、単位取得を、学内だけでなく、国外での留学経験も認定する、などすればよいのではないのでしょうか。(30代女 1994年理)
 - 国際化の時代だから日常会話は自由にできる九大生であるべきだろう。これにつける。(60代男 1964年法 人事労務)
 - 私が学生時代に受けた頃とは様変わりしているようです。このままの方向性で充実していただければよろしいかと存じます。(30代男 1990年文 修士博士 大学教員)
 - 私の在学したころは、教養部までは英語を勉強したが、専門では論文を読む程度で英語力は高校時代に比べ大学時代に現状維持か退化したという印象を持っている。会社に入って30代前半にドイツに2年間滞在し、仕事の上では英語、日常生活はドイツ語という生活を送ったおかげでどうにかこうにか日本人としては平均以上のレベルに達し仕事で英語が使えるようになった。滞在中は中国、韓国、インドなどから来ている同僚の英語を使ったコミュニケーション能力ははるかに高くつくづく日本の英語教育の貧弱さを体感した。頭がまだ柔らかい20代にもっと英語能力を高める必要があると痛感した。(40代男 1980年学部 総理工修士 機械製造販売)
 - 私の場合は30年も前のことなので、現在どう変わっているのかわかりませんが、フランス文学科を出て、一応フランス語の高校教師の免許も取りましたが、実社会では、ほとんど意味もありませんでした。せめて会話ができるようになっておきたかったです。英語も大好きで得意でしたが会話はあまり出来ません。また、難解なラテン語にも苦しみましたが、今思えばもっと理解を深めておきたかったと後悔しています。ドイツ語にしても同様に思います。とにかく、語学は会話が最優先だと思います。大学入試に英会話がもっと重要視されるようになれば、高校、中学、小学校、幼児へと親の関心が強くなり、もっとも右脳が発達している幼児期に今よりもっと簡単に語学が身につく、日本が国際社会で出遅れなくなると確信します。はっきり言えば、大学生では遅すぎます。以上(40代女 1978年文 子供英会話教育)
 - 授業そのものについてではないですが、外国語の習得は一朝一夕には行かないので、学生に対し、授業外でも定期的に(毎日少しずつでもよいので)自主的に勉強することを薦めるべきだと考えます。(40代男 1985年理 プログラムマネージャー@自動車部品メーカー)
 - 大学生であれば英語で自分の意見を伝えられる、相手の言っていることを理解できるくらいの能力は必要。諸外国の大学生は多くが英語での討論可能です。もし、今も昔ながらの授業がなされているとしたらどこに問題があるのか研究して欲しいと思います。(現在の授業形式を良く把握していませんので的外れかもしれませんが。(50代男 1973年法 内科医)
 - (1) 必修の外国語を英語以外に少なくとも2か国語とする(国際化の現代においては3ヶ国語は中級程度の学力が必要、語学毎に現在検定試験があるが読み・書き・聞くの面で2級程度の力は欲しい)。(2) native speaker を講師として採用する。(3) 外国語の授業は、教養課程にとどまらず専門課程でも行う(さもなければ、卒業時に外国語の学力が低下する)。(4) クラス編成を10人位とする。(60代男 1961年法 無職)
 - 表面的なことより、授業内容がわからないと意見はかけない。大切なのは、双方向性、学生主体の授業、レポートやテストのフィードバック、プレゼンテーションなどの工夫などが含まれることである。また、言語が包含する文化的な視点や展望をどこまで与える事ができるかということも重要に思える。(50代女 1971年文)
 - 率直な所感として、大学での英語の勉強は全く役に立たない。その主たる理由は、大学の単位制度が、「勉学の探求」ではなく、自然と「単位の取得し易さ」を基準として授業を受講しているケースが多いためである。いかに良い内容であっても、「真剣に受講する」ことなくしては画餅である。いかに真剣に受講させるか、場合によっては単位認定を大いに厳しくすることも含めて熟考されるべきと考えます。自らの学生時代の反省も踏まえつつ。(30代男 1993年法 運輸業(航空会社))
 - 留学生との直接的な交流を通じて、留学生の言語を日本の学生に学ばせたらよい。その時は、逆に、日本の学生には、相手に日本語を教えることを義務とする。このような活動も、活動と報告を含めて、講義に組み込むか、単位化したらよい。両者の文化の相互理解にも役立つ。言語教育の中心は、お互いの言語による意志の疎通である。(50代男 1970年理 理学修士博士 大学教授)